

れ御厚情有り難く存じ候。早速入會いたし度候へども、目下俗務多忙を極め文字通り寸暇も無之状態に候まゝ、誠に不本意ながら、此度は御辭退申上げ候。何れ機会を得て、小生より入會相願ひ申し出づべくその節には何分宜しく御依頼申上げ候。先は御返事まで。勿々頓首。

四 約束を斷る

謹啓。申分なきスキ一日和にて本日、駒澤行きは、定めし痛快ならんと待ちに待ち構へ居り候ところ、突然國元より舊友の上京を迎へ、遺憾千萬ながら、御供いたし難き都合と相成り候。時間も差迫り定めし、御待兼ねのことゝ恐縮に堪へず、取急ぎ停車場まで舍弟を走らせ候次第、何卒悪しからず御諒察下され度候。早々。

五 縁談を斷る

度啓。この度小生の縁談については、御多忙中彼是と一方ならぬ御盡力に預り、有り難く存じ居り候ところ、私一身上に關し、不意の出来事生じ、一時中止するの餘儀なき場合に立ち寄り申し候。斯く申上げ候へば、假托に似たる嫌ひ有之甚だ心苦しき次第に御座候へども、決して左様の譯には無之候間、何卒悪しからず思召し下され度願ひ上げ候。尚今後縁談を待ちて

又々御願ひいたしたく、お目にかゝり、詳細申上ぐべく候へども、御都合もあらんかと取急ぎ右聞え上げ候。勿々頓首。

六 保證を斷る

御書面正に接手仕り候。資金運轉上の御都合により、他より御融通なされ候由にて、小生連帯保證人に相立つべき旨承知仕り候。御依頼の趣はいと易きことに候へども、御承知の如く無資産なる小生として、この種の保證に立つべき資格無之と自覺いたし候へば、この際他に適當の御仁を御選び下され度折角の思召に背き甚だ失禮ながら、事情御諒察の上悪しからず御酌取り下されたく候。拜具。

七 注文品を斷る

謹啓。毎度御引立に預り有り難く存じ候。就てはこの度御注文下され候何品、實は諸方より一時に注文輻輳いたし、晝夜兼行にて製作を急ぎ居り候へども、職人の拂底材料の都合等にて今日の場合到底豫定の期日に御間に合ふ見込相立たず候につき誠に遺憾ながら一時御斷り申したく候。尤も二十日頃には大體は片付け等につき、重ねて御注文下され候節には、如何にもして御都合御計り申すべく候。右の事情悪しからず御諒察の上、今後とも宜しく御依頼の程願ひ上げ候。頓首。

第十二節 督促

一 貸金の返済を促す

拜呈。豫て御用立申上げ候金子は、去る何日御返済の御約束に候處、今に何の御挨拶も無之、如何なる御都合かと心配いたし居り候。御承知の如く他より期限を定めて融通したる金子に有之、先方に對して信を失ふ如きことありては、今後迷惑いたすべく候につき、種々御都合も御座候ことゝ存じ候へども、急ぎ一先づ御返金下され度、呉々も御願申上げ候。拜具。

二 代金支拂の請求

謹呈。益々御繁昌の段賀し奉り候。借先月末御支拂ひ下さるべき何品代金、既に十日を経過いたし候今日に至るも、何等の御沙汰も無之候は如何なる御都合に御座候や。或はこの書と行違ひにて御送金下され候儀かとも存じ候へども、帳簿の整理其他の都合も有之候につき、一應御伺ひかたぐ御願ひ申上げ候。再拜。

三 注文品の催促

先月御注文しました何品は、當時特に御相談の上、本月十五日までには、相違なく御送り下さる筈で御座いましたか、十日

餘も空しく経過した今日、尚ほ何んの御沙汰もなく、如何なる御都合かと懸念に堪へません。御承知の如く、季節物でないまでも、當方に於いては、それ〴〵豫定があつて待ち受けて居る始末で、何かと手元が狂ひ、一方ならず當惑して居る次第で御座います。いろ〴〵御事情も御座いませうが、大至急にて何とか御都合をつけて頂きたく、若しこのまゝ、非常に延引するやうなことにならば、是非なく御受け致し難い場合が生ぜぬとも限りませんから、彼是御推察の上、何分の御返事を煩はしたう御座います。

四 書物の返却を促す

古來燈下親しむべしと言はるゝ好期節、いよ〴〵御勉學のことに存じ候。就ては過日御貸與申上げ候「世界風俗全集」若し御覽済みに候はゞ、一先づ御返し願はれ間敷候や、實は御承知の某氏、目下何かの著作に執筆中、参考として一讀いたし度旨申し來り候ための御願ひに候へば、御不用ならば、同氏のために暫時御用立下されたく候。尤も十日ばかり借用いたしたき由なれば、その後は又御宅へ持参いたさせ申すべく、右催促がましくて誠に失禮ながら、何卒悪しからず御諒察承下され度候。再拜。

第十三節 勸告

一 修學を勸む

啓上。その後暫く御目にかゝらず候ところ、相變らず御勇健のこと、存じ候。就ては突然ながら貴兄も補習學校へ御入學なされては如何に候や、小生は本年四月より商工補習科に入學、目下商業部英語簿記を勉強いたし居り候が、兩科とも自身にも目に見ゆる如く實力増進し、頗る愉快に御座候。お互にいつ迄も一店員に甘んじて一生を終る譯には無之、將來に備ふる必要あるは申す迄もなきことながら、主人持の身として獨學等は言ふべくして行ひ難きことに候。當校に入學すればとてさして、學費を要するには無之、たゞ問題は時間の有無に候へども、貴店にては夜間は餘裕もあり、理解ある御主人に候へば決して故障は申す間敷、寧ろ喜びて賛成し呉るゝことかと存ぜられ候。學級には目下二三の缺員ありて、申込次第何時にても入學を許さるゝこと、存じ候へば、この際御決心なされては如何に候や御返事の模様により、學校の方の手續は小生に於て然るべく取計ひ申すべく候。拜具。

二 不勉強を戒しむ

一筆啓上。御承知の不風流なる小生、何もかも露骨に申上げて一筆の苦言を呈し候。近頃久しきに亘つての御缺席、事實御病氣のためならば固より兎角は申す間敷、專念御静養あるべきやう勸むべきが友人の至情に候へども、假病を構へてのこと、知りし上は黙視するに忍びず候。他は兎も角、學生の身として學校を欺くとは言語道斷と申すべく、嚴しく言はゞ、學校の風紀にも關し、同窓の面皮をも汚すものと申さざるを得ず候。而してその基くところは、一言にして盡さば怠慢より起り、その裏面には不良なる友人もあるべく低抜なる藝術の誘惑もあるべく、更らに進んでは酒色の醜も有之べしと想像いたし候。小生としては必ずしも君に向つて柄にもなき忠告を試みんとするに非ず、たゞ一片の友情より恐しきことを覺らば、その時に於て驟然改められんことを希望する次第、御國元には御兩親の指折り數へて君の錦衣歸郷を待たれ給ふあるをも考へられたく候餘事は申さず、一度學事より遠かりし君の精神が、一日も早く常道に復歸すべきを切に祈上げ候。拜具。

三 轉業を戒しむ

謹呈。貴兄には、この度轉業の御計畫をめぐらされ候由、事實に候や。尤も父祖傳來の業と申せばとて、時代に適應せざる

は斷然これを廢し、他に轉ずるはその例少なからず、必ずしも批難致すべきには無之候はんも、貴兄從來の御事業は、現代的にして相當の御收益も有之、御轉業の動機的那邊にあるやは諒解に苦しみ候。然も近年御損失の相重なりしに就ては、何かの原因の伏在せるより起ることに有之べく、要は改良善處してその弊害を除かんことに努力さるべく、これを以て轉業の動機とするは輕率妄動の誹を免るまじと存じ候。況して一時の小厄に閉口して、百年の事業を無難作に廢せんとせらるゝが如き、心ある者の共に、甚だ同意しがたきところに候。願はくば御再考下され度、失禮ながら御前途を憂慮するの餘り、一書を呈して御反省を促し候。拜具。

四 轉地療養を勸む

拜呈。御病氣御全快の報に接し大慶に存じ候。就ては呼吸器の御病氣には、病後の御養生も大事に候へば、暫時熱海方面へ御轉地の上、御静養なされては如何に候や。熱海と申せば、貴紳富豪の徒の湯治場の如く思はれ候へども、最初の約束次第にて、入費もさして多くを要せず、東京にて下宿すると大差は無之候。幸ひ同地には小生の知邊にて、平民的の旅館を経営いたし居り候者これあり候へば、御都合により御紹介申すべく候

一日も早きが宜しく候間、早速の御出掛けを切に御勧め申上げ候。勿々。

五 飲酒を戒しむ

拜啓。貴兄にはこの頃、又々酒に親しまれ候由、元來御好みの酒、殊に御家庭内に於ける御不快の事情も承知いたし居り候へば、飲酒によつて鬱を拂はんとの御心持は推察いたし居り候へども、一旦害あることを自覺されて、斷然御禁酒を誓はれ候上は、折角持續せられては如何に候や、利害に關しては何事も御承知の貴兄に候へば今更申上ぐる要これなく、只御禁酒により一時恢復せられし、御健康と社會的御信用との再び失はれんことを惜むの餘り、御無理とは存じ候へども、更らに御考慮を煩はす次第に候。他より止めよと申せばとて、なか／＼止まるものには無之候はんも、折角御身邊に集まりし社會の同情の、又の御飲酒によつて批難の聲に變らんとしつゝあるを知りては平素の友誼上黙止するに忍びず、出來得るならばの恃みより御反省を促す次第に御座候。早々頓首。

第十四節 弔慰

一 落第の友を慰む

奉呈。承り候へば、この度の學年試験に不首尾の由にて、日夜御沈み勝ちなる由、御落膽の程決して無理ならぬことに候へども、努めて御心を引立て、快活に願はしく候。

由來試験と申すものは拍子のものに候へば、實際學力の秀で給ふ貴兄にして落第なされ候とも、所謂運の悪きがさせる業に有之、決して御恥辱となさるに當らぬことと存じ候。

年の上より申すときは一年後ることと相成り、この點は残念ながら、最初の御入學が、普通より一年も二年も早かりしことに候へば、この點も悲觀なさるに當らぬこと、御兩親様に於かれても、深くは咎め給ふまじく候間、吳々も御勇氣喚起、今後の御奮勵こそ願はしく候。拜具。

二 失敗せし友を慰む

啓進。この度は思はぬ御手違ひより御閉店なされ候由、御不幸の上もなきことと御同情の念に堪へず候。然しながら、實業家として時に失敗を招くは普通一般のことと申すべく、決して御名譽に關することには有之間敷と存じ候。

殊にこの度のことは他に御關係されしが最大原因と承り候へば、御回復の期も大して遠かるまじく候間、吳々も鏡意御再舉の御計畫こそ願はしく候。

山河遠く隔て候へば御伺ひする便宜も得難く、聊か一書を呈して御見舞に代へ申し候。拜具。

三 悔みの手紙

謹呈。御令息様御逝去の趣、只今承り、只々夢かとのみ驚き候も、その事實なるが悲しく、常ならば花や鳥に興あるこの頃、尙更ら斷腸の思ひ致し候。

我が校にても御入學以來、優秀なる御成績にて、教師も同窓生等も、御前途に對しては深く囑望いたし居り候ひしに、御悔み申上げんは言葉もなき今日の御不幸にて、終生の御才能を一時に發せられしに非ざるかと、皆々痛惜の餘り御申上げ居り候中にも小生の如きは、同郷竹馬の友にも有之、小學以來苦樂を分かち來りしこととて、様々の思出に一入悲しさに堪へず候。

況して貴下様には、天地に代へ難き御一人息子にあらせられ御悲歎の程如何ばかりかと、御慰めの言葉も無之につけても、尙々哀悼の念に堪へず候。然しながら、今はいかに申さばとて限りなきことに候へば、この上は御逆縁の御追福が第一かと恐察奉り候。

添へしは御香料の印のみ、何卒御靈前へ御供へ下され度、先は取敢ず御悔みまで。謹白。

第十五節 紹介

一 就職希望者を紹介す

拜啓。その後は意外の御無沙汰にて失禮いたし候。借この書持參の者は、本年三月當地の商業學校を卒業せられし青年に有之、小生とは昵懇の間柄に候が、この度貿易業實習として、御配下の業務に服したき希望を抱き居り候。

御多忙中恐縮に存じ候へども、一度御引見の上、相當の役御座候はゞ御使ひ下され間敷候や、當人の身上に關しては、小生に於て一切引受け申すべく候間、何分宜しく御願ひ申上げ候不乙。

二 奉公人を紹介す

啓上。豫て御相談を蒙りし御女中、そのまゝ延引と相成り申譯これなく候。この度不圖した話の都合より、宅に出入の者の娘にて、御奉公申上げたしとの希望ある由、幸ひ本日買物にて上京致すべくにつき、兎も角本人を伺はせ申し候。

今以て他より御雇入之れなく候はゞ、何卒末長く御召使ひ下され度、身元等は一切小生に於て引受け申すべく候。勿々。

三 取引先を紹介す

唐突の御願ひながら、この度當地昭和堂店主春木花之助氏、業務擴張の目的にて貴地方へ出張致さるべく候ところ、何分初めての土地とて御知合の人士無之、著手にも御困難の由申され候。

就ては御多忙中誠に恐入り候へども、貴兄は御交際も御廣くあらせられ候ことなれば、御社交上且つ御事業上に關し、さしたる御差支御座なく候はゞ、相當の人士に御紹介相願はれ間敷候や。最も他のことと異り、御手数を煩はすことに候へども、同氏は小生永年の取引先に有之、當地の青年實業家として高潔なる人格の持主にも候へば、御迷惑を及ぼすが如きことは決して有之間敷、この旨御含みの上にて、何分宜しく御願ひ申上げ候。敬具。

四 知人を紹介す

突然ながら、この度僕の中學時代の同窓で、本年帝大の文科を卒業した何某が、御地の女學校へ奉職することとなりました。何分初めて社會に出たことでも有り、女學校の先生になつても獨身者だから、當分は依然として下宿生活を営む筈ですが、未見の土地でもあり、何彼と不便を感じるだらうと思ひます。人物はしつかりして居ると言はんよりも、寧ろあつさりした

方で、趣味其他の點は、僕を二三年若くした者と思つて頂ければ  
間違ひはありません。

以上のことを御承知の上で、今後御交際をして頂けるならば  
當人もどれ程力強く思ふだらうと右御願ひいたします。

### 第十六節 依頼

#### 一 手傳を頼む

前略御免。明日よりいよいよ何々の植付に取掛りたく候に就  
ては、豫てお願ひ申上置き候通り、未明に新田まで御出かけ下  
され度願上候。貴家御植付の節には、一同打ちそろひて參上  
仕るべく候間、成るべく賑々しく御加勢下され度、右御依頼  
申上候。早々。

#### 二 買物を頼む

啓上仕り候。明日は町へ御出掛の由にて御誘ひ下され、有り  
難く存じ候。小生も出かけたきは山々に候へども、折悪しく手  
抜いたし難き用件これあり、残念ながら御供いたしかね候。就  
ては御言葉に甘へるやうながら、御序でに某書店に立寄られ、  
新刊の作文辭典二三冊御求め下されたく、何にても貴兄の御見  
込にて、小生に適當と思はれるものにて結構に御座候。代金は

五圓同封いたし置き候へども、若し不足の節は一時御立替下さ  
れたく、手紙にて失禮ながら右御依頼申上候。以上。

#### 三 下宿の周旋を乞ふ

啓上、次男某こと、この度當人の希望に任せ、何學校に入學  
せしむること、相成り、近日上京の都合と相成り候。何分初  
めて親の膝下を離るゝ子供のことにも有之、市中難踏の地に下  
宿せしめては、勉強の妨害となることは兎も角、種々恐るべき  
誘惑もあらんかと、家内一同心配いたし居り候。就ては御知邊  
の中閉靜にして、家族同様に世話して呉るゝ家庭に心當り御座  
なく候や。御多用中誠に恐入り候へども、至急適當なる所を御  
探し下されたく折入つて御願申上候。いよいよ入學の際は、小  
生も同行上京いたすべき筈につき、その節親しく御願申上く  
る考ながら、取敢ず書面を以て右御依頼申上候。叩首。

#### 四 小店員の周旋を乞ふ

一別以來久しく御無沙汰をして居りますが、益々御發展のこ  
と、存じます。當方も御蔭様で次第に多忙になりました、只今  
では夫婦共稼ぎの状態にて、手の廻り兼ねる迄になりましたか  
ら喜んで下さい。就きましては今のうちに、店員見習として高  
等小學校程度少年を一人入りたいと思ひます。尤も將來は商

人として活動する希望を持つ者でなくては困りますが、御地に  
その様な者で、若し御心當りがありますならば、御世話が願へ  
ないでせうか。最初は私が得意廻りの留守中、家内に手傳つて  
店番をして貰ふ位のこと、夜間は暇ですから、當人の望みに  
よつては夜學校へ通學させてもよいと思つて居ります。右御含  
みの上、何分の御盡力をお願申上します。

#### 五 就職の周旋を乞ふ

拜啓。突然ながら御存じの三男三郎こと、當年十四歳に相成  
り、この三月小學全科卒業の筈に御座候。就ては商業希望にて  
如何に勤めても農業を喜ばず當惑いたし居り候。何れ他家を相  
續する身分なれば、今の内より、他人の飯を食はずも修養の一  
つかと一家相談の上商店員として相當の所へ住込ますことに決  
定いたし候。御面倒相掛け恐入り候へども、御心當りの處無之  
候や、若し無くば御心掛け置き願はしく、呉々も御願申上候。  
尙ほ當人は書店を最も希望いたし居り候へば、念のため申添  
へ候。不次。

#### 六 保證を乞ふ

謹啓仕り候。舍弟某儀この度當人の希望により、上京いた  
し、何校へ入學の筈に候ところ、入學試験に合格の上は保證人

を要する筈に御座候。就ては誠に願上げ兼ね候へども、年久し  
く御交際の御情誼により、貴兄に於て該保證人に御立ち下され  
間敷候や、失禮ながら書中を以て御願申上候。  
尙この書持參の者が當人に候間、一度御引見の上何かと御申  
し聞け下され度候。叩首。

#### 七 文章の添削を乞ふ

秋風身に沁む頃と相成り候ところ、先生には愈々御精勵の御  
事と御慶び申上候。さて先般枯木吟社幹事の方より、同會發行  
の何々雜誌に投稿すべしとの要求に候まゝ、拙劣ながら多少の  
勉強にもと、別紙の如く起草いたし候。御承知の如く未熟の筆  
にて自分ながら恥しさを覺え候へども、厚顔にも御左右に差し  
出し申し候。御多用中御迷惑とは存じ候へども、御手際の節何  
卒御加筆下されたく、實は拜趨の上御願申上くべき筈ながら、  
却つて御邪魔と存じ候まゝ、失禮ながら手紙を以て御依頼申上  
げ候。

尙ほ原稿締切りは本月二十五日に候へば、それより二三日前  
までに御覽下され候はと好都合に存じ候。早々。

#### 八 注文品の延期を乞ふ

去る何日附にて御注文下され候何品、當方に於ても目下賣出

し中の品に有之候まゝ、その後晝夜兼行にて製作を急ぎ居り候へども、材料の拂底、職工の不足等、種々の支障を生じて彼是と手管狂ひ、御指定の期日までに全部の仕上り東なく存せられ候。かゝる事情の下に御都合を妨ぐる儀は幾重にも恐縮に存じ候へども、特別の思召を以て暫時御猶豫下され間敷候や、尤も来る十日には、間違ひなく貴著すべき都合に發送仕るべく候。今少し前日に申上げなば宜しかりしを、實のところ相違なく出來すべきことを期して今日に至り候次第故、この儀も悪しからず御容赦下され度候。不乙。

第十七節 注文

一 書物の注文

本年は弊店開業十週年に相當し、お蔭様で日に増し盛大となりましたから、この際謝恩賣出しの名の下に廉價を以て發賣を試みたいと存じて居ります。就きましては、僅少の物に御手数を煩はす次第で誠に恐入りますが、別紙目録の通り特に御割合を以て御送りを願ひたいと存じます。代金は例により、着荷と同時に御送り致しますから、右御含みの上、至急御發送を願ひます。

前文御免下され度候。倍大川端へ新築中の住宅、この度漸く工事落成いたし候に付、明後八日午後六時より新宅に於て、形ばかりの粗宴を催し、聊か祝意を表し度存じ候。設計萬端は小生の創意に出でしものこれあり、是非貴下様の御批評を仰ぎたく存じ候へば、御多用中恐入り候へども、御差繰り何卒御來駕下され度特に待上候。敬白。

一 吳服類の注文

拜啓。別紙明細書の通り御注文文申上候間、御多忙中恐入り候へども、即日御荷拵へ下され度候。

向△印を附せし物は、特別の得意先よりの希望に候へば、値は豫定よりも少々外へ出ても苦しからず候間、繕柄も地合も精御吟味下されたく、右御願ひ申上げ候。不乙。

三 印刷物の注文

別紙の原稿によつて、御組版を願ひ、一萬枚程至急御印刷願ひたく、紙は菊判の八十斤内外の薄手洋紙にて宜しく候。至急を要することに候へば、御多忙中とは存じ候へども、何とか御都合の上、來月五日までに御送り下され度、校正其他のことは一切御任せ申すべく候。勿々。

第十八節 招待

一 新年宴會に招く

拜啓。打續く快晴にて心地よく正月を過ぎ、お互に愉快な新年に候。就ては明日家例により、御親交を新たにお願ひす

る意味にて、粗酒差上げ度候間、午後四時より小宅まで御來光下され度待ち奉り候。尚歌留多遊びの催しもこれあり候につき、御嬢様も御同伴下され度、先は御案内まで。早々

二 祭禮に招く

卑墨拜呈。來る十五日は、村方産土神の祭禮に相當いたし候本年は稻作も上出來にて、例年の大神樂、屋臺の外に素人芝居の催しも有之、過日來その稽古にて、若菜達は夢中の有様に候田舎には田舎らしき趣向もあり、情調もこれあり本年は例年よりは一層賑やかなることゝ存じ候。

もとより土地柄として、何のもてなしも致し難く候へども、何卒御一同様打揃ひ御泊りがけにて、緩々御越し下され度待ち上げ候。早々。

三 結婚披露に招く

謹啓。今般一雄儀婚儀に就ては、御丁寧なる御祝儀賜はり有り難く存じ奉り候。就ては將來一入の御交誼相願ひたく、來る十五日の吉辰を卜し、御披露のため粗酒獻じたく候間、御多忙中恐入り候へども、午後五時より御夫婦様にて、拙宅まで御來車下され度、右御案内申上候。百拜。

四 新築披露に招く

第十九節 懇談

一 座談會開催につき相談

謹呈。農は國の本と古來申し來り候に、現時の状況を見るに、商工業其他、各種事業の時代の風潮に乗じて、日に進み、月に隆盛に赴きつゝあるに反し、獨り我農業は時代に逆流する

の視あり遂に今日の如く、農村の疲弊を來し候こと、御同様に遺憾に堪へず、若しこのまゝに放任して、何等の救済策をも講ぜざるに於ては、農村の前途想像するに難からず候。

就てはこの際、たとへ我一部落なりとも、農をして眞に國の本たらしむべく、改善進歩の策を講ずべく、各自の経験に基いて意見を交換し、一致協同の態度を執つて、聊かなりとも、疲弊衰退の極に達せる我農村の前途に光明を與ふべく、農事相談會の如きものを開設してはとの儀有之、至極尤もなること、存じ候まゝ、貴兄にも發起者の一人として、御賛成を願ひたき次第に御座候。

具體的案につきては、何れ發起者の會合を圖りたる上にて協議仕るべく候へば、何卒御同意下され度、右書面を以て貴意を得候。拜具。

二 貯水池開鑿の相談

拜進。本日御相談相成り候貯水池開鑿の件については、實は小生に於ても本年は又と得難き機會と存じ、内心發起者となりて奔走すべく決心いたし居り候折柄なれば、御意見に對しては双手を擧げて御賛成申上げ候。就ては經費其他につき、多少腹案も有之候へば、一兩日申

に御邪魔いたし、篤と御協議の上、いよく實現の運びに取るかゝるべく候へば、何卒左様御承知下され度、拜具。

三 堤防修理につき相談

拜啓。豫て御相談申上げ候堤防修理の件、今以て一決の運びに至らず候處、目下農閑期につき、この際全村挙つて工事を起したく、貴意如何に御座候や、幸ひ御同意下され候はゞ、具體案を齎らし、改めて御邪魔の上、篤と御協議申上げたたく候間、何分の御返事下され度、右御相談申上げ候。叩首。

四 道路開通の相談

一筆啓上。御承知の通り我村は某方面に通ずる關門に當り、我地方に於て、最も樞要の地を占めるものに御座候。然るに南に某山の險を控ゑて交通を阻害し、ために文化の發達を害すること甚しく、寔に遺憾の次第に御座候。一朝にしてこの險を開鑿し、平坦なる道路を通ずるに至らんか、その利益は數々する迄も無之、若し我有志に於て、之を主唱するに於ては、以北の各部落も、利便を受くること多大に候へば、先を争ひて相應すべしと存せられ候。就てはこの際御同様に一致の行動の上に、開鑿の目的に運動を起し、地方開發の先鞭をつけん

ものと愚考いたし候ところ、貴意如何に御座候や。貴兄に於かれても、定めし御賛成の御事と存じ、右御相談申上候。拜具。

第二十節 送迎

一 遊學者を送る

肅啓。愈々御遊學と御決定、不日御出立の由、他日の青雲を期する者として此事あるは深く喜ぶべく、殊に郷關の秀才を以て稱せらる貴兄として、將來の御成功は何人も疑はざる處に候へども、帝都の地は學問の淵藪にして人材の雲集する所に候へば、益々奮勵努力あらんことを祈上げ候。添へし英字書は隨分手垢つき居り候へど、萬一にも御用に立ち候はゞ、御手許へ差上げ候間、何卒御受納下され度、尙ほ健康第一と心掛けられ吳々も御自愛下され度候。拜具。

二 入營者を送る

謹啓。この度いよく御入營に決し、不日御出立の由、御名譽のことゝ賀し奉り候。申上ぐる迄もなく國家の干城としての今後の御責任は輕からぬことに候へば、飽くまで軍規を嚴守し御品行を方正に他の模範たるを期せられたく祈上げ候。是より

三 轉任する人を送る

會ふは別れの始めと知れど、かけても思はんや、今俄に高崎先生と相別れんとは。先生本校に教鞭を執られしこと既に五年博學多識、殊に熱誠にして、我等學生を視ること子の如く、我等も亦先生を慕ふこと親の如し。今や先生と離るゝに臨んで、情緒纏綿として出る所を知らず、されど先生は文部省に入りて學政を司らんとす。先生の才更らに是より益々伸びん。先生のためにも國家のためにも、大に祝せざるべからず、嗚呼東京の地こゝより東に距ること二百里、白雲路遠く、再會期し難し、唯昇る朝日を見ては、遙かに先生を偲ばん。先生願はくば國家のために自愛せよ。生等茲にこの宴を開きて、聊か蕭陶の恩を謝し、兼て先生の前途を祝す。

四 官吏の赴任を迎ふ

我縣知事某氏赴任せらる。即ち本日その歡迎會を開き、余亦興る、喜悅に堪へざるなり。君は久しく本省に在りて敏腕の

聞え高く、今やこの地に任を受けらる。所謂左遷の嫌なきにあらずと雖も、地方の幸福は實に無限にして、君にして一度手を著けんか、百廢立どころに興り、治績大いに擧らん。唯地たる西海の一隅、朝夕心目を慰むるに足るもの無しと雖も、海風松月聊か君が襟懷を清くし、他日雄飛の志を遂ぶに餘り有らんか。村酒酌むに不可なるべきも、願くば余等有志の切なる歡迎の情に當はれんことを。

第廿一節 商 事

一 披露の手紙

謹啓。益々御清穆大慶に存じ奉り候。偕私事從來中屋洋家具店に勤務致し居り候處、今般店主並に御懇意様方の御勧めにより、何商店の名義を以て左記に何商を開業仕り候間、格別の思召を以て、何卒御引立下され度、右偏にお願ひ申上げ候頓首。

二 申込書

拜啓。益々御發展の段質し奉り候。偕弊店儀今般洋品部を新設仕り候に就ては、御地に於ける確實なる商店と、新規取引を開始致し度存じ居り候折柄、何某氏より貴店の事承仕り

拜啓。毎々格別の御用命を蒙り、店主始め店員一同感謝致し居り候。偕何地何商店宛御物延着につき御叱責を蒙り、御尤ものことと恐縮に堪へず候。然る處弊運送店に於ても同地取次店に對し、數回に亘りて嚴重なる請求を發し居り候次第にて決して放置せる譯には御座なく候間、何卒悪しからず御宥恕下され度候。

尙近々の内、何等かの回答有之るべしと存じ候につき、それ迄御待ち下され度、右御詫び旁々御願ひ申上げ候。頓首。

六 推薦状

拜啓。益々御清穆賀し奉り候。偕左記寫眞館は、今回業務を刷新擴張致しラチオライトの新装置により、特定不變の強力電光と、最高感度の精巧なるレンズとを以て撮影いたし候從つて從來室内撮影の最も缺點とする光度の強弱と、一定時間間の停止を要する撮影方式の不自然とを解決し、晝夜晴雨の別なく、如何なる活動體にても自由に、且つ敏速にレンズに收め寫眞藝術上に劃期的進展を遂げたる筈に有之候。

尙館主何氏は小生と深き縁故のある人物に御座候へば、精々御便利を圖り、優秀なる御寫眞を謹製仕るべく候間、何卒御利用下され度、右御推薦かたぐ御願ひ申上げ候。勿々。

候ま、別紙の通り希望條件を添へて貴意を得候。若し思召に叶ひ候はゞ、早速御取引相願度存じ候。尤も弊店の内情に就ては前記何某氏及び貴地何商店へ、御聞合せ下され度、右突然の儀ながら、宜しく御配慮の程を願ひ上げ候。敬白。

三 請求の手紙

去る何日附の手紙で、何品何程御注文申しましたが、該手紙御落手下さいましたでせうか。其後彼は一ヶ月餘も経過しましたに拘らず、今に何の御沙汰も御座いませぬので、當店では品切となり、非常に差支を來して居ります。或は既に御發送下さつたことかとも存じますが、一應御調べの上、まだ御出荷になつて居ませんやうでしたら、至急御送り下さいますやう、幾重にも御願ひ申上げます。

四 注文の手紙

急啓。去る何日附を以て御注文申上げ候何品、御案内の通り相場暴落の折柄、この上の買附は圖らざる損失を招くに至るべしと存じ候につき、誠に勝手ながら該注文は、一先づ御取消相成り度、右は只今電報を以て申上げ候へども、尙念の爲め委細申上げ候何卒悪しからず思召下され度候。頓首。

五 辯解状

七 依頼の手紙

謹啓。貴舖益々御隆盛賀し奉り候。就ては今般弊店に於て實用新案の登録を得候何品、案外好評を博し候につき、錦地へも賣廣め度存じ候ま、別便にて見本として何程並に値段表御送呈申上げ候間、何卒御試賣御盡力下され度、右御依頼申上げ候。勿々。

八 某品買込の手紙

拜啓。貴殿は早晩一家を保たんとするの御思召を有せらるゝ事と推察仕候に付、是非當店が如何に多種多様の某物品を所藏致し居候やを貴覽に供するの光榮を得度存じ候。當店製造の某品は御購入の際のみ美麗なるにあらざりて五年十年を経ても御購入の節に異らざる美麗を保持致し候、當店の營業方針は常に外觀に於て華美にして現代的なる良品を製造するのみに止らず、吾々祖先の時代より傳はるもの、如き堅牢なる物品を提供せんとするに之れあり候、若し貴殿にして當店の陳列室に御柱駕下され候はゞ、當店は親しく當店の提供する現品に就き、最も詳細に其堅牢なる所以と製造上の注意を説明仕るべく候。

價格は種類によりて様々に候へども、當店の巨大なる製造高は出来得るだけ原價を切詰め、以て顧客に對する御利益を増加せしめ居り候、別途封入の印刷物御一覽下され候は、他店より廉價なること一目瞭然に御座候。尙ほ特別の御希望等之れあり候は、御通報下され度、さすれば、當店には種々なる販賣法を有し居候故、必ず御希望を充すべき良法を發見し得る事と存じ候。市内行電車は當店前を通過致し居候故。御序の節是非御來觀下され度待上げ奉り候。敬白。

九 避暑案内の手紙

暑中御見舞申上げます。  
今年の御避暑には、是非とも當縣海へお出掛け遊ばしますやう、又お宿は弊館何々と御指定下さいませやう願ひ上げます。海岸へのお出入りも僅か半町あまり、遠淺の海水浴場設備も一層完全と相成りました。大島、初島、錦が浦等へのお舟遊び、釣舟、網舟のお支度も整うてをります。當地の海岸行事としては七月十五日の來宮祭の神輿渡御、鹿島踊、八月中旬の濱施俄鬼、燈籠流し、其他の催し物もござります。何卒弊館を御家庭の御延長とも思召し、お心置きなく、御氣樂に、一日も長く御逗留下さいませやう願ひ上げます。誠實を第一に萬事御手輕

に、餘計なお心遣ひをお掛け申さぬやう、勉強いたします。本年は新たに何々と名附けました別館を、當地第一の清流、川べりに建築いたしました。お別荘風に間取りましたから、御家族御同伴の御滞在には御都合がよろしうござります。何卒お誘ひ合されまして御光來下さいませやうお待ち申して居ります。御來館の際は、前以て御一報下さいませれば何かと好都合でございます。

第十九編 日本地理知識

第一章 總說

第一節 領域

位置 大日本帝國は亞細亞洲の東方に横はる日本列島と、亞細亞大陸の一部である朝鮮半島から成つて居る。日本列島は千島列島から北海道本島に延び、本州・四國の二大島を隆起せしめて九州の北部に至り、更に琉球列島を経て臺灣島に及んでゐるが、この延長は實に一千二百里にわたり、南亞米利加洲の智利と共に、世界の最長國である。  
この外に樺太島が北海道本島の北に連り、伊豆諸島・小笠原諸島・硫黃列島等が本州の東南に點在し、遙かに委任統治地である南洋のマリヤナ諸島と相對してゐる。  
朝鮮半島は亞細亞大陸の東部に突出すること百九十里にわたり、大陸と日本列島を連ねる橋となり、朝鮮海峡を隔て、

九州と相對し、對馬との間は海上僅かに十三里である。

經度または緯度から見た帝國の位置は、東に千島占守島の東端東經百五十六度三十二分より、西は澎湖島花嶼の西端東經百三十九度十八分に至り、南は臺灣七星岩の南端北緯二十一度四十五分より、北は千島阿頼度島の北端北緯五十度五十六分に及んでゐる。

境界 日本列島は間宮海峡・宗谷海峡・朝鮮海峡などによつて相通するオホーツク海・日本海・黄海・支那海などを圍み、千島海峡を隔て、露領カムチャツカ半島に接し、また臺灣海峡、バシー海峡の二海峡を越えて、南支那及び比律賓諸島に迫り、更に一方は東南太平洋を隔て、英領加奈陀及び亞米利加合衆國と相對してゐる。

朝鮮は鴨綠江・白頭山・豆滿江などによつて、滿洲及び露領沿海州に接し、樺太は北緯五十度の線によつて露領と界し委任統治地ミクロネシア諸島は、小笠原諸島の南方に點在してゐる。

領土の擴張 明治維新直後には我國の全面積は、二萬四千八百方里に過ぎなかつたが、日清日露の兩役を経て臺灣・樺太・南部及び朝鮮を併せ、支那より關東州を租借するに至つたが



更に日獨戦争の結果、ミクロネシア諸島を委任統治地域に加へ、今や總面積四萬四千方里を算してゐる。

區劃 本州・四國・九州・北海道は最も重要な地方で、新領土または植民地とも見るべき臺灣・樺太・朝鮮などに對してこれを内地と稱してゐる。昔は國內を畿内及び七道に大別しこれを六十餘國に分つたが、明治の初めには北海道を加へて一畿八道とし、八十五國となつた。現今は行政上内地を三府四十三縣一道とし、これに朝鮮・臺灣・樺太を加へ府縣に知事、北海道及び樺太に長官、臺灣と朝鮮には總督を置いて統治せしめ、關東州と南洋諸島とも各長官を任じてこれを治めてゐる。

### 第二節 地勢

地形 日本列島は亞細亞大陸の東邊における海底山脈が、水上に現はれて成つたもので、傾斜のゆるいところは海中に没し中腹以上のみによつて形成されたものと考へることが出来る。従つて海岸に平野がなく、海から直ちに山地に移つたところが少くない。古來北陸の蘆所として知られた親不知子不知とか、臺灣の東海岸とかは、その代表的なもので、斷崖絶壁をなしてゐる。國內も大體に平野が少く、至るところに山岳が起伏してゐる。信濃飛驒の間に連亘してゐる山脈などは深山幽谷に富み、東西十里南北二十里の間、殆ど人家を見ない所があり、臺灣山脈の如きも、人跡の絶えた峻峰が聳えわたつてゐる。

山脈 地形から見た日本は、本州の中央部を南北に走る富士火山脈を界として、北日本と南日本の二部に分れてゐる。北日本には西樺太山脈、北海道の野夷山脈、奥羽の北上山脈、阿武隈山脈、奥羽山脈などがあり、更に越後山脈、關東山脈が殆んどこれと並行し、これを北陸山系と稱してゐる。南日本に屬する南陸山系は内外の二列から成り、東北から西南に走つてゐる。外列は臺灣山脈から九州山脈、四國山脈、紀伊山脈を経て本州中部に入り、赤石山脈となり、内列は筑紫山脈、中國山脈、飛驒高原を経て飛驒山脈に終つてゐる。外列の山脈は一般に高峻であるが、内列は東端の飛驒山脈が高く、西に進むに従つて低くなり九州の丘陵地に終つてゐる。南北兩端山系の相會するところは、本州中最も幅が廣く約六十里あり、地勢もまた最も高峻で、中にも飛驒・赤石兩山脈中には、三千米以上の高山が連亘し、日本アルプス

と稱せられてゐる。

朝鮮半島は日本列島とは關係のない構造で、北部は一般に山地廣く、長白山脈及び妙高山脈が東西に走り、南部には大白山脈・小白山脈が東海岸に沿ふて南北に走つてゐる。

火山脈 富士火山脈は南北日本の分界を成し妙高・戸隠・八ヶ岳・箱根・伊豆諸島・小笠原諸島・硫黄列島などを起して、マリヤナ諸島に至つてゐる。千島火山脈は千島列島から北海道本島に入り雄阿寒岳・旭岳・石狩岳などの火山を噴出し那須火山脈は樺太から南下して渡島半島及び奥羽、關東地方を経て信濃の東境に至り、中にマツカリ岳・駒ヶ岳・八甲田山・岩手山・吾妻山・磐梯山・那須山・男體山・赤城山・榛名山・淺間山の火山を起してゐる。鳥海火山脈は那須火山脈の西に走り岩木山・鳥海山などの有名な火山がある。

南日本に入つては乗鞍火山脈が飛驒山脈上を通じて御岳・乗鞍岳・燒岳などを噴火せしめ、白山火山脈は白山に起つて山陰道を西に走り大山・三瓶山など、その餘勢は九州に及んでゐる。阿蘇火山脈は、九州の中央を東西に横斷して温泉岳阿蘇山・九重山・鶴見岳などの諸山を起し、霧島火山脈は霧島山より櫻島・開聞岳となり、尙ほ多くの火山となつて大屯

山脈に通じてゐる。

朝鮮には火山は少く、僅かに滿洲との界に白頭山があり、この外濟州島に漢羅山を見る位のものである。

温泉 火山に富む我國は従つて温泉にも富んでゐるが、その主なるものは單純泉——道後、淺間、湯本、鹽類泉——熱海、修善寺、鹽原、和倉、鏡泉——伊香保、磯部、硫黄泉——蘆ノ湯、湯ノ花澤、登別、酸性泉——草津、瀧、アルカリ泉——増富、ラヂウム泉——増富などである。

河川 山岳多く平野に乏しい我國には河川の大なるものなく、然かも多くは流れ早く、船楫漕漕に適してゐない。その主なるものを擧ぐれば次の如くである。

- 太平洋方面
- 幌内川、内淵川、常呂川。
  - 釧路川、十勝川、北上川、阿武隈川、那珂川、利根川、荒川、多摩川、相模川、富士川、大井川、天龍川、木曾川、宮川、熊野川、紀ノ川、吉野川、五箇瀬川、大淀川。
- 日本海方面
- 天鹽川、石狩川、米代川、雄勝川、最上川、阿賀川、信濃川、神通川、由良川、

瀬戸内海方面 江ノ川、岡門江、大和川、淀川、加古川、吉井川、旭川、川邊川、岩國川、山國川、洛東江、遠賀川、筑後川、白川、球磨川、川内川、鶴見川、大同江、漢江、錦江、淡水河、濁水溪、下淡水溪、湖沼 湖沼の主なるものを、利用の種類によつて挙げれば、凡そ次の如くなる。

風景に富むもの 養魚に適するもの 水電に利用せるもの 汽船を通ずるもの 平野 北日本と南日本に分つて、平野の主なるものを挙げれば次の如きものとなる。北日本に屬するもの 南日本に屬するもの

中禪寺湖、蘆ノ湖、十和田湖、琵琶湖、十和田湖、琵琶湖、中禪寺湖、支笏湖、洞爺湖、猪苗代湖、支笏湖、琵琶湖、霞ヶ浦、中海、宍道湖、關東平野、越後平野、北上平野、津輕平野、石狩平野、十勝平野、渡尾平野、富山平野、大阪平野、播磨

平野、築紫平野、熊本平野、臺灣平野。海峽 我國の中海岸線に最も富むところは朝鮮の西南海岸、九州の西北岸、瀬戸内海、東海道沿岸などで、屈曲出入の最も少いところは臺灣の全海岸、日本海沿岸、オホーツク海沿岸などである。また國防上重要な海峽としては臺灣海峽、朝鮮海峽、下ノ關海峽、巖手海峽、紀淡海峽、浦賀水道、津輕海峽などを挙げる事が出来る。

第三節 近 海

海深 我國の近海では日本海方面は浅く、太平洋方面は深い。千島東方の日本海溝の最深部タスカロ海溝は、水深八千五百十三米に達し、世界有数の深海である。また房總半島の東南にも、九千九百五十米以上の深海があることが最近發見された。琉球の東方に當る琉球海溝も七千四百八十一米に及んでゐる。其他の近海は二百米内外の浅海である。海流 我國の近海には寒流と暖流との海流があり、暖流は日本海流と對馬海流とに分れ、寒流は千島海流、樺太海流、リマーン海流とに分れてゐる。日本海流は別に黒潮と稱し、千島海流は親潮と稱されてゐる。

潮汐 潮汐干満の差の最大な所は黄海岸の仁川で、その差は三十三尺に達する。この外東支那海岸と島原灣は十八尺、太平洋岸は總て六七尺内外である。最小のところには佐渡の八寸、日本海沿岸元山の一尺などがある。潮汐の急速なところは潮流を生じ、朝鮮の碧波亭水道は最も顯著で、東洋第一と稱せられる。また古來有名な鳴門海峡は時速十一哩、下の關海峽は七哩、明石海峡は四哩半で何れも名高い。

第四節 氣候及び生物

氣温 我國の大部分は温帯にあり、氣候は海洋性で平均温度は攝氏の十三度であるが、朝鮮の北部は大陸的氣候である。各地とも概して寒暑の差少く、雨量も比較的多いが、大陸的氣候は寒暑の差も甚しく、雨量も乏しい。雨量 雨量は臺灣、琉球、九州南部、四國の南部、紀伊半島、東海道、山陰道、北陸道に多く、樺太、北海道東部、奥羽東部、本州中央山地、瀬戸内海沿岸、朝鮮の北部及び西部に少い。生物 植物の種類は非常に多く、本部には熱帯植物、中部には

第二章 人 文

第一節 産 業

農業 我國土の大部分は氣候、地味ともに農作に適し、國民の過半はこれに従事してゐる。耕地は關東地方より九州に至る間は殆ど開墾されてゐるが、他の地方には未開墾の原野も少なくない。地域の割合に人口が多いから、土地による收穫だけでは、需要を充すに足らない。耕地の面積は田畑とも各三百萬町歩で、全面積の僅に十六

パーセントに當つてゐる。  
 農産物の主要なるものは、米・麥・甘藷・大豆・馬鈴薯・甘藷などで、茶・烟草・麻・桑などがこれに次いでゐる。蠶業は我國の最も特色あり價値ある重要産業で、繭から製する生絲は輸出品として古來有名である。  
 牧畜 近年肉類・乳・皮革の需要が多くなるに従ひ、牧畜はやゝ盛んになつたが、草野に乏しく、氣候もまた濕潤に過ぎるため、比較的盛んではない。地方別に見て九州・奥羽・北海道には馬、朝鮮・九州・中國には牛、臺灣・朝鮮には豚の産が少くない。

林業 我國は森林に富み、全土の五割餘を有し、秋田・木曾・吉野などには杉、檜の良材を産する。臺灣には阿里山などの大森林があり、また朝鮮の鴨綠江沿岸及び樺太・北海道には寒帯林があつて、建築用材、鐵道枕木、バルブなどを供給してゐる。近年山地の開墾、木材需要の増加などに對し、植林がこれに伴はないため、木材は不足を告げ、年々輸入によつて補つてゐる。

水産業 寒、暖の二海流は各種の水産物を齎して、わが近海を流れ、種類と數量とにおいて世界有数の水産國となつてゐる。

る。暖流に沿ふ地方では鱒・鯉・鱈、寒流の流れるところでは鱈・鮭・鱈・明太魚などを多く漁獲し、瀬戸内海沿岸及び臺灣・朝鮮・關東州には製鹽業が發達してゐる。

鑛業 鑛産物の主要なるものは石炭・銅・鐵・石油・金・銀・鉛・燐礦などであるが、石炭は國內の需要を充す外、東洋諸港へ輸出してゐる。鐵と石油とはその産出が少なくて、年々海外から多額に輸入する。

工業 國民は古來手藝に長じ、また石炭、水力等の動力も豊かである上に、運輸も便利である關係上、工業國たるに適してゐる。従つて近年機械工業が著しく發達し、織物・生絲・綿絲・莫大小・眞田・花菱などは主要なる輸出品となつてゐる。其他工業品の重なるものには、砂糖・醸造品・肥料・和洋紙・麥粉・陶磁器・漆器などであり、また造船・製鐵・機械製造・製藥・其他の化學工業も最近異常な發達を遂げてゐるのである。

商業 産物の増加と交通機關の發達とに伴ひ、商業も年と共に發展し、内地商業は大阪・東京の兩市が二大中心をなし、名古屋もまた一中心の觀を呈してゐる。この外小樽・福島・廣島・福岡・大邱・京城・臺北なども、各一地方の中心となつてゐる。

てゐる。  
 外國貿易は近年大いに發達し、内地輸出入總額は約四十五億圓であるが、常に輸入超過である。重要輸出品は生絲・綿織物・絹織物などで、棉花・鐵・羊毛・木材・機械類が主なる輸入品となつてゐる。輸出國としては米國・支那・印度などで輸入國は米國・印度・支那・英國が主なるものである。開港場は全國を通じて六十餘あり、その中横濱と神戸とは輸出入全額の七割を占め、大阪・名古屋・門司がこれに次いでゐる。

### 第二節 交通

道路 内地の道路には國道・府縣道・市町村道の別があり、國道は東京市の日本橋を起點として、國內の要所に通じ、府縣道・市道・町村道はそれら地方の交通路となつてゐる。近時自動車の發達に伴つて道路の活用が盛んとなり、乗合自動車交通網の發達は目覚しく、昭和十一年末において、全國の自動車數は十五萬餘臺を算した。

鐵道 鐵道の總延長は我版圖内で約國有二萬七千杆に及び、滿洲には一千百餘杆の線路を有し、その大部分は國有である。

本州には東北・東海・山陽などの大幹線があり、北海道の函館線根室線、九州の鹿兒島線、朝鮮の京釜・京義線などに連絡し臺灣には別に縦貫線がある。是等の幹線からは無數の支線が分れ、殊に關東地方・近畿地方の中部・九州北部の炭田地方・臺灣の蔗園地方には鐵道網は極めて密である。この外短距離の交通には、輕便鐵道・電車軌道などが盛んに用ひられてゐる。

水運 我國には四千有餘隻、四百三十餘萬噸の汽船があり、日本郵船・大阪商船・日清汽船などの大會社は、國內の諸港間のみならず、諸外國に航路を開いてゐる。

航空 我國の航空事業は、歐米諸國に比してまだ幼稚で、軍用航空以外の一般的航空用途も不十分であつたが、最近官民協力して旅客・貨物・郵便物の定期航空輸送を行ふやうになり東京・大阪・福岡・京城・大連・奉天・新京間・及び立川・新瀉間・東京・臺灣間などその航空路は漸次延長され、公用飛行場二十有餘を設け、また箱根・龜山などには航空無線局を置き、航空燈臺も設けられるやうになつた。

通信 郵便・電信の發達は歐米諸國に比して遜色なく、海底電信線は國內はもとより、支那本部・滿洲・西比利亞にも通じ

米國の太平洋横断線にも接続してゐる。近年無線電信も頗る發達し、對米通信の東京無線電信局、對歐通信の名古屋無線電信局を始め、航海中の汽船、飛行中の航空機との通信及び、内地相互間の通信のため、各所にその設備が行はれてゐる。電話は全国各地に架設せられ、無線電話もまた次第に全國に普及するやうになり、東京・大阪・名古屋・廣島・仙臺・廣島・熊本・札幌などにはラヂオの中央放送局がある。

### 第三節 住民

種類 大和民族は我國民の大部分を占め、その中堅となつてゐる。朝鮮には朝鮮民族、臺灣には漢民族及び馬來種族・北海道にはアイヌ種族が住み樺太にはアイヌ・ギリヤーク・オロツコの諸種族、南洋群島にはカナカ・チャモロの二種族がある。大和民族、朝鮮民族及び漢民族を除いた他の種族はその數極めて少く、文化の程度も低い。大和民族は忠君愛國の念に富み、東西文明を融合して新文化を建設し、白人に對等する優秀な民族である。

人口 我國の人口總數は九千餘萬で、この中大和民族は約六千

餘萬である。一般に人口の密度は比較的大きく、一方行つて内地は百六十九人、植民地は八十人である。かく人口稠密なる上に毎年人口一千につき十四人四八の割合で増加するから、政府は北海道及び新領土への移住と海外移民とを奨励してゐる。在外邦人はその數七十餘萬に達し、滿洲國・布哇及び米國にゐるものが最も多い。また近年ブラジル移民が多くなつた。

### 第四節 文教

教育 教育制度はよく整ひ、その進歩も著しく、初等教育は如何なる山間僻地にも小學校を設け兒童の就學歩合は九九八一セントに及んでゐる。中等學校には内地到る所師範學校・中學校・高等女學校及び農工商などの實業學校がある。また帝國大學を始め、單科大學・高等學校、各種の高等專門學校があつて、高等普通教育または専門の學術・技藝を授け、軍人養成の機關としては、陸軍士官學校・海軍兵學校・海軍機關學校・飛行學校・陸軍大學校・海軍大學校が設けられてゐる。植民地には京城及び臺北帝國大學を始めとして、次第に増設されてゐる。圖書館・博物館なども處々に設けら

れ、新聞・雜誌・書籍の刊行と相俟つて知識の普及を助け、社會教育の實を擧げてゐる。

神社 大和民族は敬神の念強く、皇室の祖宗を始め、國家の功臣、民族の祖先を神社として祀る美風がある。伊勢神宮は我國の宗廟として上下の尊敬最も篤く、其他の神社には官幣社・別格官幣社・國幣社・府縣社・郷社・村社などの別があつて、各地に鎮座してゐる。

宗教 現今我國に行はれてゐる宗教は神道、佛教及び基督教などである。この中佛教は十餘派に別れ、寺院の總數は七萬餘に達し、國民の多數はこれを信じてゐる。神道は我國固有の民族宗教で十三派に分れ、基督教は内地の都市及び新領土に信者を有してゐる。

### 第五節 政治

政體及び政府 我國は開闢以來萬世一系の皇室を戴く君主國で國體の精華は世界にその比を見ない。

政治の機關は立法、行政、司法の三部に分れ、立法部である帝國議會は、貴族院と衆議院とより成り、主として歳出入の豫算と法律とを議定する。行政部は政府で、内閣の外に内

務・外務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農林・商工・逓信・鐵道・拓務・厚生等の十三省があり、所管の政務を分掌し、内閣總理大臣は各省大臣と共に内閣を組織し國政を議する。地方は三府・四十三縣に分つて知事を置き、別に北海道と樺太には長官を、朝鮮と臺灣には總督を置き、その部内の行政を掌らしめ、關東州・南洋群島にはそれ／＼長官を置いてゐる。

司法權は天皇の御名において裁判所が行ひ、内地及び樺太では東京に大審院を、各地七ヶ所に控訴院を分置し北海道に四ヶ所・樺太に一ヶ所・各府縣に一ヶ所の地方裁判所を設けてゐる。その下には全國二百有餘の區裁判所があり、植民地には特別の司法制度が設けられてゐる。

財政 我國の歳出入は最近各二十餘億圓に上つてゐる。歳入の主要なるものは租税、官業收入等で、主要歳出は軍事費を第一とし、國債費がこれに次いでゐる。

兵備 我國は國民皆兵主義で、男子にして満十七歳から満四十五歳までの者は兵役の義務を負ひ、これを常備・後備・補充・國民の四種に分つてゐる。陸軍には參謀本部があつて國防・用兵を掌り、内地を十四

師團區に分け、これに各一ヶ師團を配置し、皇居守護のためには別に東京に近衛師團を置いてある。また朝鮮には二ヶ師團を置き、臺灣・關東州には守備兵が駐屯してゐる。

海軍には海軍々令部があつて国防、用兵を掌り、全領域の海岸、海面を防備するために、これを三海軍區に分け、横須賀・吳・佐世保の軍港に鎮守府を置き、大湊・舞鶴・鎮海馬公・旅順、徳山などの要港には要港部を置いてある。

外交 我國の條約國は四十餘ヶ國あつて、世界の主要國を網羅してゐるが、その中英・米・獨・佛・伊・白・西・土耳其・ソヴィエツト・聯邦・ブラジル・滿洲國及び波蘭十二ヶ國とは大使を交換し、他は概ね公使を交換して國交を修め、別に通商上の要地には領事を派遣してゐる。

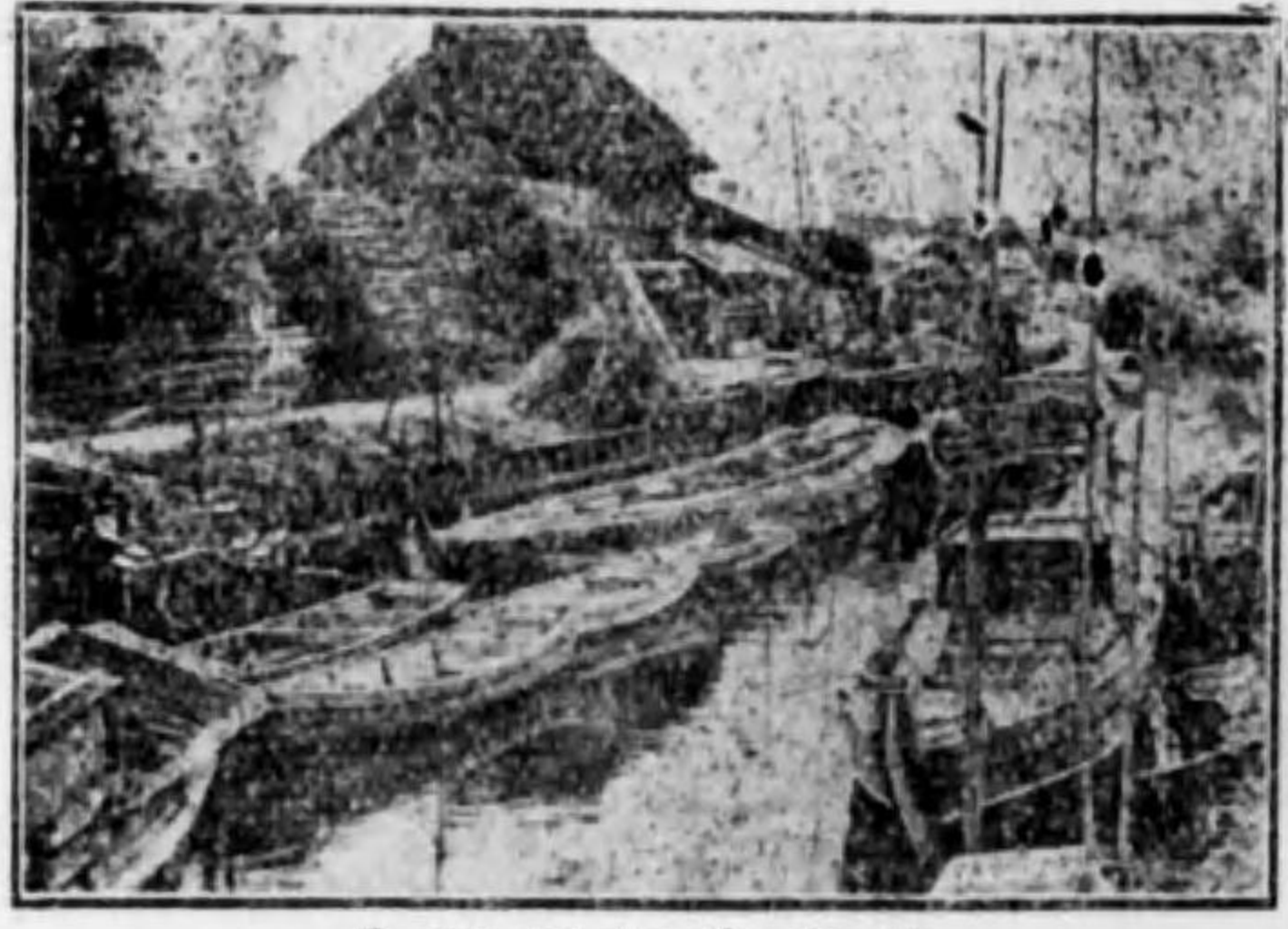
### 第三章 關東地方

關東地方は昔の關八州の地で本州の東南部に位置し、源頼朝が幕府を鎌倉に開いて以來樞要の地となり、現今では行政上東京府・神奈川・埼玉・群馬・栃木・茨城・千葉各縣の一府・六縣に分たれてゐる。

界となり、南部の房總・三浦の兩半島には丘陵が發達してゐる。東南部の大部分は一般に低平な關東平野であるが、割合に臺地が多い。河川はこの地形に従つて東南に流れ、中でも利根川は平野の中央を對角線狀に貫き、水流も比較的ゆるく東と南の二方面は太平洋に臨み、東岸には銚子半島を基根として弓狀の砂濱が發達し、南岸には房總・三浦の二半島が出て、東京・相模の二灣が灣入してゐるが、相模灣は大正十二年の關東大地震に海底は數百米の昇降をなし、また海岸も多く隆起した。

氣候 本州においては太平洋斜面を表日本、日本海斜面を裏日本と稱するが、この地方は表日本における氣候の良好な地帯の東端に位置し、湘南地方・房總半島の南部は極めて溫暖で避寒に適するが、北境山地は、冬季裏日本の深雪地と境をなして頗る寒冷である。

産業 關東平野は地域廣く、地味肥え、運輸の便も完備する上に、京濱の大消費地を持つてゐる關係上農業が頗る發達してゐる。即ち低地は米作が盛んに行はれ茨城・千葉の二縣は産額最も多く、臺地は麥類を多く産し、茨城・埼玉・千葉・群馬の諸縣がその主要産地となつてゐる。この外茨城・埼玉



舟取採苔海藻淺

千葉には大豆を多く産し、那珂川・久慈川の流域及び神奈川縣の一部には葉煙草を栽培し、太田・茂木・秦野がその中心となつてゐる。甘藷は千葉・埼玉に多く、落花生は千葉・神奈川より産し、大都市近郊にはまた蔬菜の産が多い。西北部には養蠶が盛んに行はれ、前橋・高崎・熊谷などは繭の産地として有名な市場である。

近海は水産物に富むのみならず、京濱の大消費地を控えて漁業が發達し、鰯・鮭等の遠海漁業は南方の二半島を根據地とし、鰯の濱漁業は九十九里濱が盛んである。東京灣の淺瀬

の工業燃料となつてゐる。また建築石材も各所より産出する。京濱地方は我國における重要な工業地帯で、紡績・製糖・造船・造機・製紙・印刷・製粉・製菓・製油・肥料製造などの大工場が多く、山麓の養蠶地では製絲・絹織業が盛んに行はれ、山麓及び中央の平野からは綿織物・絹織物を産し、千葉縣は醬油・清酒の産地として古來有名である。



明治神宮(上) 靖國神社(下)



みる。我國の最も重要な東海道線と東北線とは、連絡して本州幹線の一部をなし、中央・常磐・總武の省線及び私設電氣軌道も多く東京に起り、全國有数の交通網をなしてゐる。航路は横濱を中心として内外の諸港に通じ、東京もまた近海航路の中心となつてゐる。其他利根川・霞ヶ浦・江戸川・隅田川及び是等を通ずる運河には盛んに小汽船が往來してゐる。人口 平野が廣く、産業も交通もよく發達してゐるから、人口の密度は我國最大で、一萬を有する都會は約七十を算する。山地地帯には各地方中心の都市があるが、關東平野の大部分は京濱の勢力下であり、また養蠶地帯は農耕地帯よりも人口は稠密である。



香 觀 草 淺

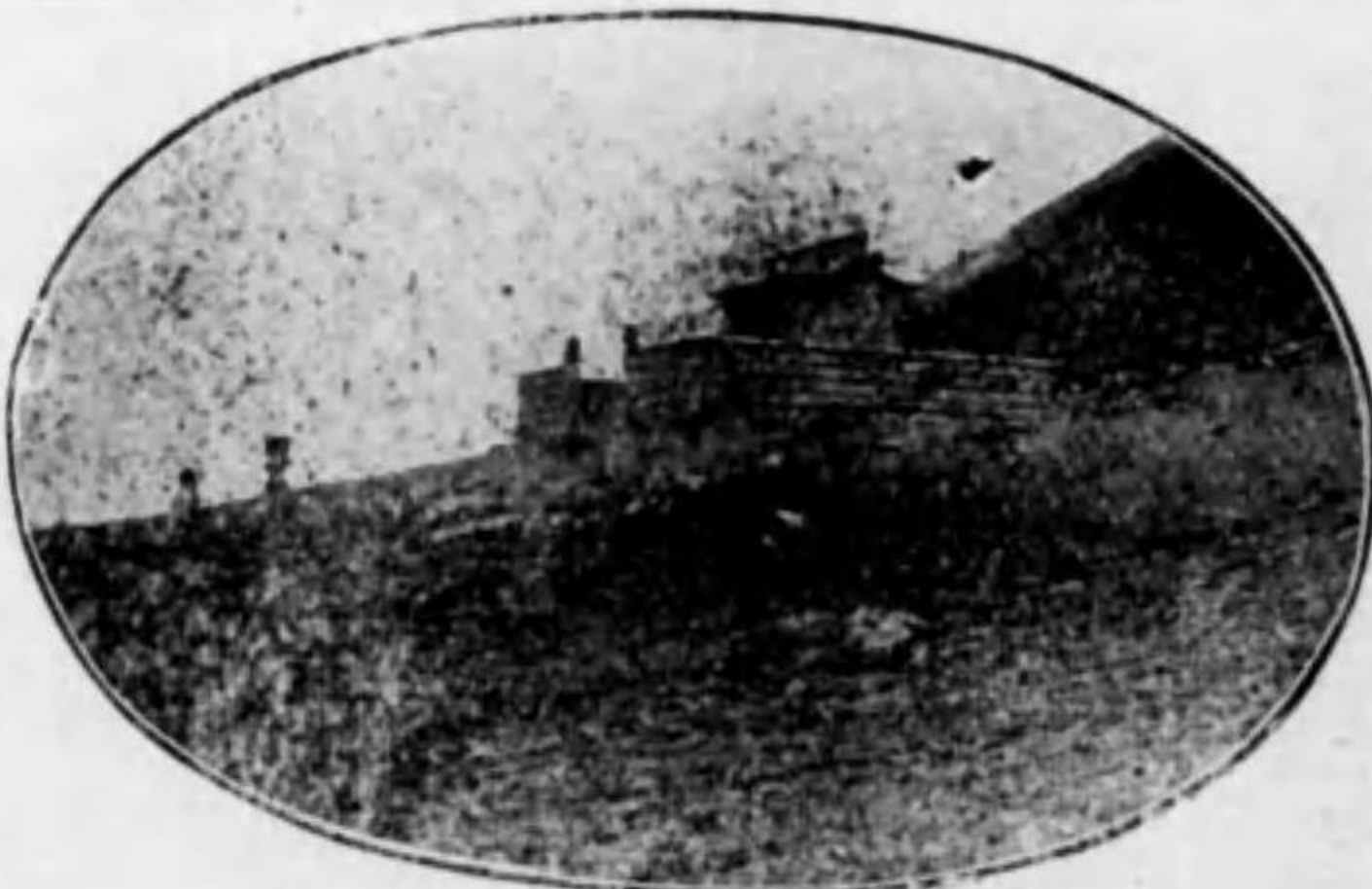
の大部分は京濱の勢力下であり、また養蠶地帯は農耕地帯よりも人口は稠密である。

### 第一節 東京府

帝國の首府東京府は東京灣に臨み、最近隣接町村を併せ、人口六百萬餘を有する世界屈指の大都市となり、政治、軍事、學藝、商工業、交通上の中心となり、且我國文化の源泉地である。市の東南部を俗に下町といつて、日本橋・京橋などの商業區と、江東の工業區とを形成し、土地高燥な西部の山ノ手方面は、住宅地として發達し、丸の内附近は高層ビルディングにより垂直的發達の傾向を示し、諸官署が楯比してゐる。

宮城は市の殆んど中央に位置し、附近に内閣・諸官廳・國會議事堂・日本銀行・諸會社など政治、經濟の中央機關が建ち並んでゐる。東京帝國大學を始め、各種學校・博物館・圖書館なども多く、我國學術の中心をなし、參謀本部、海軍軍令部、近衛、第一師團司令部などを始め、軍軍上の各樞要機關も備つてゐる。市内にはまた明治神宮・靖國神社・淺草寺などの名所、諸公園が多い。市はまた全國交通の心臓で、東京驛は東海道方面へ、上野驛は東北方面へ、新宿驛は中央線方面への門戸をなし、秋葉原驛は東北方面への主要貨物驛

汐留驛は東海道方面への貨物専用驛となつてゐる。中央線に沿ふ八王子市は人口六萬を有し絹織物の産地で附近の淺川には多摩御陵がある。



社 神 原 三 山 原 三

かれ、太平洋横斷海底電信の中繼所も設けられてゐる。東京市内 宮城、東宮御所、青山御所を始め、奉り、帝都には明治神宮、明治神宮外苑(聖徳記念繪畫館)競技場、球場、相撲場、プール、靖國神社、乃木神社、日枝神社、神

伊豆諸島・小笠原諸島・硫黄諸島を總稱して豆南諸島といひ東京府に屬してゐる。伊豆諸島には漁利多く樺油を産し、東京との間に日々汽船の往復がある。小笠原諸島は氣温高く、甘蔗・バナナ等熱帯性植物の栽培が行はれ、また父島の二見港は太平洋上の要點として、要塞司令部が置

る。伊豆諸島には漁利多く樺油を産し、東京との間に日々汽船の往復がある。小笠原諸島は氣温高く、甘蔗・バナナ等熱帯性植物の栽培が行はれ、また父島の二見港は太平洋上の要點として、要塞司令部が置



多摩御陵 宮城(舊江戸城)



田明神・水天宮・鶴戸天神・富岡八幡宮・鷲神社・増上寺・泉岳寺・寛永寺・淺草寺・池上本門寺・回向院・目黒不動・深川不動・東京驛・上野驛・新宿驛・帝國議事堂・帝國大學・日本銀行・國技館・丸ノ内ビル街・ニコライ堂・震災記念堂 中央卸賣市場・日比谷公園・芝公園 上野公園・隅田公園・淺草公園・小石川植物園・隅田川十二大橋・品川驛場・日本橋など枚擧に遑なく銀座・新宿・淺草・神田もまた大東京のシンボルである。多摩御陵 畏くも大正天皇の神鎮まります神域で、南多摩郡横山村地内に地を相し御造營、崇

殿様まじりなく、御陵近く淺川の清流帯の如く、山裾を縫うて多摩川に注いでゐる。



武蔵野「富士の高嶺を軒端にぞ見る」の武蔵野の景観は、府下三多摩の山野に満ち、伸び（高輪泉岳寺）



（青山御所）

行く大東京の觸手も、この大自然を破壊するまでに至つてゐない。中央線、東武線、西武線の沿線至るところ武蔵野特有の潤葉樹林を見る。

高尾山 山上の薬王院は聖武天皇の勅願寺、行基菩薩彫刻の薬師如来を本尊として開基、法燈一千二百年、關八州は勿論東日本に百萬餘の信者を有し、眞言宗關東三大本山の一である。

小佛關趾 内務省史蹟記念物として保護されてゐる

小佛關趾は、淺川町から中央線に沿うて登る舊甲州街道で、昔大名の参觀交代道中の姿そのまゝを今に傳へてゐる。

櫻の小金井 東京府下北多摩郡小金井村の中心に、玉川上水の兩岸二里にわたり、樹齡二百餘年を経たる櫻の老樹枝を交し、とりくの花の風情、省線武蔵小金井驛が最も近い。

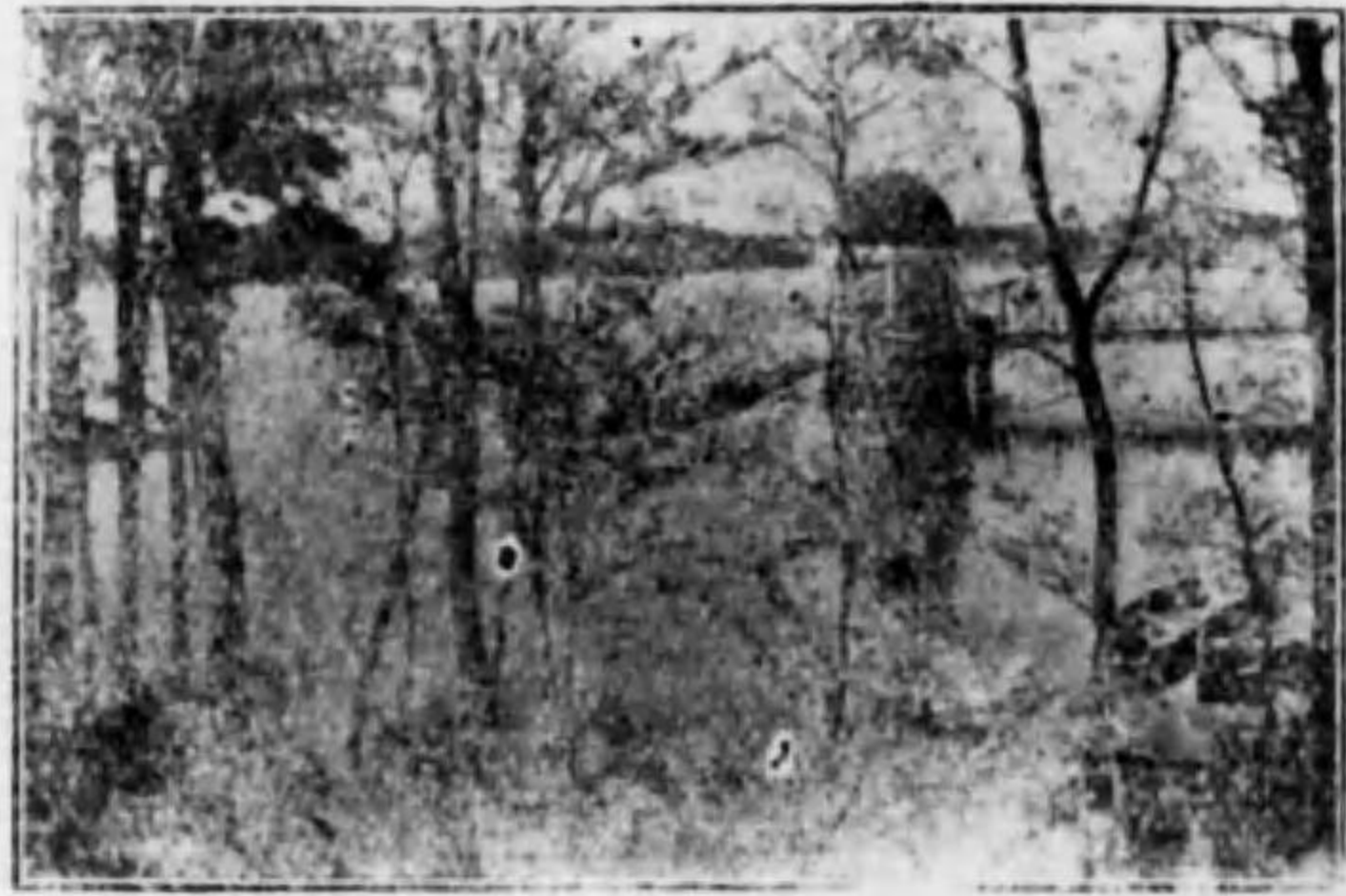


堂念記災震

奥多摩溪谷 東京市民の水の生命線、水道水源地の多摩川、東京府西多摩郡西多摩村・狛村取入口の堰堤上流を總稱して奥多

摩溪谷と稱へ、東京府の最西端西多摩郡小河内村と山梨縣丹波山村・小菅村の一部を湖底に、帝都水の護りの奥多摩貯水池の築造計畫があり、數年後には世界第三位の堰堤が築かれる豫定である。秀峰御嶽

山を中心に總面積九十三萬餘坪の景園地、御嶽山森林公園の計畫も工事中である。



地水貯山村

尚ほ府下には府中の東京競馬場、三鷹村の東大天文臺、恩賜井之頭公園、東郷元帥墓所の東京市多摩公園墓地、砧村のP・C・L、調布町日活映畫撮影所、鶴の温泉などが

第二節 神奈川縣

横濱市は神戸と共に我國最大の貿易港で、人口七十餘萬を

有し、日本東半の關門をなし、北米其他へ後背各地の生絲・絹織物などを盛んに輸出してゐる。北方に隣接する川崎市は人口十五萬餘を有し縣下の工都として急激な發展を

（芦の湖）



（横濱海岸通）

遂げ、綿絲・電球などの産が多い。平塚市はやがて人口四萬に達せんとする都會である。横浜賀賀市は人口十八萬餘を有し、第一海軍區の軍港で、鎮守府及び海軍工廠を設け、太平



洋方面の重鎮となつてゐる。三浦半島の西岸より相模灣一帯の地は湘南地方と稱し、氣候溫和にして京濱に接近し、交通も至便なるため遊覽、保養の地として名高く、葉山・逗子

鎌倉大佛

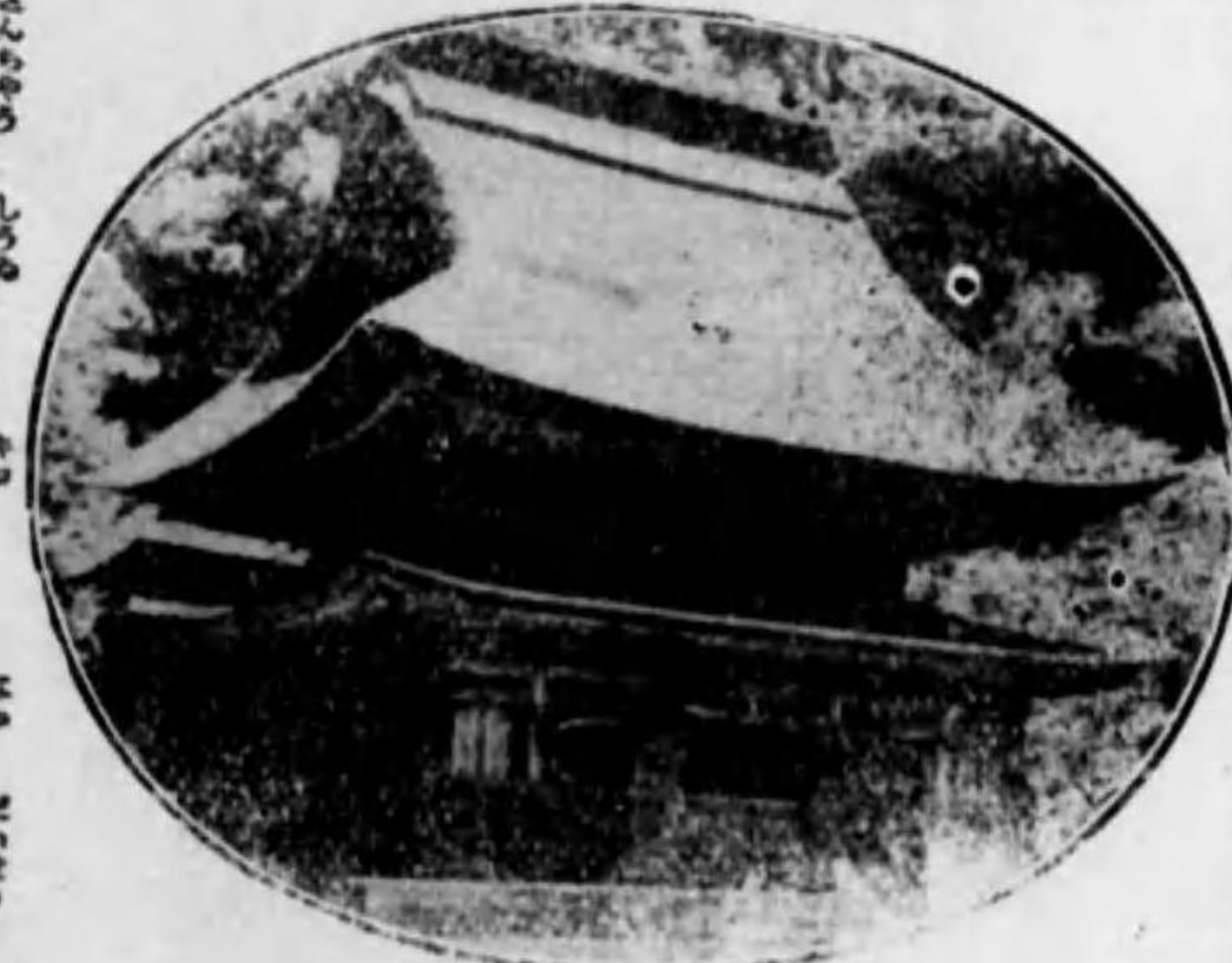


舊關所趾(元箱根)

鎌倉・大磯・小田原などの都邑を發達せしめてゐるが、中でも鎌倉は、史蹟に富み、鎌倉八幡・長谷の觀音其他杖を曳くべきところが多い。箱根は趣味の深い風景のよい火山で、

國立公園に選定せられ、温泉・湖水なども少からず、有名な休養・遊覽地として外人のこゝに遊ぶものが多い。

箱根 國立公園箱根は明鏡湖の湖と神山駒ヶ岳・双子山・早雲山などの中央火口丘を中心とし鞍掛山・箱根峠・山伏山・湖尻峠・長尾峠・乙女峠・金時山・明神ヶ岳・明星ヶ岳・白銀山を連ねた圓形の外輪山を火口壁とする複式火山で、駿豆、相の三國に跨り、東西十六軒、南北二十軒、外輪山頂の周圍八十軒、この中に大小の山岳が重疊して湯本温泉宮城野・仙石原・箱根・元箱根・芦之湯の二町五ヶ村と十二ヶ所の温泉村が散在し、春は萬葉の櫻や新緑美しく、夏は白百合が咲いて三十度を超えず、秋は



圓覺寺

目もあやな紅葉に全山が包まれ、冬の澄天には白雪の雲峰富士が冴え、湯治によく、避暑によく、ハイキングによい絶好の樂天地である。

源頼朝が幕府を開いた申都で、古社寺名蹟枚舉に遑なく、遊樂地、別荘地として名高く、夏の由比ヶ濱は東京近郊第一の海水浴場として人口に膾炙し、江の島はまた天下の絶景である。

横濱港・川崎大師・鶴見總持寺・根岸競馬場・山下公園・金澤文庫及び八景・鶴岡八幡宮・建長寺・圓覺寺・長谷大佛・長谷觀音なども見のがせない。

第三節 埼玉縣

東北線に沿ふ川口市は人口五萬餘を有し東北本線に沿ひ、礦物 麥酒などの産がある。浦和は縣廳の所在地で人口四萬餘を有し、地方の大宮には鐵道工場があり、川越市は人口三萬餘を有し、養蠶機業の中心地として名高く附近から甘藷を産出する。所澤には陸軍飛行學校氣球隊があり、帝都に近い飛行場の好適地として最初に選ばれた所である。廣大な野原の中に作られた格納庫及び、それに附随した建物、官舎など

が著はれてゐる。能谷市は人口四萬近くを有し、この地方における蠶業の中心で、繭・生絲織物の集散地として名高い。秩父は盆地の中心で、秩父絹の産多く附近の長壽は最も古い岩石から成る峽谷の美を以て著はれてゐる。

氷川神社 官幣大社で神苑廣く四季の眺望もよい。附近に螢の名所見沼川があり、東北本線大宮驛より東十五丁で達する。

秩父長瀨 内務省指定の名勝天然記念物、天下の奇勝として世上すでに名高く、巨巖重疊、左右相接し秩父連峰の裾深く、荒川清流に沿



山義妙

うて奇岩蟠居の光景は勝れてゐる。吉見の百穴 武州松山城址の丘腹に二百數十の横穴露出し、宛然蜂の巢の如き奇觀を呈し、上古の横穴として考古學者好個



の研究資料となり、内務省指定史蹟天然記念物である。

**飯能天覽山** 舊名は羅漢山であるが、明治の初め畏くも天皇この地に三軍を閲し給ふてより天覽山と稱す。山頂眺望絶佳にして、遠く富士の雲峰、筑波の翠嶺を一時の間に收まる。

所澤飛行學校 帝國空軍の發祥地で世界的に認められ、今は陸軍士官學校分校として依然飛行士を養成し、熊谷三尻陸軍飛行學校とともに、大空を護る勇士の重要な訓練場である。

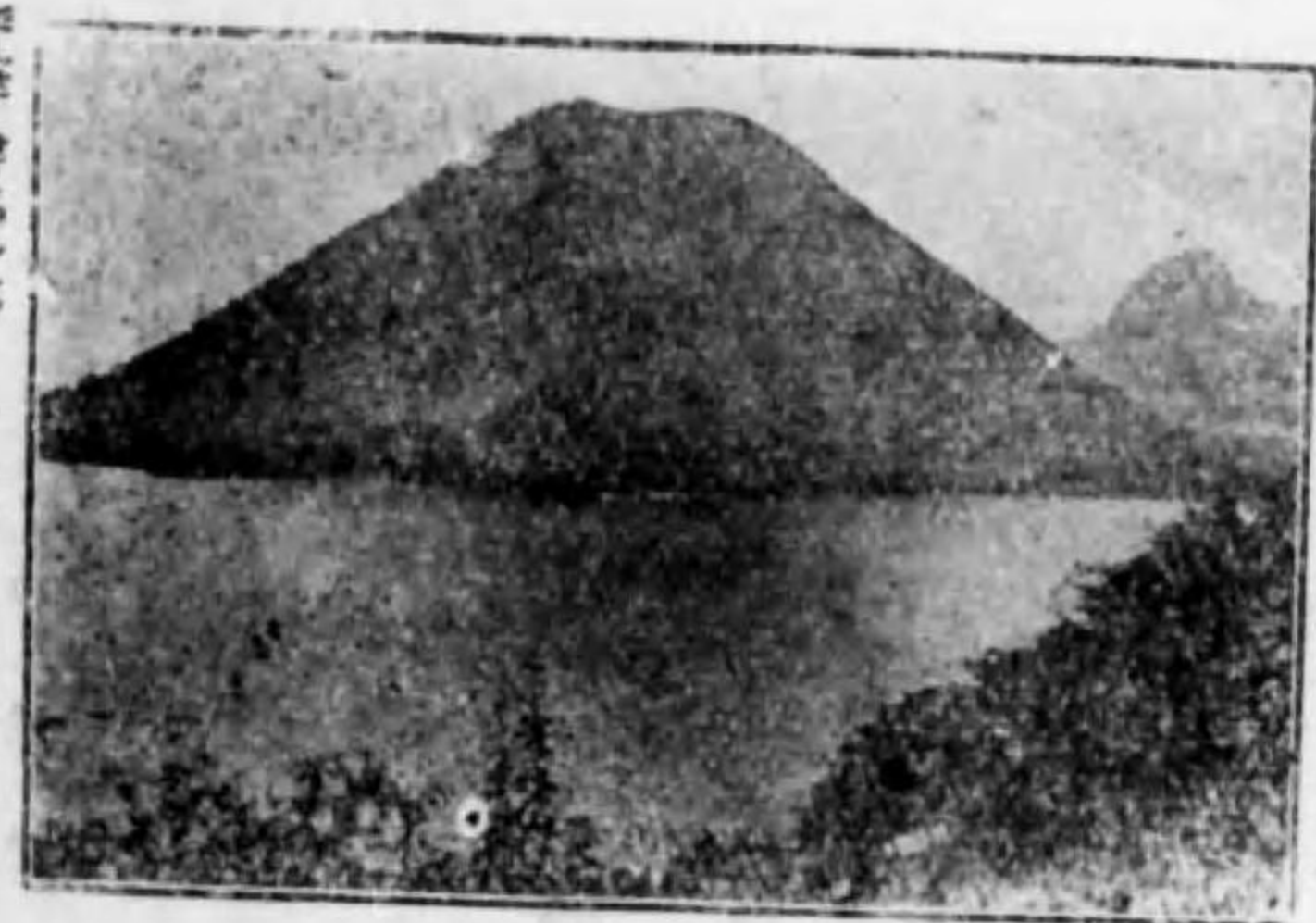
**川口新大橋** 東洋第一の鑄物工業地川口市と帝都を繋ぐ近代的大橋で、脚下にゴルフ場、野球場、水泳場、貸ボートの設備あり、四季を通じ都人士快適の行樂地となつてゐる。

**大宮公園** 廣さ八萬餘坪、野球場、プール、陸上競技場、テニスコートなどあり、縣下隨一の綜合運動場である。

**熊谷櫻堤** 陽春櫻花爛漫として、長堤數里行遊の人士絡繹として溢れる。直實の舊蹟熊谷寺は目睫の間にあり、内務省の指定名勝地である。

**三峰神社** 秩父鐵道三峰口驛より十軒地盤三峰山腹にある縣社で境内廣く、巨木の築つた間に宏壯な社殿が隱見する。

この外縣下の名勝としては國寶多寶塔、秩父連峰、牛島の藤田島ヶ原、縮乃原の櫻草、大宮見沼川の源氏蟹、などがある。



湖名榛

前橋市は人口約九萬ありて、生絲の市場として、伊勢崎と桐生市は人口各七萬餘を有し、絹織物の産地として共に名高い。高崎市は人口六萬あり、交通上の要地に當り、こゝより西に向ふ信越線は、碓氷峠を越えて、長野縣に入つてゐる。碓氷峠は線路の勾配が急であり、特に齒止めのレールを敷き、所謂アプト式の隧道となつてゐるが、隧道の數も二十六ヶ所あり、煤煙を避けるため、赤城・榛名・妙義の三山は四時の眺望よく、また伊香保・草津などは温泉を以て名高い。

### 第四節 群馬縣

**上毛三山** 赤城・榛名・妙義の三山は古來上毛三山として名あり、赤城山は昭和十年二月縣立公園となつた。榛名は榛名湖畔にゴルフリンクの設けあり、縣はこの三山連絡道路の準備を進めてゐる。

**温泉** 縣下の温泉はその數二百餘ヶ所あり。伊香保・草津、四萬を初め奥利根地方には水上、法師などがある。

**關東耶馬溪** 吾妻郡下には九州耶馬溪を凌ぐ關東耶馬溪が世に認められ初めた。

この外名勝としては東國敬神道場・利根川・文福茶釜・呑龍標などがある。

### 第五節 栃木縣

宇都宮市は人口約九萬を有し、製粉の中心地として知られ鹿沼は製麻の集散地である。日光は國立公園の一で壯麗なる東照宮と、山水の秀麗と相俟ち、古來遊地として名高い。足尾は銅山を以て榮え、足利市は人口五萬を有し絹織交織の産が多い。また北部は鹽原・那須などの温泉地として著名である。尙ほ織物で有名な栃木市は人口四萬餘を有する縣下有數な都會である。



日光陽明門



中禪寺湖

**日光** 國際觀光客の憧憬する日光は日光國立公園の玄関で、自然の秀麗と豪華な殿堂の精華を集め、新緑によく紅葉によく山岳・湖沼・温泉・火口・溪流・瀑布など凡てこれ日光のもつ魅力である。東照宮は徳川家康を祭神とし、社殿はいはゆる権現造の模範的なもので、朱塗の極彩色美はしく、また畏くも明治大帝から「幸の湖」の名を下し給へる中禪寺湖



華嚴瀧

は男體山麓を海拔千二百米の地帯にあり、南北三十里、東西二里

の洋々たる大湖水で、詩趣に富み、舟遊びにもよく、湖水から落下する華嚴瀧の大壯觀をはじめ戰場ヶ原に至れば、一面一里ばかりの沼澤地で、高山植物採集の寶庫であるこゝから大湯瀧を眺めて湯本温泉を越えれば、奥日光の登山家やハイカーの好適なコースとなる。



那須温泉

足利公園 足利市の西部にある小丘で、彌生公園の名がある。東に關東平野の安遠、西に赤城・澤間の山々、南に渡良瀬の清流、富士の雄姿を眺望することが出来る。其他足利錢阿寺、日光杉並木、仲宮祠湖、那須岳、足利學校なども縣下の誇りである。

第六節 茨城縣

水戸市は人口約六萬餘を有し、維新前徳川氏が親藩を置いたところで、市内に名高い常磐公園がある。その北方の太田からは燗草・大理石などを産出し、結城・下館などは織物の産地である。南部の土浦は霞ヶ浦の湖港として發達し、その附近には海軍の飛行場が設けられてゐる。北浦の附近に鹿島神宮があり、東海岸の大洗崎は、太平洋に面して風光壯大である。

水戸 市内には水戸城址・弘道館公園・信樂園・別格目常磐神社・彰考館・谷中桂岸寺・藤田東湖の墓などがある。大洗海岸 磯節で知られた大洗海岸は水戸市から三里、國幣神社大洗神社の翠緑を水に映し、奇岩亂立するところに怒濤の激する光景は壯觀である。

潮來 霞ヶ浦のつぎる所、大利根に入る洲にある潮來は、昔東北の諸大名が參觀交代などに荷船をとめて、また水戸地方よりの水運の便があつたため賑ひ、「潮來出島の眞菰の中にあやめさくとはしほらしや」の歌通り、遊覧軒をならべて繁榮し、今は廢娼されたが、最近水郷の景色を慕ふ都人士で賑つてゐる。



神宮橋

土浦 常磐線土浦は霞ヶ浦の舟便と、霞ヶ浦海軍航空隊などによつて一躍新興都市へと猛進をつづけ、水邊を彩る祇園通りの美しい街並、櫻川二里にわたる櫻は、花時の壯觀に人心を奪ふ。水郷 佐原町から水郷大橋を渡つての水郷一帯は、行樂の地と

して最近頓に開かれ、霞ヶ浦湖畔の名邑潮來、牛堀、麻生などには續々都人士が入込み、よく連峰加波、足尾への登山客もある。筑波山 關東平野の眞中に屹立する秀峰で、海拔二千九百餘尺山頂の眺望雄大にして、八州の山河悉く双眸に入り、なほ山頂の東峰を女體山・西峰を男體山を呼ぶ。霞ヶ浦 周囲三十四里、日本第二の大湖で、霞ヶ浦・北浦から成り水郷情趣は汲めども盡きない。

第七節 千葉縣

千葉市は總武線に沿ひ東京市に接近した都市で、人口約六萬を有し、附近には國府臺・習志野などの軍用地が多く、また市川市は人口四萬餘を有し近來著しく發展しつつある。房總半島の海岸には木更津・北條・館山・千倉・勝浦などの保養地、漁港が多い。利根・江戸兩川の沿岸には釀造地多く野田・銚子の醬油、流山の味噌は古來有名である。銚子は人口五萬近くを有し太平洋中に突出して漁港に適し、鯉節を産し、成田は不動堂で名高く、佐原の東には香取神宮がある。本縣は一般に家禽の飼養が盛んで、南部地方はまた乳牛を飼

ひ、酪業が盛んに行はれる。最近市に編入された船橋市は人口四萬餘を有する都會である。  
木更津 演劇「切られ與三郎」で知られた土地で、海は遠浅で貝拾ひ、舟遊び、海水浴に適し、童謡狸囃しで有名な證據寺の狸塚も驛から近い。



犬吠崎

犬吠崎に降りて松原を抜け一二町行けば、ころに有名な犬吠崎がある。

鹿野山 房總第二の高山で海拔千二百尺、聖徳太子御草創の神

銚子 この附近の海岸は勝地多くその風光巡覽を銚子磯巡りといふ。

飯沼觀音 銚子一の大伽藍で、川口明神・大利根の河口

何れもよく、銚子無線電信局は目戸ヶ鼻臺上にある君が濱のつきると

野寺を中心として名所舊蹟が多い。

鋸山 房總の名山で奇岩怪石が露出し、上は分れて數峰となり峰の背が鋸の齒を並べた如くなつてゐる。山腹に行基草創の日本寺をはじめ公園・瀑布・五百羅漢などあり、また十餘丈の大佛像が崖下に彫んである。

那古觀音 那古山を背に中腹に南面し、阪東三十三觀音の一で堂宇は莊麗である。

清澄山 海拔千三百尺鹿野山、鋸山と共に房總の名山で、山頂の清澄寺を中心到大公園となつてゐる。

誕生寺 日蓮上人誕生の靈地で小滿山の麓にあり、附近の鯛の浦は日蓮が殺生を禁じたところと傳へられる。

三里塚 櫻の名所で、御料牧場の場内の櫻樹はその數五萬本と稱せられてゐる。

九十九里 片貝海水浴場を中心とする一帯の砂濱で、白魚と鱒の漁獲が多い。

水郷巡り 利根川の下流附近と霞ヶ浦の一部を含む一帯は風光に富み、また香取・鹿島の兩神宮、鳥栖神社などの名勝古蹟が散在し巡遊者が多い。その巡路は佐原・十六島・潮來を中心し香取・鹿島・鳥栖の三社、小見川・笹川で佐原が出

發點となつてゐる。

この外中山の競馬場、笠森觀音、神野寺、成田山、おせんころがし、伊能忠敬の地圖に關する舊蹟、佐倉宗五郎の遺蹟なども見落すことは出来ない。

### 第四章 奥羽地方

奥羽地方は本州の東北部を占め、一に東北地方とも稱し、古の陸奥・出羽の地で、現今は行政上福島・宮城・岩手・青森・秋田・山形の六縣に分れてゐる。

地形 奥羽・北上・阿武隈三條の山脈が南北に走り、その間に狹長な平野や盆地を形成してゐる。奥羽山脈はこの地方の中央部を縦貫し、太平洋と日本海の分水嶺をなし、北上川・阿武隈川などは東側に縦谷を作り、米代・最上などの諸川は西側に横谷をなして平野・盆地を潤してゐる。

北部には下北・津輕の二半島が斗出して陸奥灣を抱き、太平洋岸の北半には鋸齒状の小出入多く、牡鹿半島は西方に仙臺灣を抱してゐる。日本海沿岸は海岸線乏しく、男鹿半島を除いては概ね平直である。

氣候 地域が北に長く延びてゐる關係上、緯度による氣温の

變化があり、北に至るに従つて温度は低くなり、東海岸より西海岸は親潮と對馬海流との影響を受けて比較的溫暖である。西海岸方面は多季積雪多く、風波高くして、水陸共に交通を妨げられることが多い。

産業 人口の少き上に氣候の關係上、未だ多くの未開墾地を餘し、農業は將來有望視されてゐる。庄内・秋田・仙臺の諸平野よりは米を産し、北部は大豆・馬鈴薯などが風土に適して多く、津輕地方を中心として寒冷な氣候に適する苹果が栽培されてゐる。桑は寒冷な氣候に適せぬため南部に限つて栽培せられ、阿武隈・最上の谷間に養蠶業が盛んに行はれてゐる。福島縣の煙草、山形縣の櫻桃なども名高い。原野に乏しく雨量も少いため、古來牧畜業が發達し、七月・三本木・岩手山麓・鍛冶屋澤・三春などよりは馬を産し、南部馬・三春馬の名は高い。是等の馬は盛岡や白河などの大市において取引されてゐる。

林業は秋田・青森の二縣に發達し、秋田縣の杉と津輕半島の羅漢柏は特に著はれ、能代・秋田・大館・青森で製材せられてゐる。

水産業は東海岸に稍や發達し、鮎・鱈を主として漁獲

し、金華山沖では昔より捕鯨が行はれる。  
 鐵山は秋田縣に最も多く、小坂・尾去澤・荒川・阿仁などからは銅、金を、豊川・黒川からは石油を産出する。釜石の鐵山、福島縣の石炭なども世に知られてゐる。  
 工業は十分なる發達を遂げてゐないが、福島・山形の二縣からは製絲や絹織物を多く産し、商業は東京の商圏内にあるが、羽越線の全通して以來大阪の商圏も次第に北進してゐる。海港は北海道・樺太との取引あり、青森・船川などの開港場がある。

**交通** 鐵道は東北・奥羽・常磐・羽越の四線が南北に走り、磐越・陸羽・横黒の三線が東西に横断してゐるから、交通は便利である。海運は寄港地が少い上に、冬季は風浪のため盛んでないが、青森は北海道に連絡する要地として航路は賑つてゐる。  
**人口** 地形・氣候・交通などの關係により、産業が振はないから、人口の密度は本州中最も稀薄である。聚落は河谷平野・盆地・海岸平野に發達し、各平野には一二の中心都市を有してゐる。

### 第一節 福島縣

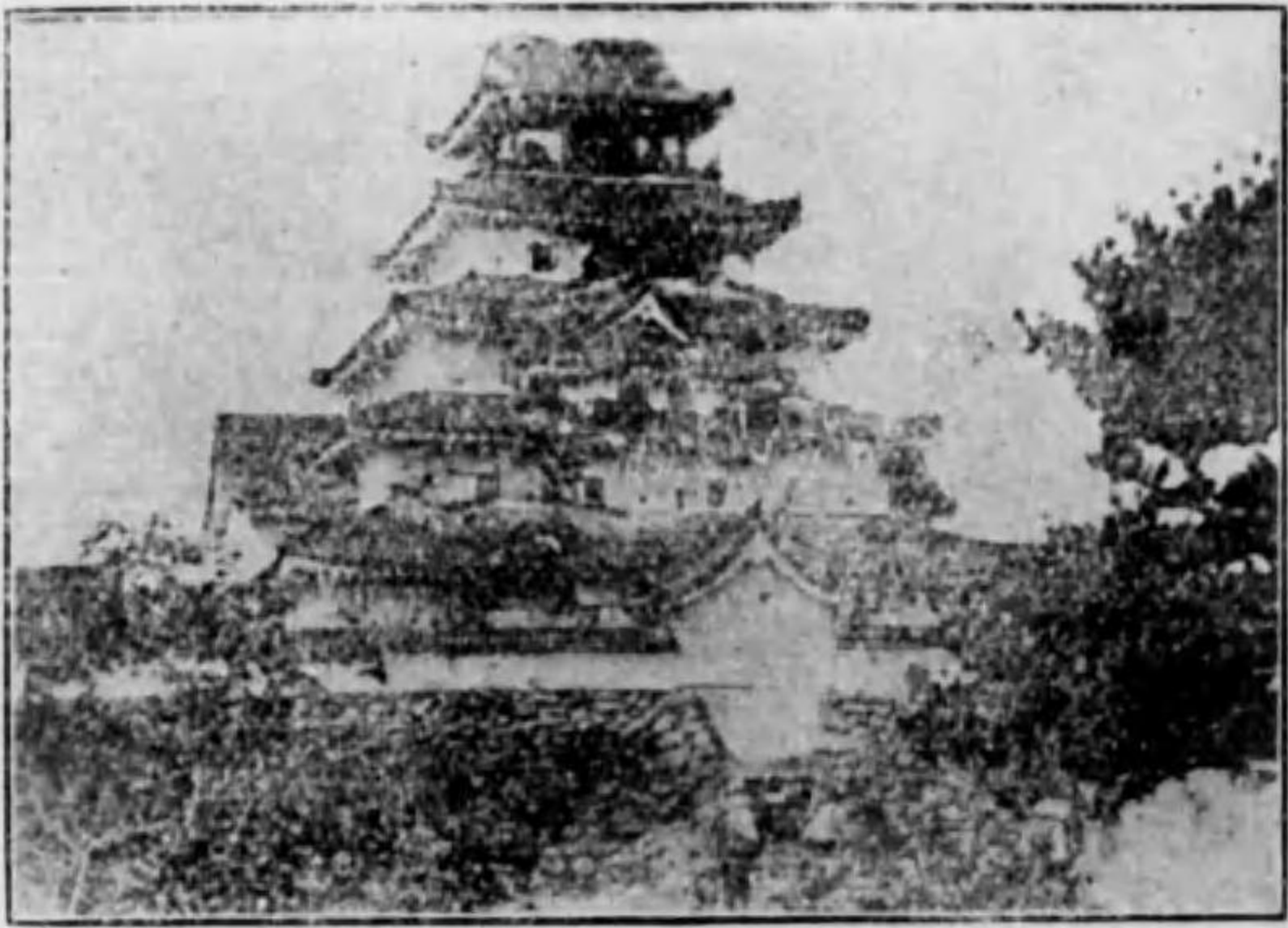
福島市は人口約五萬を有し、生絲・繭・絹織物の取引が盛んに行はれ、東北線と奥羽線との分岐點となつてゐる。福島市の東南川俣には羽二重の産多く、南方の郡山市は交通の要衝に當り、人口五萬餘を有し製絲業が盛んに行はれてゐる。白虎隊で有名な若松市は人口四萬餘を有する都會である。猪苗代湖の水は水力發電に用ひられ、その電力の大部分は東京に送られてゐる。明治戊辰役の籠城によつて有名な若松市は漆器を産し、東海岸の平市は人口二萬五六千餘を有し常磐炭田の中心地となつてゐる。

**白虎隊の墓** 若松市郊外飯盛山にあり、戊申の役に會津藩少年十有九士の白虎隊士が、炎上する鶴ヶ城を望み自刃したところ、墓前にムツリニールから贈られた碑があり、また飯盛山は眺望よく若松市街を一望にし、有名な東山温泉も僅か半里の間にある。

**靈山** 福島市より五里、自動車電車の便あり、阿武隈山脈の高峯で眞に靈山の名を辱しめず、元弘年間北島顯家卿が、義良親王を奉じて據つた吉野朝の史蹟、城址もなほ存し、中腹

に顯家卿を祀る別格官幣社靈山神社がある。

**猪苗代湖** 猪苗代湖は湖西海拔五百十米の高處にあり、爆發火山として有名な磐梯山湖畔に聳え山紫水明、湖畔景勝に富



若松城

み、湖岸には安積疏水上戸取入口、小平瀨天神宮・野口英世の生家・高松宮御別邸・戸ノ口十六橋・戊申役に白虎隊が奮戦した戸ノ口原などがある。

**磐梯山** 夏季登山者で賑ひ、裏磐梯には明治二十一年磐梯の大爆發により造られた檜原・

秋元・小野川の三湖及び世界に類の少い數十の五色沼あり。また秋元湖に注ぐ大倉中津川の湍流は、人跡未到幾多の神秘的

飛瀑を蔵し、この附近温泉に富み磐梯・新磐梯・押立・川上・沼尻・中ノ澤・横向等の温泉あり、冬は至るところスキー場となり、裏磐梯三湖の水は猪苗代湖に注ぎ、四湖の水は發電に利用されてゐる。

### 第二節 宮城縣

仙台市は奥羽第一の都市で人口約二十二萬を有し、東北帝國大學を始め各學校多く東北文化の中心である。

鹽釜は仙臺の外港をなし、石材、水産物を集散し、附近の松島灣内には幾多の小島が散在し、日本三景の一と稱せられて、青松を頂き、風光頗る明媚である。

石巻市・釜石市も近來著しく發展し何れも人口約三萬餘を有する都會



松島

である。  
松島 古来日本三景の一として知られ、近年縣が外人向のバ



城 葉 青

れも形貌を異にしてゐる。中に國寶五大堂・國師座談堂・百八體の佛像をはじめ洞窟のある雄島、政宗が桃山から移した

寶釜 奥州の一の宮鹽釜神社のあるところ、松島灣に臨み、金山を控へ、舊幕時代から鹽釜様への参詣者と漁業で榮えたが、昭和八年横濱税關支署の設置以來、東北地方太平洋岸重要な國際港となつた。  
金華山 山鳥の渡し僅か二十餘町を隔て、太平洋中に屹立する一孤島で、山腹に縣社金山神社がある。また金華山燈臺は十六萬燭光で海上十哩を照らし、音響の十四哩に達する霧笛が備へられてゐる。

### 第三節 岩手縣

本縣は我國の府縣中第一の大縣で、一ノ關は北上川溪谷の門戸に當り、附近に平泉がある。奥羽藤原氏の三代榮華の跡で、その中尊寺には多くの國寶を藏して居る。水澤には鐵度觀測所が設けられ、縣廳所在地の盛岡市は縣下第一の都會で南部馬の市場として名高く、且つ鐵瓶・苹果を産し、人口は約七萬に達してゐる。岩手山麓には牧馬が盛んに行はれ、小岩井の如き大農場が開かれてゐる。釜石は太平洋岸の一要津で製鐵所がある。  
盛岡石割櫻 盛岡裁判所内にあり、根廻り五尺餘、巨大な花崗

岩の中心を貫いて聳え、親株より派生した二本と共に春毎に開花し、天然紀念物に指定されてゐる。

高松の池 盛岡驛より約二十町、櫻の名所として知られ、神庭山には日露戦役の志士横川省三の銅像がある。



堂 色 金

平泉 千古に輝く國寶地區で、史蹟名勝天然紀念物の聖地である。藤原の清衡父子の住つた柳御所、伽羅御所などの所謂「平泉館址」をはじめとして源義經が逃れて秀衡に身を投じた時の居館「判官館址」及び「衣川關址」「達谷窟」などの名勝舊蹟夥しく、藤原三代のミイラ現存で最近有名な金色堂、一切經ほか十二點國寶所藏の中尊寺・經藏・毛越寺、大泉の池など史家佛徒考證家から

一般旅人憧れの聖地である。  
この外岩手山・岩手公園・早池峰山高山植物帯・高野長英舊宅・報恩寺五百羅漢・小岩井農場・縣立六原青年道場などがある。

### 第四節 青森縣

青森市は北海道に渡る要津で、人口約九萬を有し、下北半島の大浜は海軍の要港となつてゐる。弘前市は人口四萬餘を有し、津輕平野の中心で、第八師團司令部を置き、津輕塗・木通細工を産し、附近からは苹果の産出が多い。八戸市は人口六萬餘を有する本縣第二の都會である。南境の十和田湖は風景の美で名高く、國立公園の一である。  
十和田湖國立公園 神祕の湖、十和田は湖畔南岸からたくましい二本の腕のやうに御倉・中山の兩半島が湖心に伸び東西十軒南北八軒で面積七十八萬方軒、湖岸線の延長四十六軒、水深は最深所で三百六十米、湖畔には千古の緑、珍鳥奇獸が遊び、湖上は萬代の深緑を湛へ、奇態の島々が自在に散りまじりに神祕の幽境である。青森口青森驛から省營觀光バスが八甲田連峰を走つて焼山に出で、古間木口は東北本線古間木驛

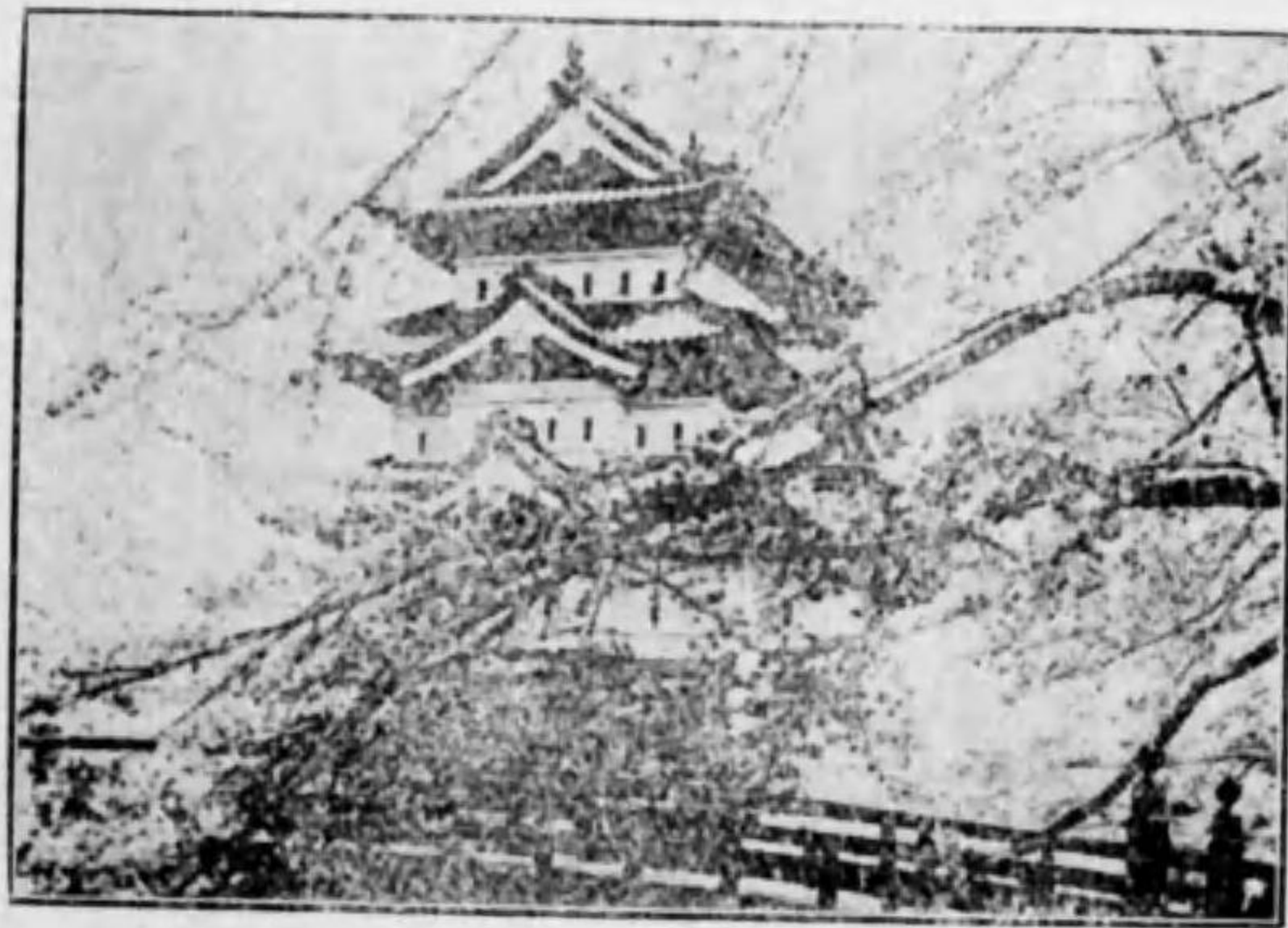
から三本木口に乗り換へて焼山に出る。こゝから飯笈十四軒の奥入瀬の溪流で、紫明溪・三瀬の流・阿修羅の流・雲井の流・玉座の流・銚子大瀬等々、湖上靜の美に對する動の美の極致が湖畔までつゞいてゐる。

種差海岸 東北本線尻内驛から八戸線に乗り換へて種差驛に下車すると、壯絶な大景観が展開する。海岸線一帯に奇岩蠟居し、太平洋の怒濤これを噛み、さらに芝生が見渡す限りつゞ



十和田湖國立公園

き、六月にはこゝに鈴蘭が咲き匂ふのもまた異風景である。種差驛からの手前、湖を距る一軒に、有名な蕪島がある。全島に蕪草が繁茂して黄金花吹く蕪島と俗諺に唱はれ、蕃殖の「海猫」は春から夏へかけてこの島に飛んで来る鵜の一種で



弘前城

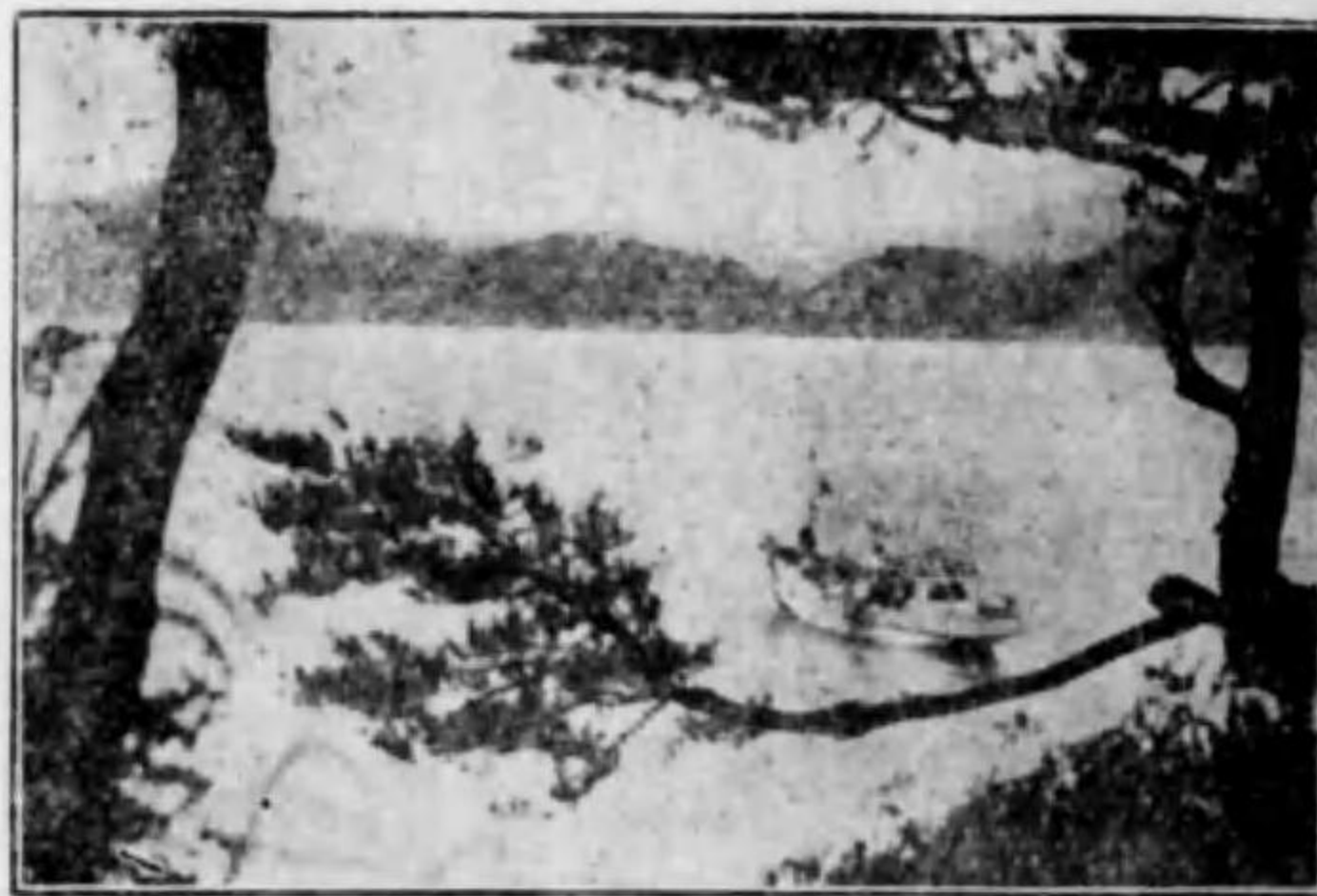
したところで、西に津輕富士を望み、岩木の清流を眼下に、昔ながらの城樓を存し、櫻の名所である。

第五節 秋田縣

天然記念物に指定されてゐる。 恐山 下北半島海拔八百一十一米の死火山で、火山湖・宇會利湖の西北に西比奈岳、東南に釜伏山あり、共に有名な靈場で、名刹地藏堂附近には古瀧その他の温泉がある。

弘前公園 舊津輕侯の居城址を公園として、岩木の清流を眼下に、

米代川口の能代港は製材業が發達して木材の積出が多く、秋田市は縣廳の所在地で人口六萬餘を有し、絹織物を産出す



田澤湖

る。其外港土崎は製油事業が盛んで、米の積出が多いが、冬季風波の高いつきは、船舶の碇泊に適せず、對岸の船川港に避難する。

十和田湖 國立公園に指定された日本八景十和田湖は省營バス秋田口も開通、觀光の利便ますく、加はり、その外日本百景海岸美に男

鹿半島あり、湖沼美に田澤湖あり、山岳美に鳥海山あり、加ふるに日本十二秘勝の選に入つて、一躍著名となつた八幡平の勝景がある。石油奔騰によつて俄然有名となつた秋田市外、八橋油田の構井の林立の景觀を見るべく、この外象瀧の勝地もある。

第六節 山形縣

山形市は山形盆地の中心で人口約七萬を有し漆器・銅・鐵器の産を以て名高い。米澤市は人口五萬を有し、この附近蠶業の中心地として絹織物の産多く、庄内平野の鶴岡市は人口四萬近くを有し米の中心市場で、且羽二重を産出する。酒田市は人口三萬餘を有し最上川口にあり米の移出港として古來名高い。



上杉神社

山形城址 歩兵三十二聯隊の兵營あり、外廓は舊時の内濠で老松に交はり數百本の櫻樹がある。

山寺 山形市の東北三里にあり慈覺大師の開基で、根本中堂は特別保護建造物となつてゐる。同山はまた奥羽耶馬溪の稱がある。

浮島沼 山形市の西方約十里、沼に多数の小島あり、各島に磯、杜若、山吹などが茂つてゐる。

米澤城址 上杉藩累代の居城で、本丸を松岬公園と稱し、中央に藩祖謙信を祀る上杉神社がある。

大森山スキー場 斜平山の中腹にあり、海拔三百五十米、緩急スロープがあつて、設備は完備してゐる。

月山神社 鶴岡市外手向村にあり、東北唯一の官幣大社で、羽黒山の合祭殿まで僅か一時間で達する。

この外米澤の善光寺如来、普門院、出羽三山、城の輪櫓址雪の尾花澤など縣下の誇りである。

### 第五章 中部地方

表日本から裏日本にかけて本州の中央部を占める広い地域を占め、行政上静岡・愛知・岐阜・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井の九縣に分たれてゐる。  
地形 この地方は南緯・北緯兩山系の會するところに當つてゐる。

海岸は太平洋岸が屈曲に富み、東部には伊豆半島が突出して駿河灣をつくり、西部には伊勢海が灣入してゐる。日本海岸方面では西部に若狭灣があり、中部に能登半島が突出して東に富山灣を抱き、東北の海中には佐渡島が横はつてゐる。

氣候 この地方は氣候温和で、夏季には雨量が多いが、北陸地方は夏は高温であるに反し、冬は地形と大陸の影響を受けて連日雨雪を降らし、裏日本の特色を現はす。中央の高地もやゝ寒暑の差大きく、大陸的氣候の傾向を呈し、降水量は海岸地方よりも少い。

産業 越後・濃尾・富山の三平野は古來我國主要の米産地として知られ、長岡・新潟・高岡・大垣・岐阜の諸市はその集散地である。愛知縣の麥と蔬菜、長野縣の大麻は産額の多いことによつて知られ、静岡縣の臺地や丘陵には茶・蜜柑などを盛んに栽培してゐるが、茶は清水港より輸出される。

中央高地の分地及び濃尾平野の東部には桑畑多く、我國養蠶地帯の中心をなし、従つてこの地方には絹絲業が發達してゐる。

木曾山中や天龍川の上流には良材に富む森林が連なり、檜・杉などの産多く、河川または鐵道によつて名古屋・天龍川口

るから、大山脈が發達して本州中最も高峻である。南緯山系は數條の大山脈から成つてをり、先づ飛騨山脈はこの地方の中央を南北に走り、到るところに高峯が聳立して日本アルプスの主部をなしてゐる。北緯と南緯との間には、富士山を



スプルア本日

の間縦谷をつくつて流れ、多くは急流となつて水力發電に利用せられてゐる。平野は南北の兩海岸に展開し、木曾川下流の濃尾平野と、信濃川下流の越後平野は特に著名である。

などへ積出されてゐる。新潟縣は油田に富み、多く西山・新津・東山などに産油し、これを新潟・新津・柏崎などで製油してゐる。此外相川の金、尾小屋の銅、神原の鉛も著名である。太平洋方面は暖流性の魚族に富み、鱈・鰻の漁獲多く、鰻は燒津に集められて鱈節に製造される。日本海方面には鱈・烏賊などが多く、中でも富山灣が好漁場である。また濱名湖・三河灣附近では養蠶が行はれてゐる。

工業は名古屋市を中心に工業地帯が發達し、織物・綿絲・麥粉・機械などを産出し、澤村市も工業都市で、綿織物・樂器・帽子・捺染などを製造してゐる。羽二重は福井を中心として北陸の西部に産し、郡内の産地からは海氣織を出し、福井市には近時人絹織業が盛んになつてゐる。日本には岡・福井兩縣に、洋紙は大宮附近に産し、陶磁器は瀬戸・九谷及びその附近が良質の陶土に恵まれて、昔より陶磁器を盛んに製造してゐる。漆器は石川・愛知兩縣に多く、愛知縣の醬油、酒、山梨縣の葡萄酒、富山縣の賣藥なども古來より名高い。この地方はかく産業が發達してゐるから、商業は關東・關西に次いで發達し、名古屋市は中京とも稱し、東京・大阪の兩商圏の中間に勢力を擴張してゐる。外國貿易は各開港

場で行はれるが、名古屋・清水以外は盛大ではなく、神戸・横濱を經由して行はれるものが多い。

交通 鐵道は南部に東海道線、中央に中央線、北部に北陸線が通じ、横断線としては信越線があり、他にも關西・上越・羽越などの諸線が通じてゐる。名古屋及び清水は最近長足の發達を遂げ、海外にも通じてゐるが、神戸・横濱を通過する巨船はまだ寄港しない。日本海方面は冬季風波荒く航路は一般に振はないが、敦賀は西比利亞と連絡して世界交通路の一端に當り、對外的にも重要な地位を占めてゐる。

人口 この地方は夙より人文開け、産業もまた發達してゐるから、人口多く、殊に工業地帯の名古屋附近は人口稠密である。従つて都市もこの附近に發達してゐる。また北陸地方は農産地である上に、種々の工業も起つてゐるから人口も可なり密である。中央山地は人口稀薄であるが、各地の盆地や河谷平野は、養蠶地帯なるため密度は比較的大である。

第一節 静岡縣

静岡市は昔の駿府の地で、人口二十萬餘を有し、茶の市場として名高く、また漆器を産し、その東方の清水市は人口六萬餘を有し、茶の輸出港として知られてゐる。駿河灣の北岸は氣候よく、後ろに富士山を負ひ風光明媚にして、沿岸に人口五萬を有する津津市・興津の保養地及び三保ノ松原・田子ノ浦などの勝地に富んでゐる。伊豆半島は火山地域にして温泉に富み、人口約二萬を有する熱海市と伊東・修善寺などは湘南地方についで、京濱人士休養地帯の延長であり、また鎌倉時代の古跡地でもある。その南端には幕末開港を記念する下田港がある。小山には紡績工場、大宮には製紙工場があり西部の濱松市は人口十三萬餘を有し、工業都市として最近勃興しつゝある。

了仙寺 下田の了仙寺は有名な下田十三ヶ條約締結の場所。唐人お吉の墓 廣岡町寶福寺境内にある。

五泉寺 下田條約後、タウゼント・ハリスが日本最初の領事旗を掲げ、唐人お吉を侍妾として通つた所として有名。

石廊崎 長津呂村南方にあり、天下の絶勝。

米山藥師 箕作近くにあり、日本三藥師の一である。

藍山の反射爐 長岡驛に近く、江川垣庵の築造にかゝり、史上有名である。

骨を葬る。

駿府城址 徳川家康の隠居所として有名であるが、堡壘は昔のままに存し、今は聯隊の所在地となつてゐる。

佐夜の中山 詩歌に詠せられし名所で、子育觀音、夜泣石は有名である。

可睡齋 袋井驛近くにあり、堂舎堂をならべ牡丹園、躑躅の名勝として有名である。

秋葉神社 大居村秋葉山にあり、山頂の眺望無比といふ。

三方原古戰場 三方原村より濱松市に至る一帯の地である。濱松城址 曳馬城ともいふ、眺望絶佳を極む。

第二節 愛知縣

名古屋は地理的に優位の地位を占め交通の要地に當り、商工業が大發展し、關東關西間の新經濟中心地となり、人口約百十萬を有し、東京・大阪・京都に次ぐ大都市である。第三師團の司令部となつてゐる名古屋城は、天主閣の金鯱と共に、昔は海道一の名城と稱せられた。南部には草薙劍を祀る熱田神宮がある。一宮市は人口五萬を有し名古屋工業地

に産卵する森青蛙は有名である。

千本松原 南に駿河灣・西に田子浦・北に富士を眺むる景勝の地である。

白隱禪師墓 は原町松蔭寺にあり、碑題して「荆叢塔」といふ。

田子浦 富士川東岸より延びて天香久山に接し青松白砂連なる。

白糸瀧 白糸村東端芝川支流の落つるところにある。

清見寺 興津町臨濟宗の名寺として名高い。

龍華寺 清水市不二見にあり、大蔵鐵で有名である。

三保松原 清水市東南に突出する砂洲、東海の勝景として天下に名がある。



三保の松原

羽衣の松 三保の松原の南瀨群松の間にある。久能山 と東照宮は静岡市東方有慶連山の一峰、徳川家康の遺



帯の一部で綿布を産出し、瀬戸市は人口五萬近くを有し古來陶磁器を以て名高い。岡崎市は人口約八萬を有し徳川氏創業の地で現今綿絲紡績が行はれ、豊橋市は人口十四萬餘を有し製絲業が盛んに行はれて居る。又酢で有名な半田市は人口約二萬を有する都會である。

日本ライン 犬山城の麓を走る木曾川日本ラインは、その上流の岐阜縣土田から犬山城下まで、頗るスルリに富んだ溪谷美で、犬山城下に到つて眼界一轉して大江となり、夏は鵜飼の篝火が不夜城の如く美しい。

名古屋城址 慶長十五年徳川家康が、西國二十二藩に命じて築城し、子の義直を封じて以來二百六十餘年間六十萬石の雄藩として榮えた、いはゆる「尾張徳川城」である。明治二十六年名古屋離宮と定められ幾度か聖駕を迎へ奉り、昭和五年十二月離宮廢止とともに、名古屋市に御下賜されて一般に公開された。天守閣は加藤清正の浩營による、高さ四十二米の五層樓閣で、頂上には有名な金の鯨が雄然と輝いてゐる。  
岡崎公園 八丁味噌で名のある岡崎市の五萬石岡崎城址にあり、古松老杉天を摩し眺望は絶佳、櫻・紅葉の名所である、徳川家康が天文の昔賑々の旗を擧げた所で、園内にその前湯



名古屋城

の非戸がある。  
蒲郡 東海道線蒲郡驛で下車した海岸の國際的觀光地で、海上には大島小島を遠景に呼ば答へん竹島の翠巒が浮び、二百四十間のモダンな竹島橋がかけられ、春は散歩、夏は涼秋は觀月によく、國際人の來遊には、丘上に觀光ホテルがあり、ホテルからの展望は秀絶雄大、交通は東京大阪から數時間、名古屋からは僅か一時間十分で達する。  
南知多 伊勢灣と三河の海とを境に、靜にその裾を波打たせてゐる知多半島は、山水の優美を「名古屋ハイキング・コース」に指定してゐる。またこの半島ドライブは東海第一の快味で、主なる勝地は有名な

校臨海落地方であり、且つ夏の健康避暑地として有名な間、南知多第一の商工都で、世界的に著名なサンドスキー場を持つ内海、半島の南端師崎から四軒海上史の島篠島等がある。  
犬山遊園地 北に大木曾の清流、西に城山の翠巒と白聖の城樓を仰ぎ、園内にはページェント・ステージがある。町の北東城東村栗栖は、桃太郎の誕生の地として傳説が残り、桃太郎神社がある。

第三節 岐阜縣

岐阜市は鵜飼で名高い長良川に沿ひ、人口約十三萬を有し



大垣城



長良川の川

月十五日まで、ある。  
養老 東海道線大垣驛より養老電車で約二十分、孝子で名高い名養老の瀧を中心に、縣營公園となつてゐる。冬はスキーに賑ひ四時行樂の名所である。

大垣市は人口約五萬を有し米の集散地として發展してゐる。縣の東南にある多治見は、瀬戸地方に跨る我國第一の窯業地帯の中心である。飛騨盆地の中心には高山があり、製絲業が行はれ、また春慶塗を産出し縣の西隅には關ヶ原の古戰場がある。又高山市は人口三萬餘を有する都會である。  
長良川 世界の景物鵜飼をもつて知られ、鵜船は七艘あり、一艘に鵜匠一名、中鵜使一名、船夫二名乗り組む。鵜飼の時期は毎年五月十一日より十月十五日まで、ある。

關ヶ原古戰場 家康が霸權確立の天下分け目の大合戦場で、桃配山・丸山・笹尾山・天満山・松尾山・床几場等の主なる陣地は、いづれも文部省から史蹟に指定してゐる。なほ日本三關の一つ不破の關址があり、關ヶ原驛を中心これ等の各陣地、關址を結ぶ路は、興趣深いハイキングコースとして理想的である。

富那峽 中央線中津川驛から電車で五分の乗船場から、大井ダム湖に下るのが富那峽下りで、幽艶美妙を誇り、新日本八景隨一の絶景である。

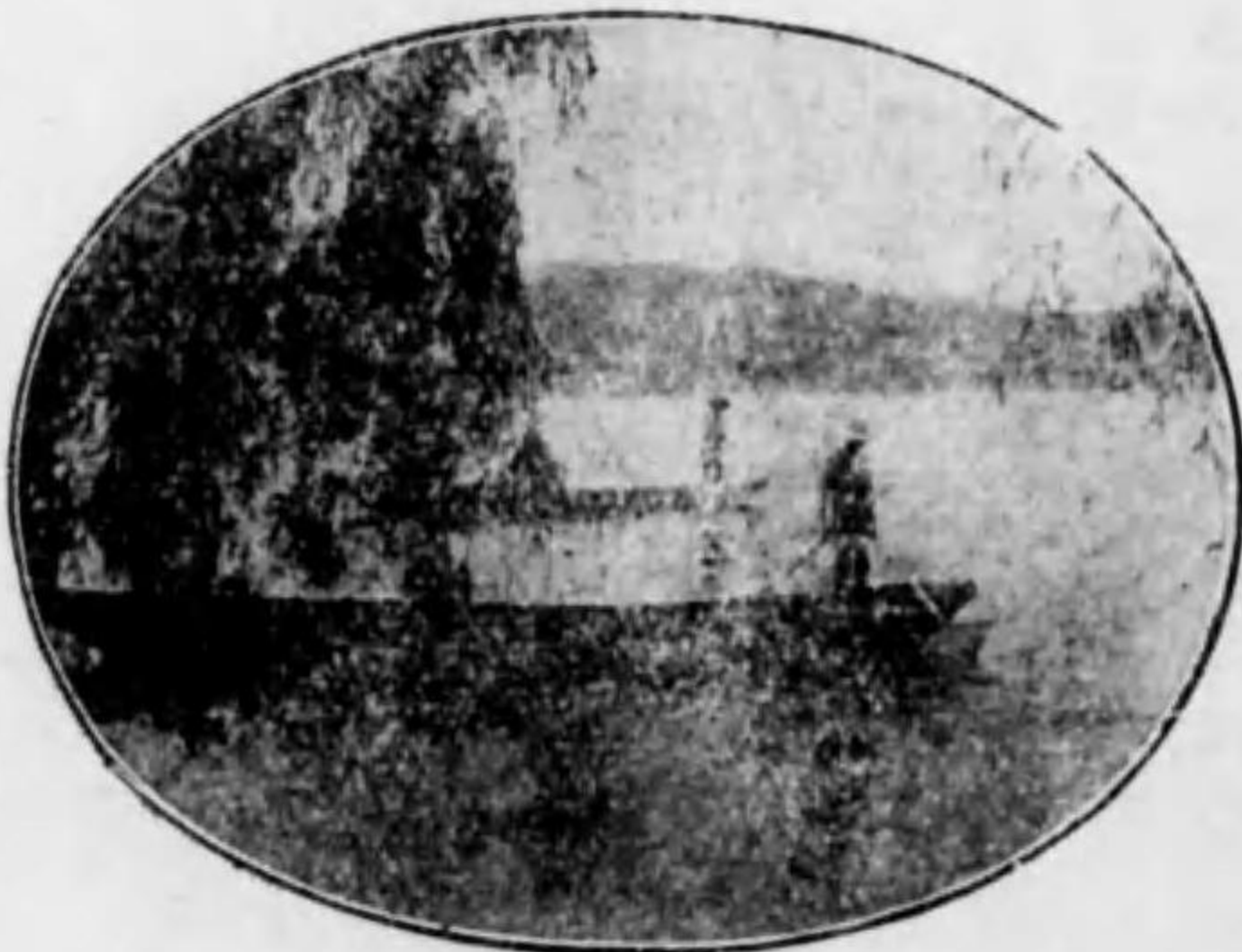
日本ライン 岐阜縣側からの探勝には、高山線古井驛、太田驛阪視驛からの三通りのコースがある。

この外我國空軍の根據地各務ヶ原、中部山岳國立公園、大垣城、乗鞍スキー場、大井ダム、裏木曾御料林なども見逃せない。

### 第四節 山梨縣

甲府市は甲府盆地の中心で、人口約八萬五千を有し、生絲の取引が多く、また水晶細工の特産がある。勝沼附近は葡萄の栽培が盛んに行はれ、東部の谷村は海氣織の集散地として

長野市は縣廳の所在地で人口約八萬を有し、市内には有名な善光寺がある。上田市は人口三萬五千餘、松本市は人口七萬餘を有し共に繭・蠶卵紙の集散地として發達し、諏訪平は製絲業が盛んで、岡谷市は人口三萬餘を有しその中心地となつてゐる。飯田市は人口約二萬を有し、那谷の名邑で、大町は飛驒山脈登山の一要地である。東境淺間山麓の輕井澤は海拔一千米を算し避暑地として知られ、諏訪湖には冬季スケート及び採氷が行はれ、附近からは寒天を産する。山と生絲



諏訪湖

と小唄の信州であるが、信州といへば日本アルプスが浮ぶ。赤石・仙丈・東駒・西駒さては御岳・乗鞍・穂高・槍・白馬・淺間と數へ上げれば、信州が日本の屋根である。山の信

知られてゐる。桂川には水力發電所があつて、東京市に電力を供給し、西南部の身延山は、日蓮宗の本山久遠寺によつて名高い。



本栖湖

ハケ岳高原 甲信の武將が幾度か血戦した古戰場で、今はハイカーの別天地となつてゐる。

### 第五節 長野縣

州はスキーの信州、北から志賀高原・菅平・乗鞍山麓・霧ヶ峰と、信州はスキーヤーの憧れの樂天地である。

善光寺 信州の土を踏むものが、誰しも杖を引く善光寺



上高地浮門



光寺は、長野驛から北へ二軒こゝから小鳥の放送と傳説で有名な戸隠神社へは約一時間のドライブ、戸隠から妙高・黒姫・斑尾の山々に圍まれた詩の水鏡野尻湖へは、約二時間の

高原情緒濃厚なドライブウエー、ハイキングには戸隠に一泊して二日の行程である。



松本城

上高地 松本から島々まで松本電鉄それから自動車で約

二時間、梓川の深谷を縫ふと高連峰・雲岳・雲澤岳などに圍まれた山峡が展開する。コッテージ風の瀟灑な上高地ホテルの一夜は、飽かず山の情緒を味はせてくれる。流峰越 スキーコース中の白眉、上林から草津まで二十八軒、タンネの森を縫ふ登高と滑降は豪快無比である。新平 一度足を踏み入れたら山男になり切りざるを得ない。白銀の仙境白馬山麓、乗鞍山麓、また眺望の佳いのと粉雪で有名な霧ヶ峰などは冬に限らず、四季を通じて近代人の樂園である。

第六節 新潟県

新潟市は信濃川口にあり、人口十三萬餘を有し舊五港の一つであるが、信濃川より流れる泥砂のため水深淺く、且冬季風波の荒いため貿易は振はない。新津は人口六萬餘を有する長岡市・柏崎と共に石油業の中心として知られ、高田市は人口三萬餘を有し積雪多く、妙高山麓と共にスキーの好適地として有名である。又三條市は人口三萬五千餘を有する都會である。佐渡の根川は古來金産地として名高く、夷は良池として知られ、關の關岩の奇勝もある。親不知子不知 北陸親不知市振南間にあり、天下の嶮も國



關の膳棚岩(佐渡)

は雄山神社、中腹には本邦一の山岳スキー場あり。山麓には直下四百餘米の稱名瀧がある。黒部溪谷 立山と白山兩山脈の間を走る南北二十里の大溪谷で、八千八谷の萬年雪の下から流れ出る溪流からなる奔流は兩崖深く削り立つた岩脚に激怒して、山鳴りを起してゐる。高岡公園 加賀藩主前田利長築城の跡で廣袤七萬坪、天然の風光に富み學界に貴重なる珍植物鬼蓮を發生し、春は櫻花の名所である。この外、吳羽山公園磯部堤の櫻・笠島殿の群遊地・屋氣樓出現地・大岩山・大川寺山公園・八ヶ山遊園地・東岩瀬海水浴場・義経雨晴し・朝日山公園・細ヶ池など名所として數ふべきものが多々ある。

第七節 富山縣

富山市は人口約八萬五千を有し古くから賣藥業を以て名高く高岡市は人口六萬近くを有し銅器を産し、伏木港は米の積出しによつて賑つてゐる。縣の東南には立山が聳えてゐる。立山 立山は北アルプスの盟主で、中部山岳國立公園の中心である。富士・白山と共に日本三靈山の一と稱せられ、頂上に道の開鑿で立派なドライブウエーが出来てゐる。怒濤斷崖を嘯む景観は、往昔の行路難を思はせるに十分である。米山麓 海と山との景勝美で開えてゐる。信越線鉢崎、柏崎兩駅で下車すると、登山口がある。春日山 上杉謙信の居城址で、山上に春日神社があり、金谷山スキー場はこの附近である。新潟農園 新潟市山の下にある二十五町歩の農園で、チューリップを栽培し、東洋一のお花畑と稱せられる。佐渡ヶ島 景観美と史蹟とおけさ節で有名な佐渡は、新潟市より海上二時間半で達し、周圍五十三里、順徳帝の黒木御所址、眞野御陵、日蓮流罪の舊蹟などは昔を偲ぶべく、五六月頃の鯛と烏賊夜釣船の夜景も捨てがたい。



雄山神社

この外、吳羽山公園磯部堤の櫻・笠島殿の群遊地・屋氣樓出現地・大岩山・大川寺山公園・八ヶ山遊園地・東岩瀬海水浴場・義経雨晴し・朝日山公園・細ヶ池など名所として數ふべきものが多々ある。

### 第八節 石川縣

金澤市は北陸第一の都市で人口十六萬餘を有し、前田氏百萬石の舊城下である。城址は公園となり且第八師團司令部を置いて居る。市内より



山代温泉

羽二重・九谷焼・漆器等を産する。小松も羽二重機業が發達し、山中・山代は温泉を以て名高くまた山中塗を産出する。能登半島の七尾は開港場の一で、附近に和倉温泉があり、北岸に漆器の産地輪島がある。

兼六園もと藩主前田公の庭園で、慶長年間前田利長の時から拓かれ、齊廣・齊泰二代にわたり本格的な造園が行はれ、その名の如く宏大、幽邃、人力、蒼古、水泉、眺望の六つを兼備し、日本三公園の隨一

である。安宅の關 小松驛から西に一里、文治三年九月源義經が辨慶の機智によつて「虎の尾を踏み毒蛇の口を逃れたる心持して」通りすぎた傳説の地で、その關址は今も遠く沖合の海中になつてゐるといふ。

山中温泉 山中節で知られた山中温泉、北陸線大聖寺驛から東へ九軒、西に薬師山、東に東山の翠巒を浴かす大聖寺川の清流あり「山中のし」と呼ばれる湯女の別名は全國に知られ、彼女達の温かいサーヴェイスが、今日山中温泉繁昌の重要な位置をしめ、泉質は無色透明の鹽類泉 温度四九度五、脚氣、消化器病、神經衰弱、皮膚病、呼吸器病に特效があるといふ。

### 第九節 福井縣

福井市は人口約七萬五千を有し、我國羽二重機業の大中心である。武生には筆書・鳥ノ子等の和紙の産が多く、敦賀市は人口二萬七千を有し、日本海方面第一の良港として浦輪斯徳との間に定期船が往來し、西部の小濱は小濱塗及び小濱鯛を以て知られてゐる。又福井市の東方に曹洞宗の總本山永平寺がある。

福井市と其附近 福井城址は織田時代から幕將相ついで居城した松平氏三百年の治蹟の跡で、巖濤や老松に昔の佛を留めてゐる。足羽山公園は遠く白山運峰を望み、頂上には市



藤島神社

に由緒深い繼體天皇の御石像と、その下に勤王家橋本左内の銅像がある。また中腹に忠臣新田義貞を祀る別格官幣社藤島神社が鎮座してゐる。



敦賀築港棧橋

永平寺 山嶽を吉祥山といひ、遣元禪師の開創にかゝり、曹洞宗の本山である。法燈七百年七堂伽藍は整然として現存し、全國に一萬五千餘の末寺を持つてゐる。



永平寺

敦賀 町の東端にあり官幣大社氣比神宮は御倉津大神、仲哀天皇外五神を奉祀する。官幣中社金ヶ崎神宮は尊良親王・恒良親王を祀り、境内に新田義顯・氣比氏治・瓜生保の靈を合祀する絹掛神社がある。町外れの松原公園は海邊にあつて風光に富んでゐる。

### 第六章 近畿地方

近畿地方はもと我國政治上の中心であつた畿内とその附近の地方とを含み、夙くより文化が開け人口も亦稠密である。

現行行政 上京都・大阪の二府、滋賀・三重・奈良・和歌山兵庫の五縣に分れてゐる。

地形 北部には中國山脈の東端をなす丹波高原が起伏し、南部には紀伊山脈が略東西に走り、兩山系の中間に小川が南北に並走して、諸谷地や海岸平野を形成してゐる。琵琶湖は我國第一の湖水で、小汽船を通じ、且養魚等も行はれてゐるが、その水は淀川となつて大阪灣に入り、舟運、灌漑、水力等に盛んに利用されてゐる。

伊勢海はその海岸が單調なのに反し、志摩半島以南は出入に富んでゐる。然かし能野灘は荒れ、後背地との連絡も不便なため、現在のところ漁港として利用される小港が發達してゐるに過ぎない。西部には四國との間に淡路島が横つて、大阪灣を抱き、日本海岸方面には宮津・舞鶴の二灣が鑿入し、宮津灣に日本三景の一として名高い天の橋立の勝景がある。氣候 紀伊山脈以南の地方は氣温高く雨量にも富んでゐるが、北部山地は裏日本式氣候のため、冬季には雪が多い。東西の海岸は氣候溫和で、殊に大阪灣・播磨灘沿岸には保養の適地が多い。京都盆地は寒暑の差があるが、近江盆地は湖水のため幾分溫和である。

産業 農業は中央の分地及び平野に行はれ、播磨・大阪・近江伊勢の諸平野に米を産し、大阪・桑名・姫路などにその取りが盛んに行はれる。播磨平野の麥、近江・伊勢二平野の茶種京都・三重・奈良三縣下傾斜地の茶は名高く、有田川沿岸は紀州蜜柑の産地で、箕島がその集散地となつてゐる。其他大都市の近郊には蔬菜の栽培が盛んに行はれ、また但馬に牧養される牛は、神戸牛として古來名高い。

紀伊山脈地方の暖濕な地方には林業が發達し、杉・檜等の良材多く、吉野・熊野・高野地方が特に有名で、紀ノ川・熊野川によつて運搬し、尾鷲・和歌山・新宮などで集散または製材される。水産業は熊野灘に鱈・鯉・鯨が多く、志摩半島の英虞灣には眞珠貝の養殖が行はれてゐる。瀬戸内海では鱈鰯等が漁獲せられ、琵琶湖には淡水の魚介を産し、赤穂は製鹽業の中心地である。鑛業は生野に銀・銅、明延に錫の産があるのみで、他に見るべきものはない。

阪神地方は我國最要の商工業用地で、中でも佐野・堺・大阪・尼ヶ崎・西ノ宮・神戸一帯は我國第一の工業地帯となり綿絲・綿布・肥料・セルロイド・硝子・セメント・マツチ・麥粉・船舶・洋紙・機械・藥品・莫大小・毛織物などを盛ん

に製造し、京都からはまた西陣織・友禪染・刺繍・陶磁器等の工藝品が産出する。和歌山縣のネル・漆器、滋賀縣の麻織物、長濱・峯山の縮緬も名高く、灘地方は古來清酒を以て著



琵琶湖

れ、龍野からは醬油を産する。大阪は江戸時代より我國商業の中心であつたが今日も東京と對立して取引が盛んに行はれ、神戸大阪は外國貿易の中心となり、殊に神戸の對外取引は我國第一である。四

日市市は名古屋と共に濃尾平野の門戸をなしてゐる。

交通 鐵道は京阪地方に著しく發達し、電車網の發達は我國第一と稱せられる。東海道線と山陽線の幹線に連絡して、關西・山陰・參宮等の諸線がある。南部の山地は交通の發達が極めて遅いが、今は紀和線が開通してゐる。海上交通は大阪

神戸二港が中心となり、内國航路は勿論外國航路もこの二港から出發する。紀伊半島には沿岸航路がやゝ發達してゐるが日本海岸は不振である。琵琶湖及び淀川にも小汽船が通じてゐる。道路では大阪・神戸間を運べる一大國道が完成し、その幅員は約二七米あるが、これによつて生産都市と貿易都市とは完全に連絡されてゐる。

人口 中央低地は古來帝都の地で早くより開け、交通は發達し商工業も盛んであるから、人口の密度は最も大きい。従つて都市の發達も著しいが、紀伊半島は密度の最も少い地方の一である。

### 第一節 滋賀縣

大津市は湖南の要地で人口七萬餘を有し、人造絹絲・麻織物業が行はれ、北方の比叡山には天台宗の本山延暦寺があり最近山頂へは東西兩方面よりケーブルカーが通じた。琵琶湖畔は風景美しく、近江八景は世に名高い。彦根市は人口二萬餘を有し、井伊氏の舊城下で湖東地方の中心地である。

三井寺 天台宗門派の本山で圓城寺がその本稱である。智證大師により叡山の別院として建立し、五十年に平均一回の兵

福を受けながら能く今日の規模を存してゐる。現代における一山の建築は桃山時代の末期に出来たもので、夥しい寺寶を蔵し、石山寺と対峙して縣下の二大寶庫である。



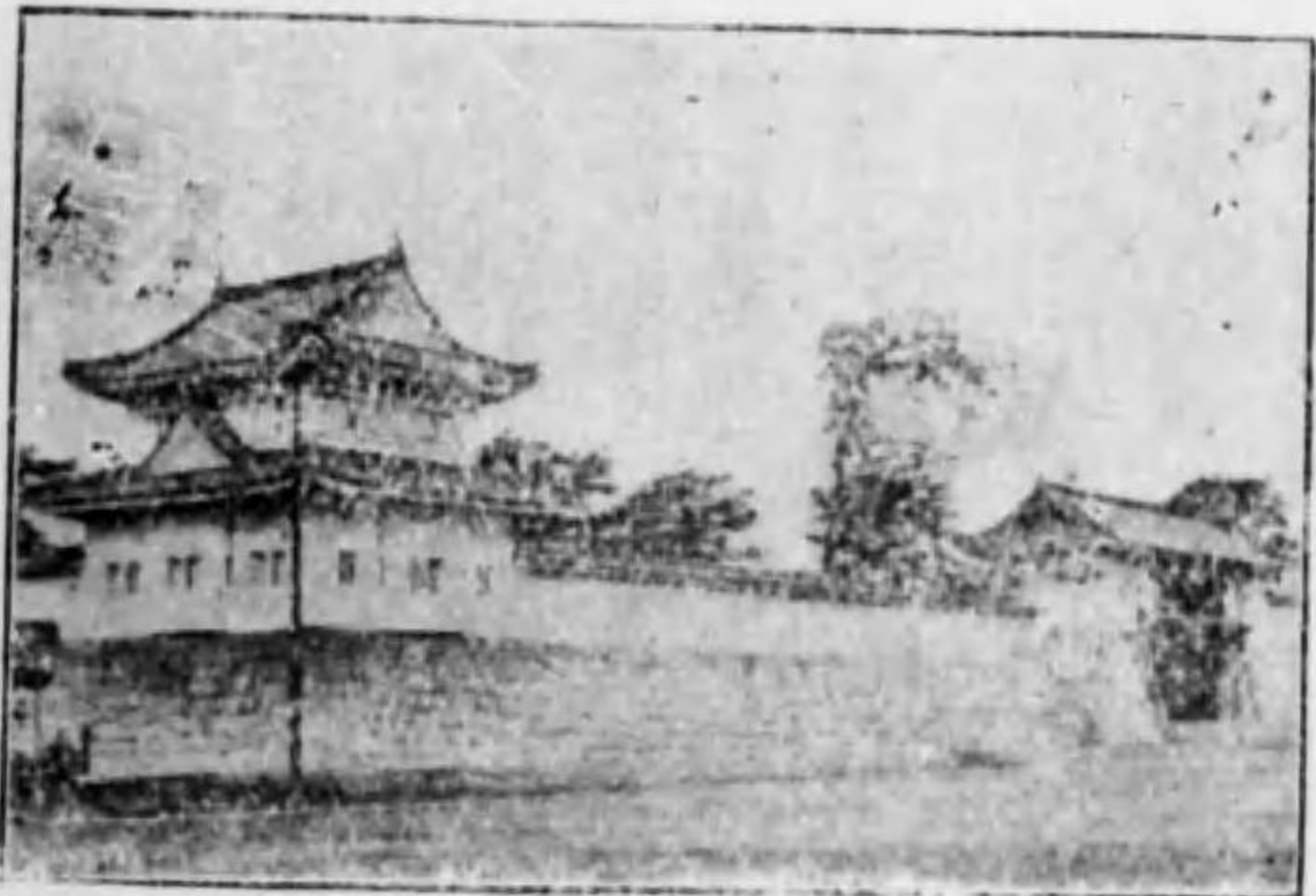
彦根城千疊閣

明治十一年明治大帝御巡幸の砌り保存の勅旨あり、その後非伊家に下賜され、時の彦根町が借地をなし、金龜公園として開放し天守閣にも登臨する設備がある。

この外近江八景の石山寺・三井寺を初め長等公園・瀬田唐橋・安土城址、高穴穂、大津南宮址、紫香樂官幣大社多賀、月に起工された。

日吉・建部各神社、永源寺・長命寺・姉川・賤ヶ嶽等を挙げねばならぬ。

また國際觀光地として漸次知られて来た醋ヶ井養鱒場を初め、春の行樂地として宇會川堤・老蘇の杜・長濱豊公園・夏の新田川・南郷・木



二條城

ノ濱・雄琴・近江舞子・秋の湖・東湖南・冬の伊吹・牧野・朽木・饗庭野各スキー場等がある。湖岸一帯は太公望の天地で、安曇川・野洲川・犬上川等は鮎釣りによく湖西の蓮、野洲裏の諸子とも有名である。

第二節 京都府

京都市は一千餘年間帝都のあつた地で、人口百十萬餘を有し、この地方に於ける學術、宗教の中心である。市の内外に

は御所・二條離宮・京都帝國大學を始め、平安神宮・北野神社・清水寺・智恩院・東西兩本願寺・金閣寺・嵐山などの神社・佛閣・名勝・史蹟が多い。街區は整然として山麓らかに



清水寺

水清く、我國第一の歴史的都市として、また遊覽都市として世界的に有名である。即位の大禮は今もこゝで行はせられる。また舊文化の中心地である。また舊文化の中心地である。また舊文化の中心地である。

市の一部伏見には清酒の醸造が行はれ、桃山御陵があり、宇治は茶の名所で平等院の名刹がある。西北部の山地には人口三萬餘を有する福知山市綾部・峯山などの名邑があり

北岸の宮津は開港場の一、舞鶴は海軍の要港である。圓山公園 京都市内には名所舊蹟極めて多く枚擧に邊がないが特に圓山公園は昔の安養寺および、長樂寺境内を合せて面積

約三萬餘坪あり、中央池の西の枝垂櫻は祇園の夜櫻として天下に鳴りひびき、左阿彌・平野家・中村樓などの料亭この附近に散在し、北境は淨土宗の總本山智恩院に接し、西境は毎年七月の祇

西本願寺飛雲閣



京都御所建禮門

園祭に名のある八坂神社であり、公園の東端眞葛ヶ原には市立音楽堂、西行庵などがあり、四季とりくくの雅趣を添へてゐる。



京都市内 市内の名所遊覧には、京都名所遊覧乗合自動車會社の經營する遊覧バスを利用すれば、一巡約八時間をもつて市内の名所を遊覧することが出来る。下車案内の箇所は二十



平等院鳳凰堂

餘ヶ所で左の通りである。

桃山御陵・桃山東陵・乃木

神社・稻荷神社・豊國神社・清水寺・新高尾・香羽の瀧・祇園八坂神社・圓山公園・智恩院平安神宮・京都御所・北野天



京都麗苑寺金閣

満宮・金閣寺・西本願寺・東本願寺。天橋立 日本三景の一で、宮津町から乗船または、天橋立驛下車約二丁で達す。白砂銀汀の松原が約二軒海中に突出してゐる。その對岸には名刹成相寺がある。

建築物 東寺の塔・南禪寺山門 黄蘗山萬福寺・宇治平等院・金閣・銀閣・孤蓬庵及び眞珠庵茶室・醍醐三寶院・三十三間堂・本願寺鴻の間・同飛雲閣・大師堂・宇治橋・嵐山渡月橋・三條大橋・五條大橋・西芳寺庭園等が有名である。自然物 保津川・宇治川・鞍馬山及び貴船川・鴨川・東山・嵐峽・琉璃溪・三尾の紅葉・比叡山・愛宕山・笠置山・天王山由良海岸・久美濱海岸・如意ヶ嶽・大悲山等である。温泉 笠置温泉、木津温泉等もある。



嵐山渡月橋

第三節 三重縣

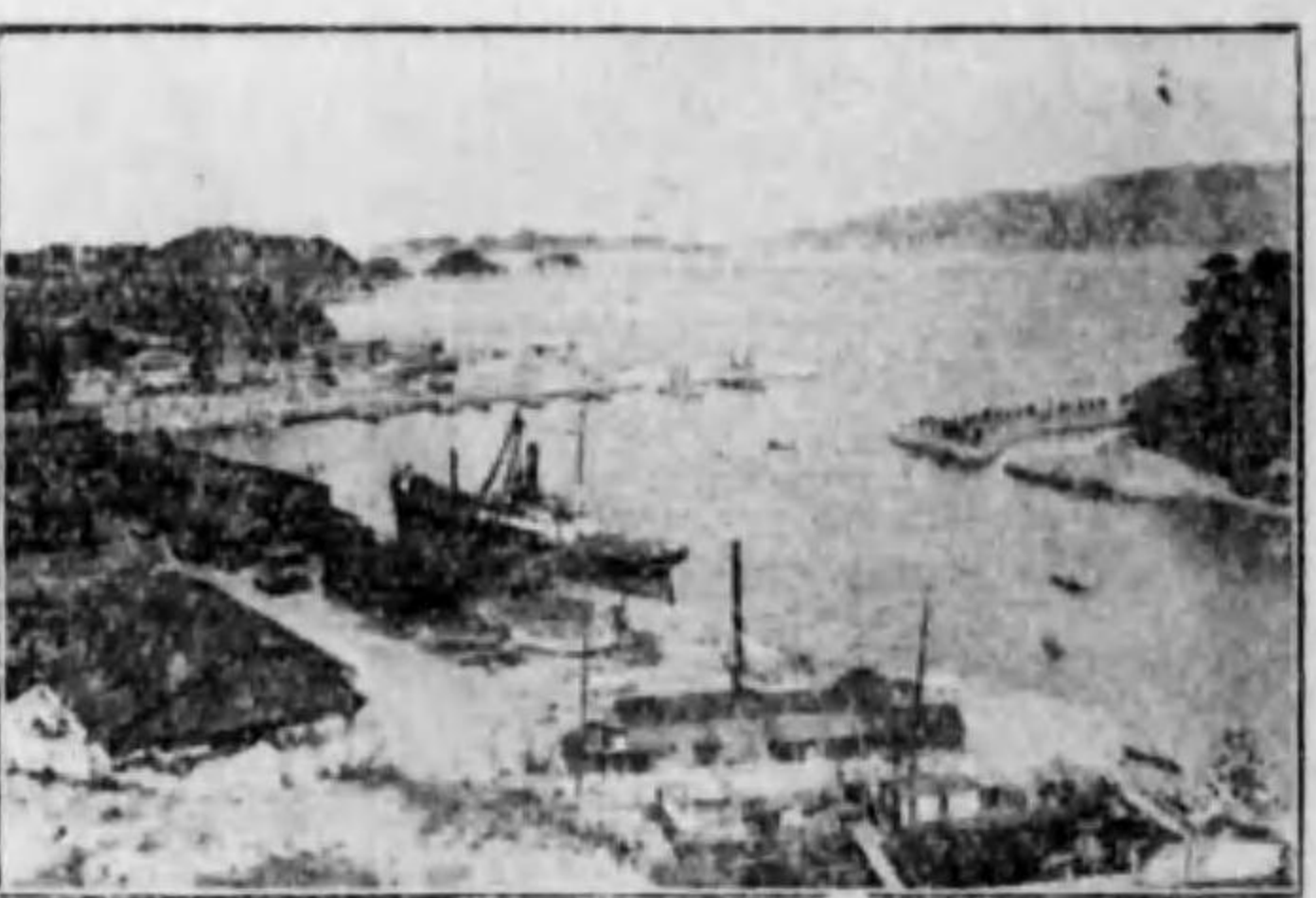
津市は縣廳の所在地で人口六萬五千餘を有し、綿絲、綿布を産出する。四日市市は人口五萬八千餘を有し、開港場の一で綿、豆粕等を輸入しまた紡績、製紙、製油が盛んに行はれる。桑名市は人口三萬を有し米の市場として名高く、松坂市は人口三萬六千を有する都會である。宇治山田市は人口五萬餘を有し、伊勢神宮鎮座の神都で四時參詣人で賑ひ、鳥羽は風光の美と良港を以て知れ鐵工業が行はれる。また伊賀盆地には上野の名邑がある。



比叡山

皇大神宮 垂仁天皇の二十五年皇女倭姫命は勅命により神器を奉じ、五十鈴川の川上に地を相して天照大神を奉祀あらせられた。これ内宮即ち皇大神宮の起源である。なほ雄略

天皇の二十二年丹後より、五穀の神即ち豐受大神を遷し祀られしものが、外宮の起源である。阿漕塚 謡曲や義太夫などで名高い、孝子阿漕平治の墓所は津市阿漕浦にあり、塚の傍らには「月の夜や何を阿漕に鳴く千鳥」の芭蕉の句碑がある。



鳥羽港

二見瀨夫婦岩 三重縣度會郡二見町の海岸で、岩前に御倉津大神猿田彦命を祀る二見興玉神社あり、神宮に詣づる人の多くはこゝに遊ぶ。

吉野熊野國立公園地帯 ハイキングとしては、伊勢路の大杉谷溪谷より入つて、大台ヶ原踏破を試み吉野へ抜けるもよく、



二見ヶ浦

熊野灘の怒濤打寄す紀北尾  
鷺へ出るも興深い。ドライ  
ウならば木本の鬼ヶ城、獅  
子岩を見て、七里が濱を疾  
驅し、熊野大橋に出で、そ  
こから名物のプロペラ船で  
新宮川を遡上し、仙境瀨八  
丁、奥瀨の絶景を探勝、自  
動車で木本へ直行歸還出来  
る。このあたり名勝天然記  
念物が多い。

鳥羽の島巡り 風光明媚の

鳥羽灣は島嶼が多く、街の背後の日和山、樋の山などからの眺望は實に絶佳である。瀨内には海女の潜水作業を見せる眞珠ヶ島あり、また大鯛を女子供も自由に釣り得られる小濱の鯛池がある。鳥羽から志摩電鐵の便により波切の大王崎へ、さらに賢島から船便で、英虞灣探勝も興があり、遊覽團體が絶えず繰り込んでゐる。  
其他三國山下の風穴・關の地藏尊・安乘崎・磯邊鷗鷺關・伊



第四節 奈良縣

賀文化産業城などが著名である。

奈良市は人口五萬六千餘を有し、歴史的都市で南都とも稱し春日神社・東大寺などがあつて遊覽客が絶えない。郡山は奈良に亞ぐ名邑で、附近には特別保護建造物に屬する法隆寺がある。叡傍山の麓には橿原神宮及び神武天皇陵があり、吉野山は南北朝時代、吉野朝のあつたところで歴史上名高く、又滿山の櫻花は古來有名である。この外大和盆地には飛鳥地方を始め古都の跡と古陵とが多い。

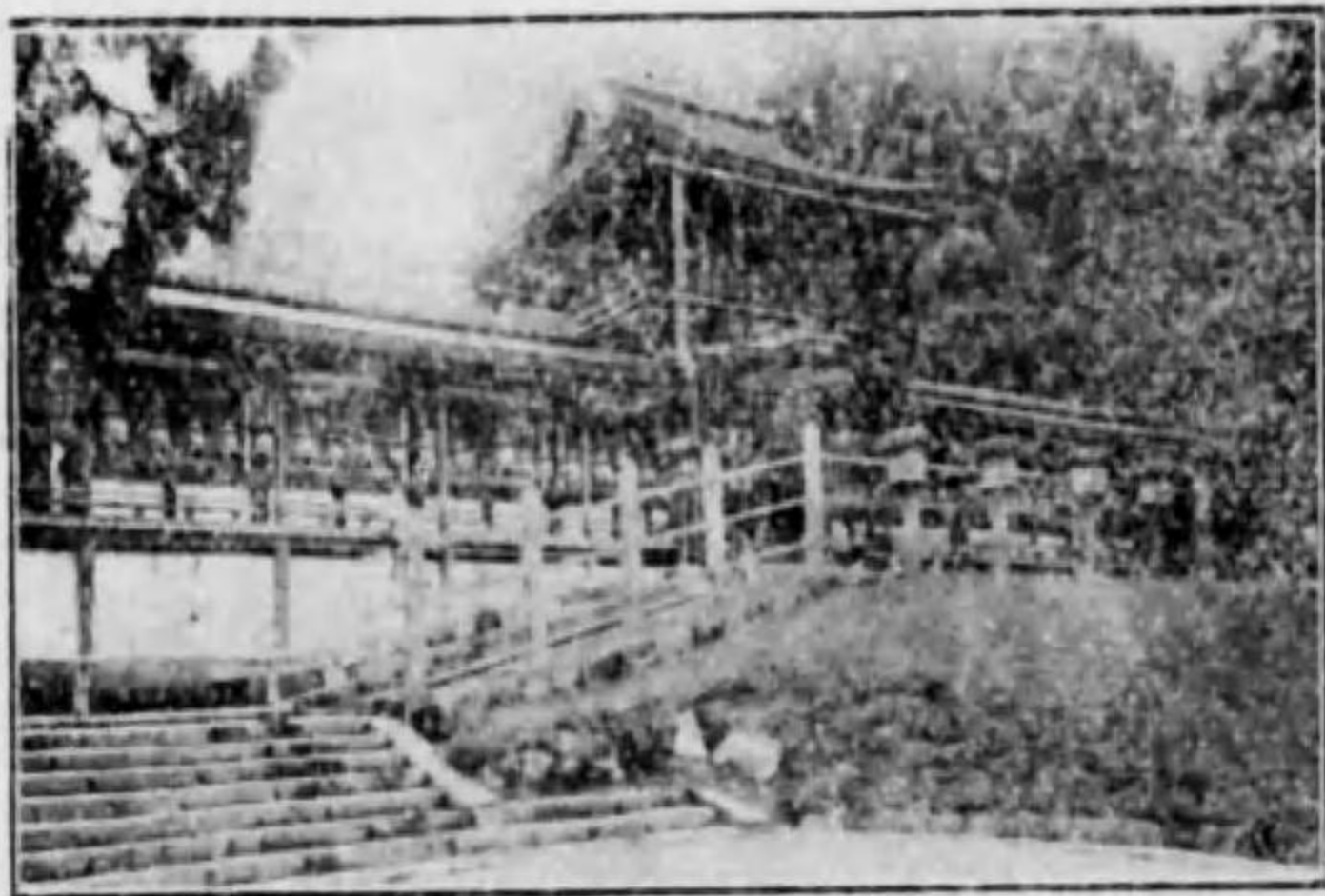
法隆寺

月ヶ瀬 名張川の下流約八軒に亘る大梅溪で、花は八谷九村を埋め、匂ひは大和伊賀の二國に擴がる

と言はれて居る。

賀名生 南部大和の梅の名所で、後醍醐帝の皇居址のある所である。梅林の間には竹林、棕櫚などが點綴してゐる。

吉野山 役の行者小角が修驗道大峰山から藏王權現を觀請して假舎を設け、山上護持の任に當らしめたことに發展の基礎を置き、吉野朝五十餘年の哀史と、全山を包む櫻樹によつて古來名高く、吉野懐古の幾多の詩文が残されてゐる。



春日神社

奈良公園 奈良朝七代七十餘年の間、佛教文化の燦然と輝いた平城京の東北隅にある神社佛閣を中心として、特異の發達を見せた奈良市の四分の一を占め、春は花、秋は紅

初瀬

西國八番の札所で新義眞言宗豐山派總本山長谷寺の大伽藍堂塔を擁して生れた町である。當麻寺と共に牡丹に名高い



月ヶ瀬

葉の勝れた自然觀景に、千三百年の歴史を語る堂塔伽藍の人工美が融合し名所古蹟は限りもなく、中でも興福寺、春日神社東大寺など名高い。生駒山 大和と河内の分水嶺をなし、山頂に大遊園地がある。生駒聖天の參詣者と歡樂街の出現に、近年急速な發達を遂げた生駒町が眼下に展開して

第五節 和歌山縣

この外本縣には橿原神宮、西大寺、奈良大佛、信貴山、金剛山、大峰山、天理教本部などがある。  
和歌山市は江戸時代徳川氏の親藩を置かれた所で、人口約十萬を有し、紀州ネル・莫大小を産し、南部に和歌ノ浦の勝地

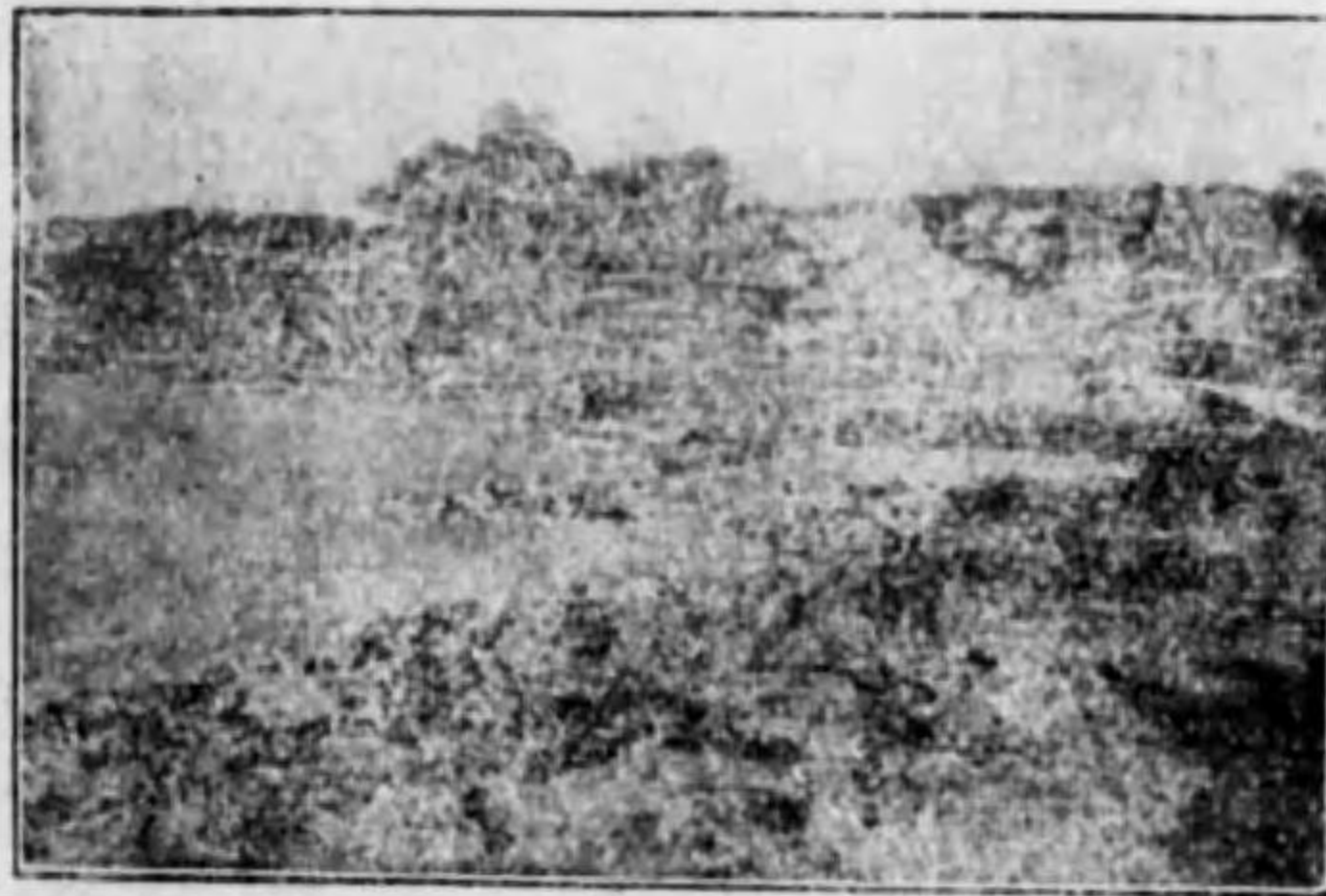


がある。高野山には眞言宗の本山金剛峯寺がある、黒江は漆器を産し、箕島は蜜柑の集散地として名高く、南の人口三萬餘を有する新宮市は木材の市場であるが、最近紀和線の開通に湯崎温泉



和歌の浦

よつて何れも活気を呈してゐる。尚市は人口三萬を有する都會である。



和歌の浦 和歌の浦には名所がござる、一に棚現二に玉津島、

三に下り松、四に鹽竈よ……と近松門左衛門の麗筆によつて、古くから日本三景とらび稱されてゐる。新宮市から三十五料の上流、和歌山・三重・奈良の三縣境にあり、新宮からプロペラ船で三時間、紺碧の水を漕へて幽邃絶頂の境である。

白濱温泉 白砂の白濱を中心に近年さかんに發展した温泉地で、隣接の湯崎温泉ともにもに浴客、遊覧客が多い。この外和歌山城・北島松・熊野大橋・渡邊屋敷跡・浮島の美・大島なども見落すことは出来ぬ。

### 第六節 大阪府

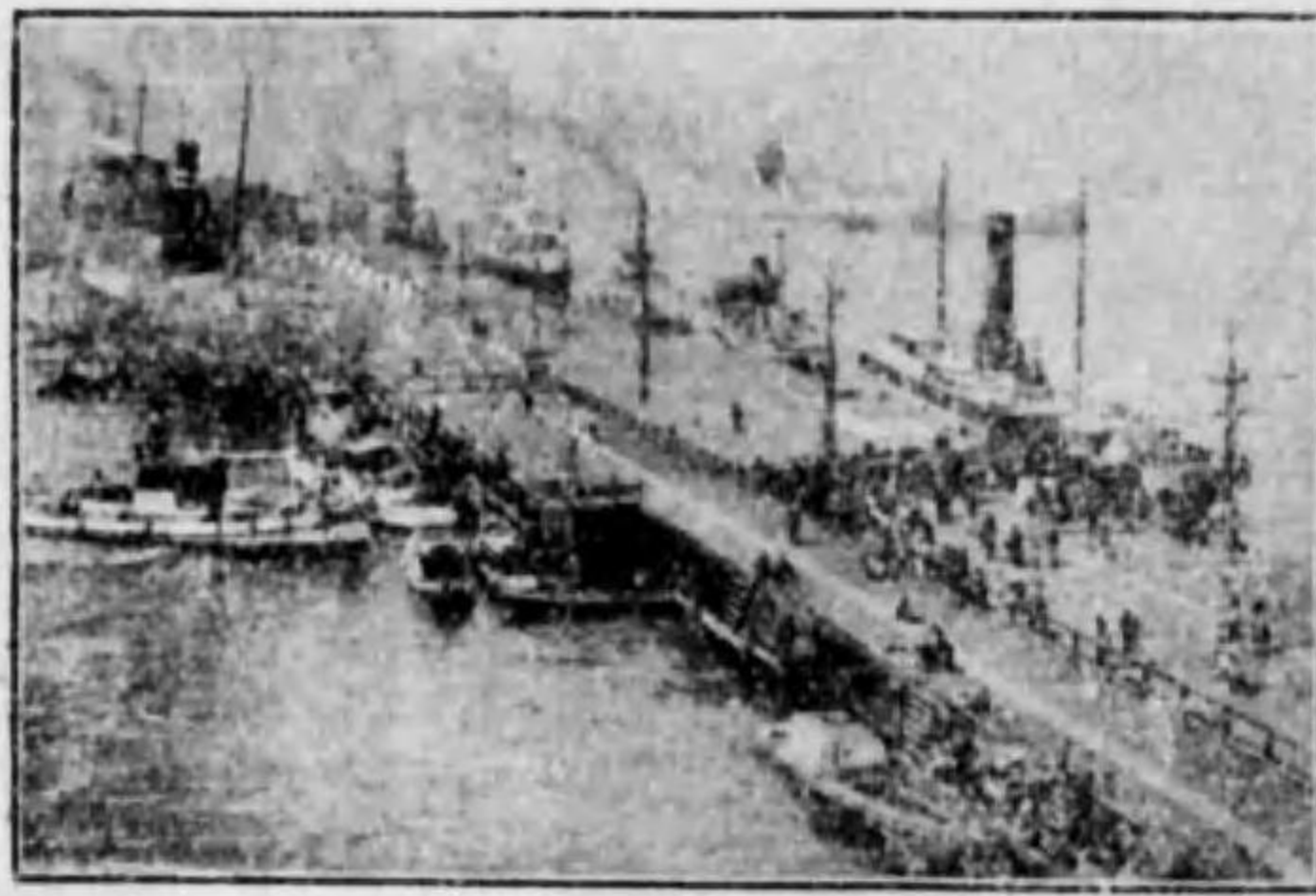
大阪府は江戸時代より商業、経済、金融上の中心で、今は人口約三百萬を有し、東京に對立する大都市となつて「水の都」「水の都」など、稱せられ、工業、商業及び交通の大中心となつてゐる。市の内外には大阪城址・四天王寺・住吉神社・濱寺・堺市は人口十四萬餘を有し、昔から綿絲・足袋・煉瓦・清酒・双物・セルロイド製品を出し、その南の人口約四萬を有する岸和田市からは綿絲・煉瓦・マニラロープを産出する。又豊中・



寺天王四

布施兩市は人口何れも三萬餘を有する新進の都會である。大阪城址 秀吉の築城にかなり規模豪壯、海内無双と稱せられ、現今でも内廓の中央に本丸跡がある昭和六年竣工の天守閣は高さ十四米、外觀五層、内部八層、鐵筋コンクリート造りで、昭和御大典記念事業として、市民のこゝを基礎として一大公園となつた。城内に第四師團司令部あり、大阪府廳の高層と相對し一大偉觀を呈してゐる。

四天王寺 聖德太子の御創建で、百濟式の堂宇伽藍四十餘棟あり、我國最初の佛寺の一人で講堂、東大門をはじめ寺寶に見るべきものが多い。先年の大風水害のため倒壊した五重塔は、淨財その他を以て目下舊態そのまゝに再建中である。附近に



橋棧港築阪大都の豊

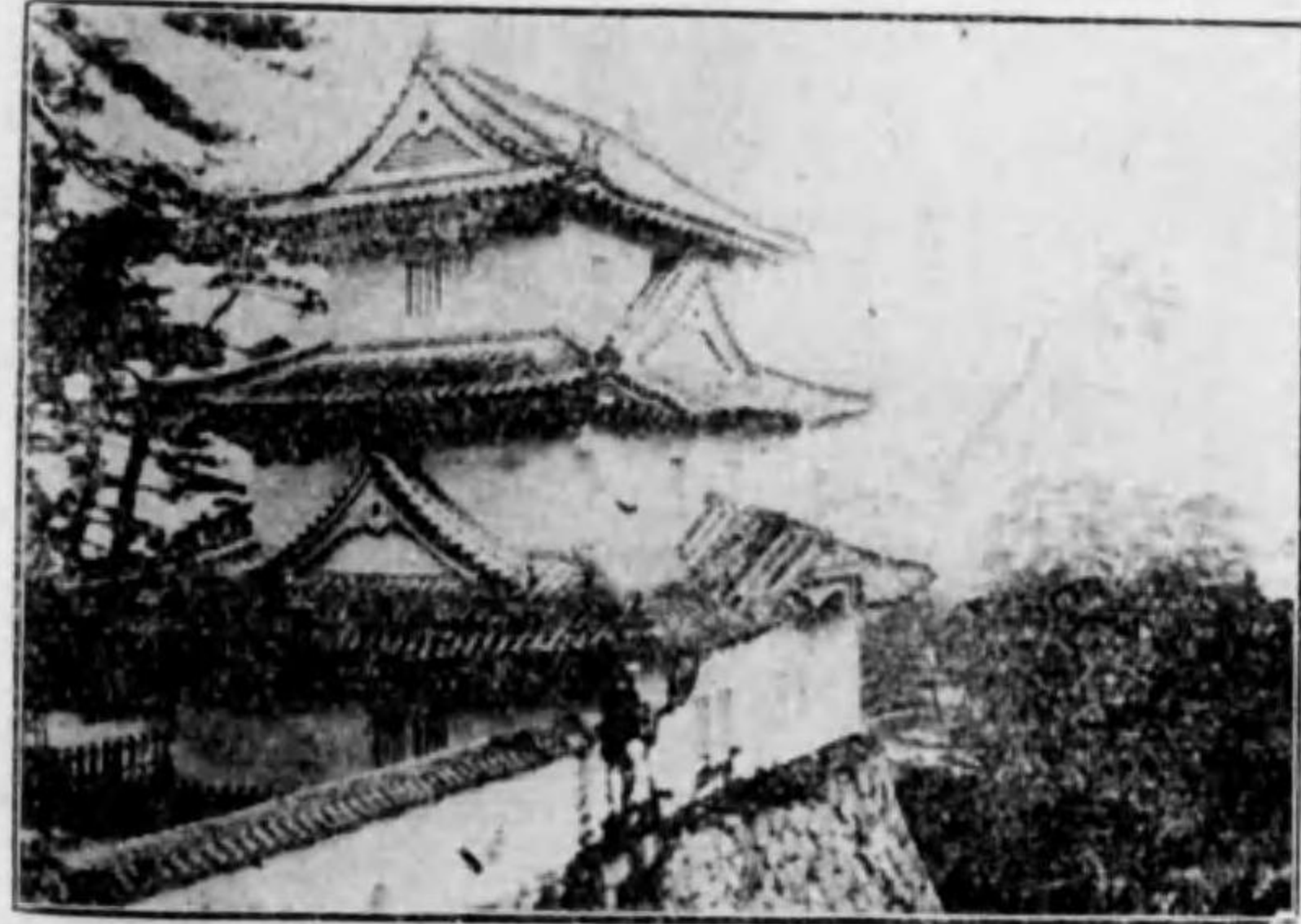
市内最大の天王寺公園があり、東洋一を誇る動物園、植物園の外に美術館、公會堂、市民競技場などがある。港 木津川尻國際飛行場移轉地造成のため、工費五百二十二萬圓、工期十ヶ年の豫定で住吉區地先海面九十一萬五千平方米、埋立の進捗中で、港内の面積六百五十五萬平方米、出入の船舶年三千七百萬噸、海陸集散貨物價格六億九千五百餘萬圓と算せられる。

橋梁 橋梁の多いことは昔から八百八橋と稱せられ中でも高麗橋・大正橋・鉾橋・昭和橋・櫻宮橋・大江橋・天神橋・天満橋、新淀川橋などは水都大阪を明証し、公園には天王寺公園の外、中之島・櫻宮・城北・田邊・扇町・平野・此花・住吉・墨江・都島などがある。その他市内の名所を擧ぐ

れば天満宮・豊國神社・大福寺・造幣局・難波神社・南の御堂・難波別院・北の御堂・津村別院・懷徳堂・御霊神社・坐摩神社・高津宮・道頓堀・千日前・心齋橋筋・戎橋筋・文楽座・官幣大社生國魂神社・吉祥寺・舊四天王寺の別所一心寺・茶臼山古墳今宮神社・八阪神社・歡樂新世界・鐵眼寺・木津大黒・阿彌陀池・茨住吉神社・雜喉場魚市場・土佐稻荷・道徳の松跡・野田の影藤跡・天保山・了徳院・加島錢座・鶴瀬寺・東光院・毛馬開門・崇禪寺・江口の渡・大宮神社・大阪飛行場・妙法寺・官幣大社住吉神社・別格官幣社の阿部野神社・長寶寺・帝塚山・天下茶屋・安養寺・四恩學園・郊外では濱寺公園・羽衣の農業博物館・南海高野線長野驛東南の觀心寺・大軌本線枚岡驛の東北官幣大社枚岡神社・別格官幣社四條畷神社・阪急箕面線の箕面公園・三島郡山田村には府營ゴルフ場・堺市の妙國寺・南宗寺などがある。

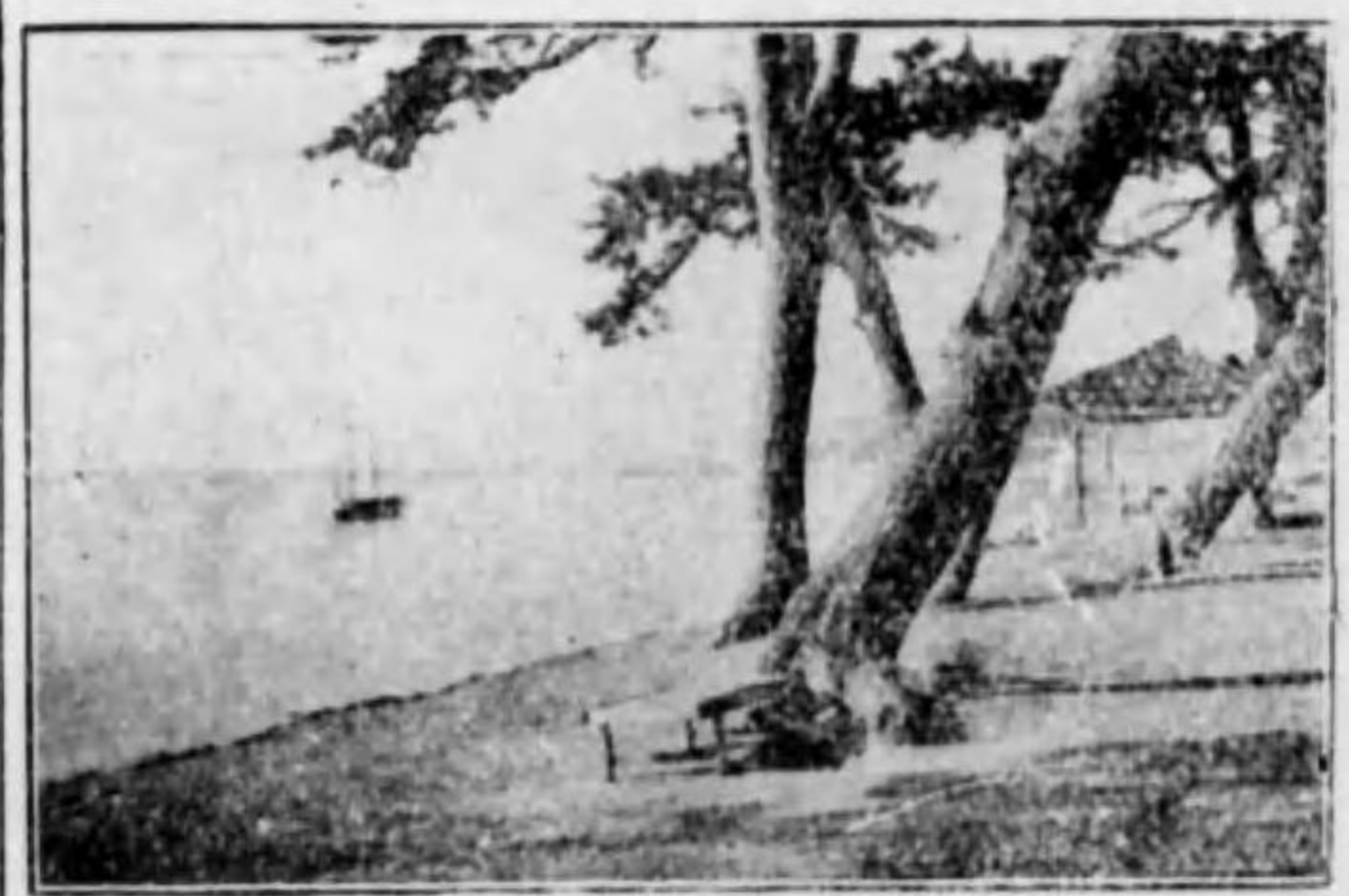
第七節 兵庫縣

神戸市は人口九十一萬餘、港内深く施設も整ひ、我國第一の貿易港である。工業もよく發達し、三菱・川崎兩造船所を始め幾多の大工場がある。市内の湊川神社は楠正成を祀り、遊覽



石明城

地としては布引の瀧がある。神戸・大阪兩市の間には東海道線の外に阪神・阪神急行の兩電車があり、最近阪神國道が改修せられて、更にこれに電車を通じ、兩市間の交通は頗る便利である。東方の灘地方は清酒の産地として名高く、人口九萬を有する西宮市はその中心である。尼ヶ崎市は人口七萬餘を有し阪神工業地帯の一部で硝子・綿絲・セメントなどを産し、神戸の西部須磨より人口四萬餘を有する明石市にわたる海岸は氣候良好にして白砂青松相連り、又一の谷、鶴越などの古蹟に富み阪神人士の休養地帯となつてゐる。明石市には紡績業が發達し、姫路市は第



明石の浦海岸

十師團司令部の所在地で、人口九萬餘を有し、毛糸・革細工を産し、白鷺城址は國寶指定の史蹟である。日本海斜面の豊岡は柳行李を産し、城ノ崎は温泉を以て名高い。この地方は大正十四年の大地震に被害を被つたが、今は復興されて居る。

神戸市 國際港神戸は秀れた觀光都市で、内外巨船の發着毎に來往する多數の内外人の最初に目につくのは日本の玄關神戸の全景で、市内中央部にある官幣大社湊川神社は、大楠公を祀り市民信仰の的である。繁華な元町商店街は、特色あるメーン・ストリートとして「元ブラ黨」を喜ばしめる。大神戸の特色は市背の裏山の風光に恵まれてゐる。

六甲山 ケーブルとロープウェイによつて、海拔九



白鷺城

百米の山上へ容易に達し、山頂の眺望雄大でキャンプ、スキー、スケートの好適地である。山上には廣大なゴルフ場、高山植物園などあり、遊覽バスも開通し、その西摩耶山は中腹までケーブルが通じ、展望に富み、山上に古刹天上寺がある。布引瀧 生田川上流に臨み、最近雄瀧と雌瀧を結び、見事な溪谷美をなしてゐる。布引貯水池の上流は關西四つてのハイキング・コースである。中央部諏訪山は、神戸全市を俯瞰する最適の場所動物園があり、最近再度山に達するドライブ・ウェイが完成した。其他鷹取山(丸山公園)・一ノ谷・須磨浦公園・須磨寺・舞子海岸・明石公園など有名である。

寶塚 川邊郡小沢村にある娛樂郷で温泉・動物植物園・圖書

館・兒童園などを包有する民衆的大遊園地をなし、有名な少又歌劇を上演する大劇場は、世界的のものとなつてゐる。



有馬温泉

國寶となつてゐる。規模の雄大な平山城で、大天守と小天守を聯結する、本邦唯一の現存せる城址として、築城術の粹を集めてゐる。最近石垣を再築し、永久保存の復原工事が講ぜられてゐる。

赤穂町及び赤穂御崎 赤穂は四十七士の發祥地として、また鹽の生産地として有名であるが、最近赤穂御崎海岸の絶勝地として世に紹介せられ史蹟、風光、名産のトリオをなしてゐる。赤穂城は淺野長直の築城で、今は僅かに石壘と老松を残し、城内大石御邸址にある大石神社は、大石良雄以下義士の靈を祀つ

第七章 中國地方

中國地方は本州の西部を占め、瀬戸内海に面する昔の山陽道と日本海に面する山陰道を包含し、今は行政上岡山・広島・山口・鳥取・島根の五縣に分れてゐる。

戸内海沿岸は港灣・岬角に富み、その間に無数の島嶼が散在して、山容水態繪の如く「東洋の多島海」又は「海の公園」と稱せられ、内海の一部は國立公園となつてゐる。またこの海上は古來航路の要路に當り、今も内外船の重要な航路となつてゐる。

氣候 山陰地方は裏日本式氣候で冬季に雨雪量が多いが、山陽方面は地形の影響により氣候溫暖で、晴天多く雨量少く、従つて製鹽業に適してゐる。

産業 全體を通じて廣大な平野は無いが、丘陵、山谷まで農耕に利用され、特に山陽方面はよく發達して米麥に富み、蕎麥の栽培も盛んである。岡山縣には桃を多く栽培し、また岡山・広島二縣には梨・柿を産出し、山口縣には蜜柑の特産がある。産地一帯は中國牧牛地帯で、その地域は兵庫縣の北部に及んでゐる。牛肉は阪神地方に送り出され、広島ではまた罐詰に製造されてゐる。

産 水産業では内海の鰯・鱈、日本海の烏賊は名高く、山口縣は朝鮮近海への出漁好適地となつてゐる。広島灣の養蠶は古來名高く、味野・松永・防府附近には製鹽業が盛んに行はれる。砂鐵は日野・斐伊諸川の上流に産し、銅は吉岡より、石炭は宇部・大嶺より産出し、秋吉からは大理石を産出する。工業品では岡山・広島二縣の綿絲・綿織物・繭織物、岡山縣の麥稈眞田、広島縣の清酒等が名高く、和紙は山口縣に多い。商業は概ね阪神の商圏に屬し、内海方面に盛んである。開港場も所々にあるが、貿易は神戸の後背地である關係上、下關以外は盛んでない。

第一節 岡山縣

人口 山陽地方は氣候よく、交通、産業共によく發達してゐるから、人口の密度が大で都邑、港津が甚だ多いが、山陰地方は土地が僻在し、天産に乏しく、交通も亦久しく不便であつたため、人文の發達が後れて人口の密度も小さい。

岡山市は交通の要地で人口約十七萬を有し、花菱・麥粉等を産し倉敷市・笠岡と共に綿絲、綿織物を産する。名高い後樂園

は岡山驛より一軒六の地點にある。高梁は麥稈眞田の集散地で、津山市は人口三萬六千餘を有し、津山盆地の名邑として早く開け、宇野と四國の高松市との間には、聯絡船が往復してゐる。又倉敷市は人口三萬五千を有する都會である。

後樂園 日本三公園の一で造園法の粹を集め、日本庭園美の代表的のものと稱せられる。

岡山城



岡山城 鳥城と呼ばれ姫路の白鷺城に對比される名城で、天守閣は宇喜多秀家の築くところ、西の月見櫓・西丸西手櫓・石山門と共に國寶に指定、三十二萬石の城下街を俯瞰で眺望また絶佳ある。五百羅漢 操山の中園國富少林寺の境内にあり、百五十年前京

の名匠の手になつたものと傳へられる。吉備津神社 四道將軍吉備津彦を祀る官幣中社で、附近に藤原成親卿の墓がある。

津山附近 松平公十萬石の城下街として、山國の詩の街であつたが、今では姫津、作備、因備各線の交錯する主要地となり鶴山城趾は市の中央高台にあり櫻の名所である。作樂神社は津山の西一里、元弘の亂に御醍醐天皇隱岐へ御遷幸の砌り、美作院庄に御駐蹕あり、十字の詩による兒島高德の誠忠は有名な史話である。

鷺羽山 海上國立公園の展望台といはれる「鷺羽山」は、岡山から宇野線に乗り、茶屋町驛で下津井鐵道に乗替へると、岡山から約一時間で山麓の鷺羽山驛に着く、金波赤す海上に蝸牛のやうに匍ひ出た捕見岬、その中央の禿山が鷺羽山で、その頂上奇岩重疊するところに鍾秀峰がある。脚下には鹽飽七島はじめ、無數の島が点在、瀬戸内海美の極致である。

豪溪 伯備線豪溪驛より約一里半、花崗岩より成る横谷川の峽谷にあり、數町の間兩岸絶壁または石柱を成し、中國耶馬溪といはれる。この外西大寺・岡山城・大原美術館などがある。

第二節 廣島縣

廣島市は中國第一の都市で人口三十一萬餘、要港を控へ總詰人造絹絲などを産出する。市内には第五師團司令部をはじめ、各種の學校あり、この地方産業文化の中心である。宮島は古戰場の一で嚴島神社を祀り、その風光は日本三景の一に數へられてゐる。呉市は人口二十三萬餘を有し、軍港の一で巨艦、巨砲を造る壯大な工廠がある。東部の福山市は人口六萬を、尾道市は人口三萬餘を有し、共に壘・表・庭の集散地として發達し、北部の三次からは大麻を産する。又三原市は人口三萬七千餘を有する都會である。瀬の港は四國に渡る要津に當り、明媚にして、瀬戸内海國立公園指定地となつてゐる。



(城島廣) 營本大

嚴島神社 龍宮が浮び出た



尾道港

かと思はれる壯麗無二、結構優婉を極めた本社は、嚴島町の西方笠松から西松原にわたる一帯の海面に造られ、鐵道棧橋から美しい土産物の店々を左右に石の大鳥居を潜り、立ならぶ石燈籠や、馴れ近づく神鹿の群れの間を海そひに進むと、やがて本社の入口に達する毎年正月元日の拂曉には極めて神秘的な御衣進獻の儀があり、官祭は六月十七日で節分の年越祭、七月望の日より三日目の管絃祭、八月望の日より四日目の延年祭は嚴島の三大行事である。國寶指定百十八點を蔵し、古代美術の粹を味ふべき貴重な存在である。

千光寺山 日本百景の一つ、春は櫻、夏は夕涼み、秋は菊、冬は雪景色の名所で、山中の大寶山權現院千光寺は眞言宗の名刹、大同元年の創建と傳へられ、本尊十一面觀音は、聖德太

子の御自作で多田満仲の守本尊との記録あり、境内の烏帽子岩は夜光の玉の傳説がある。  
淨土寺山 瀧戸内海の展望台で、登山ドライブウエーは、西國諸大名が参觀交代で往來した舊山陽街道に當り、山中には空海上人作といふ如音輪觀音と不動の形象を彫込んだ觀音岩、不動岩、佛號岩など巨巖怪石が聳立し、頂上峰の薬師堂からの展望また佳である。



嚴島神社千疊閣

吳沿線能地の芝罘 神功皇后三韓御征伐の砌、船上から神酒をふるまはれ、爾來神徳により毎年春、櫻鯛が酔つて亂舞するといふ神祕な口碑を傳へてゐるが、浮鯛を手網で掬ひとる風景は、こゝ特有のものである。  
福山城 元和五年水野勝成の築いたもので、城内に現存の五層六重の天守閣

伏見三層櫓・筋鐵御門・淀君の浴室であつた清風樓等いづれも國寶となつてゐる。

瀬の浦



瀬の浦 瀧戸内海國立公園の西玄關の浦は、備南の翠巒海に沈むところ、紺碧を湛える巖礁に仙醉以下の多數の翠色滴る島々が浮び、國幣小社沼名前神社・國寶安國寺釋迦堂・辨天辨財天二層塔祠・小松寺・對潮樓・爽明樓・山中鹿之助の首塚・平賀源内の生神など巡拜遊覽する所が多い。この外山陽紀念館・宇品港・江田島海軍兵學校・頼家發祥の地・千光寺公園・帝釋峽福山城なども縣下の誇りであらねばならぬ。

第三節 山口縣

山口市は小京都と稱せられ、毛利氏の舊城趾で人口約三五萬



千を有し、別格官幣社豐榮神社には毛利元就を祀つてゐる。開港場萩市は夏蜜柑を以て名高く、松陰神社、松下村塾など維新の遺跡がある。その東方には指定の名勝長門峽の奇勝がある。防府は製鹽業の中心として榮え、要港徳山の海軍燃料廠に於ては、大嶺及び朝鮮の無煙炭を原料として軍艦用の煉炭を造つてゐる。宇部市は人口約八萬を有し石炭を産し、小野田はセメント工場で名高い。下關市は人口十三萬餘を有し本州の西南端に位し、九州・朝鮮に通ずる海上交通の要點を占め、また漁港としても我國有数の港吉で、米、鮮魚の取引が盛に行はれる。下關より彦島を経て九州に至る海底トンネルが計畫されてゐる。又萩・徳山・防府の各市は人口三萬餘を有する都會である。



秋芳洞

長門峽 御堂ヶ原から萩市へ流れる阿武川の上流十ニ軒に亘る峽谷で、一帯に石英粗岩に覆はれ峽中に切籠・切窓・龍宮淵などの勝地がある。  
青海島 大津郡仙崎町と一衣帯水の周圍約三十軒の小島で、數百仞の斷崖が日本海に臨み、怪巖石柱が海中に亂立して壯觀を極め、名勝指定地となつて居り、島巡りのシーズンには四月上旬より十月末までとし、巡遊の時間は二時間半乃至三時間半であるが、仙崎町から定期船も出てゐる。  
秋芳洞 山陽線小郡驛から二十四軒の地點で、蜿蜒八軒に亘り洞内に山あり、川・瀧・淵あり・鐘乳石・石筍・石柱など簇生して奇觀を呈してゐる。指定の天然紀念物である。  
秋吉臺 本邦最大の石灰郷で東西十六軒、南北十二軒の廣大

な地域を占めてゐる。その他鶴の渡來地八代は、熊毛郡八代村にあり、錦帯橋は玖珂郡岩國町にあつて、共に有名である。

山口附近 山口市は四百餘年の昔、武威を中國に振つた大内氏の居城地であり、また明治維新の策源地でもあつただけに、舊蹟が多い。遊覧山口のトップを行くものは先づ龜山園と湯田温泉である。龜山は市の中央をやゝ北によつたところにある小丘で、日露戦役記念砲台もあり。規模廣大な名園である。香山園はその北方、五重塔で名高い瑠璃光寺と、名刹洞春寺にはさまれた塔は特別保護建造物となつてゐる。野田には別格官幣社野田・豊榮神社がある。龜山園附近には、防長先賢堂や教育博物館等があり、



錦帯橋

下関市附近 本州の最西端に位し、對岸門司市と共に濶野北支の咽喉を扼し、待望の關門トンネルも昭和十年秋いよいよ着工の運びとなり活況を呈してゐる。東長府町に接し觀光地



(松田陰圃舊宅) 松田下村

萩市附近 萩市は夏蜜柑とともに、明治維新の發祥地として知られ、明治の元勳を教育した吉田松陰を祀る松陰神社、松陰が教へた松下村塾、伊藤博文公舊宅松陰誕生地、舊藩主毛利氏の祖先代々の東光寺等は松陰神社から近い。さらに北古萩には野山、岩倉兩獄趾、南古萩には木戸孝允侯の舊宅、高杉東行の誕生地、堀内には萩城趾、江向には幾多の英才を生んだ瀧學明倫館趾がある。

京都湯田は市の西南、七廻落ちの遺蹟高田園がある。

多く、春帆樓、日和山公園などがある。

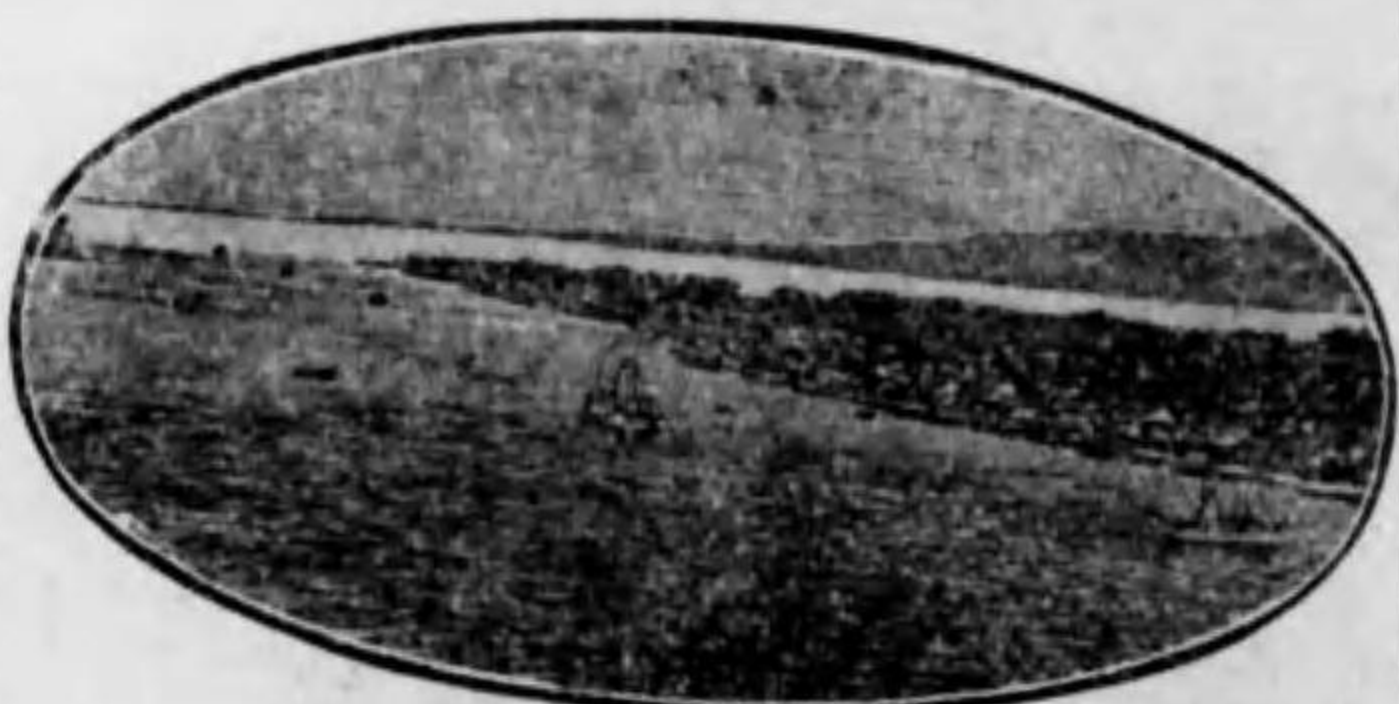
### 第四節 鳥取縣

鳥取市は人口四萬五千餘、東部平野の中心地で、倉吉は木綿織物を産出する。米子市は人口約三萬七千餘を有し交通の要地で、東方に聳える大山は「出雲富士」の稱あり、日本海方面唯一の國立公園である。また白砂青松の夜見ヶ濱の砂嘴の尖端には、日本海方面の良港として知られる境港がある。



大山國立公園

大山國立公園 太古大國主命が、國土啓發に御盡力遊ばされた出雲民族、即ち大和民族の發祥地で、幾多の神話史實を秘め、奥床しい神代の香が偲ばれる靈峰大山をめぐる群山は、



境港

境 模範的の巨大な大鐘狀山で標高實に海拔千七百三十一米、忽然として天空に聳え、出雲富士または伯耆富士と呼ばれ、一萬八千町歩の公園區域内には三鈴峰・矢筈ヶ山・鳥ヶ山・甲ヶ山など豪壯雄峻の連峰があり、夏は登山避暑客が殺到し、冬は關西唯一の大スキー場となり、春は新緑、秋は滿山の紅葉錦繡の美觀を呈するといふ代表的景観地である。また植物學上貴重な研究地で、特にキヤラ木の純林、ブナの原始林は世界的に誇るもの。山腹に残存する大山寺は、今を去る一千二百年前、金蓮上人の草創にかゝる名刹である。

浦富海岸 岩美郡浦富附近の海岸で、無數の島嶼が散在し、白砂青松の長汀と共に大景觀を呈し、山陰松島の稱あり、名勝天然紀念物に指定されてゐる。

ビヤの沙漠地方にあるベルファンがあり、指定天然記念物である。

**船上山** 大山國立公園の連峰で、元弘の昔名和長年が後醍醐天皇を奉じ、義兵を擧げた舊蹟である。山麓の御來屋町には別格官幣社名和神社がある。

其他三徳山投入堂・荒木又右衛門墓・大山阿彌陀堂・湖山池・米子市根上り連理松・大山キヤラ木純林及びブナの原始林なども名高い。

### 第五節 島根縣

松江市は宍道湖の東岸にあり、松平氏の舊城下で人口五萬二千を有し、風光が美しく、附近から出雲焼を産す。大社は出雲大社鎮守の地で参拜者絶えず、濱田は開港場の一で紙の集散が行はれるが良港ではない。日本海上の隠岐は鎌倉末期の史蹟地で鰯の産多く、西郷は好漁場である。

**松江** 宍道湖畔にあり東洋のゼネツアと稱せられる景勝の都市で、觀光島根の中心をなし、市内の松江城は越ヶ岳七本槍の一人堀尾茂助吉晴の築城にかゝり、國寶に指定されてゐる。



松江城

**安來** 神代の昔素戔嗚尊が「この地に來り吾が心は安來なれり」と宣ふたことにより町名を安來といふ。安來節發祥の地で、十上山は町の正面海上に浮んでゐる。孟羅盆月輪神事は唄の町にふさはしい年中行事となつてゐる。

**美保關** 島根半島の東端風光明媚の地で、古來隱岐島へ渡海の要津として紅湊級に譚はれた。美保神社は國幣中社で事代主神俗に惠比須様を祀る。關の五本松は町の西方山上にあつて俚諺に名高く、半島日本海に面したところは、出雲赤壁の

名あり、奇岩怪嶺の多い中にも、加賀の藩戸が景勝第一と稱せられる。

**大社** 説明の要もないほど有名な官幣大社出雲大社の所在地で、一年の賽客百五十萬と傳へられる。大國さんの大國主命が祭神で、社殿は有名な大社造、西郊稻佐の濱は「國譲り」の神話に出て居り、日御碕は大社の西方二里、國幣小社日御碕神社と日本一の大蘇鐵、日本最高の燈台などがあるので遊覽者が絶えない。

**鬼の舌振** グロテスクな名であるが、出雲風土記に見えた五日女命の舊跡で昔和邇が命をしたつて來た時、石で川を塞いだといふ。それから一里ばかり山奥、溪流十數町の間は、奇岩怪石の連続で、碧水岩峽を劈いて奔流し夏なほ寒い。

**隱岐島** 後鳥羽上皇、後醍醐天皇に關する悲話哀史はまことに畏れ多いが、島前、海士村にある後鳥羽院行在所址、源福寺遺址附近にある御火葬場址・村上祐九郎氏邸・鍛冶屋敷・黒木村にある後醍醐天皇の行在所といはれる黒木御所址に奉拜を忘れてならない。焼火神社・玉若酢・水若酢兩神社・國分寺址・飯山古墳は考古癖の人には見逃せぬ所であらう。又樹齡千年といはれる八百杉、檀鏡瀧のほか、ドツサリ節と日

本唯一の和製國牛も土産話になる。

**千丈溪** 山陰本線石見江津驛から南下、三江線川戸驛で下車約一里にして千丈溪に達する。溪谷一里餘、岩は石英粗面岩で水流の急湍に、溪間の美を自然に形成し、二十四溪の魚切、鶯の淵・大淵・猿渡りなどが最もよい。

**斷魚溪** 同じく三江線因原驛から二里のところ、江川の支流矢上川の溪間にある奇勝で、邑智盆地を貫流する千丈溪とは、趣を異にして溪流が狭い。

### 第八章 四國地方

四國地方は四國島とその附近の島嶼とから成り、行政上徳島・香川・愛媛・高知の四縣に分れてゐる。

**地形** 四國山脈がほと東西に走り、本島の地形を南北に分ち氣候、人文などに大なる影響を與へてゐる。河流はこの山脈より四方に分發し、四國一の吉野川は東流して徳島平野を展開してゐる。吉野川上流の祖谷地方は、交通不便で處々に蔓橋があるので有名であつたが、近時針金橋に改められた。太平洋岸では室戸・嵯陀の兩岬が遠く相對して土佐灣を抱き、瀬戸内海岸では讃岐・高繩の二半島が突出して備後灘

を擁しこの間に島嶼が多い。四國山脈の海に没する所は出入多く、岬角、港灣に富んでゐる。

氣候 内海斜面は山陽地方と同一氣候帯で、氣候温和にして雨量少く、晴天の日が多い。太平洋斜面は紀州南部と同一氣候帯で、黒潮の影響を受け高温で、夏季には降雨多く、本邦の多雨地帯の一である。

産業 内海斜面は地域が狭いが耕地が開けて米麥の産多く、吉野川流域は古來煙草と藍の産を以て名高い。西部の丘陵は楮・三極を栽培して和紙を製し、また植を植えて木蠟を採取する。太平洋斜面には森林が繁茂し、木材・薪炭・樟腦等の林産物が多い。

水産は頗る豊富で内海の鯛・鱈、太平洋岸の鰹・鱈等は昔より著はれ、高知縣の鰹節は特に名高い。製鹽業は内海重要産業の一で、撫養・高松・坂出・波止濱附近に盛んに行はれる。別子銅山として知られ、その鑛石は鐵道で新居濱に集められ、それより海上の四阪島に送つて製鍊される。工業は活潑ではないが、愛媛・徳島二縣の綿紡績、高知・愛媛兩縣の和紙、小豆島の醬油、香川縣の眞田などがある。商業取引は内海沿岸の主要都市において行はれるが、總て阪

神の商圏に屬し、今治は唯一の開港場であるが貿易は振はな

交通 島地のため主として沿岸航路により交通するのと、中央に高峻な山脈が連立してゐるために、鐵道は十分に發達しない。瀬戸内海は船舶の往來が盛んで阪神・中國・九州との航路が多く、その他沿岸航路は主要港市を連絡してゐる。

人口 内海方面は早くより開けて人口は稠密であるが、太平洋方面は交通不便のため文化が大に後れ、人口も比較的疎であるから都市も至つて少ない。

### 第一節 徳島縣

徳島市は人口約十萬を有し、綿絲、織織を産し、その西の脇町は藍、池田は煙草の集散地である。小松島港は阪神との航路の要路に當り、綿絲を産し、撫養は指定名勝地の鳴門海峡に面し製鹽業の中心である。

徳島公園 徳島市の中央の城山の高さは六十二米で、山麓には先住民族穴居の跡貝塚がある。又眉山公園は徳島市西南の背景をなし櫻の名所で、山腹に新四國靈場がある。

阿波十郎兵衛遺跡 吉野川の下流北岸の、板野郡川内村にあり

刑死の松や一家の墓がある。

鳴門公園 板野郡鳴門村の

### 鳴門海峡

最北端で、對岸の淡路との間幅員僅か十四町の間、千潮時に内海から外海に奔流する潮流を阻止し、大渦の壯觀を展開する。

祖谷溪 吉野川上流の阿波の秘郷祖谷における大溪谷で、新緑と紅葉の名所である。

歩危 土讃線沿線三好郡三名村にある吉野川上流の溪谷で、新緑の頃は舟遊に賑ふ。



### 第二節 香川縣

高松市は内海の良港で、人口約九萬を有し、また中國との鐵道連絡の要地に當り綿絲を始め塗物、保多織の特産がある。こ



### 寒霞溪老杉洞

屋島 源平會戰の史蹟と瀬戸内海國立公園展望の勝地で、史蹟および天然紀念物の指定地となつてゐる。





讃岐 沖

**五剣山** 四國八十五番札所  
八栗寺あり、著名の山である。

**栗林公園** 日本式庭園の粹を極めた名勝指定地。

**寒霞溪** 奇峰怪巖に秋季の紅葉、こゝも名勝指定地となつてゐる。

**金刀比羅宮** 海難守護の神で年三百萬人の賓客がある。

**丸龜城址** 現今龜山公園と

して公開されてゐる。

**善通寺** 弘法大師誕生の地、大師自作の本尊薬師を安置し、眞言宗の大本山である。

**琴弾公園** 観音寺町にあり、有明濱の砂上に印せる「寛永通寶」の砂川、愛媛繪は珍らしく、また海水浴場としても有名である。

**仁尾平石** 仁尾町の海上二十町の沖合にあり、石の大きさと東西



高濱 港

松山市は人口八萬二千、伊豫絋・綿ネルの集散地で、市の中央にある松山城は國寶に編入されてゐる。附近の道後温泉で名高く、高濱・三津ヶ濱は松山市の外港で、もと三津濱がその門戸となつてゐたが、高濱の築港が出来て以來は高濱が松山の門戸となつた。今治市は人口五萬餘を有し綿ネルを産し、附近の波止濱は製鹽の中心である。縣の西部には製紙、製蠟の産が多く、大洲はその中心となつて榮え南濱にはまた人口五萬餘を有する宇和島市、



宇和島城

人口三萬餘を有する八幡濱などの港市がある。

**松山城** 賤ヶ岳の七本槍で名高い加藤嘉明が關ヶ原の戦功によつて増封され、城地を勝山に求めて慶長七年起工し、三十年の歳月を費した名城で、山上より内海や中國の山々を脚下に見る眺望は無類の大觀で、昭和十年五月國寶に指定された。

**面河溪** 松山より約十七里、上浮穴郡面河村にあり、黒部峡谷の雄大と上高地の幽邃を兼ね、原始の大森林を配する壯觀は天下の奇勝である。また學術上珍らしい岩層に富み、天然



道後温泉

記念物指定の八釜の奇勝などもある。

**波止濱** 今治市を北に一里半、鹽の生産地として知られ年産八百七十萬軒、町の北寄りの波止濱公園からの展望は實に絶景で、世界山岳映畫の權威ファンク博士を唖賞せしめた。

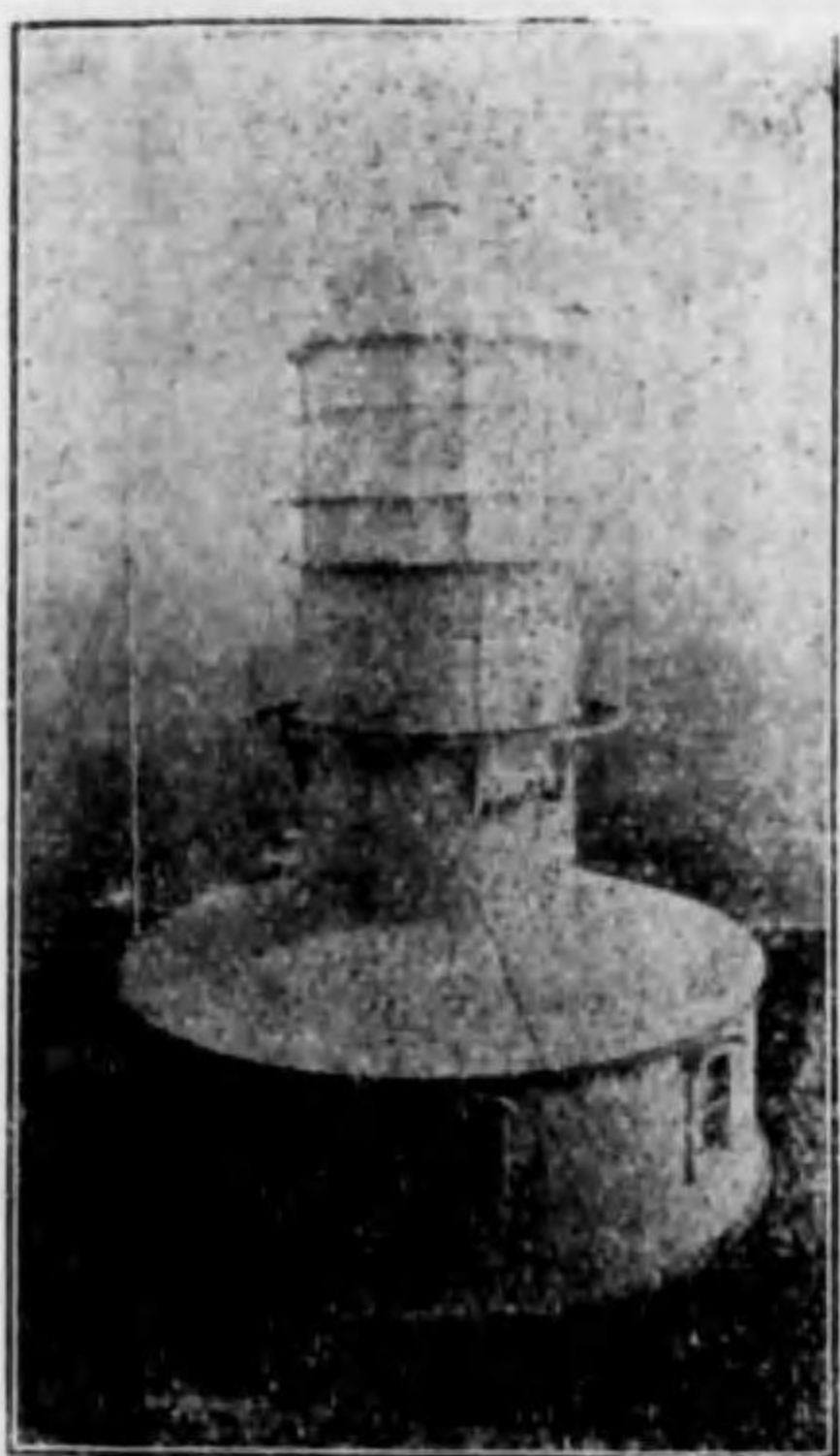
**松山道後附近** 寒城三百年の名城松山城を見物して市街に入ると、末廣町正宗寺境内に伊聖子規の埋髮堂と、子規遺愛の品を陳列する子規堂があり、また二番町には子規と漱石の假宮で鳴雪・虚子・碧梧桐など搖籃の家がある。こゝは有名な漱石の「坊ちゃん」を生んだ家である。一番町から電車に乗ると、わづか七分で泉都道後に着く、驛のすぐ南に小早川隆景、福島正則の居城だつた湯月城址が、春秋の花の名所道後公園となつてゐる。

### 第四節 高知縣

高知市は人口十萬餘、南四國の中心地でセメントを産し、浦戸はその外港をなし土佐節の市場である。伊野は製紙業の中心で、その他須崎・宿毛・甲ノ浦などの港市がある。また津呂は捕鯨の根據地として知られてゐる。

室戸崎 日本八海景の第一勝で、岬端断崖をなし、海濱には奇巖亂立怒濤の激する時、最も壯觀を極める。あこり梧桐などの亞熱帯植物が発生し、山上には坂本龍馬の銅像、四國靈場最見崎寺、燈臺、展望臺などがある。

高知城 國寶に指定され、城下に別格官幣社山内神社がある。



龍河洞

龍河洞 香美郡 佐古村 延長千五百米 史蹟にわたる

山脈が連亘してゐる。その間に阿蘇火山脈が通じ、南部の霧島火山脈は遠く臺灣にまで及んでゐるが、河川はすべて是等の山脈から發源してゐる。遠賀川は北流して日本海に入り、その流域は有名なる筑豊炭田である。西部には筑後川・白川などが流れて有明海に入り、下流には筑紫平野及び熊本平野が開けてゐる。日向麓斜面には長流が多い。海岸の屈曲は我國第一で殊に北西岸に出入著しく、北には博多・唐津の灣入があり、島原半島の内側に有明海が深く入り、八代海の西には天草島が横はつてゐる。南には大隅・薩摩の二半島が突出して鹿児島灣を圍み、その西南に薩南列島・琉球列島が列つてゐる。東北には國東・佐賀關の二半島が出て別府灣を擁し、豊後水道には小出入が多く、西北の海上には五島・壹岐・對馬がある。

氣候 北部は山陰地方の如く、冬季は北西の風が強いが、熊本平野はやゝ大陸的氣候である。南部は氣温高く雨量に富み多雨地帯の一部である。沖繩諸島は亞熱帯氣候を呈し、終歲霜雪を見ず、夏秋の交は颱風襲來の衝に當つてゐる。

産業 筑紫平野と熊本平野には米麥の産多く、筑紫米・肥後米は古來名高い。また筑紫平野には檀が多い。粟は熊本縣、



山内一豊銅像

天然紀念物 鐘乳洞 窟で石筍 石柱九百 十五房、 室十八、 瀑布十一ヶ所あり

中でも鐘乳石に巻き込まれた彌生式土器は、三千年前の古代民族の穴居生活を語り、考古學上の至寶とされてゐる。この外龍串、横波三里、足摺崎などの勝地がある。

### 第九章 九州地方

九州地方は九州島とその屬島と琉球列島とを含み、位置は日本列島の西部にあり、朝鮮・支那に對し早くより大陸との交渉が行はれ、對外的史蹟に富み、現今も交通、軍事、經濟上重要な位置を占め、行政上福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖繩の八縣に分たれてゐる。

地形 北部に低山性の筑紫山脈があり、南部には高峻な九州

甘藷・甘蔗は沖繩・鹿児島・鹿兒島の二縣、煙草は鹿児島に多く、菜種は福岡・鹿児島二縣に、蘭は大分縣に産出する。又廣大な火山の裾野には古來牧馬が行はれ、鹿児島・熊本・鹿兒島の二縣はその生産地である。沖繩縣には豚の飼養が多い。

森林は東南部に多く、大分・宮崎の二縣には林業がやゝ發達してゐる。沿海は海流の影響を受けて水産物多く、長崎の鳥賊・鰻・鱈・鰯、鹿児島・鹿兒島の鰻・鰯等は産額が多い。鑛産は筑豊・三池等の炭田より我國石炭の大部分を産し、北九州の工業地帯を潤してゐる。又山ヶ野・大口等に金、槇峯に銅、谷山に錫を産し、佐賀關に大製鍊所があつて金・銀・銅を製鍊して居る。

かくの如く石炭の産出が多く交通、運輸が便で、原料、勞力が豊富なため、北九州に大工業が發達して、製鐵・製粉・製糖・綿絲・硝子・セメント・麥酒・洋紙・電線などの工場が並び、中でも八幡製鐵所は東洋第一の規模と稱せられてゐる。その他長崎の造船、大牟田の人造肥料、有田・薩摩の陶器、博多織及び久留米・薩摩・琉球の耕、大分縣の蘭製品、福岡縣の清酒などは知られてゐる。

この地方は古來支那大陸との關係深く、また西洋人も早く

より渡来し、坊ノ津・平戸・長崎・大分などは、對外貿易によつて榮えた時代があつた。今も門司・長崎を始め十四の開港場を有し、主として石炭を積出して居る。

交通 本島の西を鹿児島線が縦貫し、東海岸を走る日豊線と環状線をなして居る。その他筑豊線・長崎線・肥薩線などがあり、最近横断線の肥後線も全通した。門司・長崎は外國航路の要地に當り、鹿児島は琉球・臺灣に到る航路に對し別府・大分は内海航路の要衝に當つて居る。

人口 人口は南部は疎であるが、北部は早くより文化開け、近時は鐵工業地として著しく發展し人口は稠密で、多數の市がこゝに集つて居る。

### 第一節 福岡縣

門司市は人口十二萬餘を有し九州の門戸に當り、内外航路の一起點で船舶の出入が多く、盛んに石炭を出し、製粉・麥酒・セメントを産出する。小倉市は人口十一萬を有し、綿布・鋼材・電球を産し、人口七萬の戸畑市、人口二十一萬の八幡市には硝子・綿絲・コークスを産するが、殊に八幡の製鐵所は名高い。何れも人口四萬餘の飯塚・直方の兩市は炭坑の要地で、若松市

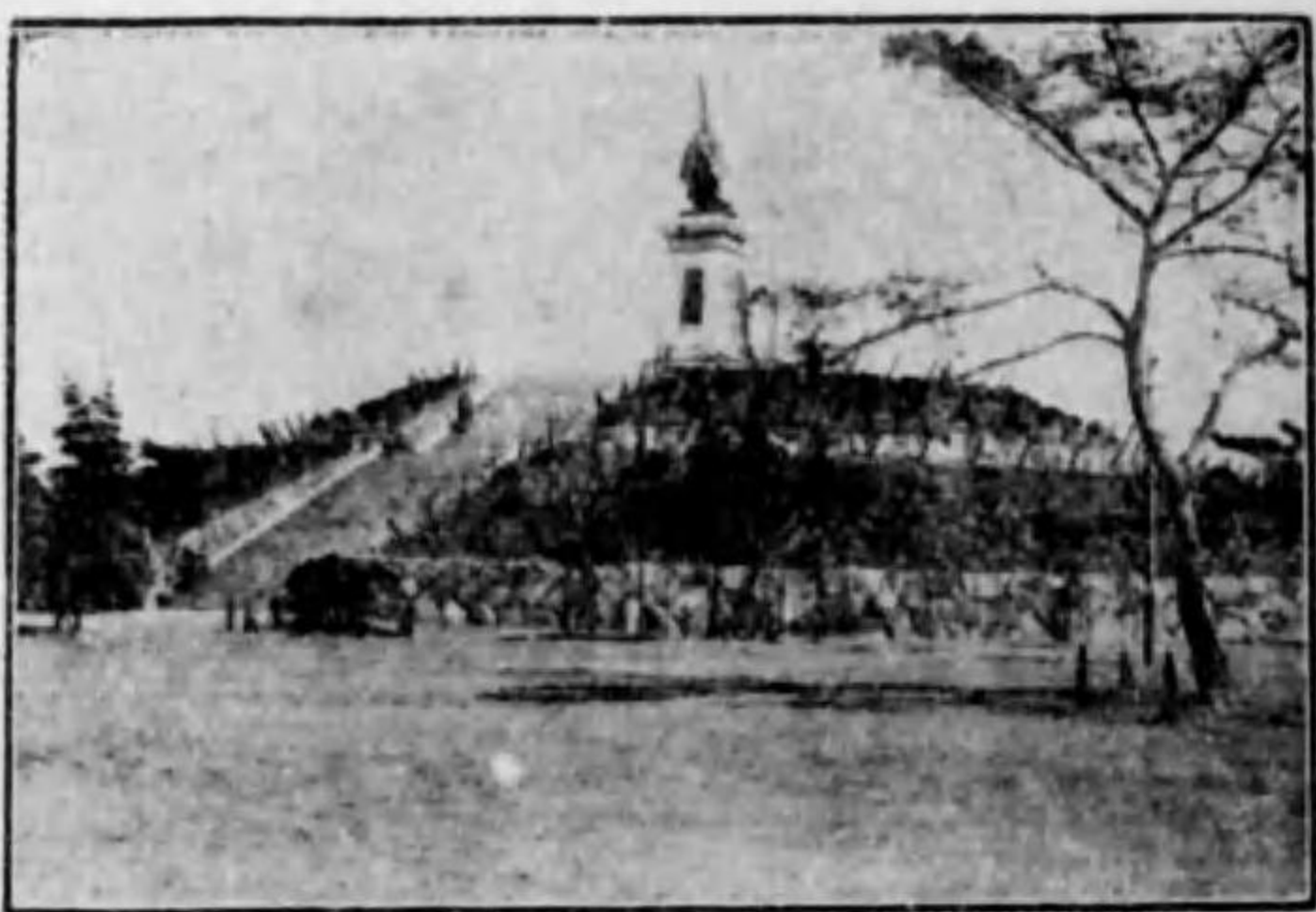
は人口七萬餘を有し石炭を出して鐵鑛を入れて居る。

福岡市は人口約三十萬を有し、商工、學術の中心で博多織・綿布を産し九州帝國大學がある。博多灣は元寇の史蹟で、附近に宮崎宮・香椎宮・太宰府神社などがある。久留米市は人口九萬餘を有し綿を産し、大牟田市は人口十萬餘を有し三池炭坑を控えて紡績、人造肥料工業などが起り、外港の三池港は石炭を積出すを以て賑つて居る。

福岡市と其附近 雁の巢飛行場は近代的名所で廣大二十萬坪を誇る筑前一ノ宮住吉神社は同社中全國第一のもの、大濠公園は水面七萬坪ドライブウエー、大プール、テニスコートなど近代設備を整へて居る。西公園は紺碧の博多灣を一時に收め海の中道、志賀、能古の島々を望み風光明媚である。元寇防塁址は笹の松原にあり文永の役の昔を物語つて居る。東公園には龜山上皇・日蓮上人の銅像及び武徳殿がある。宮崎八幡宮は官幣大社で建物は國寶に指定されて居る。その他香椎宮・宇佐八幡宮・宮地獄神社・觀世音寺・都府樓址・菅公論居の禊寺址、水城防塁址などの史蹟は至るところにある。奇岩木屋の大門、幕末女勤王家野村望東尼隱棲の平尾山莊、貝原益軒先生の墓もあり、神屋宗湛の茶室湛洗庵も國寶に指定

されて居る。

八幡市と其附近 所謂八幡製鐵所の所在地で、縣社八幡宮・豊山八幡神社などがある。附近の遠賀郡折尾町の中間を流れる延



(園公東) 像銅御皇上山龜

長二里の堀河の運河は元和年間藩主黒田長政の起工せるものである。戸畑市 明治專門學校・中原皆好園・大谷淨水園・名護屋岬があつて名高い。若松市 惠比須神社は響灘に展く風光絶佳の所にある。

直方市 安永元年賀大里正、渡邊善吉の築造した岡森の振・鷹取城址・日若公園などがある。

飯塚市 輪藏址・貝原益軒の屋敷跡・石童丸の妹菊千代の墓・勝守山公園・椿温泉などがある。

小倉市 小倉城址・延命寺山の白帆青波に映ずる絶景、宮本武

藏の碑、長州奇兵隊戦死者の墓、藩主小笠原家の菩提寺福聚禪寺、高田又兵衛、香月牛山の墓などがある。

門司市 怒潮早瀬の瀬戸は著る平家の末路を偲ばせ、柳御所・文字ヶ關・老松公園・清瀧公園などあり、英彦山は九州第一の靈山で海拔四千尺、全山老杉簇立して鬱蒼天を蔽ひ、史蹟鏡山、水晶の簾を懸けたるが如き急流鮎返りがあり、京都府椿市村の青龍窟、刈田の靈洞窟、行橋町の古墳、綾塚も知られて居る。

久留米市 鎮西第一の禪道場梅林寺あり、大本營跡、篠山城址、井上傳女の碑、高山彦九郎の墓、水天宮あり、筑後川は千歳川、一夜川また筑紫二郎などと呼ばれ鎮西一の大河、その昔は屢々洪水に悩まされたもの、附近朝倉郡秋月町には黄楊の古木繁る古廷山・山田堰・橋廣庭宮址・大原古戰場・高良山などがある。

大牟田市 三池、黒崎兩公園・普光寺・高行宮址・石神社古墳・石人、四ツ山、樞木などがある。

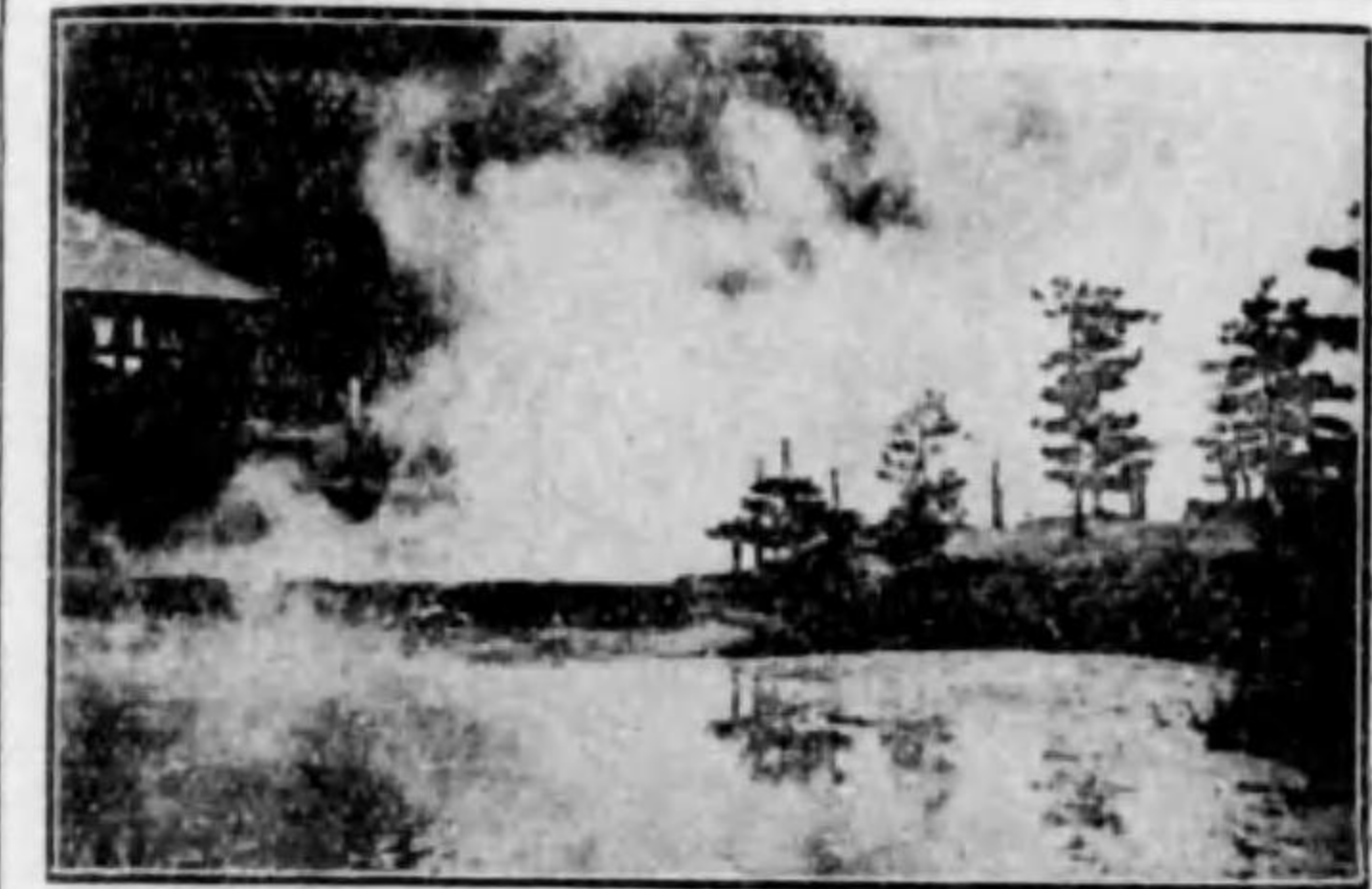
なほ縣下の史蹟は太宰府址・水城址・筑前國分寺址・國分瓦窯址其の他で、天然記念物は湯蓋の森と太宰府神社の樟・山門郡、三潞郡などの鶴・宗像郡大島村沖の島原始林など多數ある。

國寶建造物は宮崎宮の本殿・拜殿・樓門・太宰府神社・住吉神社本殿など、又國寶としては傳教大師作と傳ふいかめしい大黒天外二十六點を有する筑紫郡水城村觀世音寺の寶物、普公が謫居に淋しく聞いた銅鐘あり、福岡市堅粕東光院には木造藥師如來はじめ二十五體の佛像があり、得がたき國寶である。

別府温泉

第二節 大分縣

大分市は人口六萬餘を有し、壘表を集散し、別府市も人口六萬餘を有し、著名の温泉都市として名高い。北部の宇佐には宇佐神宮を祀り、山國川は耶馬溪の勝地を以て知られ、その河口には人口三萬の中津市がある。臼木には深田の石佛があり、指定の史蹟である。

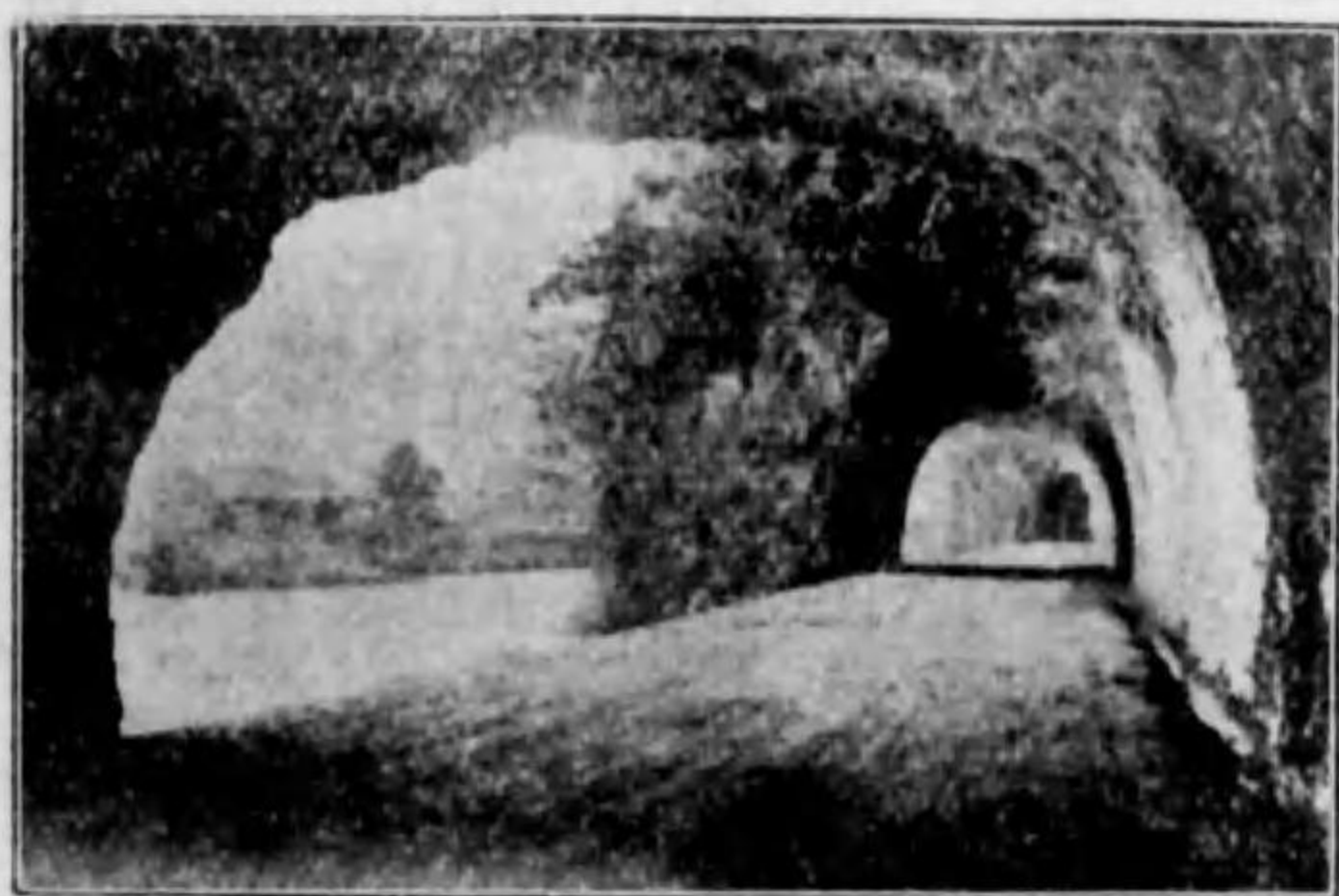


本縣には泉都別府をはじめ、耶馬の奇勝の外詩と鶴飼で知られた日田盆地、阿蘇國立公園の

區域内で九州最高峰の久住山兩翼に無限の草原を擡げた久住、飯田の兩高原などがある。

大分市 大友宗麟創業の地で、夙く南蠻と通商を開き、海外貿易の尖端を切り、その繁華は京鎌倉を凌ぐ黄金時代を出現した。市内に春日公園、西山公園あり、また春日浦は宗麟貿易の地である。市外八幡村には國幣小社祇原八幡宮の外萬壽寺、光西寺等の名刹がある。

耶馬溪 青洞門



でも知られた温泉都市である。高原を中心に、東南に擴がる鶴見の裾野一帯は、温泉地帯と

別府温泉 四季の氣候は快よく「つくし」の九州に、山と海との眺めよく、出湯あふるゝこの町は、戸數一萬、人口五萬餘人と數へられ、東より、西より南より、北より來る内外の客は一歳百萬餘、外國ま

呼びなして、八軒四方のその中に湯口の數は約二千、出湯の量は一晝夜、凡そ三十萬石といはれてゐる。

第三節 佐賀縣

佐賀市は人口五萬餘を有し、米・セメントの取引が行はれ、武雄は温泉で名高く、有田は有田焼を産す。有明海の住ノ江・唐津灣の唐津市は人口三萬餘を有し、石炭の積出しを以て榮えてゐる。又唐津に近い虹の松原は指定の名勝、海上にある七つ釜は、指定の天然紀念物となつて居る。



虹の松原

松浦遊覽地 玄海灘に面し虹の松原、佐保姫悲戀譚の頭巾振山をはじめ附近には名護屋城址、七

つ釜の奇勝・廣澤寺・神功皇后御征韓の遺址など見るべきものが多し。

舞鶴公園 唐津驛より北東十町、松浦の長橋、虹の松原及び灣内の島々を一眸に收め、舞鶴に似た水郷呼子情緒も全国的に著名である。

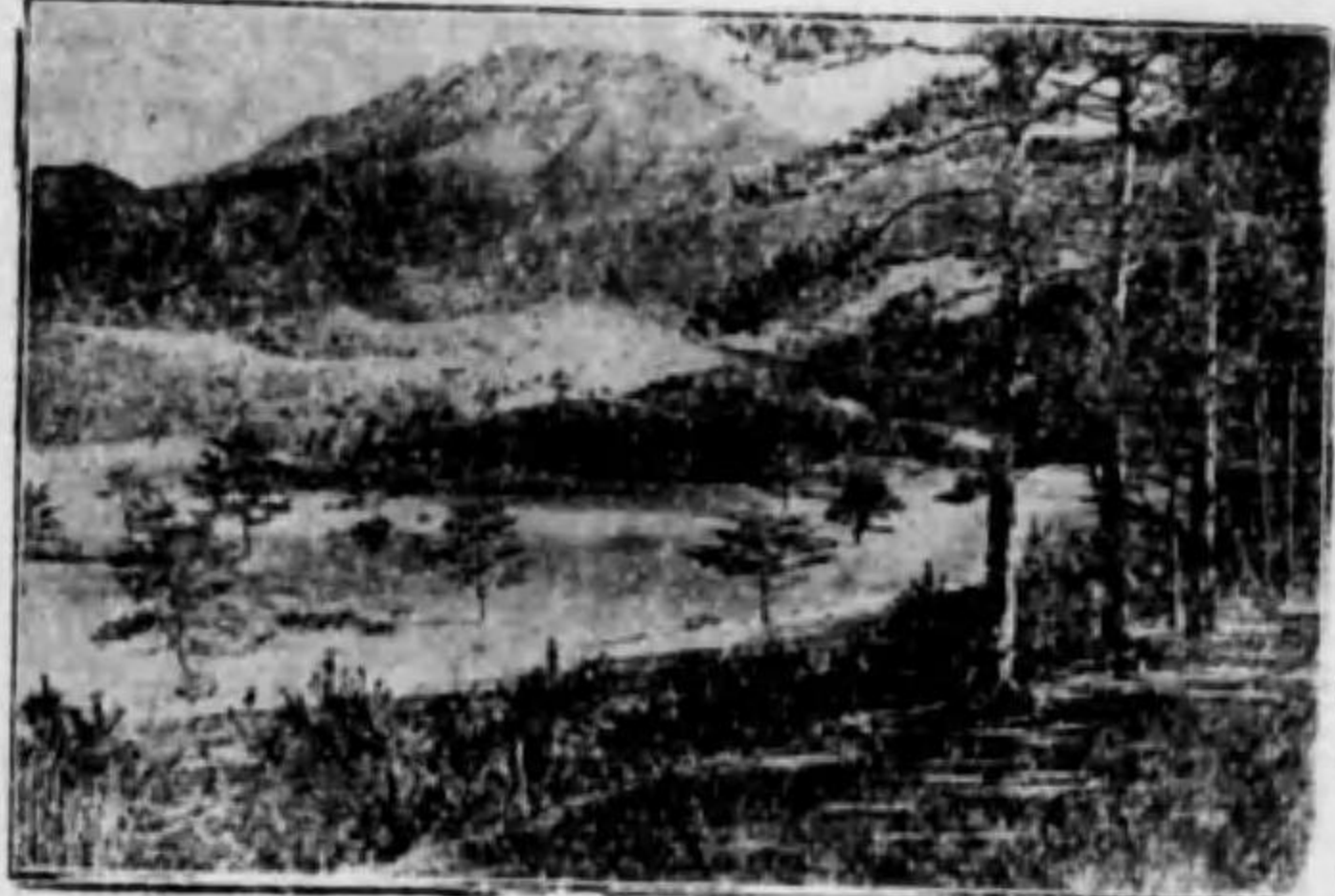
その他佐賀市の近郊には楠神社・佐嘉神社・松原神社・久開少佐の墓・萬都島・佐賀城址・大隈公園などがあり、又多久聖廟、幡隨院長兵衛出生紀念大碑、與賀神社の朱塗樓門、佐賀藩海軍所址等も見落すことは出来ない。

第四節 長崎縣

長崎市は人口約二十二萬を有し、古い開港場で、昔は西洋文明輸入の門戸となつてゐた。今も石炭、水産物などを輸出し、対岸に三菱造船所がある。佐世保市は人口十七萬餘を有する軍港で鎮守府・海軍工廠があり、雲泉は保養地として、内外人の來り遊ぶものが多い。また壹岐に勝本・對馬に嚴原・五島に福江の名邑があり、島原半島には山羊の飼養が行はれる。中央に聳える雲仙は國立公園の一である。

國立公園雲仙 島原半島の屋根を成し、山麓一帯は島原の九十

九島、小濱温泉、千々岩の青松、加津佐岩戸山の奇巖などの風光美に恵まれ、国際観光ルートでも白眉の名勝や雲仙山は冬は霧氷、夏は爽涼、春は闊朗、秋は紅葉など四季の眺めにすぐれ、夏は外人避暑客で国際山上都市となつてゐる。



雲 仙

多良岳 石楠花の大群落、霧の瀧をはじめ飛瀑十餘は懸崖の白布となつて溪谷美を飾る、絶好のハイキングコース、或はキャンプ地として知られてゐる。

鶴渡越 日本百景九十九島を一時に集める景勝の地、親鸞上人銅像等あり社の境内で、水明の長崎港と豊光る街を眼下に見下す景勝の

で 山上に四十三號潜水艦殉難記念碑、親鸞上人銅像等あり軍港唯一の山上公園として賑ふ。  
諏訪公園 長崎二十五萬市民の氏神として、崇敬の厚い諏訪神社の境内で、水明の長崎港と豊光る街を眼下に見下す景勝の

第五節 熊本縣

地。玉園山の老楠は微風にそよぎ、境内には我が國印刷界の父本木昌造翁、日本文化の恩人シーボルトとボンベの記念碑、グラント將軍手植の木など、諸種の記念造營物がある。十月七日から三日間は諏訪大祭が催され、長崎獨特の蛇踊りが長崎情景を描く。  
唐八景 長崎唯一の山上公園で、春はハタ合戦で賑ひ、春秋の行樂シーズンには、登山客で山上を埋める。山頂の展望は遠く雲仙、天草、五島の島々を煙霧の間に望み、長崎の市街地を足下に俯瞰する絶景である。山上までドライブ・ウエーが開けて、市街地から僅か十五分で達する。  
この外大浦天主堂・崇福寺・福濟寺・興福寺・シーボルト宅址・浦上天主堂・轟の瀧などがある。

熊本縣は交通の要地で人口約十九萬、米の取手が多く、附近に水前寺の遊園がある。市内の熊本城は加藤清正の築いたもので、西南の役の籠城で名高く、今は第六師團司令部を置き國寶となつてゐる。八代は木材を集めてセメント、洋紙の工場がある。肥薩線はこゝから人吉を過ぎ、ループ式の特設な施設で

鹿兒島縣に入つて居る。白川の上流にある阿蘇山は活火山の一人で、阿蘇國立公園の中心である。  
熊本市 天下の名城熊本城を中心に、鬱蒼たる常磐の緑に包まれた熊本市は古都の俳を宿し、到る所に名勝佳景が點在してゐる。  
中でも阿蘇神社・菊池神社・本妙寺・西嚴寺などは著名である。



城 本 熊

阿蘇國立公園 景勝日本が

世界に誇る靈峰阿蘇は、觀光ホテル其他の遊覽設備が着々完備して居る。大火山原を取巻く蜿蜒たる絶壁を、外輪山と稱し、南北直徑六里、東西四里、面積二十七方里で周圍實に三十餘里を算し、この中に三ヶ町十一ヶ村の生靈五萬が安住してゐる、阿蘇五岳といふ



山 蘇 阿

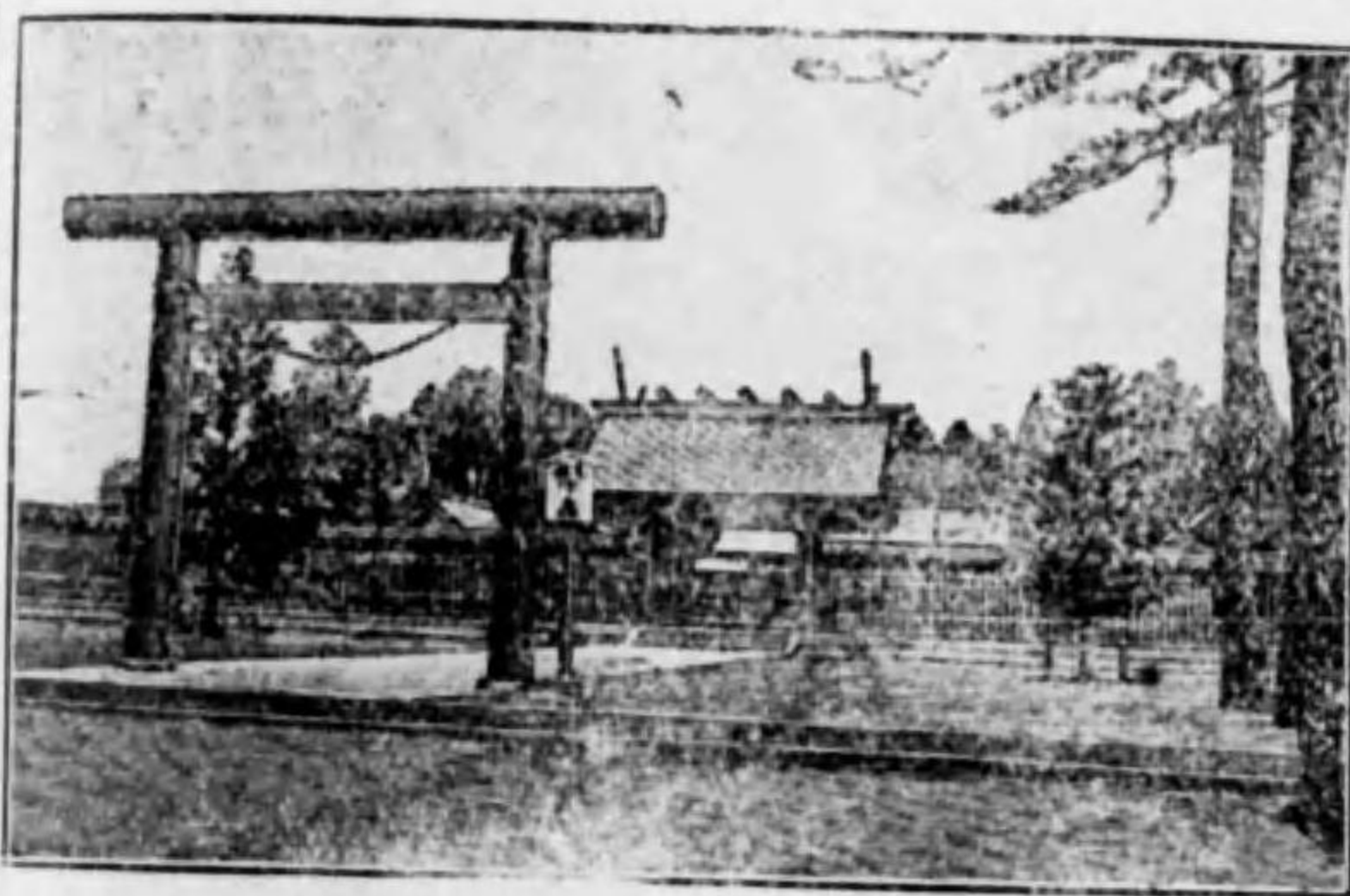
高岳、根子岳、中岳、烏帽子岳、杵島岳の火山口丘が屹立し、現在中岳が噴煙濛々盛んに活動し壯觀を極めてゐる。高岳は五岳中の最高峰で、根子岳とも登山家のホープである。かく阿蘇は雄大無邊の風景美に富み、大觀峰波野の高原美、深緑の森林美、溪谷美、蔵の野、躑躅の丘、萩の原野を初め春は櫻、夏は深緑、秋は紅葉の戸下・栃木兩温泉、山の中腹には夏知らずで展望絶佳の地獄、垂玉、湯谷の温泉場があり、探勝に快適な景觀を呈し天下の絶勝である。

第六節 宮崎縣

宮崎市は人口六萬五千を有し宮崎神宮の鎮座地で、近くに青島の勝地がある。都城市は人口三萬七千を有し、生絲・茶・

木材を集散し、その奥の霧島山は天孫降臨の跡と稱せられ、今は霧島国立公園の中心である。また北部の延岡市は人口五萬六千を有し、窒素肥料の製造地として知られてゐる。

**霧島国立公園** 霧島山は宮崎、鹿児島兩縣に跨り高千穂、韓國兩峰を盟主として二十二座の群狀火山より成り、大小八個の



宮崎神社

火口湖が満々たる碧水を湛へ、完全火口十五、爆裂火口八を有し、その複雑なる火山彙と山容の雄麗さは、世界的に比類なき火山の一大典型である。また高千穂の峰は標高千五百七十四米、天孫降臨の傳説地として、わが建國史の第一頁を飾る靈峰で、頂上には天の逆針が、太古の神祕を物語り、五、六月の

頃全山を眞紅に包む霧島燗、野海棠の群落、山麓にある狹野の老杉並木、珍鳥佛法僧の繁殖地など天然記念物に富み、神武大帝御誕生傳説地たる皇子原の聖蹟等があり、神話と傳説に彩られる名山である。

**青島** 宮崎市の南方約四里、周圍二十數町の小島だが、全島鬱蒼たる檳榔樹を初め熱帯植物に覆はれ、島を巡る波狀盤岩とよもに、天然記念物に指定され、海の幸、山の幸の傳説があるロマンチックな奇島である。

**高千穂峽** 延岡市の西方約十五里、神代ながらの幽邃境で忍穂井、あらゝぎの瀨、眞名井の瀨などの名勝があり、附近には又天の岩戸、高天原などの傳説地も散在してゐる。

**宮崎神社** 官幣大社で皇祖神武天皇を奉祀し、神宮の北方約四町にある皇宮屋の聖蹟は、神武帝御十五歳より御四十五歳までの皇居の御跡と傳へられる。

**日南海岸線** 青島から鶴戸に至る十數里の海岸線は、雄大な日向灘の景觀に連つて繪の如く、昔は七浦七峠と稱し、宮崎地方では新婚旅行のコースとなり、盛装の花嫁を鈴懸馬に乗せ花婿が手綱を曳いて鶴戸に参詣したものである。

**鶴戸神社** 宮崎市より遊覽バスで一時間餘の地點にあり、日向

麓に面し奇勝に富む大洞窟中に、官幣大社鶴戸神宮の社殿を造營してゐる。神武天皇の御父君鸕鷀草葺不合尊の御生誕地と傳へられ尊を奉祀してある。

**第七節 鹿兒島縣**

鹿兒島市は前面に櫻島を望み、風光美しき開港場で、人口十八萬餘を有し、薩摩焼・木綿紉・鯉節などを産出する。國分は煙草の産地として知られ、奄美諸島の主島である大島からは



高千穂七つ池(霧島)

黒砂糖・鯉節・紉を産し、名産はその主邑である。池田湖 薩南隨一の傳



霧島山

説と神祕に富む湖水で、周圍は四里二十九町餘、水深百五十尋、四季の眺望佳絶にして近頃養魚場を設け、また湖畔一帯は放牧場として利用されてゐる。

**霧島国立公園** 廣袤二萬餘町歩、周圍三十六里、鹿兒島宮崎兩縣に跨る霧島火山帯の中樞部位を占め靈峰高千穂が雲表高く屹

立してゐる。麓には官幣大社霧島神宮が鎮座する。

**鹿兒島市** 島津藩政七百年間、連綿として封祿七十七萬石を領し、我が國最南端の雄藩として天下に重きをなし、藩祖以來歴代剛毅果敢質素儉約の士風を培ひ、スバルタ式の硬教育を奨勵し、健兒の舎を設けて藩内子弟の尙武的教育を徹底せしめた。今もなほ盛んに行はれてゐる曾我ドン傘焼き、妙園寺詣り、義士傳輪讀會は、いづれも薩摩士風作興床しい行事

である。市内の遊覧箇所は磯島津・玉里島津兩公邸・尙古集成館・薩英戦争墓場・西郷南洲墓地・南洲神社・城山・岩崎谷洞窟・終焉之地・薩摩義士の記念碑・私學校跡・鶴丸城趾(七高造士館)・東郷元帥墓地をはじめ、別格官幣社照國神社など、また櫻島に渡つて熔岩の原に佇み、その昔大噴火の惨禍のあとを訪ふも興味深い。

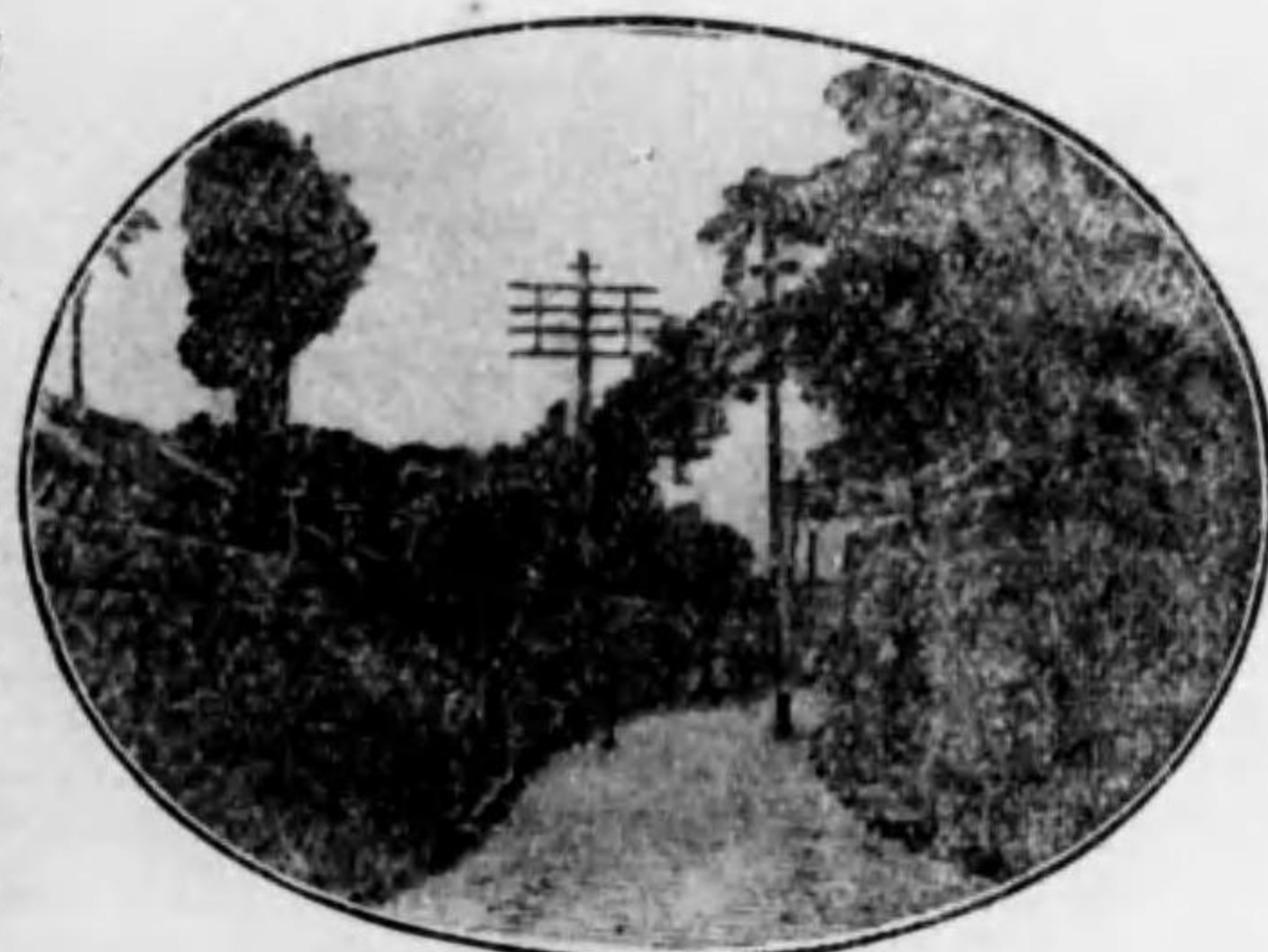
**指宿温泉** 正月に菜種の花盛りを見る指宿は、理想的の避暑地である。鹿児島灣の繪のやうな入江に沿ひ、島がくれ行く眞帆片帆、雨の日風の四季折々の趣深く、附近に開聞岳・池田湖、鰻池など勝地に富む。古來この地方は湯豊の里と稱せられ著名な温泉地である。

### 第八節 沖繩縣

琉球列島は沖繩諸島と先島諸島とを併せ、五十餘の島嶼から成る。熱帯性植物が繁茂し、海岸には珊瑚礁が発達する等、九州島と趣を異にし、砂糖・帽子・芭蕉布・泡盛・豚等を主要な産物としてゐる。

那覇市は人口六萬五千を有する開港場で、前記の産物を集散し、南蠻貿易時代の遺跡が多い。首里市はもと王城のあつた所

で人口僅か二萬に充たぬ都會である。先島諸島は臺灣と共に西部標準時を使用し、東方のラサ島は燐礦の産を以て知られ、また無線電信局の設けがある。



(市那那) 屋家たつ髪

首都で、今では閑寂な舊都の昔の影を遺す。  
**萬座毛** 國頭郡恩納村の北方、切り立てた屏風の如き隆起珊瑚礁上の廣漠たる芝生で、縣下の絶景、享保十一年時の琉球王が國頭郡巡視の時、この地に足をとどめ「萬人を座せしむる入つてゐる。」

**波上宮** 海岸に突出した断崖の上に建てられ、周囲を珊瑚礁をもつてめぐらし、絶壁の下に奔騰飛散する波浪は壯觀を極めて雄大、海岸は古來から觀月、納涼、海水浴場としての名所である。  
**首里市一圓** 古代琉球王國時代の沖繩縣の

に足る」と嘆賞したと傳へられる。

**南嶺山** 沖繩縣立公園第一の候補地で、沖繩本島の最北端に當り、遊覽パスはないが名護町から自動車で三時間、絶好の避暑地である。

**與那原** 海軍根據地中城灣頭にある風光明媚の地で、今上陛下の東宮におはしました頃、御外遊の御途次玉歩を印せられた所である。

**名護町** 那覇の北方二十里山河秀麗の地で、最近ゴルフ場の建設が設計されてゐる。

### 第十章 北海道地方

北海道地方は北海道本島と千島列島とから成つてゐる。

**地形** 南に日高・夕張の二山脈、北に北見、天鹽の兩山脈が、襟裳岬から宗谷岬に至る間に並走して、本島の主軸をなして居る。千島火山脈は千島列島から本島を横斷し、その主軸山脈と會するところには旭嶽・十勝嶽・大雪山等が聳え地形高峻で大雪山は大雪山國立公園の中心となつてゐる。西方の半島部には那須火山脈に屬する火山が群集し、日本海斜面の石狩川は上川盆地の水を集め、石狩平野に出て石狩灣に

入つてゐる。  
また天鹽川の縦谷は、天鹽平野をなし、近時次第に拓殖が行はれ、太平洋斜面では釧路川が釧路平野を流れ、十勝川が十勝平野を流れてゐる。この地方も近時拓殖が進み、阿寒盆地並にその周圍は、阿寒國立公園となつて居る。海岸は西部に小樽灣が灣入し、西南部に渡島半島が突出して内浦灣を抱き、東部に花咲半島が出て根室灣を圍んでゐる。オホーツク海岸には瀉湖が多く、猿島湖は牡蠣の養殖を以て名高い。千島列島は弧狀の火山列島でその外側には深い海溝がある。

**産業** 拓殖の發展につれて、石狩・上川・十勝・後志・北見の諸平野や盆地に、農業が盛んに行はれ、耕地の規模も大きく大農法が行はれてゐる。主要農産物としては豆類・麥類・

馬鈴薯・玉蜀黍・蕎麥・粟種・亞麻等があり、米作も品種の改良によつて次第に多くなつてゐる。濃霧の影響ある海岸約四軒の地帯を除き、各地とも可耕地で、上川盆地には各種農作物が盛んに栽培せられる。その他余市附近の苹果、札幌附近の櫻桃、帯廣を中心とする甜菜も次第に發達し、網走附近には薄荷油の特産がある。

未耕の原野が多く、牧草が生育するから石狩・十勝の二平野、日高の海岸平野等には馬を主とする牧畜が盛んに行はれ中でも宮内省の新冠牧場、釧路の白糠牧場などが名高い。札幌附近は牛も多く飼はれ乳製品を出し、綿羊も月寒その他に試みられてゐる。

本地方は我が國主要の林業地で、蝦夷松・榎松等は製紙用バルブに、白楊はマッチ軸木に、楠は建築用材、鐵道の枕木等に、刺楸は器具材に用ひられ、近年石狩平野及び上川や富良野の諸盆地には、人造林が盛んに行はれて居る。

近海は寒暖二流に洗はれて、大陸棚がよく發達してゐるから世界屈指の好漁場となり、殊に日本海方面の鱈は産額最も多く、食用または肥料として内地に送られる。その他オホーツク海方面には鱈・蟹・半島部には鱈・鰻・烏賊、太平洋方

館と小樽の二港を中心として沿岸航路があり、内地と樺太との間には鐵道連絡船が往復してゐる。

住民 北海道は古來アイヌ人の住所であつたが、明治維新後政府はこれが拓殖に着手し、内地人の移住を奨励した結果、内地から移住する者が次第に増加し、今では人口も三百萬近くなつて居るが、その密度はなほ極めて小である。政府は内地人口増加の調節を計るためと、殖産・興業のために拓殖事業に力を注ぎ、内地人の移住を奨励してゐる。先住人種であるアイヌ人は次第に減少して、今は僅かに一萬五千餘となり主として日高・釧路の一部に保護されてゐる。

札幌市に北海道廳を設け、長官を置いて行政を統治し、その下に七市・十四支廳が置かれてゐる。

札幌市 札幌市は人口約二十萬を有し本道の首都で、政治・工業等の中心となり、北海道帝國大學がある。また農産物の取引が多く、麥酒・製麻・製粉・煉乳の工業が行はれる。

函館市 函館市は北海道の門戸をなし、人口二十萬餘、本道第一の開港場で、主として水産物を輸出し、露領用漁の根據地となつてゐる。附近の五稜廓は明治戊辰戦の古戰場として知られ、北方に天下の絶景として名高い大沼公園がある。西岸

面には昆布等が多く、石狩川・西別川の諸川には又鮭・鱒の漁獲が多い。岩内・増毛・釧路・留萌・厚岸・根室・網走などはその主要なる漁港である。水産物はそのまゝ冷凍して移出する外鹽漬・罐詰・乾魚・燻製等にして内地・支那・米國等に出し、函館・小樽はその二大集散地である。

石炭は九州に次いで産額多く、夕張山脈の西斜面の石狩炭田には夕張・美唄・砂川などの諸炭坑があり、室蘭港はこのために活氣を呈してゐる。その他渡島半島及びその附近の硫黄・金・銅、石狩の石油なども知られてゐる。

近年工業が發達し、札幌の醸造・製粉・製麻、旭川の酒精製造、江別・苫小牧の製紙、室蘭の製鐵・製鋼など何れも盛んである。函館・小樽は本道商業の二中心であり、開港場としては小樽・函館の外に、室蘭・釧路・根室の諸港があつて水産物、木材等を積出してゐる。

交通 開拓の當初は先づ沿岸の航路が發達し、次に内部の拓殖に従つて鐵道網が密となつた。今のところ鐵道は函館線と根室線が幹線となり、室蘭線・宗谷線・網走線及び幾多の炭坑線がこれと接続してゐる。海上航路は早くから開けたが良港に乏しく、且つ氣候不良のためその發達は後れてゐる。函

の壽都岩内は共に鱈の漁場として名高い。

小樽市 小樽市は人口十五萬餘を有し開港場の一で、豆類・木材・水産物・石炭などの取引が多い。

旭川市 旭川市は上川盆地の新興都市で人口九萬餘を有し、第七師團司令部を置き、醸造業が盛んである。苫小牧は製紙の大工場を以て知られてゐる。

室蘭市 室蘭市は人口六萬餘を有し内浦灣口の開港場で、石狩炭田の石炭を利用する壯大な製鋼所を以て知られ、附近に登別温泉がある。沙流川流域にはアイヌ人の部落が多く、中でも平取は世に著はれてゐる。

帶廣市 十勝平野の中央にある帶廣市は人口三萬六千餘を有し、大豆其他の農産物を集散してゐる。

釧路市 釧路市は人口五萬六千餘を有し、木材、水産物の取引が多く、また毎年盛んな馬市が立ち、根室は花咲半島の開港場で水産物の取引が行はれ、且つ千島に對する要地である。網走は網走湖を控え、オホーツク海岸の良港で、この方面の水産物を集散する。天鹽海岸は鱈の漁業が盛んで、増毛・留萌はその中心地として發達してゐる。

千島列島 千島列島は本島の東北約三百里の間に列る三十餘の



火山列島で、面積はほぼ四國と等しいが、人口は一萬數千に過ぎない。千島海流に洗はれて沿岸、河川に鱈・鱒・鮭の漁利多く、夏季にはこれを漁獲のため、各地から来るものが多い。擇捉島の紗那は列島の主邑で、漁業の中心となり、占守島は最東北端に位して日米飛行連絡上の要地に當つてゐる。阿寒国立公園 阿寒湖を中心とする阿寒盆地と屈斜路、摩周兩盆地を抱擁する地域で、大小多くの湖沼を有し、雄阿寒岳・雌阿寒岳・カムイ



阿寒湖

ムブリ・アトサメプリなどの活火山起伏し、森林は寒性針葉樹林で、山容水態の雄大非凡は、北海道固有の原始的自然美である。大雪山国立公園 北海道の屋根をなす中央高地、大雪・十勝・トムラウシ三火山彙

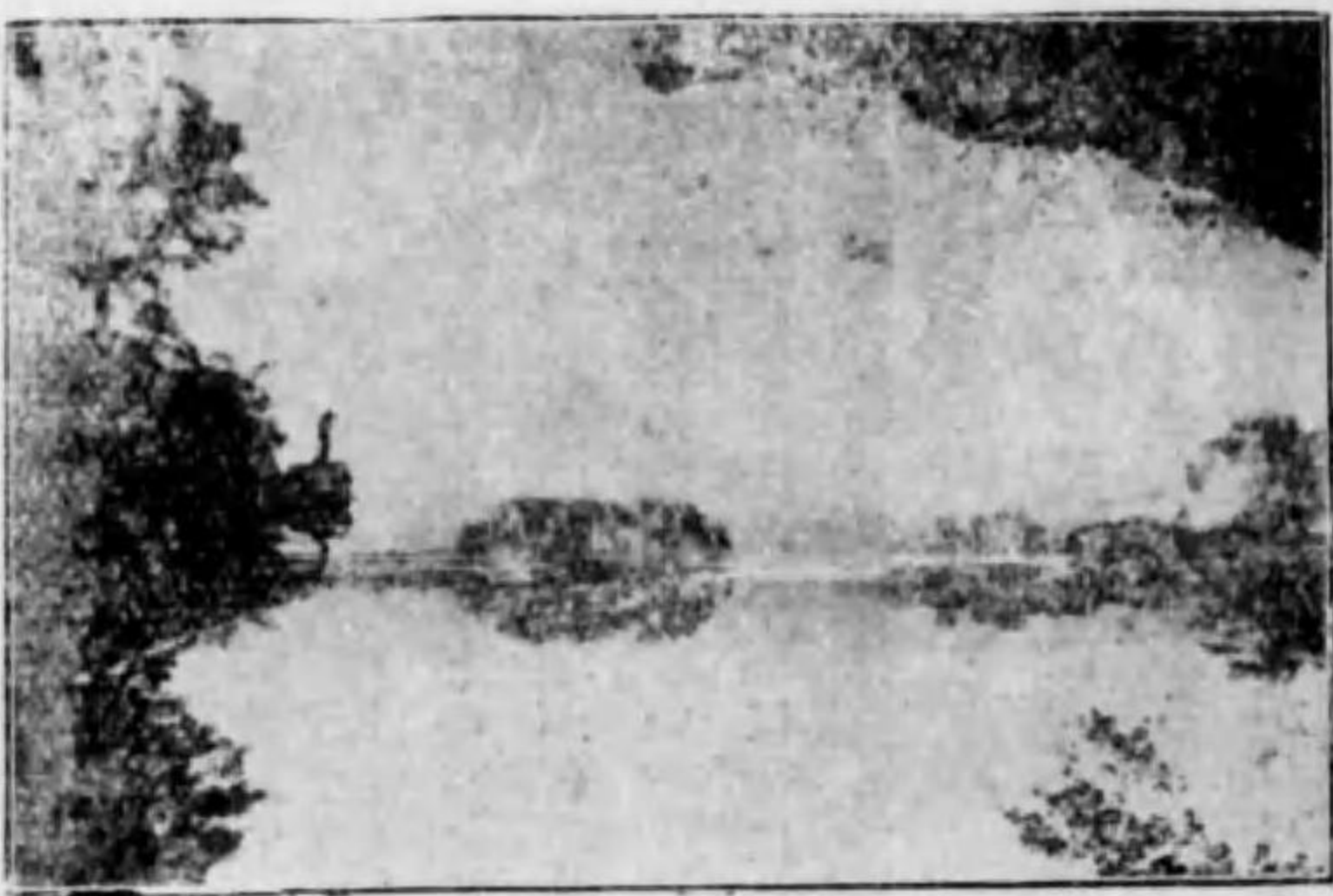


大雪山

と石狩山脈の一部、石狩川上流一帯、十勝川、音更川の上流および、然別湖を包む二十四萬アールの地域で、わが國国立公園中最も廣大なものである。寒性針葉樹林はわが代表的原生林で、廣潤な臺地、雄偉な火山跡、豪宕な溪谷を點綴す。瀑布、濕原、雪溪、お花畑などの風景要素は極めて特異なものとして居

る。洞爺湖 蝦夷富士の噴出により陥没生成した淡水湖で、周囲二十三軒、湖周は悉く山岳を繞らし、南岸に活火山有珠岳が聳え、蝦夷富士の遠望とともに風光の美は、日本百景の隨一である。湖の最深部は百八十米、姫鱒・鮭・ザリカニ等を産する。五稜郭公園 幕末の洋式城郭中典型的のもので、函館戦後に

榎本武揚、大島圭介等が最後の血戦を試み、今は史蹟として保存され、函館駅前から電車で十七分で達する。トラピスト女子修道院 湯ノ川温泉から約四軒の高臺、修道女



大沼公園

は無言の行で短かい睡眠と長い祈禱と労働の敬虔な禁慾的宗教生活を送つてゐる。大沼公園 函館から二十八軒、沼は周囲約三十方軒、大小の飄形をなし、その帯の部分に鐵橋が、けられ、函館本線を通し湖岸には三十二灣、湖上に百二十六島、架橋二十一、活火山

駒ヶ岳の姿を映した風光明媚の境である。古代文字 小樽市内手宮驛附近にあり、往時は洞窟の奥の岩壁に書きつけられてあつたが、埠頭工事で破壊され、今は壁面

を残すに過ぎない。

北大附屬植物園 札幌市の中央部、三百六十四米四方を劃した處女原生林で、その他世界各地の植物六千餘種が移植されてゐる。

神居古潭 石狩川の上流の神居古潭驛附近には、奇岩碧潭激湍と、これを綴る紅葉綠樹の美に名高い。源義經の傳説ある神居岩、コロボツクルの土窟などの舊跡も多い。

### 第十一章 樺太地方

樺太島は日露戦争の結果により、その南半露國より我が國に割讓した所で、北海道本島の北に位し、間宮海峡を挟んで亞細亞大陸に對し、北緯五十度を境として、北半ソヴィエト聯邦の領地と接してゐる。

地形 樺太山脈は本島の主軸をなし、西に偏して南北に走り北に東北山脈、南に鈴谷山脈がこれと並行してゐる。この東西兩山脈の間には北に幌内平野、南に内淵・鈴谷の兩平野があり、幌内平野はツンドラとなつて、夏も地下數米の處は凍結してゐる。この低地を幌内川が流れて多來加灣に注いでゐる。南部の低地は内淵・鈴谷諸川流域で農牧に適し、海岸

は南に亞麻灣、北に多來加灣がある外出入は少ない。我々が國で最も高緯度の所で気温は低く、寒暑の差も大きく、雨量は最も少い。冬は海面が凍結するが、西岸には對馬海流が北上するため凍らぬ所がある。濃霧は宗谷海峡附近に最も多い。

産業 沿岸は世界著名の漁場で、水産は本地方最重要の産業である。即ち西岸及び南岸は鱈、東岸は鮭・鱒を多く産し、その他鱈・蟹・昆布などの産多く、沿岸の都邑は皆漁港として發達し、漁季には内地から出漁するものが多い。また海狗島には鰹魚の繁殖が多い。

農業は南部の鈴谷平野に行はれ、豆類・麥類・馬鈴薯を産するに過ぎない。林業は盛んで榎松・蝦夷松・落葉松などの處女林が全島の約七割を占め、バルブ製造の豊富なる原料を供給してゐる。鐵産では内淵川流域の炭田が有名で、その一部は既に採掘せられてゐる。

商工業は殆ど振はないが、バルブ・製材などの工場が大泊落合・眞岡・泊居などに、やゝ發達してゐる。

交通 陸上交通は不便で、冬季は橋が使用されてゐる。鐵道は大泊より北上して東海岸に至るものと、眞岡を中心とする

西部海岸線と是等をつなぐ斷線があるに過ぎない。海運も亦未だ發達せず、殊に冬季は結氷・流氷・濃霧に妨げられ碎氷船を用ひて僅に内地と連絡してゐる。



ミア



落部 × イア

幌内及び鈴谷の兩平野にはアイヌ人が住んでゐるが、是等の土人は文化の程度低く、その數も少く主として漁撈に従事してゐる。住民の大部分は内地からの移住者であるが、全島を通じて三十三萬に過ぎず、従つて密度は極めて薄く且つ夏と冬とに於て季節的に増減がある。

本島については幕末頃から日露間に境界問題が起り、明治八年の千島・樺太の交換で露領となり、

その後日露戰爭の結果南半を再び我國の領土に復してより樺太廳を豊原に置き、その下に七支廳を置いて統治してゐる。都市 大泊市は人口六萬餘を有し、本島の門戸をなす開港場で木材、水産物を集散し、豊原市は人口七萬を有し、行政の中心地となつてゐる。榮濱と落合とはバルブ工場によつて著れ、多來加灣内の麝香は毛皮の集散地である。西海岸の眞岡は泊居と共に漁業の中心地として發達し、且つバルブ工場がある。



近附香敷態狀活生の族コツロオ

北樺太 ソウイエツト聯邦の領土で面積は南樺太とほぼ等しく、近海には水産物多く、陸には礦物・森林・毛皮獸が多い。大正十四年一月日露條約成立の結果、我が國は石炭、石油の探掘權を得て、是



街市岡眞

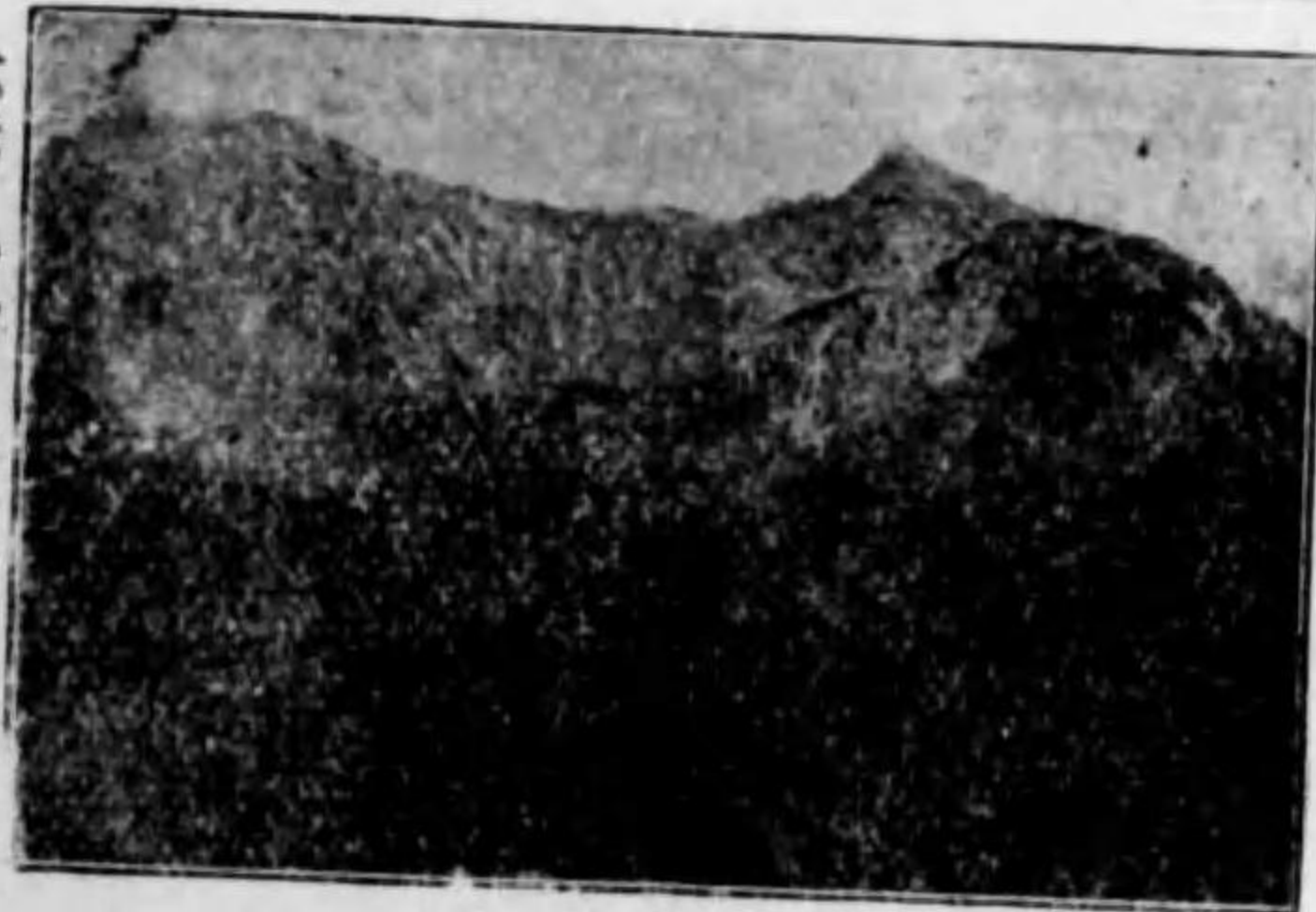
たるオロツコ族、ギリヤク族等が舊態依然の様式で居住し、樺太廳では特に是等の住民に對し、鮭鱒の密漁を許可して保護を加へてゐる。

八咫嶺 東西兩海岸を繋ぐ産業、遊覽道路大豊線が、樺太中央山脈と交叉する地點に當り、鬱蒼たる原始林を八方に見渡すことが出来る。

がある。  
 神樂園 大泊の市街に圍まれた廣い丘陵で亞庭神社、明照寺、表忠碑などあり、樟太開拓者の事蹟を偲ばしめる。  
 樟太神社 官幣大社、豊原町旭ヶ丘にあり、鈴谷平野を一望に收め、且つ北邊鎮護の聖地である。

### 第十二章 臺灣地方

臺灣は日本列島の西南に位置し、西は臺灣海峡を隔て、南支那に、南はバシ海峡によつてフィリッピン諸島に對し、我が南方の要地で經濟上、軍事上重要な一地方となつてゐる。  
 地形 我が國第一の高峯新高山を始め、多くの高山を載く臺灣山脈は、島の東北端から起つて南岬に至り、また東部には低い臺東山脈が並走してゐる。そのため東部には平野の著しいものがないが、西部には廣大な臺灣平野が發達し、産業人文共に進んで人口も稠密である。  
 河流は山勢によつて西部には長流が多いが、砂礫を放流して礫を作り分流する。濁水溪・大肚溪等はその著しいものである。舟運の便のやゝあるものは北の淡水河、南の下淡水溪等に過ぎない。



海岸は屈曲に乏しく、東岸は多く斷崖をなし、太平洋の荒波が之に激してゐる。西岸は低平で、臺灣海峡の陸湖上には澎湖諸島がある。

氣候 氣候は亞熱帶性で山地の外は霜雪見ない。一般に雨量に富み、我が國の最大雨量を示してゐる。また近海に颱風が起つてその害を受けることがある。

山産業 本島の主産業は農業で、米は年二回の收穫があり、内地に移出される。甘蔗は臺南・高雄・臺中三州を主産地とし、屏東・嘉義・臺中等の工場で製糖せられる。茶は臺北・新竹二州の丘陵、臺地に栽培せられ、臺北・桃園等で製茶し、烏龍茶・包種茶の名が高い。その他甘藷・落花生・苧麻・バナナ・鳳梨等が多く、バナナは移出額年八百餘萬圓を算し、

内地に向つて送られる。

家畜には豚・黄牛・水牛等があり、鑛産には北部に石炭・金・銅・硫黄などがある。出礦坑の石油も亦名高い。  
 阿里山その他の山地よりは樟・紅檜等の巨大な良材を多く産出し、嘉義の大規模な工場に輸送して製材される。また臺灣特産の樟腦は、樟腦油と共に中部、北部の山地より産出する。水産は鯛・鱈の漁獲多く、魚介の養殖も行はれ、鰻節の産は年と共に増加しつゝあり、西岸では又天日製鹽が盛んに行はれてゐる。

工業はまだ幼稚であるが、手工品としては林投帽・紙・大甲莖等がある。商業取引は内地に砂糖・米を移出し、外國貿易は基隆と高雄とを二大貿易港とするが振はない。本島にはまた、特に支那型船に限り行はれる特別開港場がある。

交通 臺灣平野は鐵道の便よく、縱貫鐵道は基隆に起つて高雄に至つてゐる。この間に幾多の輕便鐵道があり、林業地製糖地などを連絡する。東部も縱貫線の全通を企畫してゐるが、今のところ横斷線は北部の海岸線のみである。航路は基隆・高雄を中心として沿岸各地及び内地・支那・南洋にまで通じてゐる。



人蕃灣臺

我國の領有となつたところ、臺北に總督府を置き、

その下に五州・三廳を設けて統治してゐる。  
 基隆市 基隆市は人口八萬餘を有し本島の北門に當り、内地との交通繁く、また縱貫鐵道の起點となり、島内第一の開港場として茶・樟腦等を輸出する。

臺北市 臺北市は人口二十七萬餘を有し本島の首府で、政治、學術の中心地となり、臺北帝國大學があり、烏龍茶・林投帽の取引が多い。市内の臺灣神社は、北白川宮能久親王を祀るものである。淡水は淡水河口にある開港場であるが、水淺く貿易は振はない。

臺中市 臺中市は人口七萬餘を有し彰化と共に、米・甘藷・落

生花の集散地として開け、その東南山中の日月潭は風光の美を以て名高く、近時その水力を利用する發電所が計畫せられてゐる。

嘉義市 嘉義市は人口七萬餘を有し、製材・製糖が盛んに行は



臺南支那建築

れ、阿里山に至る鐵道の起點地である。

臺南市 臺南市は

人口約十二萬を有し本島最古の都會で、蘭人及び鄭成功の史蹟がある。市内の赤崁樓は今も舊成病院となつてゐるが、支那特有の造作があらはれてゐる。市は南部第一の大市場で、製糖業が盛んである。安平はその外港で砂糖、鹽などを移出して居る。

高雄市 高雄市は人口約八萬五千を有し、縦貫鐵道の終點で基隆と共に本島の門戸をなし、内地に對し米、砂糖を移出し屏東は製糖業の中心で、市内に常春の屏東公園がある。恒春は本島最南の名邑として知られてゐる。

東部の臺東平野は近時拓殖の歩が進み、内地人の移住する者が年々増加してゐる。

臺東 臺東はこの地方の門戸で製糖業が起り、北方の花蓮港は、臺東線の起點である。

澎湖諸島 澎湖諸島は高雄の西北海上七八哩の所にあり、軍事上、交通上重要な地點であるから、馬公に海軍要港部が置いてある。

臺灣神社 本島唯一の官幣大社、北白川宮能久親王殿下の英靈を奉祀す。一の鳥居を過ぎ兩側に並ぶ數百基の石燈籠の中を歩めば、神威一入身に沁むを覺える。

北港媽祖廟 廟宇宏大島民の信仰厚く、例祭前後には賽者連日萬餘に上る。祭神媽祖は清朝より天后の位に封せられ、國幣祭祀の格を贈らる。

ガランピー 帝國の最南端に位し、雄大な景色に富むので臺灣八景の首位を占め、主として珊瑚石灰岩より成り、タコノキ

には土民が竹筏を組んで居住し、家畜を飼ひ、四ツ手網を張つて魚を漁る珍らしい風趣である。

### 第十三章 朝鮮地方

朝鮮は亞細亞大陸の東部に突出して、日本海と黃海とを分ち東南は朝鮮海峡を隔て、九州に對してゐる。北は鴨綠江・長白山脈・豆滿江を境として滿洲及びソヴィエト聯邦に境し、我が國防上、經濟上重要な位置を占めてゐる。

地形 北部は山多く北端を東北より西南に長白山脈が走り半島の最高峰白頭山は國境線上に聳え、その頂上に火口湖の龍王潭がある。中部以南には大白山脈が東に偏して南北に連り、金剛山はその中にある奇勝で名高い。河川には鴨綠江・大同江・漢江・錦江・洛東江等があり、下流は豊沃な平野を作つてゐるが、いづれも流が緩かで船運・灌溉の便に富んでゐる。

海岸は日本海岸には出入に乏しく、永興灣・迎日灣があるに過ぎないが、西岸及び南岸は屈曲に富み、且つ大小無數の島嶼が散在してゐる。

氣候 北部は亞細亞大陸の影響を受けて大陸性氣候を呈し、

の緑間から雪白なガランピー燈臺の塔を見るのも、エトランゼーの旅愁をそゝる。

阿里山 海拔二千八百六十九米で幾千年の一大森林をなし、檜の長大材を産し、中には樹高四十米、目通り七米に達する日本第一の巨木を見る。阿里山鐵道は阿里山林運搬用に建設され、近來登山客が増加し乗客も多くなつた。二千米の頂上まで登山鐵道があり、頂上には數百本の吉野櫻が植ゑられ、開花期には遊覽者が雜沓を極める。この山は氣候上山麓の熱帯より暖温を経て、頂上の寒帯まで四帯を具備する點は、本邦領土中四敵するものはない。

大タロコ峽 大タロコ峽はタツキリ溪上流の溪谷約三十軒にわたる間、奇岩絶壁壁立し、山容水態豪快を極め、虹の如き鐵線あり、瀑布あり、千變萬化の景勝であるが、三角錐山の大斷崖また凄絶である。この天然の大景觀に配するに、原始的生活の野人をもつてし、臺灣獨特の味があり、近ごろタツキリ溪流域一帯には砂金が採れる。

日月潭 全島唯一の湖で臺灣八景の一、大社大山、大尖翠巒に圍まれ、湖面海拔七百二十六米、湖の中央の珠子島によつて、湖は日潭と月潭とに分れ、珍魚が多く棲息し、湖上

冬季は気温は低下して河海が氷結するが、南部は多く海洋性気候で温和である。雨は夏割合に多いが、東海岸を除いて他は一般に少い。

産業 農業は主要産業で、住民の八割以上がこれに従事し、併合以来我が政府の指導獎勵と、内地人の移住によつて漸次改善せられ、産額も年々増加してゐる。米綿は南部に多く、粟・大豆は各地に産し、盛んに内地に移入せられる。その他粟・烟草・苹果なども多く、開城附近の人蔘、北部の甜菜も名高く、最近養蠶も行はれるやうになつた。

牧牛は一般に盛んで、各地に牛市が開かれ、生牛、牛皮は多く内地に送られる。林業は鴨綠江流域に發達し、朝鮮松、落葉松などが多く、流筏として新義州に送られ、この營林署に於て製材せられる。水産業は日本海の明太魚・鱈・鯨・朝鮮海峽の鱈・鯛、黄海の石首魚など漁獲多く、内地人が多くこれに従事し、西岸の廣梁灣では天日製鹽が行はれてゐる。

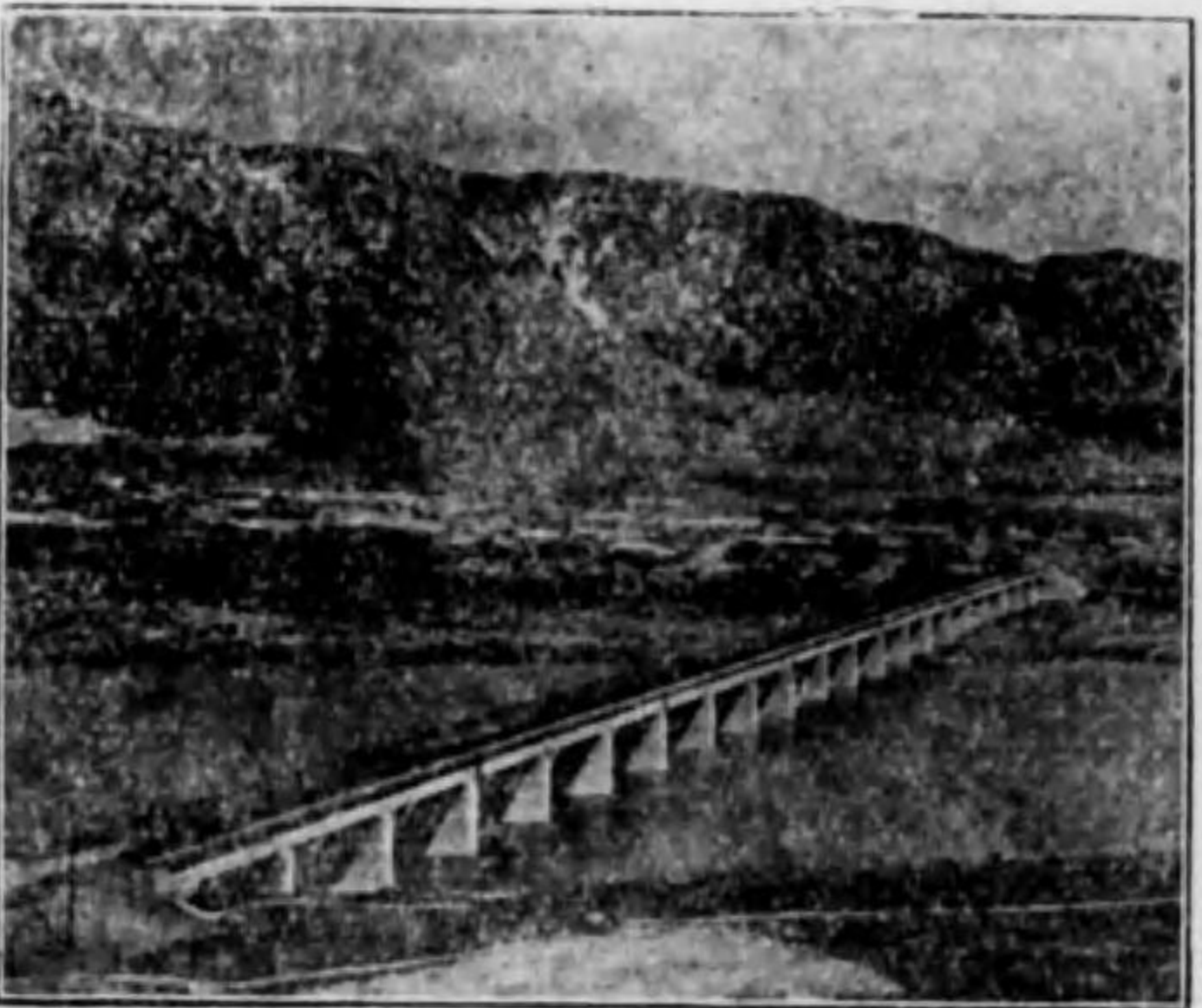
鑛業は朝鮮の一大富源で、雲山、遂安等の金、載寧、殷栗等の鐵、平壤の石炭は何れも産額多く、北部及び慶尙北道からは黒鉛を産するが、鑛山の利益の半は外國人に占められて

る。工業はまだ幼稚であるが、従來の手工業が漸く面目を改め、内地人によつて製鐵、製紙などの近代式工業が行はれるやうになつた。商業は大都市以外には常設の店少く、定期に市を開いて賣買を行ふ風があり、大邱等の市が特に有名である。内地との取引も發展して多く工加品を移入し、食糧品、鑛産物を移出してゐる。

交通 鐵道は廣軌制で京釜・京義の二線は斜に半島を縦斷し更に安奉線に連つて歐亞連絡幹線の一部をなしてゐる。この外、京元・湖南・咸鏡線があり、咸鏡線の北部は吉會線に連絡して滿洲國に到つてゐる。海運は鐵道聯絡船の外、仁川・釜山・元山等を中心に内外航路が開け、内地及び支那と連絡してゐる。河川も緩流で流路長く、かなりの上流まで通行することが出来る。又滿洲國京圖線と北鮮鐵道との連絡圖們江鐵橋が架設されたので日滿が完全に結び付けられ、これに依つて日滿經濟、産業及び軍事上に裨益する處が多である。

住民 人口は二千二百萬で、南部は比較的密であるが北部は疎である。近年に至り朝鮮人の、内地へ出稼するものが大に増加し、諸所にその集團を作つてゐる。住民の大部分は朝鮮

民族で、容貌・體格等は内地人に類似し、概して文化の程度が低かつたが、近時教育の普及されるに従ひ、人文も次第に進歩の跡を示してゐる。内地人の移住者は近年増加して六十



江 們 圖

萬に近く、多く鐵道沿線及び海岸地方に住居してゐる。朝鮮はもと獨立國であつたが、近世に至り外國の干渉を受けるに至つたので、我國は朝鮮の獨立と東洋平和のために、支那及び露西亞と戦ひ遂に明治四十三年

釜山 人口約十八萬餘を有し朝鮮の南門に當り、半島第一の

第十九編 日本地理知識 第十三章 朝鮮地方



樓 會 慶 城 京

京城 人口約十萬餘を有し、洛東平野の中心地に位置し、農産物の集散が多く、また盛んなる商市が今なほ開かれる。木浦 人口約六萬餘を有し、農産物の取引港として有名である。群山 人口約四萬餘を有し、また米の積出港として賑はつてゐる。

八四七

市で、人口約四十五萬を有し、政治、交通、學術、經濟の中心地をなしてゐる。市内には總督府・李王の宮殿・高等法院・京城帝國大學などがある。

仁川 その外港仁川は人口八萬餘を有し、半島の西門に當り近年開門式船渠の築港が完成し、米・人蔘・牛皮等を積出す。月尾島は港口にあり、日清日露兩役に當り、この邊りで海戦のあつた所で、今はあらゆる遊覽設備を整へ、市民の行樂場となつてゐる。



仁川

開城 人口約五萬七千を有し、高麗の王都として燦然たる文化に浴した跡で、今は人蔘の産地として名高い。

平壤 人口約十八萬餘を有し、箕子以來四千年の歴史を持つ半島最古の都市で、水陸交通の要點に當り、物資集散の中心となり、市の内外に大同

觀光地となつてゐる。



大洞江畔の練光寺

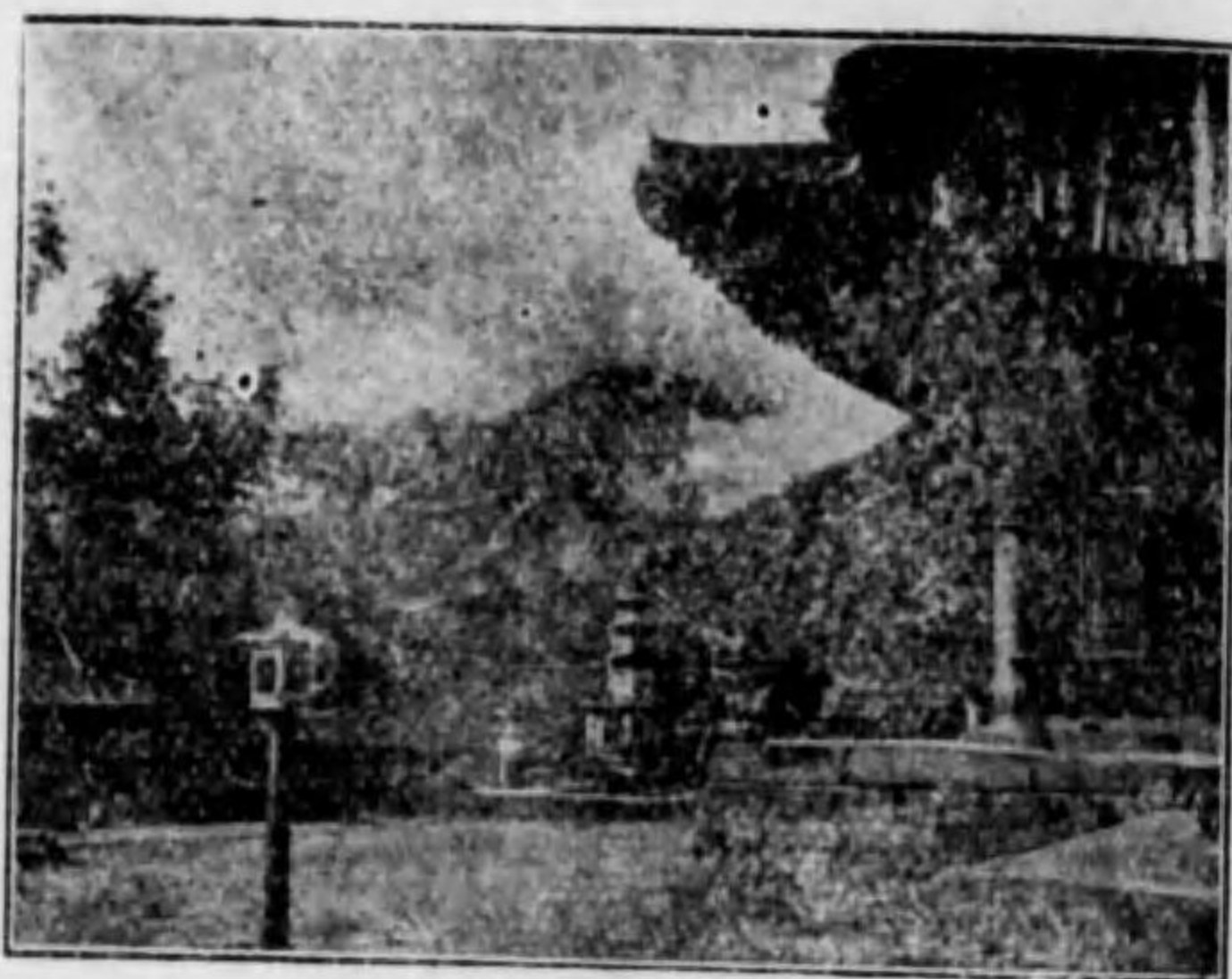
門・牡丹臺・玄武門・樂浪古墳等の名所古跡が多い。

鎮南浦 人口約五萬餘を有し開港場の一で、農産物の移出が盛んに行はれ、また製鍊所がある。

定州 人口約二萬を有し平壤と新義州間とにあり古來しばしば戰禍を蒙り市内には日露戰役の加藤中尉の忠魂碑がある。

新義州 鴨綠江岸の新義州は、滿州國の安東縣に對し大陸から日本に入る關門で、製材が盛んに行はれ製紙工場もある。

元山 人口約六萬餘を有し、東海岸の良港で、牛・明太魚を集散し、その北方には咸興の名邑がある。城津・清津・雄基は共に開港場で、會寧は滿洲國の間島に入る要地になつてゐる。元山の南方に聳える金剛山は、豪壯奇絶の岩峰美と溪谷美とを集め、更に古雅翫すべき古刹を加へ、國際的に著名の園地である。此處はもと壽康宮と稱した宮址で、正門を入ると突當りに明政殿がある。高麗末期の建物で、東面して建てられてゐるのと、京城最古の建築物として古典趣味家の注意を惹いてゐる。明政殿の附近にある點々數棟の舊殿址には、博物館と共に新羅以來の古器物、佛像、武器、書畫など半島古今文化の一端を窺ふに足る好資料を陳べ、動物園・植物園もあり、林泉の美で知られた祝苑は、宮殿の背後にある鷹峰の麓で、丘陵逍遙として老樹多く、間碧鮮かな樓閣、謝亭その間に散在して實に階邊の境地である。



外金剛神溪寺

觀光地となつてゐる。

金剛山 世界的名山で古來二千餘と稱せられ、無數の奇峰と幾多の溪谷、瀑布、深潭、奔流などの醸成する豪宕幽寂な境地と興味深い史蹟傳説に富む長安寺・表訓寺・神溪寺などの大伽藍が渾然し融合し

天然と人工の大綜合美術である。

朝鮮八景 濟州島漢拿山・赴戰高原・智異山・俗離山・内藏山・白羊寺・開羅水道・慶州佛國寺・扶餘等である。  
朝鮮八勝 海印寺溪谷・牡丹臺・統軍亭・妙香山・邊山半島・夢金浦・朱乙温泉・東萊海雲臺など。  
昌慶苑 李王家が京城府民のために庭園の一部を開放し、園内に博物館・動物園・植物園などの設備を施した府民唯一の遊



金剛山長安寺

牡丹臺 公園  
錦繡山 一帯約三十萬坪の總稱で古來

天下の牡丹臺として知られ乙密臺・玄武門・最勝臺・浮碧樓・お牧の茶屋などの名所舊蹟が散在する。乙密臺は平壤神社の北側から、七星門をくぐりだら／＼一軒ばかり登つたところの丘で、丘上の四虛亭は保護建造物である。山下すれば玄武門・永明寺・浮碧樓など翠緑の間に望み、大同の清流には綾羅島が浮ぶ。乙密臺下の松林中に、高麗肅宗王創立の箕子廟がある。最勝臺は玄武門南方に屹立し、日清役當時清軍がわが元山支隊を苦しめたところ、丘頂に最勝亭がある。

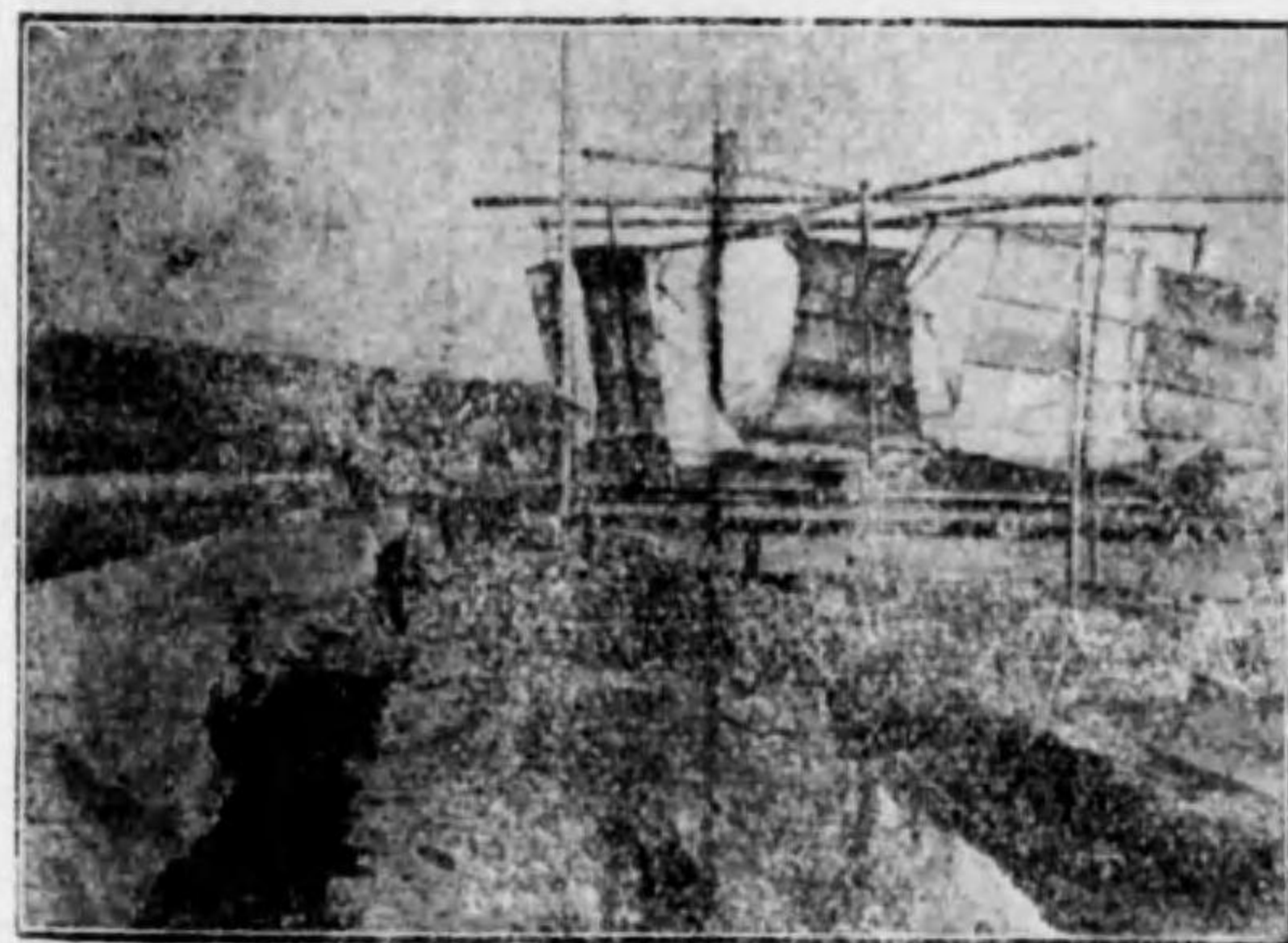
東萊海臺 朝鮮八勝の一で東萊・海臺二温泉を總稱し、東萊は新羅時代から知られた温泉地で、釜山を去る北方約十二軒、附近には海雲臺・梵魚寺・通度寺などの名所舊蹟あり、釜山から鐵道、電車、バスの連絡がある。

### 第十四章 關東州

關東州は滿洲國の西南に突出する遼東半島の南端を占める地域である。

地文 丘陵が連亘して平地に乏しく、海岸は屈曲に富み、大連・旅順の良港灣を有し、東南の海上に長山列島が點在してゐる。氣候は寒暑共に甚だしく、冬季には海面は凍結し、夏

季には雨量は多いが、その他の季節は少い。人文 農産には乏しいが、水産は豊富で鯛の漁獲多く、沿岸ではまた天日製鹽が行はれる。商工業は主として大連市で行はれ、豆油・豆粕・製粉等が多く内地に送られる。滿洲國に輸入される貨物の多くはこの地を経由するのである。



田 鹽

關東州は日露戰爭の結果、露國から租借權を我國に繼承したところで旅順に關東廳を置き、關東長官をして行政を統べさせてゐる。人口は百五十餘萬あり支那人がその大部分を占め、内地人は十數萬に過ぎない。我が滿洲國鐵道



旅順關東廳

點として内地・朝鮮・支那本部の諸港に通じてゐる。

都市 大連市は滿洲國の門戸で、人口三十六萬餘を有し、その埠頭は東洋第一と稱せられ、盛んに大豆・豆粕・豆油



大連埠頭

はこゝを起點として東北に進み、新京にて北滿洲鐵道と連絡し、歐亞連絡の重要幹線となつて居る。海運は大連を起

石炭を積出し、内地よりは綿織物、麥粉などを輸入する。市街は整然とし設備がよく整ひ、附近には星ヶ浦の遊樂地がある。旅順市は關東廳のある所で、人口約三十一萬、日清日露の激戦地として、今もその戦蹟が残つてゐる。金州は遼東半島中最古の都城で、標色式な支那都邑の相をなし附近に南山・和尚山等の舊戦地名勝等がある。

星ヶ浦 黄海に面して風骨雄大、ホテル、貸別荘、海水浴場、ゴルフ場などあり、近代的な遊樂設備を施してゐる。

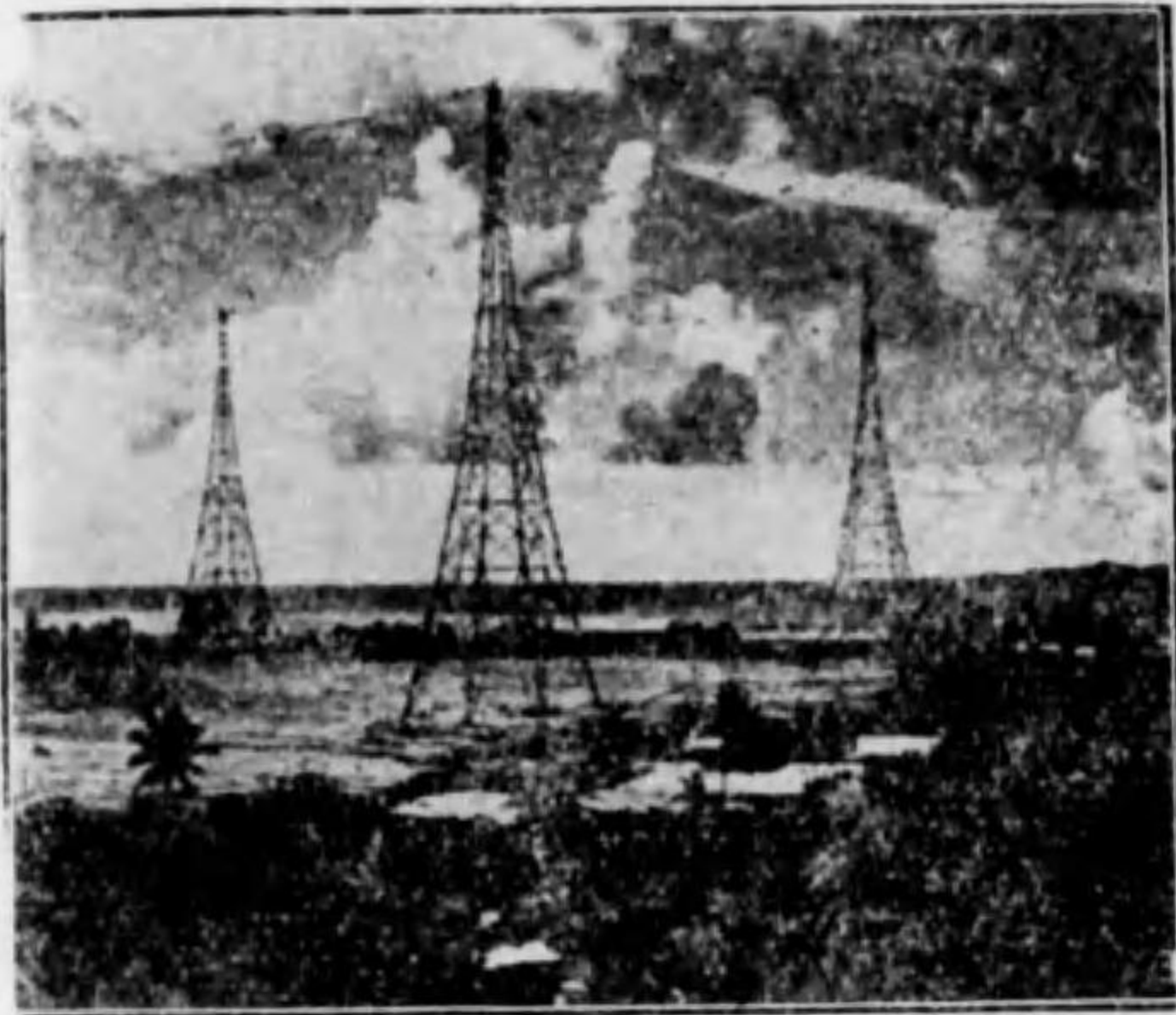
白玉山 旅順市中に聳える丘陵で、山上に壯麗な表忠碑と納骨堂がある。

### 第十五章 南洋諸島

南洋群島は小笠原諸島の南方、赤道以北の太平洋上に散在し、島數は一千有餘を算するが、いづれも小島で、その全面積は東京府とほぼ等しく、北のマリヤナ島のバラウ、中央のカロリン、東のマーンシャルの四群島に分れ、人口も約九萬に過ぎない。地文 マリヤナ列島中は富士火山脈に屬する火山島

が多いが、他の群島は殆んど珊瑚礁から成つてゐる。全部熱帯圏中にあるため気温は高いが、常に海風が吹き渡り、また熱帯特有の驟雨が毎日あつて、ために暑氣を緩和し、比較的凌ぎ易い。

人文 土地狭小で農産は少い。住民は椰子及び甘蔗を栽培し貝類の採取が行はれ、又アンガウル島の機織は特産として有名である。



所信電線無局便郵オラバ

この群島はもと獨逸の領地であつたが、世界大戦後國際聯盟の管理となり、我が國にその統治を委任してより、南洋廳を置いて行政を統べ、その開發に努めてゐる。住民の中カナカ族が最も多くその他にチャモロ



所會集の民島オラバ

置を占めて、財政も亦整調して、最近本國政府の補助を受けず、却つて剩餘金を生ずる程度にまで進んで居る。

族等がある。各島の住民はその容貌風俗を異にし、文化は極めて低く、内地人は年々増加して、今や一萬を超えてゐる。本群島は天産物少く、住民も亦少く、我國が太平洋に發展する中、洋として重要な地位として重要なる

# 第廿編 外國地理知識

## 第一章 亞細亞洲

### 第一節 總 說

境 域 亞細亞洲は東半球の東北部に位置し、面積約二百九十萬方里を有し、全陸地の約三分の一を占める世界最大の大陸である。北は北極洋に臨み、東は太平洋を控え、南は印度洋に面し、西は紅海・地中海・黒海・コーカサス山脈・裏海及びウラル山脈等を境として、アフリカ及び羅巴歐洲に接してゐる。

地形 巴ミル高原が中央にあつて本洲の主山脈をなし、それより多くの山脈が四方に射出してゐる。即ち天山・アルタイ・コンロン・サヤン山脈等は巴ミル高原より東北に走り、印度支那山脈・北嶺・興安嶺等は東に向つてゐる。また東南にはヒマラヤ山脈・北方にはトランスヒマラヤ山脈が走り、西に向つてはヒンズーグシ・エルブールス山脈などが出てゐる。河川は高原より各山脈の間に添ふて海に入つてゐる。即ち北極洋斜向にはオビ・エニセイ・レナなどがあり、太平洋傾

面には黒龍江・黄河・揚子江・珠江・メコン・メナム河等が流れてゐる。サルウイン・イラワヂ・ブラマプトラ・ガンジス・インダス・チグリス・ユウフラテスなどの河川は印度洋に入り、ウララ・アム・シル・タリムなどは内陸斜面を流れてアラル海・裏海等に流入してゐる。湖沼の重なるものとしては、鹹湖に裏海・アラル海・バルハシ湖等があり、淡水湖にはバイカル・洞庭・鄱陽湖などが著名である。

海岸は北方に屈曲が少いが、東方及び南方は出入に富んでゐる。即ち北極洋方面にはカムチャツカ・朝鮮・印度支那の三大半島が突出し、その間にボルネオ・スマトラ島・日本列島などを散在せしめ、日本列島と馬來半島との間にもベリリング海・オホーツク海・日本海・黄海・東支那海・南支那海などの沿海を圍んでゐる。また印度洋には印度半島・亞刺比亞半島・ベンガル灣・亞刺比亞海・波斯灣・紅海などがある。

氣候 氣候は西南部は炎熱甚しく、且尨大な土地のため雨量に乏しく沙漠が多い。南部から東部は一體に海洋性の氣候を呈し、季節風帯に屬して居る。北部は寒冷で凍土帯に屬し、内部は大陸性で、草原や大沙漠が廣く横はつてゐる。



**産業** 南東部の季節風帯は農業が盛んで、内地の草原地方には牧畜が行はれてゐる。礦物は埋藏が頗る豊富であるが、その大部は尙ほ採掘されてゐない。工業は原料に富んでゐるに拘らず、今尙ほ發達の途中にあつて、日本・滿洲・支那・印度等を除いては見るべきものが少い。商業も大部分は原料品を輸出し、加工品を輸入する有様である。

**交通** 大山脈や高原や沙漠などが横はつて、交通の發達を妨害してゐるから、陸路による交通状態は甚だ不充分である。水路においても、歐米諸國に比し概して劣つてゐる。

**住民** 人口は約八億五千萬で、世界全人口の過半を占めてゐるが、密度は東南部のみが稠密で、他は歐羅巴の半ばにも達してゐない。人種の上より見るときは、亞細亞人種に屬するものには日本族・滿洲族・蒙古族・土耳古族・漢族・西藏族・印度支那族、歐羅巴族に屬するものには亞刺比亞族・イラン族・ヒンズー族があり、海洋島嶼人種に屬するものにはドラビタ族・馬來族などがある。宗教は佛教を首位として印度教・回教・儒教・基督教・道教などの順位で各地に行はれてゐる。

**政治** 本洲は世界文化の源泉地で、三大宗教の發祥地であるが、現今では我國のみが獨り國運が榮え、他の大部分は歐米

列強の領地・保護地または勢力範圍に屬してゐる。これは大部分氣候の不良な上に山脈・高原・沙漠などのため、各區がそれ／＼孤立して、互ひに競争する機會が乏しかつたためである。獨立國中では日本・滿洲・波斯・暹羅は立憲君主國、支那・土耳古は共和國、アフガニスタンは英國の保護國、この外には二三の酋長國があるに過ぎない。

### 第二節 支那本部

**境域** 亞細亞洲の中部から太平洋に向つて開け、支那全土の東南部を占め、やゝ三角形の輪廓をなしてゐる。面積は約七十一萬方里で本洲の約四分の一を占め、人口も稠密な上に生産力にも富んでゐる。

**地形** 南嶺及び北嶺の二大山脈が、相並んで東西に連亘し、地勢を三部に分つてゐる。北嶺以北は北部支那の地で黄河の流域に當り、兩山脈の間は中部支那となり、楊子江の流域を占めてゐる。また南嶺以南は南部支那で、主として珠江の流域である。

黄河は青海地方に發源して、雨量の少い地方を流れてゐるから、河水は淺く支流は少く、且つ水利も乏しい上に、河水

は黄土のために濁り、河道は常に變移して水害を與へることが多い。楊子江は黄河の水源近くから發してゐるが、多數の支流と湖水とを容れ、支那本部の中央を東流する、最大にして且つ最要の河川である。即ちその流域は支那經濟上の中心となり、交通は至便で數千裡にわたつて舟楫を通じてゐる。



楊子江

珠江は印度支那山脈地方に發し東流して廣東灣に入つてゐるが、楊子江に次いで水利に富み、その沿岸は南支第一の生産地となつてゐる。海岸線は比較的短かく遼東・山東・雷州の三半島が突出して渤海・黄海・廣東灣を作つてゐる外大なる屈曲なく、従つて自然の良港に乏し



大冶鐵山

い。島嶼の中では廣東灣に横はつてゐる海南島が最も大きく且つ軍事、交通その他主要なものとなつてゐる。

**氣候** 南部は高温であるが、北部は冬季寒氣甚しく、また海岸の外は大體に於て大陸的氣候である。雨量は北より南の方

に多く、中でも南西氣候風の吹く四月より十月までの間は雨で、これに反し北西季節風の吹く十月より三月までの間は概して乾燥する。

**産業** 楊子江以南は茶・生絲・米・綿・甘蔗・北部は小麦・大豆・高粱・綿を産し、また各地に阿片の産出がある。到るところ養鶏が盛んで、鶏卵が多く輸出されてゐる。鐵産中では石炭と鐵が無盡藏といはれてゐるが、現在採掘されてゐ

るのほ開鑿・山東・萍鄉の石炭・桃沖・大冶の鐵などで、その他は概ね未着手のまゝ、残されてゐる有様である。工業では絹織物、陶器などは昔より名高く、製鐵・造船・紡績などの大工業も、最近に至つてやゝ發展の跡を見せてゐる。

○大冶 湖北省の南東隅にある縣で、縣下に獅子山・象鼻山。その他の鐵山があり、大冶萍煤鐵礦会社が經營し、鐵鑛の一部をわが八幡製鐵所に供給する。

交通 楊子江以南は水路がよく發達し、以北は車馬が、重要な交通機關となつてゐる。鐵道は東部海岸及び流域地方に漸次發達し、主要なるものとしては北寧・京漢・粵漢・津浦・膠濟・平綏・隴海・京滬の各線があり、航空交通も最近やゝ見るべきものがある。

○楊子江 單に江ともいひ支那第一の河川で、流域面積約百八十萬方呎、流域五千二百呎、河幅は江口から千二百呎の中流において二呎、江口において約百呎あり、漢口まで洋航汽船を通じ、宜昌までは普通汽船を通じ、千噸以下の小汽船は二千八百呎の上流重慶まで溯行する。

○萬里の長城 古代支那に於て防壁を長城と稱し、各地に構築されてゐた。秦の始皇帝が、國內を統一するに及

び、匈奴に備へるため北邊の各長城を修築し、西は臨洮から東は遼東に至る所謂萬里の長城を築いた。後代各朝もこれを修築し、清代に至り蒙古が完全に服してからはこの必要なく、次第に崩壞に委せられた。

住民 住民は漢族・滿洲族・蒙古族・土耳古族・西藏族・苗族などで、その數四億二千五百萬あり、海外に在住する者も約一千萬に達してゐる。漢族は排外的且つ保守的で、愛國心に乏しいといはれてゐるが、一般に勤儉にして忍耐力強く、商業に長じまた苦力として海外に出稼ぎ、全世界に分布されてゐる。教育は次第に面目を改め、宗教は漢族の間に儒教・佛教・道教などが行はれ、蒙古族と西藏族は喇嘛教・土耳古族は回教を信じてゐる。

政治 支那は世界古文明國の一で、曾ては萬里の長城、大運河の如き大工事を起したとさへあつた。二十數年前清朝が仆れて立憲共和制となり、中華民國と稱するに至つたが、その後内亂が打ち續き、最近やうやく國民政府になつて統一されるに至つた。現代の政治形態は、ソヴェット聯邦の政治組織を範とし、中國々民黨の一黨專制による、委員會議政治である。そして孫文の定めた黨治三期（軍政・訓政・憲政）の

うち、訓政が終つて憲政期に入らんとしてゐる。

建國大綱によるときは、訓政期において、國民に政權使用の訓練を與へ、自治能力を養成し、これが全國に普及するのを待つて憲法を發布し、憲政期に移つて訓政期間中に黨が代行し來つた參政權を、一般國民の手に與へ、全民政治を行はんとするものであるが、その實現に先立ち支那事變が起り、中北支に特殊な自治體の出現を見るに至つた。

北部支那 主として黃海・白河の流域と渤海の沿岸とを占め、支那文明の發祥地で、歴代の史跡に富んでゐる。北京は永定



北京

河の流域にあり、諸鐵道の會合する形勝の地を占め、古來屢々帝都となつた處で、内城と外城とに分れてゐる。張家口は蒙古及び西比利亞に對する要地で、陸商の集合多く、天津は白河・大運河及び北寧・津浦兩鐵道の會點に當り、北京の咽喉を扼し、北支第一の開港



孔子的墓

場で新式の工業も行はれ、我が駐屯軍司令部の所在地である。秦皇島は渤海灣唯

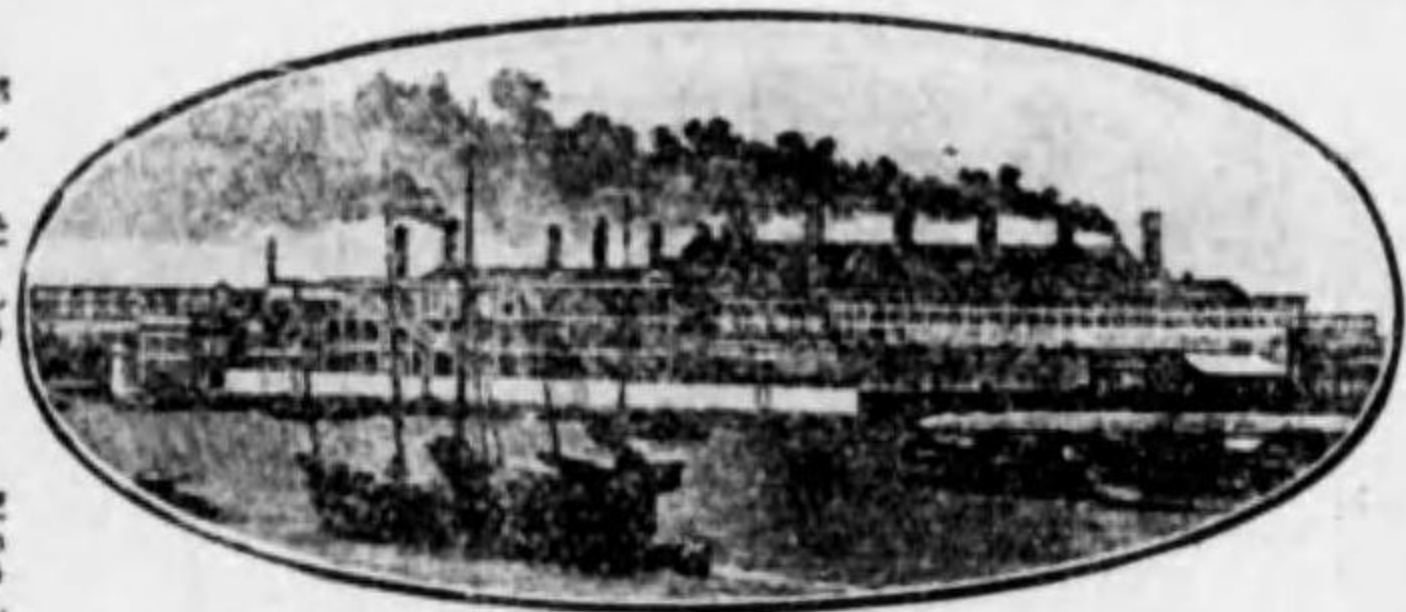
一の不凍港として、開平炭の積出しで賑つてゐる。山東半島は人口の密度において支那第一と稱せられ、北岸には芝罘・威海衛、南岸には膠州灣がある。膠州灣口の青島は、獨逸がこれを租借して以來急速の發達を遂げ、歐州大戰當時は、一時我國が占領したこともある。この地を起點とする膠濟線の沿道には、炭坑で知られた博山を始め周村・濰縣などの、日本人の發展する新興市街が多く、終點の濟南に近く、泰山と孔子廟で名高い曲阜がある。また芝罘は炸彈線の産地として知られ、且つ滿洲との交通が頻繁である。威海衛は殆ど半島の突端にあり、日清戦争の古戰場で、一時英國の

租借地となつたこともあるが、今は支那に還附されて居る。黄河の流域には、古の帝都であつた開封・河南・西安などの都市がある。

○泰山 山東省にあり支那五岳の一で、昔は岱宗・岱山・岱東など、稱した。山上に玉皇殿あり、その他各所に多くの祠廟があつて、毎年登山する者が甚だ多い。この山についで東方に一山脈を形成する泰山々脈あり、支那各地にある泰山廟は、この泰山の神を祀るものである。

○孔子廟 孔子は支那春秋時代の人で文藝に通じ、哀公の十四年「春秋」を著した。その學説は堯・舜・禹・周公等に出で、曾子・子思・孟子・程子・朱子等に傳はり、複雑な發展を遂げ、早く我國に傳つて人心に甚大な影響を與へ、帝都の聖橋々畔に孔子の大聖殿が祭られてある。

中部支那 中部は河湖の影響を受けて氣候温暖で、雨量に富み産業も發達し、且つ人口も稠密な最も重要な地域で、主として揚子江を中心として發展してゐる。先づ江口には國際都市上海がある。吳淞を外港とする支那第一の開港場で人口三十萬を有し、揚子江全流を背景として生絲、綿などを盛んに輸出し、綿布、石炭などを輸入してゐるが、市の内外には紡



海上に於ける邦人經營の紡績社會

岸の蘇州と、大運河南起點の杭州は、何れも風光明媚で古來絹織物を以て名高く鎮江と蕪湖とは共に穀物及び茶の輸出を以て知られてゐる。



蘇州郊外虎邱の靈巖寺

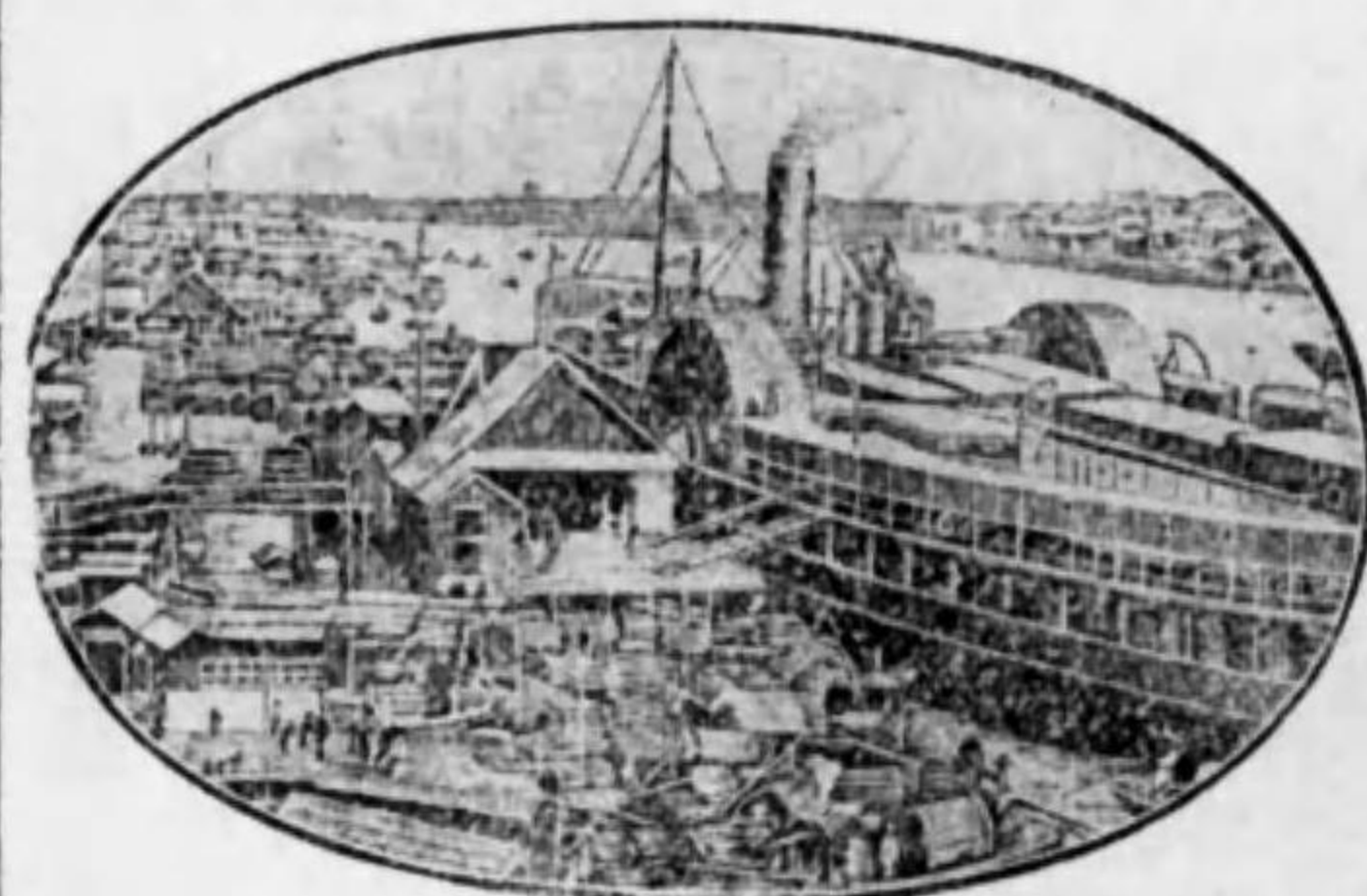
績・造船などの大工場が興つてゐる。南京は揚子江の下流にあり、支那事變前まで國民政府の政廳あり、市内には孫逸仙を葬る中山陵がある。太湖沿



蘇州附近の風景

漢口は漢江と揚子江の會合する地點にあり、人口約百五十萬を有する中部有数の都市である。漢陽と武昌とは、大冶鐵山と萍鄉炭田とを控えた大工業地で、漢陽には製鐵、武昌には紡織業が發達し、且共に京漢線と粵漢線との連絡地點となつてゐる。

○中山陵 孫文の號「中山」に因んで名づけたもの、孫文は民國十四年國民黨の總理となつて多年革命に従事し、その成功を見ずして天津に天逝したが、國民黨を母體とす



廣東の船家

南部支那 南部は熱帯性の氣候を呈して雨量多く、中部に次ぐ重要な地域となつてゐる。福州は臺灣海峡に面して茶材木などの輸出多く、廈門は臺灣及び南洋方面との交渉が深い。仙頭も亦南洋方面に對する移民の出立地として賑ひ、廣東は廣東灣に臨み、人口九十萬を有する南部第一の都市で、船舶生活者の多いことによつて知られ、生絲・絹織物・花筵などの輸出が盛んである。

香港は珠江口にある大貿易港で英國の領有に屬し、英國の東洋經營の第源地となり、造船業も行はれ、製糖、釀造などの業も盛んに行はれてゐる。對岸の九龍も英領で、その背後の



香港

北域は英國の租借地となつてゐる。この外澳門は葡萄牙に屬し、廣州灣は佛蘭西の租借地である。内地の要都としては珠江の上流に雲南があつて、佛領印度支那との間に鐵道を通じてゐる。

青海・西藏は支那の一部であるが、國民政府の威力は殆ど及んでゐない。蒙古はゴビ沙漠によつて内外兩蒙古に分れ、内蒙古の東部には漸次日本の勢力が波及し、外蒙國はソヴェイト・露西亞の勢力範圍に屬してゐる。

蒙古 蒙古・新疆



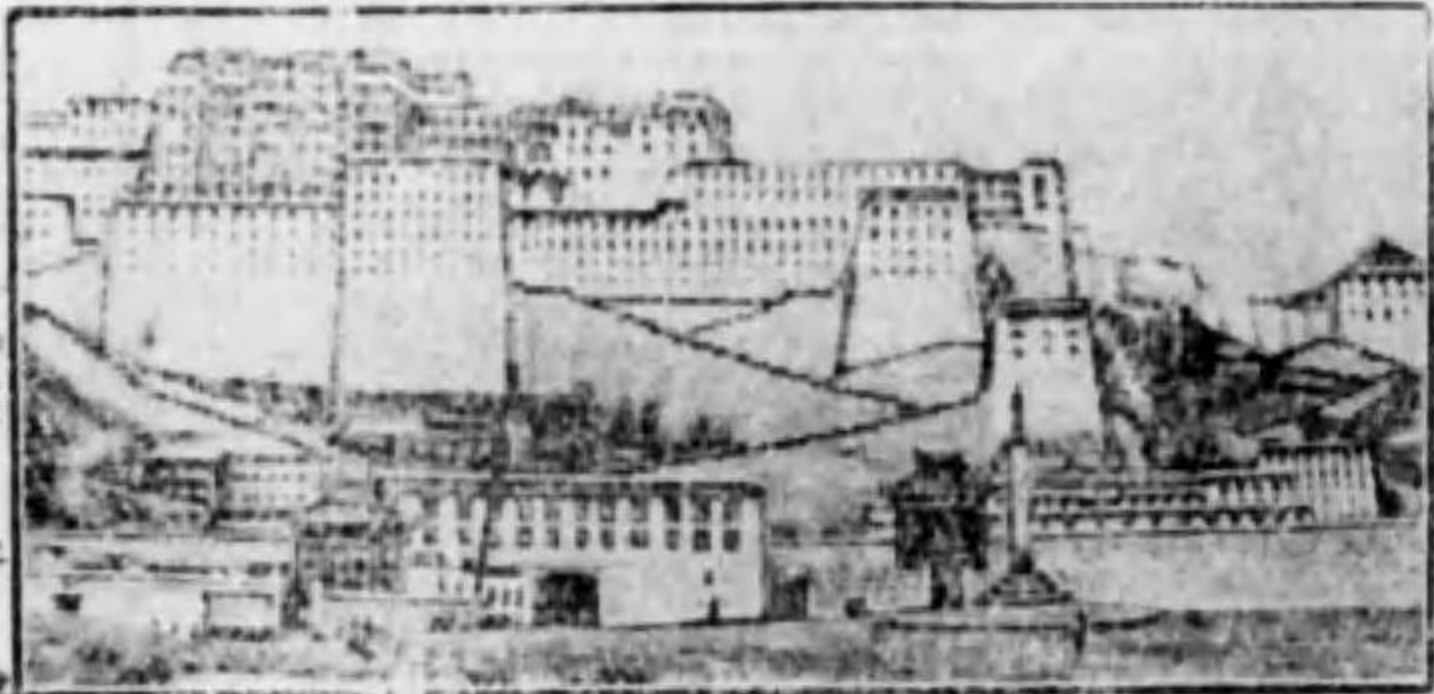
蒙古の古遊牧

蒙古の女



住民は蒙古族で喇嘛教を信じ、雨量が極めて少ないため、その多くは天幕の中に住み、遊牧を業としてゐる。外蒙古の首邑庫倫には宏大な喇嘛教の寺院があり古來秘密境として外國より來訪する者多く、買賣城は西比利亞に對する唯一の貿易地で、茶と毛皮との取引が盛んに行はれる。

新疆 新疆は天山・塔里木によつて、天山南路と天山北路とに分れ、北路には喇嘛教徒の蒙古人が住んでゐる。首邑は烏魯木齊である。南路にはタリム盆地・タクラマカン沙漠があつて、住民は回教徒の土耳其人が多數を占め



喇嘛の大木山



西蔵人

にあり、湖に富む世界第一の高原で、大陸の氣候を呈して雨量は少い。住民は喇嘛教を信する西藏族で、主として牧畜を業とし、首府拉薩には政教二權を掌握する達賴喇嘛が居住し、喇嘛教の大木山がある。また印度との境に亞東があつて西藏唯一の貿易場となつてゐる。

第三節 滿洲

概説 覇道政治にあらず、王道政治を基調とし、民族協和を標語として生誕した東洋の新帝國滿洲は、成長への特殊の過程と立國の精神とにおいてその存在が規定せられ、重要性を附與される。

昭和六年九月奉天柳條溝における支那正規兵の、滿鐵鐵道事件を直接の動因とする、日本軍の自衛權行使は、私的寡頭政治を基調とする苛酷な搾取行動機關である張學良政權とそれを統率する一職の政府とを一瞬にして覆没せしめ、これを契機として急激に昂揚し來つた新國家計畫が、僅か七ヶ月の短日月を以て具現し、昭和七年三月一日建國を宣言し、溥儀氏が執政となつて王道政治に則り、樂土建設の理想に進まんとする新たな滿洲國が出現し、封建的軍閥政治の殻を脱して近代國家體制への、華かなる轉換をなし遂げたのである。建國當時の滿洲國は吉林・奉天・黑龍江・熱河の舊東北四省であつたが、康徳元年(昭和九年)十二月より、新地方制度を實施することになつた。その結果従来の四省を分つて新たに吉林・奉天・錦州・安東・瀋江・三江・龍江・黑河・熱河・間島・興安西・興安南・興安東・興安北の十四省とし總面積は百三十萬三千四百四十三平方キロとなつた。

地形 滿洲國の南北は北緯三十八度五分より五十三度三十分に及び、東西は東經百十五度二十分より百三十五度二十分にわたり、我が岩手縣及び樺太と同緯度にある。東北はソヴェイト領西比利亞、東南は朝鮮と境し、西北は蒙古、南は渤海及び支那河北省に接してゐる。地勢は東に長白山系、北に小興安嶺、南に陰山山系あり、南の一部が渤海に臨む外は三方山を以て圍まれ、その中央公主嶺一帯を分水嶺とし、遼河は南流して南滿に、松花江は北に蟠繞して北滿の二大沃野を形成してゐる。

産業 住民の大部分は原始的産業に従事し、全人口の約八割五分までが農耕生活者である。殘餘は主として畜産・林産を事とし、鑛業・交通業及び商工業などの近代的産業に従ふ者は甚だ少い。

耕地に適する土地は總面積の四割四分に及んでゐるが、既耕地は約半分を占め、未耕地の方が幾分廣い割合になつてゐる。是等の耕地は比較的南部及び東部に發達し、北と西は取り残されて蒙古人の利用に任せ、遊牧・牧畜などが盛んに行はれる。一年を通じて雨量は少いから、耕地は主として畑地として作り、極めて限られた地域に、朝鮮農民の創めた水

田と、日本人の開いた果樹園とを見る程度である。緯度は我が秋田縣以北に當るから、農作物の種類も日本のそれと大差はないが、その品別は甚だ少くて、東部及び南部における大豆・高粱・玉蜀黍・粟・陸稻その他の雜穀・北部における小麦・水稻などを主なるものとして、多少の烟草・棉花・蠶絲・柞蠶絲などを見るのみである。



耕農の滿南



林ツマラカの嶺安興

林業は東部より北部にかけて河川沿岸に發達し、概算面積は全土の約三分の一に近く、これらの森林に繁茂する樹木の種類は北海道と大差なく、その材積見込量は百五十億石に及んでゐる。鑛産物は甚だ多いやうに考へられてゐるが、特に注目し

るものは、今日のところでは鐵・石炭及びその副産物の油母頁岩位のものである。尤も石炭の如きは、滿洲における鑛産の最も重要なもので、全國を通じて埋藏量四千八百億噸と推定され、年産額の如きも一千万噸に近い。鐵も所々に埋藏せられ、總埋藏量百二十二億噸と見積られてゐるが、現在のところ鐵



本溪湖製鐵所

鑛の總年産量は、四十萬噸内外である。以上の外金・銅・滿鐵・曹達の生産もあり、今のところ研究中に屬してゐる。



日清油房

水産業は海岸線に乏しいため海産物少く、若干の鹽を産するに過ぎないが、内水河川が縱横に通じてゐるため、淡水魚の産額は見るべきものがある。家畜の飼養は比較的普及してゐるが、その方法が原始的な上に品質も亦粗悪であるから、政府はこれが改良善導に努力してゐる。工業においては主要工場數四千餘あり、投資額は二億五千萬圓である。そのうち油房業が首位を占めてゐる。従つて主要生産は大豆油の年額三千万圓内外を第一として大豆粕・麥粉・綿絲布・精穀・酒類などの順位となつてゐる。

氣候 大陸的で寒暑の差が甚しく、冬季には地表や河湖が結氷して、車馬の交通を阻止する。雨量は一般に少いが、夏季の豪雨は道路を泥濘化し、その代償として農耕に利益を興へてゐる。

交通 鐵道は南滿洲・東支及び北支の三線を幹線として、尙ほ多數の支線があるが、その經營には多くは日本人が關係してゐる。道路は主要都市附近は次第に整備されつゝあるが、奥地は一般に不完全である。然かし遼河・松花江の二大川が蟠繞してゐるから、内地には舟運の便がある。航空に關しては國土が甚大で、且つ大部分が平野であり、氣流及び氣象な

どの好條件と相俟つて、將來の發展を期待されてゐる。現在のところ大同元年十月、滿洲航空株式會社が三百八十五萬圓を投じて創立され、航空路の延長は約一萬軒に及び、日本との間は日本航空會社によつて新義州で連絡されてゐたが、昭和十二年新京と東京間に直通航路が開かれるに至つた。

**住 民** 人口は康徳二年末現在において三千四百八萬餘を算し支那本部より移住した漢族がその大部分を占め、在來の滿洲族はその次にある。日本人の在留者は建國當時は二十萬内外に過ぎなかつたが、康徳二年末には約五十萬人に達し、外に約八十五萬の朝鮮人が入國してゐる。

**教 育** 教育の根本方針は王道にあり、四書・孝經の講授を行ひ、以て禮教を崇び、初等教育は孝悌、敬老、憐貧を、中等教育は儉、勤、恕を、高等教育は智、仁、勇を以てその要旨としてゐる。

**軍 事** 陸海軍は皇帝御親ら統率せられ、國內の治安並びに邊境及び、江海の警備を擔任するもので、帝制實施に當つて皇帝は、國軍に軍旗と勅語とを下賜された。陸軍は直轄部隊に禁衛軍あり、その他全國を六軍管區に別ち、興安各省には警備軍あり、その數は八萬である。

海軍は建國當時舊式砲艦五隻を有するのみであつたが、康徳二年以來新砲艦の建造に着手し、現在では四砲艦六隻を有して威容を整へてゐる。

**政 治** 建國以來財政の確立、治安の回復に努めた結果國體は安定し、更に我國が率先してその獨立を承認するに及び、名實ともに獨立國家としての體容を整備するに至つたが、三千萬民衆の熱烈なる要請と、順天安民の大旨に則り、建國第三年の三月一日に至つて、遂に帝制を實施した。

かくて滿洲國の統治主權は皇帝に歸し、皇帝は尊嚴にして侵さるゝことなく、宣戰・講和・條約締結の大權を有し、陸海空軍を統率し、大赦・特赦・減刑及び復權の命令權を保持されることゝなつた。

皇帝の諮詢機關として參議府があり、法律、教令、豫算、條約、協約並に皇帝の名に於て行ふ對外宣言、重要な官吏の任命、その他重要な國務につき、皇帝の諮詢を待つて意見を提出し、また重要な國務に關しては、皇帝に意見を提出する。

中央政府は四權分立の原則に基いて立法院・國務院・法院・監察院の四院を置き、地方には省・縣・旗・特別市・村・區

などの行政機關を設け、民政部がこれを管轄してゐる。舊政權時代は省は一國の觀があつたが、滿洲國政府は中央集權の確立と擴充を期し、先づ省政府の權限を縮小し、次で地方行政改革委員會の成案を得て、前述の如く地方を十四省に分ち、中央集權の強化を圖ることゝなつたのである。

**都 邑** 鞍山は歐洲大戰當時創建された鑛業都市で、規模の宏大な製鐵所がある。瀋陽は滿洲最古の都市で、一帯は史蹟に



鞍山製鐵所

富み舊都の面影を宿し、落ちついた典雅さを持つてゐる。奉天は奉天省の首都で、遼河の支流運河畔の廣漠たる沃野に位し清朝發祥の地として古來政治の中心となつてゐた。市街は灰黒色の堂々たる城域をめぐらした奉天城内と、鐵道附近地及び商埠地の三區に分れ三鐵道の交叉點に當つて



奉天城北陵

ある。奉吉線の撫順と、運河を挾んで對する都邑である。この地は天然の貯炭場とまでいはれる。滿鐵經營の大炭鑛で、坑内掘りの外有名な露天掘が行はれてゐる。鐵嶺は遼河沿岸樞要の貿易場で、鐵嶺城は漢武年間築造にかゝり、附近に展望のよい龍首山の遊適地がある。開原は經濟都市としてその繁榮は鐵嶺を凌ぎ、開原城は奉天城と同時代の建造である。四平街は八面城・鄭家屯・通遼・洮南などに通ずる要衝に當り、蒙古に入る關門として、商況は活氣を呈し、新興氣分に満ちてゐる。



牧放の近附屯家郷

新京はもと長春と稱し、滿洲國の首府で松花江と遼河との兩流域に跨つた平原の一角を占め、新市街・商埠頭・舊城市・寛城子の四區に分れてゐる。その昔は蒙古の放牧地に過ぎなかつた一原野も、今は新興帝國の中心地として、人口二百萬の大都市建設に着手したが、第一期既に五ヶ年計畫を完成せしめたときには既に人口は建國當時に三倍の三十萬に達し、滿洲國政府各官廳・大會社・銀行などの大夏高樓をはじめとして、一般商店や民家も、面目を一新し、世界における最も新しい、近代的明瞭な國都を現出した。安東は鴨綠江を隔て、新義州に對し朝鮮より陸路滿洲國に入る關門をなす大貿易港である。鄭家屯は蒙古地方の咽喉を扼し、滿蒙物資の中繼地として活氣を呈してゐる。通遼は蒙古に入る要衝で、西方五十五支

里に有名な草林廟がある。吉林は吉林省の首都で松花江の左岸にあり、市街は清楚で景勝に富むのみならず、松花江岸木材集散の壯觀を望むことが出来る。敦化は吉林の東南にあり清朝發祥の地とも傳へられる古都である。哈爾濱は松花江に沿ひ水運と相俟つて交通の中心をなしてゐる。純歐風の都市で各國人が雜居し、市營の公園をはじめ劇場・舞踏場その他の、享樂機關が多く設けられてゐる。



賓爾哈

齊々哈爾濱は四平街より平齊線にて五百七十一軒を隔てた大平原中であり、嫩江を控えて内城と外城とに區分されて居る。その昔清朝が露西亞の東侵に備へて建設した都市で、初めから政治的、軍事的の都市として發達し、今は鐵路總局の鐵路局所在地となつてゐる。馬占山討伐で有名となつた昂々溪は、齊々哈爾濱から榆樹線によつて達してゐる。海拉爾はバルガ或は呼倫貝爾蒙古の中心都市として有名な處で、西部

滿洲における對ソ防禦第一線となり、軍事上は勿論行政上も經濟上の要地である。滿洲里も西部國境における軍事的、政治的要衝の地となつてゐる。山海關は北寧線の終點で、興亡千三百年の秘める萬里の長城が、海邊から起つて市の東北を過ぎ、天下の關として聞えてゐる。朝陽は五胡十六國時代以前の古都で、地方行政の中心地であり、且つ附近一帯の農産物の集散地である。承德は滿洲事變後の、熱河討伐によつて有名となつた處で、錦承線の終點に當り、清朝時代の離宮が残つてゐる。

琿春は露・支・日三國の境上に近い市場、間島は内・鮮・支人が混住し、農、林、鑛産に富み、龍井村がその中心となつてゐる。

○千山 鞍山の東方にあり、山骨を連ねた奇勝で、山麓の大孤山まで電車がある。山中景勝に富み、多くの古刹が散在して行樂の好適地となつてゐる。

○七陵 奉天の北方千軒にある酒太宗陵で樹林に圍まれ、精巧な建築を誇る石塔や樓閣がある。

○平漢湖 製鐵所や炭坑があり、附近に龍洞・龍王廟・兜山・桂山・顯王廟などの名所がある。

○熊岳坑温泉 熊岳城附近翠緑の中にあり、西方遙かに大平原を望み景勝に富んでゐる。温泉は熊岳河床から湧き砂風呂もあり、設備もよく整つてゐる。

○湯崗子温泉 平野の中にあり、滿洲一の温泉で、設備も十分整つてゐる。湯崗子驛から一軒東にある。

#### 第四節 亞細亞洲

西比利亞 亞細亞洲の北部は悉く露領で、その總面積は全洲の五分の二に當り、地形上西比利亞・中央亞細亞及びコーカサスの三部に分れてゐる。

地形 西比利亞の地勢は東部に至るに従つて高く、河川は主に北流して北極海に注いでゐる。中でもオビ・エニセイ・レナの三大河は著名であるが凍結の爲水運の便が悪い。エニセイ河上流バイカル湖は世界の湖沼中その水深は最も深く、毎年結氷期にはその上を自由に車馬を通行せしめる。ウラル山脈は歐亞の境を南北に走つてゐるが交通を妨げる程度に高峻ではない。ベーリング・オホーツクの二海は、火山の多いカムチャツカ半島に限られ、我が北海道の東北海上と共に世界三大漁場の一として知られ、我國民の出漁する者が甚だ多い。

地相の上から西比利亞を分類すれば、アルタイ・サヤン・ヤブ・ローなどの山脈の連貫する高地と、西南部の草原地帯と高地帯と草原地帯以北の森林地帯と、北極洋岸一帯の凍土帯との四つとなるが、凍土帯は利用の途なき地方である。

○バイカル湖 トランスバイカル山脈 中にある亞細亞最大の淡水湖で長さ六百七十軒、最深千五百餘米、湖岸線の長さ二千二百軒、毎年十二月から五月までの間結氷するが、その他は定期の汽船が通ずる。湖中鮭・海豹などに富み、湖邊には露西亞人・ブリヤート人が住んで漁業林業に従事する。湖岸には重要なイルクーツクがある。

氣候 大部分が北緯五十度以上にあるから、従つて氣候は極端な大陸性を呈し、中でもレナ河畔のヴェルホヤンスクの如きは世界の寒極と稱せられ、氷點下七十度に達したことがある。

産業 高地帯には金・白金・銀・石炭・石膏などの鑛産ありバルナウル、ヤクツクがその中心地となつてゐる。草原地帯には農業が行はれ、大麥・小麥・燕麥・馬鈴薯・亞麻・甜菜などの産出あり、牛馬・羊なども飼養される。森林帯には松・樺・樺などの大森林が多くバルブ・木材・毛皮を産出し、凍

土帯は不毛の地で、古代棲息した巨獸マンモスの牙が発見されることもある。



西比利亞エグホルンヤクスの近景

送、乗用ともに多く輪が使用されてゐる。主なる鐵道は西比利亞鐵道で、チエリヤビンスクから浦蘆斯德に達してゐる。この外東清鐵道・アルタイ鐵道などがあるが、東清鐵道は今

河川には鱒・鮭を産し、沿海からは鮭・鱈などを産するが、中でもオホーツク海からベリリング海一帯にかけては、世界三大漁場の一で、コマンデル諸島には鰵・鰯・鰒の繁殖が盛んである。交通 鐵道沿線を除き他は交通極めて不便で運

は滿洲國に讓渡されてゐる。

住民 人口は一千萬内外で、密度は極めて稀薄である。住民の九割は露西亞(スラヴ族)で占め、土人にはヤクト・ツン

グースフィンなどがある。

都邑 浦蘆斯德は沿海州にあつてベテロ

大帝灣に臨み、軍港と商港とを兼ね、西比利亞東部の關門をなす重要な地であるが、冬季には結氷する缺點がある。西比利亞鐵道は此處に起つてウズリ線・黒龍江線・外バイカル線などに小分せられ



浦蘆斯德港

ハバロフスク・イルクーツク・オムスクなどを経て歐洲線に連絡し、大陸を隔斷する唯一の鐵道線路となつてゐる。

黒龍江下流のニコライエフスクは、樺太のアレクサンドロフスク、カムチャツカ半島のベトロバウロフスクと共に、日本人の出漁する者が多く、且つ歐洲大戰當時、尼港事件の慘劇の演ぜられた處として、日本の記憶に新たなる地である。イルクーツクは毛皮及び貴金屬の集散地として發達し、キヤフタは支那との間に、茶と毛皮との交換市場となつてゐる。

○尼港事件 千九百二十年三月十三日、露西亞のトリビテンの率ゐる二千餘人のバリチザンが、黒龍江口のニコライエフスクを襲ひ、わが駐屯軍及び在留民はこれを防いだ

が力及ばず、日本人七百名が斃殺された事件である。中亞細亞 世界一の大湖と稱せられる裏海を始めとして、マラル海などの鹹湖に富み、バミル高原など南部山地の外は、概して沙漠または草原の平地をなし、主として牧畜が行はれ、河岸には綿作や養蠶も行はれてゐる。

タシケントは歐露・印度及びイラン高地の貨物集散地として賑ひ、メルフは軍事上、交通上の要地となつてゐる。○イラン高地 イングス河畔からチグリス河畔に至る大高原で、東西二千六百軒、南北千四百軒、面積六百萬平方軒、平均高度千餘米、周圍にスリマン・ヒンズークシ・エブ



イルス・イランの諸山脈をめぐらし、内部に宏大な内地灌溉を擁してゐる。

**高架索** 高架索は裏海と黒海との間にある地方で、カフガス山脈によつて自ら南北の二部に分れ、南部のアゼルバイジャン・ジョージア・アルメニアの三共和国は、カフガス聯邦を組織してゐる。

裏海西岸のバクー附近は、世界有数の石油産地として名高く、チフリスはシャージアの中心市場である。

### 第五節 西南亞細亞

**城** 亞細亞洲の西南部を占め、西はボスポラス・ダーダネルスの二海峡を隔て、歐羅巴土耳其及び、スエズ地峡によつてアフリカに對し、南は紅海及び亞刺比亞海に面し、東は印度、北は露領中亞細亞及び高架索に隣接してゐる。

**氣候** 亞刺比亞は世界最熱帯の一に數へられ、全土は殆ど沙漠である。イラン諸國も大部分沙漠で炎暑甚しく、雨量は一年を通じて極めて少い。西部の死海附近は、地中海面より低きこと四百米、世界の最低地として名高い。

**○死海** ソドムの海ともいひ、最深三百九十九米に及び、湖

スミルナの外には良港少く、バグダッド鐵道とヘチヤス鐵道とが通じてゐるが、一般の交通機關としては駱駝が使用されてゐる。

**區劃** 亞細亞洲土耳其は小亞細亞・アルメニア・メソポタミヤ・シリヤ及び紅海岸の五地方に分れ、イラン地方は波斯・アフガニスタン及びベルチスタンの三部に分れてゐる。

**小亞細亞** スミルナは小亞細亞半島の西端にあり、水陸交通の要路に當り、乾葡萄・無花果などの輸出港として發達し、アソラは近年土耳其の首府となつた處で、人口約十三萬を有し、そのアソラ山羊は古來有名である。



人ムヤン

メソポタミヤ チグリヌ・ユウフラ・テス兩河の上流に位し、西洋文明の發祥地で、バグダットは交通商業の中心となり、バストラはこの地方の門戸である。メソポタミヤには、英國保護のイラク王國がある。

シリヤ シリヤは佛蘭西の委任統治地で、ベテレームは基督教の出生地として、またイエルサレムはその墓所のあるところと

而は海面より三百九十四米下にある。北岸のヨルダン河をはじめ淡水を注入するものが多いが、排水口なく、蒸發が盛んなため、二十乃至六十パーセントの鹽分を含み、人體なども容易に浮び魚類の生存も不能である。近時その水が癩病の治療に効があると稱せられる。



人亞比刺亞



人古耳土

**産業** アルメニア山地から發するチグリヌ・ユウフラテス二流域及び、メソポタミヤ平原地方には小麥を産し、小亞細亞の沿岸には葡萄・無花果などが栽培せられ、イラン地方は牧畜業が發達して馬・駱駝・羊などが飼養されてゐる。

**住民** この地方は文化、宗教の發祥地として名高く、住民は回教徒のイラン族・亞刺比亞族・土耳其族・アルメニア族・希臘族などである。

して名高い。ダマスカスは露商取引の中心地となつてゐる。

**○イエルサレム** ヘブライ語で平和市の意。死海の東北に當り、市街は海拔七百九十米の地點にあり、内外に分たれて内部には基督教徒・回教徒・ユダヤ人・アルメニア人などが別々に住んでゐる。宗教上の建物多く、オマーの建てた回教寺院・基督の墳墓などは特に名高い。



人ンタスニスガフア

**アフガニスタン** 二三酋長國の同盟國で、カブール酋長の支配に屬し、首府はカブールである。

**ペルチスタン** 行政上印度帝國の一部をなし、アフガニスタンと共に、英國の勢力が著しい。

○メツカ 紅海岸のジツダ港から東方千軒の地盤にあり、マホメットの生れた回教の靈地として巡禮者が絶えない。靈廟の周圍は回教の寺院を以て圍まれ、三萬五千人を合れることが出来る。

### 第六節 印度

境域 亞細亞洲の南部印度洋に突出した三角形の大半島國でヒマラヤ高地・印度平原及びデカン高地の三部に分れ、人口約三億五千萬を有してゐる。

地形及び氣候 半島の北部にはヒマラヤ山脈が蜿蜒し、山脈の間に英國の保護を受けるネパール・ブータンの二王國がありまた世界最高のエヴェレスト山を隆起せしめてゐる。山地は氣候が冷涼で、印度の仙境と稱せられてゐるが、中部大平原にはインダス・ガンジス・ブラマプトラの三大河が流れ、氣候は炎熱である。

生物及び産業 平地は高温多雨で榕樹・チーク・檳榔樹などが繁茂し虎・豹・象などの野獸及び鱷・毒蛇などが棲息する。雨量の少ない沙漠地方も、灌溉の設備が完成してゐるから農業が發達し綿・小麦・米・阿片・甘蔗・麻・藍・茶・各種な

つてゐる。印度皇帝なるものは英吉利王で、その代理の大總督がこれを治めてゐるが、民族意識に目ざめた國民は、印度をして印度人の印度たらしむべく、歐洲大戰以來猛烈なる民主運動を起した結果、遂に千九百三十七年英國をして新憲法を實施せしめ、漸進的ながらも自治的聯邦制の權利を附與せしめた。地方は直轄と藩部とに分れ、十五州の直轄部には知事を置き、七百四十餘の小國に分れた藩部は、表面上のみ世襲の藩王がこれを支配してゐる。

都邑 カルカッタは印度第一の貿易地で、人口約百十五萬を有しガンジス河の三角洲に位置し、印度平原の門戸をなし、且つ麻織物の中心地である。ブタガヤは佛教、ベレナスは印度教の聖地として共に名高く、首府のデリーは舊モガル帝國の都のあつた地で、今は印度帝國の政廳を置かれてゐる。

インダス河口のカラチは、小麦の輸出によつて發達し、孟買は印度第一の良港として、また綿の最大市場として知られ且つ綿織物の中心である。マドラスは米・綿・各種などの輸出港として榮え、デカン高原の最大市場ハイデラバードと共に、印度屈指の都市である。

錫蘭島は政治上印度帝國に加らず、英國より別に首府コロ



原高ルミバ

政 治 印度は釋迦以前からの古文明國であつたが、今は英國治下の印度帝國とな



人度印

ンゴに總督を派遣して治めてゐる。コロンボは歐亞航路の要津で、茶・コブラ・護謨などの輸出が多い。ツリンコマリは英艦隊の根據地で、全島に茶種の栽培が行はれる。

○ムガル帝國 帖木兒の孫バベルが、千五百二十六年ロヂ王朝を倒し、デリーに都を奠めて皇帝の位に即いたに始まる。その孫アクバル大帝の時代は、ムガル帝國の最盛時であつたが、十八世紀の初め政治の統一を失ひ、次第に英佛の勢力に蠶食され、千八百五十七年土人の叛亂に興し、英國のため亡ぼされた。

ネパール ヒマラヤ山中にある一小王國で、農業及び牧畜を主要なる産業とし、森林にも富み、首府カトマンヅは人口八萬を有してゐる、この國は歐洲大戰當時、英吉利に援助を與へた功により、千九百二十三年獨立を認められたものである。ブータン ヒマラヤ山中にある王國で、住民は蒙古族である。千九百十年以來英國の保護下にあり、佛教が勢力を占め、農業と牧畜とが行はれてゐる。

### 第七節 印度支那

境域 亞細亞洲の東南部に突出した大半島で、西部と南部と

は英國に屬し、東部は佛蘭西の勢力範圍に歸し、その間に暹羅王國が獨立してゐる。

地形 印度支那山脈が半島を縦走し、その間にイラワヂ・サルウイン・メナム・メコン・ソーンコイなどの大河が、深谷をなして南走してゐる。平野は中南部の河流に開け、海岸も相當屈曲に富んでゐる。

産業 一年が乾季と雨季の二期に分れ、大河下流平原には米

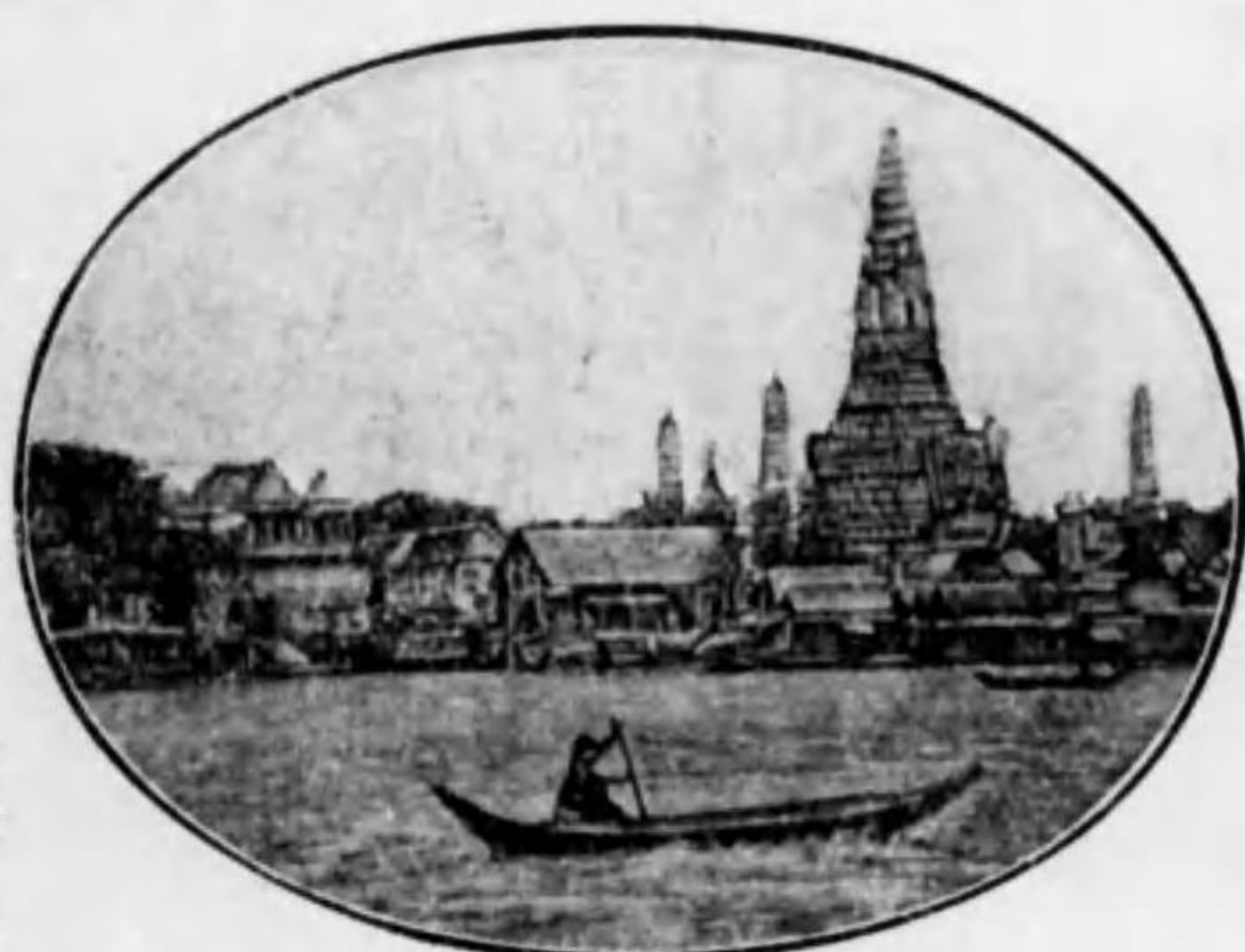


馬來土人

カア人(印度支那族)

綿・砂糖・香料などを産し、象・水牛などの家畜も飼養される。北部は森林に富んでチーク・紫檀などの特産あり、馬來半島は世界有数の護謨栽培地として知られてゐる。錫産物としては馬來半島及び緬甸の石油と寶石とが著名である。

住民 住民の多くは佛敎信徒の印度支那族である



盤谷

佛領印度支那 河内は首府で總督が駐在し

海防はメコン河の西貢と共に米の輸出港として有名である。またホンゲイは石炭の産出を以て榮えてゐる。

暹羅 暹羅は亞細亞洲の本部、印度支那半島の中央に位置し英佛二強國領の間に介在して獨立してゐる關係上、國歩も艱難であつたが、近年我國より顧問を聘し國政の改善に努めてゐるが英佛領印度支那の緩衝國である。面積は約三萬三千方里あり、この間に約八百萬の人口を擁してゐる。政治は專制君主制であつたが、千九百三十二年六月、盤谷に陸海軍を中心とする革命が勃發し、立憲君主制を

規定する新憲法が成立した。

住民は移住支那人が約その半數を占めて商工業の實權を握り、平野からは米、山地からはチーク材を産するが、氣候が不良なため、住民には怠惰の風がある。首府盤谷はメナム河の下流に臨み、人口約九十五萬を有する大都市で、バクナムがその外港をなし、米・チーク材などを盛んに輸出してゐる。舊都アヌチャ附近には、日本村の遺跡があり、最近日暹の關係は次第に親密の度を加へ、日本との貿易額は、千九百三十五年において、四千五百七十餘萬圓を算した。

英領印度支那 馬來半島の南部及び緬甸の地で、馬來半島一帯は錫と護謨の産出が多い。海峡植民地の新嘉坡は東・西・南三洋航路の焦點となり、中繼貿易が盛大である上に、軍事上重要な地位を占めてゐるので、陸・海・空の軍備が整備されてゐる。この外にピナン小島とマラッカとベカンとの二港がある。緬甸はもと王國であつたが、今は印度帝國の一部となつてゐる。マンダレーは首府のあつた處で、また佛敎の遺跡が多く、イラワヂ河口のラングーンは、米及びチーク材の輸出港として名高く、我が歐洲航路の寄港地である。

### 第八節 馬來諸島

概説 亞細亞大陸と濠太刺利亞大陸との間に散在するスマトラ・ジャバ・チモール諸島を列ねるスンダ諸島と、ボルネオ島・セレベス島・マラッカ諸島及び比律賓諸島から成り、全域熱帯にあつて且火山が多いが、海風のため炎暑は調節される。概して植物の生育に適し、平野には甘蔗糖・珈琲・煙草・マニラ麻・護謨・規那・サゴ米・コブラ・香油などを産し、スマトラ・ボルネオの二島は石油の産地として名高い。住民の大部分は回敎を信ずる馬來人で、商權は移住支那人が主として握つてゐるが、南洋航路の開けて以來、我國人の移住または渡來する者も年と共にその數を加へてゐる。



オネルボの水の上生活

比律賓 呂宋・ミンダオナ



(人賓律比)族ロモ

どの數多の諸島からなる比律賓諸島は、わが明治三十一年これを米國が占領して屬領としたが、最近獨立を認められた。首府マニラはマニラ麻・マニラ烟草・砂糖・コブラなどの輸出港として發達し、ダハオも著名な都邑となつてゐる。向カビテは海軍の根據地である。

蘭領 馬來半島の大部及び、ボルネオ・スマトラの島大部は和蘭領で、その面積は本國の約六十倍に達してゐる。殊にジャバは和蘭の寶庫と稱せられ石油・砂糖・珈琲・規那などの産が多く、これを首府バタヴィアを始めスラバヤ・サマラン諸港から輸出してゐる。

その他馬來諸島の香料、セレベス近海の龜甲、パンカ及びピリトン島の錫、スマトラ及びボルネオ島の石油など有名である。以上の外ボルネオ島の北部は英國領で金・金剛石などを産し、チモール島の東半は葡萄牙領となつてゐる。

### 第二章 太平洋 第一節 島嶼部

概説 太平洋は太平洋上に散布する島嶼と濠太刺利亞大陸の總稱で、初め是等の地に土人の獨立國が一二あつたが、現今は列國の勢力範圍に歸し、英・米・佛・蘭の諸國及び日本の屬領又は委任統治地となつてゐる。位置は大部分熱帯に屬してゐるが海風の影響を受けて、大陸の内海以外は氣候は温和である。

島嶼部はミクロネシア・メラネシア・ポリネシア・ニューギランドに分たれてゐるが、大體に於て地形は高い火山島が低い珊瑚島で、椰子・麵包樹・バナナ・海龜・燐礦などを産出し貯炭所・給水地・海底電線中繼所などとなつてゐるものが多い。ミクロネシア 比律賓群島の東方に擴がるマリアナ・カロリン・パラオ・マーシャルの諸島嶼で、歐洲大戰の結果我國の委任統治地となり、面積は沖繩縣に等しく、我が國に襲來する颱風は、屢々この附近に發生する。燐礦とコブラとは、本地方の二大産物である。マリアナ諸島は、我が小笠原諸島の南にあり、火山島で遠く富士火山脈に通つてゐる。最大島は、米



岸海クヨキルマ島ンバイサ

領のグアム島で、こゝには米國より我が國に來れる海底電線の中繼所がある。マリアナ群島の南に東西に長く散布するカロリン群島は、ヤルイト・クサイエ・ポナベ・トラツク・ヤツプ等の火山島又は珊瑚島からなり、その中のヤツプ島は海底電線の要地である。カロリン群島の東のマーシャル群島は、ラリツク・ラタツクの二諸島に分れ、西にパラオ諸島がある。パラオ諸島は、西カロリン諸島中の一で、そのアングウル島より産する燐礦はナウル島及び、英領の大洋島燐礦とともに我が國に輸入されてゐる。我國はパラオ諸島の珊瑚島に南洋廳を置き、その下に六支廳を設けてこれを統治し、その區域は東西約四千軒、南北約二千二百軒の海面にわたつて居る。

メラネシア 大陸の東北に當るバブア島及び、その東南方に群がる諸島を含み、佛領ニューカレドニヤからは、ニツケルを産し、日本人の坑夫が多く働いてゐる。バブア島はニューギニヤとも稱し、英・蘭二國領と濠洲委任統治地とに分れ、高峻な濕熱地で、土人をバブア族といひ、蠻民にして水上部落をなし、樹上に家を構へてゐる。物産として極樂鳥及び鸚鵡などの羽根がある。佛領ニュー・カレドニヤ島はニツケルの産地で、佛蘭西はこゝに海軍の根據地を定めてゐる。

ポリネシア 東經百八十度以東、東北回歸線の北にある無数の小島で、其の中の英領フィジー諸島は海底電線中繼地、クリスマス島は燐礦産地、サモア諸島の米領アピアは航路の中心である。また佛領タヒチ島は氣候よく、太平洋の樂園といはれてゐる。火山の多い米領ハワイ諸島は面積わが四國に等しく、氣候溫暖にして地味肥え、約八萬の日本人が移住して、本島主業の製糖に従事してゐる。オアフ島にある首府ホノルルは、太平洋交通の要津で、我が汽船の寄港地となり、その西北の眞珠灣は、米國海軍の根據地である。フェニクス諸島は英領加奈陀及び濠洲交通の要地となつてゐる。

○キラウエア火山 火口は長さ十三軒、幅十軒、深さ六百米常に灼熱した熔岩を流し、波浪の如く動揺する奇觀を呈し、千七百八十九年以後屢々大噴火を起してゐる。



人オリマ (ドンラージニ)

英人の外、文身で名高い土人マリオ族が住み、參政權を與へられて居る。オークランドは羊毛・凍肉の輸出港として名高く、ウェリントンはその首府である。

第二節 濠太刺利

概説 我が南に當り大陸とタスマニア島から成つてゐる。六大陸中で最も小さく大部は高原であるが、南東の海岸には稍や高い山脈が連なり、その西には低原がある。一般に雨が少いから沙漠・草地・鹹湖等が多く、河流はマルレー河のみが知ら



人土ヤリラトスーオ

れてゐる。海岸は屈曲も島嶼も少く、東北の沿岸には、長さ二千軒に互れる大堡礁がある。濠洲にはカンガルー・カモノハシ・エミウ・ヒクヒドリ・ユーカリ樹などの珍奇な生物のみであつたが、英領となつて以來羊・馬・牛などの牧養、小麦・甘蔗などの栽培に成功し、且つ金・石炭なども採掘するに及んで急速なる發達を遂げ、近時は横斷鐵道も完成した。英國の治下にあつてタスマニアと共に濠洲聯邦を組織し、カンベラに新しく首府を建設した。人口約五百萬のうち土人は數萬に過ぎず、多くは英人の子孫で支那人の移住者も少なく、今は東洋人の入國を許してゐない。

羊毛を輸出する。シドニーは自然の良港に臨み、人口約九十萬を有し、小麦・羊毛・石炭の大産地を控えた本大陸第一の大都會で、濠太刺利鐵道の根據地であり、アデレードは小麦を集散する。パースは西部の中心市場で、その東方にクールガルチー等の金産地が多い。

第三章 阿弗利加洲

第一節 總説

境域 東半球の西南部を占め、面積約百九十万方里を有する世界第二の大陸で、赤道が其の中央を貫き、大部分は熱帯内に入つてゐる。

地形 全土が高原性の大陸で、二三の山脈が、周邊にあるに過ぎない。東部に一大地溝があつて、數多の湖沼が連つてゐる。海岸は單調で出入は少く、名ある島嶼としてはセントヘレナと、マダガスカル島とを數へるに過ぎない。河川はすべて大陸の中央に發源し、その中のナイル河は世界第三の長流で、ヴィクトリア湖に發してゐる。コンゴ河は水量は極めて多いが、下流に急流瀑布があつて通航に不便である。この外

ザンベジ・ニジェルなどの大河もあるが、何れも急流瀑布をなし、湖沼にはビクトリア・タンガンイカ・モヤサ・チャデーなどがある。氣候及び生物 中央部は高温多雨で密林が繁茂し、河馬や類人猿が棲んで居るが、その南北に至るに従つて次第に雨量は少く草原となり、驢馬・麒麟・羚羊・駱駝・駝鳥などの草食獸が多く棲息し、鱒魚は到るところの河湖に棲んでゐる。更に回歸線の附近は無雨の沙漠となり、僅に駱駝や駝鳥を見るのみである。南北の河岸地方は氣候が温和で、農牧の業が行はれ、家畜としては牛馬が繁殖してゐる。諸種の植物中椰子樹は小雨地に疎生し、バオバブ樹の中には、千年の樹齡を算するものがある。

サハラ 本洲全面積の四分一を占め、世界最大の沙漠でまた最熱地の一である。地中海濱を出た隘路は、沙漠の船と稱せられる駱駝に跨り、沙漠の良港オアシスを迎りつゝ、無水の海洋を渡つて蘇丹地方に往來し、歐洲の雜貨と土人の象牙などと物々交換をする。

交通 海運にはスエズ運河と、阿弗利加迂回航路とがある。鐵道は北部と南部とに稍や多く、河湖によつて連絡する横斷

線成り、縦貫線も大成せんとしてゐるが、内地は極めて不便である。

住民及び政治

住民は約一億五千萬あり、その大部は回教徒または拜物教徒の阿弗利加人種である。この外に北部には回教、南部には基督教の歐羅巴人種が住んで居る。本洲はもと黒大陸と呼ばれ、世界の文化より久しく置き去りにされてゐたが、



(加利弗亞)人イサマ (加利弗亞)族バカラカ

リヴィングストン・スタンリーなどの探検家が、地理を明かにするに至つて、續々と歐洲人の移住を來たし、今や數個の弱小國の外は、

第二節 地方誌

ナイル地方 ナイル河は毎年定期増水して、沿岸に豊饒な耕地

を作つてゐる。埃及王國は、ナイルの下流地方を占め、英國の勢力範圍である。ナイルの三角洲は麥・綿・砂糖・烟草などを多く産し、人口も稠密である。首府カイロは、本洲の最大都で人口百萬以上を有し、附近には埃及の古文明を語るピラミッド・スフィンクスなどがある。河口にあるアレクサンドリアは地中海の良港で綿・砂糖などを輸出する。埃及の東南に位するエチオピアは碧ナイルの水源に當り、有名な山國であり、且つ本洲中稀にある獨立專制王國の一人で風光の佳絶を以て知られたが、千九百三十五年伊太利に征服併合され、首府アジス・アベバも、今は亡國の紀念物となつて了つた。

スエズ運河 スエズ地峽にある大小の四湖を利用し、紅海・地中海を連ねた運河で、全長約百六十軒、佛人レセツプスが二億圓の財と、十ヶ年の歳月とを費した千八百六十九年に竣工せしめたもので、英・印間の航路は、これがため約五千哩を短縮した。今は英國の管理に屬し、運河の兩端に我が歐洲航路船の寄泊する、スエズ及びポートサイドの二港がある。埃及は交通商業の要地である。

○ピラミッド 石造の大建築物で底面は正方形、各面は等邊三角形をなして頂點に會してゐる。中央に國王の木乃伊の死體を安置する室がある。現存のものは大小四十あり最大なのは國王ツツの墳墓でギゼーにあつて、高さは百三十七米に及んでゐる。

パバリ諸邦 海岸は土地肥え穀物・果實・コルク・アルファ草・羊毛・皮革などを産出する。トリポリは伊太利、チュニスに佛國の屬地で、首府チュニスの附近には、有名なカルタゴの遺跡がある。アルジェリアは土地能く開け、アルファ草を栽培し、製紙原料として、多く英國に輸出せられる。この地方は佛國の最も重要な植民地で、首府アルジェーは築港を構成した良港である。モロッコはモロッコ草の特産地で、首府をフェズといひ、大部は佛國の保護を受けてゐる。セウタはスペイン領である。

西部阿弗利加 米國で解放せられた黒人奴隸の建てたリベリア共和國を除いて、他は英・佛・白・葡などの屬地となつてゐる。赤道の直下で、大密林に掩はれた白領コンゴは、阿弗利加第二の大河コンゴを大動脈とし、その上流に豊富な銅鐵がありまた椰子油・象牙・コブラなどを多く産する。レオポル

トヴィルはその首府で、ボマは主要貿易港となつてゐる。上ギネヤは英・佛・葡の領地が錯綜し、その間に黒人のリベリア共和國が介在し、一帯にコブラ・象牙・護謨を多産し、チャード湖畔のクカは露商の集會地である。

南部阿弗利加 南阿聯邦・ロデシア・ベチウアナランドを含む英國の重要植民地である。金・金剛石・羊毛・駝鳥毛等を集散するケープタウンは、聯邦議會の所在地で縦貫鐵道はここを起點として貿易が盛んである。キンバリーは金剛石の大産地として知られ、ヨハネスブルグは金産地の中心で、首府プレトリアは鐵道の要地に當つてゐる。

○喜望峰 阿弗利加南端の岬で、グッドホープ岬といふ。テール山の一端をなし東にフォース灣、北にテール山を抱く、千四百八十六年葡萄牙の航海者チヤスが發見して「あらしの岬」と名づけたが、後ち葡萄牙王ジョン二世が今の名に改めた。

東部阿弗利加 英・佛・伊・葡等の諸國に屬し、最近では綿や珈琲の栽培が盛んにならんとしてゐる。本洲最高峰のキリマツジャロ火山は、赤道附近にありながら四時白雪を戴いてゐる。ソマリランドは佛・英・伊三國に分屬し、佛領のチブチ

は亞丁と對し、またエチオピアに入る門戸となつてゐる。英領のモンバサ及びザンジバルは沿岸の貿易港として發達し、葡領のロンソマルサスは内地に通ずる鐵道の要地となつてゐる。

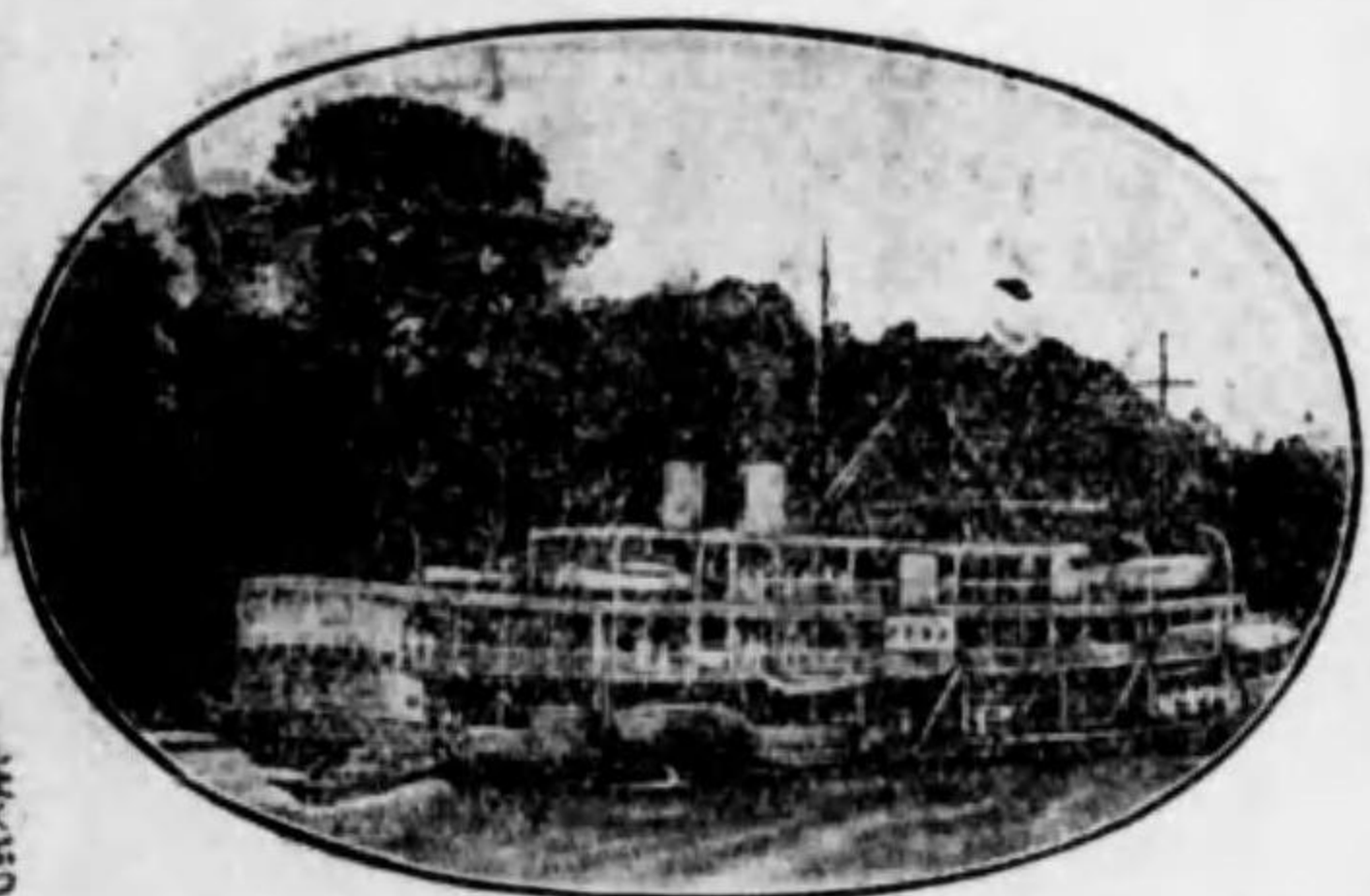
島嶼部 マダカスカル島は佛領で擬猴類・旅人木などの珍奇なるものあり、その東のモリーリヤ島は英國に屬し、砂糖の産地として名高く、セントヘレナはナポレオンの流罪地として古來有名であるが、今は海軍貯炭所が設けられてゐる。西班牙領カナリヤ諸島は大西洋中にあり、カナリヤ島の原産として知られてゐる。

## 第四章 南亞米利加洲

### 第一節 總說

領域 西半球の東南部を占めて、大部は南半球に入り、西北の一隅が辛うじて北米に連なり、他は悉く海洋に圍まれてゐる。面積は約二百二十萬方里で北米に次ぐ大陸である。

地形 西部を縦走する高大なアンデス山脈は、コルジレラ山系に屬し、アコンカグア・チンボラソ・コトパクスなどの火山を起し、地震も多い。東部の北方ギヤナ山地と、南部ブラ



河ソマア

ジル山地との間に平原があつて、オリノコ・アマゾン・ラタなどの大河が流れ、地勢は北米によく似て居るが、湖沼は極めて少く、海岸もまた單調である。

氣候及び生物 大部は熱帯に位し、殊にアマゾン河の流域は、北東貿易風のため雨量多く酷熱の不健康地となり、セルヴアスの大密林を生じてゐる。西部の高地や南部地方は、溫和であるが雨は少く、概して草地が多く、又所々に沙漠をなしてゐる。高温多雨の地方には植物がよく繁茂し、中でもアマゾン流域は、植物大陸とさへいはれてゐる。動物には本洲固有のアルバカ・リアマ・コンドルなどがあり、植物には珈琲・カカオ・ゴムキナなどの熱帯性のものが多い。

交通 アマゾン・ラブラタなどの河川の便多く、この地方は

産業が發達して、鐵道も稍や敷設せられてゐるが、其の他は概して交通不便である。東西の交通はアンデス山系が、一大障礙をなし、南北の交通は濕熱なセルヴアスの森林に妨げられ、河流も未だ十分に利用されてゐない。海運は歐洲との間が頻繁で、東岸と太平洋岸は十分發達してゐないが、我が航路は東西兩岸に開けてゐる。

住民及び政治 人口約五千五百萬で、大部は西・葡兩國の子孫または兩國人と原住土人との雜種で、南部のパタゴニア人は世界の巨人として名高い。土地が廣大で富源も多いが、人口が稀少なためこれが開發上移民は各地に歡迎されてゐる。

### 第二章 地方誌

西部諸國 本洲は伯爾西爾・亞爾然丁・智利・祕露・ポリビヤ・エクアドル・コロンビヤ・パラグワイ・ウルグワイ・ヴェネズエラの十箇の獨立國があつて、何れも共和國である。コロンビヤは、良質の珈琲を産し、首府ボゴタは海拔二千七百米の高地にあり、氣候は良好で鐵道によりホンダに通じてゐる。赤道直下のエクアドルは火山多く、キトを首府としカカオを産し、またバナマ帽の特産があり、是等の産物は主と

してグアヤキル港から輸出されてゐる。

祕露は銀・銅・グアノなどを産出し、アルバカ・リアマの銅鑛が盛んである。また安瀟たる甘蔗園には、移住の我が日本人が働いてゐる。首府リマは西班牙人の建設した歐風の都市である。カリヤオはその外港として當國第一の貿易場と稱せられ、クスコはイムカ帝國の舊都である。

ポリビヤは銀・錫等の鑛産が多く、首府をラバスといひ當國の最大都市である。チチカカ湖のラバスは政治、商業の中心で、高原にはオルロ・ポトシなどの鑛山都市が發達してゐる。

智利は南北約四千二百軒に互る世界一の狹長國で、火山と地震が多く、東境には世界の最高火山アコンカグア、南端にはマゼラン海峡がある。北部からは最大富源たる智利硝石、中部からは麥、山地からは銅・銀を産し、サンチアゴはその首府である。イキケ・アントファガスタ・アリカなどの都邑は硝石のために發達し、バルパライソは當國第一の開港場として名高く、わが南米航路の寄港地となり、マゼラン海峡に臨むブントアレナスは、極南の都會として知られてゐる。

東部諸國 ヲヴェネズエラはカラカスを首府とし、鐵道によりラ

グアイラに連絡してゐる。オリノコ河流域の平野リアノは羊牛などの牧畜が盛んに行はれ、モヤナは英・蘭・佛に分屬してゐる。

伯刺西爾は、本洲面積の大半を占める大國で、日本人の最も多く移住して居る國である。アマゾン河流域の平野セルヴアスは、大密林の濕熱地で、護謨及び材木を産し、河口のバラよりこれを輸出する。東部からは、甘蔗・綿・煙草・カカオを産し、東南部は國中の最も開けた地方で、珈琲の産出は世界産額の三分の二を占める。首府リオデジアーネーロは市街壯麗にして、且つ世界稀有の良港である。サンパウロは移住日本人の多い珈琲産地の中心地、サントスは珈琲の大輸出港として共に名高い。ペトロポリスは各國大使館の所在地であり、ベルナンブコからは、砂糖及び綿を輸出する。

パラグアイは、ポリビヤと同じ内陸國で、首府をアスンシオンといひ、ブラジルと共に、マテ茶の産が多い。

ウルグアイは本洲の最小國で、牧畜が盛んに行はれ、首府のモンテヴィデオは、肉類・羊毛・皮革の輸出が多い。

亞爾然丁は人口約八百萬を有し、南米第一の農牧國で、羊毛の産は世界第二位にあり、この外肉類・小麦・皮革・亞麻

や海岸線の出入に富んでゐるが、西岸ではカリフォルニア灣を除き他に著しいものはない。北方のハドソン灣口の北には多數の島嶼が散在するが、多くは酷寒の無人島である。

氣候及び生物 西岸は日本海流、東岸の南半は墨西哥灣流の影響を受けて溫暖であるが、其他は寒暑ともに強く、西部高地には少雨の沙漠、北部に世界最寒地の一がある。固有の生物としては、ビウーマ・野牛・仙人掌・桃花心木などを擧げることが出来る。

産業 農業は一般に行はれて、本洲固有の玉蜀黍・烟草は、他洲から移植した小麦・綿と共にその産が多い。東部及び北部の林業・中部及び西部の牧畜、東西兩岸の水産業なども盛んで、鑛産としては金・銀・銅・鐵・石炭・石油などに富んでゐる。

交通 東部地方に最もよく發達し、汽船及び航空機により歐洲との交通も繁く、數條の横斷鐵道は、東部と西部とを連絡してゐる。

住民 メキシコ以南の地はラテン系統の民族で、亞米利加合衆國以北はチウトン族が多い。またインディアン・黒人の兩人種も混住し、北部には少數のエスキモー人が居る。

などの産が多い。首府ブエノスアイレスは、ラプラタ河口にある南半球の最大都で、海上交通の中心をなし、市街はよく整備し、南米の巴里と稱せられ、且つアンデス横斷鐵道の起點となつてゐる。その東南海上の附近は、我國の對蹠點に當り、四季晝夜とも我國とは全然反對してゐる。またコルドバの天文台は世界的に名高く、全國を通じて教育は南米中最も進歩し、國力も充實してゐる。

### 第五章 北亞米利加洲

#### 第一節 總 說

領域 本洲は西半球の北部に位置し、太平洋と大西洋との間にある大陸で、北と南とに屬島が多く、面積は世界第三位にして約百萬方里を有し、歐羅巴洲の二倍餘である。

地勢 地形によつて二高地と一平原に分れてゐる。東部高地はアパラチア山脈等より成り、あまり高峻ではないが、西部高地は著しく高大で、ロッキーマウンテン等の山脈が、太平洋岸火山脈と併走して高原や盆地を挟んでゐる。中部大平原は大西



政治 南北兩米は四百餘年前に發見せられ、當時はこれを新大陸とも稱したが、土人は、極めて少數であつたから、其後に移住した歐洲人によつて、獨立した立憲共和國をつくり、文化を發達せしめて今日では十一ヶ國となつてゐる。墨西哥以南の南米諸國

#### 第二節 加奈陀

概説 本洲の北部にある英國の自治領で、ラブラドル高地と西部山脈との間なる中部大平原には河川が多い。亞米利加合衆國との境にある五大湖は、相連つてセントローレンス河となり、エリー・オンタリオの兩湖間には壯觀なるナイヤガラ瀑布がある。



中部大平原は小麦、乳製品を産し、東、西山地は木材に富んでゐる。東岸の鱈、西岸の鮭も有名で、スベリオル湖畔におけるニッケルの産出は、世界第一と稱せられる。貿易は主として米國との間に行はれ、我國よりは、茶・生絲・羽二重などを輸出し、鉛・バルブなどを輸入してゐる。

ナイアガラ瀑布 ゴート島によつて二分され、一方は幅六百米ありホースシュー瀑布といひ、他の一方は幅二百米あるアメリカ瀑布である。共に高さは約五十米、水量多く落下の勢ひは大地を震動せしめ壯大美觀を極める。成因はエーリ・オンタリオ兩湖の水位の差に基き、河床下部の軟かい頁岩が先づ侵蝕され、上部石灰岩の崩壊を促し、次第に後退したものである。

都邑 南部地方は、河川、鐵道などの便が多いから、從つて都邑も發達してゐる。西岸のヴァンクーヴァーは、太平洋航路の要津で、附近に在留日本人が多く住し、時々排日問題が擡頭する。この港とプリンスルバートとを起點とする三鐵道はロッキー山脈を過ぎ、中部平原産小麦の市場たるウイニペグで相會し、前者は首府にして木材の集散地オタワ、最大の商業都市モントリオールなどを過ぎ、最古の都市ケベックに

産業は中央平原には小麦・玉蜀黍・烟草・綿・カリフォルニア州には果實・野菜を産し、日本人のこれに従事する者が多い。牧畜は中部及び東部に盛んで牛・馬・豚・羊を飼養しまた東北は森林に富んでゐる。鐵業は世界に冠絶して西部の金・銀、スベリオル湖沿岸の銅・鐵、東西兩部の石炭・石油が名高い。かく原料及び動力の豊富は工業の發達を促し、製鐵・製粉・製糖等の製造が頗る盛んである。貿易額は英國に次ぎ、且つ我國第一の輸出國である。

交通 鐵道の延長は三十萬哩以上に達して、世界延長の約四分の一を占め、河川の水運と相俟ち交通は至便であるが、外國航路は比較的發達してゐない。

住民 人口は約一億二千八百萬あり、住民の多數は英人の子孫で、基督新教を信じてゐる。

政治 モンロー主義は帝國主義に變じ、最近は頻りに軍備を擴張してゐる。本國を四十八州一區二地方に分ち、大統領は國家の元首として統治の大權を有し、各州には亦州憲法・知事・州議會・司法及び行政機關を有してゐる。

都邑 我が汽船航路に當れる、シヤトル・タコマ・桑港・サクラメント・ロスアンジェルズは何れも西海岸の要地で、

於て後者と合し、さらにセントローレンス灣岸を走つて、大西洋岸唯一の不凍港ハリファクスに至つてゐる。この外にわが郵船の寄港地となつてゐるピクトリヤがある。

ニューファンドランド ラブラドル半島の海岸地と共に英國の直轄に屬してゐるが、本島附近は寒暖二流の相會するところ、鱈・鮭・海豹などの産頗る多く、世界三大漁場の一である。

グリーンランド グリーンランドの一部が丁抹領で、その西南岸には加奈陀の北部と共にエスキモー人が住んでゐる。

### 第三節 亞米利加合衆國

境域 北米大陸の中央部を占め、北は加奈陀、南は墨西哥に隣接し、約五十九萬方里の面積を有してゐる。

地形及び産業 灌溉の利便の多いミシシッピ河の流域は、宏漠たる大平原をなし、農業、牧畜業が盛んに行はれ、その東には、多く石炭・鐵などを産するアパラチア山脈が走り、西はロッキー山脈等の西部大高地となつてゐる。

この國は各種の豊富な天然資源を有すること、國民の文化が進んでゐるため産業の盛んなことは世界一の稱がある。



紐育の高层建筑

また移住日本人の多い地方である。この地方にはまた野菜や果實の産が多く、鐵道の太交交點にあたるミシガン湖頭のシカゴは、世界屈指の大都會で、人口二百七十萬を有し、麥類・家畜の大市場となつてゐる。

ミシシッピ中流の河港セントルイスは、農産集散の大市場で製粉業が榮え、河口のニューオーリヤンヌは、墨西哥海岸のガルヴェストンと共に、綿の大輸出港である。オハイオ河流域のピッツバーグは、工業大都市にして製鐵の大中心となり、シンシナチは豚肉罐詰業で名高く、ルイスヴィルは、烟草の大市場である。

東岸地方は最も早く開け、人口が稠密で商工が發達してゐる。ボストンは東岸屈指の貿易港で、ボーツマスは日露講和談判地である。世界の大都ニューヨークは棉花輸出の大市場で、當國貿易の大半を營み、交通、金融上、世界の大中心を

なし、摩天家屋を以つて知られ、附近のバターソンは、日本産生絲の需要多き絹織地である。ワイラデルファイアは石炭・鐵の産地を控えて、製鐵、造船の業が發達し、且つ石炭・石油の取引が多い。首府ワシントンには議事堂・白聖館などあり、清麗なる都市をなしてゐる。



布哇甘蔗烟

アラスカ 露西亞より買収した地で、金の産出を以て著はれ、プリビロフ諸島は臘臘の有名な棲息所である。

から成り、面積はわが四國とほぼ等しく、製糖及び雜業が盛んである。日本人の在留する者十四萬人を算し、首府ホルルは太平洋中の殆ど中央に位置し軍事上、交通上重要な地

部の高原に聳え、山頂は萬年の雪を戴き美觀を呈する。噴火口は直徑一軒半、深さ三百米、熔岩砂礫を噴出し、土人の硫黄採取に従事するものが多い。

### 第五節 中央亞米利加及び西印度諸島

概説 墨西哥の東南に連なる細長い地域で、一英領地と六共和國に分れ、互に相争ふばかりで國勢の進歩を見ることが出来ない。墨西哥灣の東南に弓状に連なる大小アンチル諸島・パナマ諸島は西印度諸島と稱し、炎熱多雨でマホガニー護謨珈琲・煙草・甘蔗などを産し、中米六共和國の外、各國の領有に屬してゐる。

パナマ運河 米國の手によつて、工費無慮八億圓を投じ、わが大正三年に開通した開門式の運河で、世界の交通、貿易、軍事上極めて重要な地となつてゐる。

大アンチル諸島 キューバ・ハイチ・英領ジャマイカ・米領ポルトリコ等の四島から成り、キューバの甘蔗糖は世界一の産額を有し、ハバナ港より輸出される。煙草もハバナ煙草として有名である。

位を占めてゐる。

### 第四節 墨西哥

境域及び産業 米國の南に隣り、全部高原性で火山が多い。氣候の關係上、住民は濕熱な海岸の平地を避けて、高地に居住するものが多いから、都市も山地に發達してゐる。

銀・銅・石油等の鑛産はこの國第一の富源で、農産には海岸に綿・甘蔗、高原に小麦・玉蜀黍があり、又仙人掌・龍舌蘭などの特産は、雨の少い高原に繁茂してゐる。

住民 住民はアメリカンデアン及びメスチゾ人が最多數を占め、基督舊教を信じて西班牙語を用ひ、十九世紀の初めに獨立して聯邦共和となつた。

都邑 テワントネグ地峽に、太平洋と大西洋を連ねる鐵道があつて、その起點のサリナクルスとマンサニョとは、日本の汽船が寄港する。國のほと中央二千三百米の高原上に、首府の墨西哥があり、東岸のベラクルスをその門戸としてゐる。プエルトと墨西哥はテワントネグ地峽鐵道の終點で、アカプルコはマンサニョと共に太平洋岸の良港である。

○ポボカテペトル メキシコ市を距る南東七十二軒、同國南

小アンチル諸島 二千有餘の小島より成り、英領トリニダード島は、アスコワルトの特産によつて名高い。パナマ諸島 英國に屬し、低平な珊瑚島の一群で、鳳梨、海綿の産を以て知られてゐる。

## 第六章 歐羅巴洲

### 第一節 總説

地 域 本洲は東半球の西北部にあり、温帯に位置する大陸であるが、面積は亞細亞洲の四分一である。そして亞細亞洲と陸続きとなり、恰かもその半島のやうな状をなすので、亞細亞と合せて「ユーラシア大陸」とも稱せられてゐる。

地 勢 一般に土地低く、殊に東部は一大平原をなして、白・佛兩國の間まで續いてゐる。従つて河川はいづれも水量に富み、流れも緩かで水源、灌溉の利が多い。海岸線は最も複雑で、半島にはスカンヂナビヤ・ユトランド・イベリヤ・伊太利・バルカンなどがあり、島嶼には英吉利諸島・アイルランド・コルシカ・サルジニヤ・シシリー・カンチヤ島などがある。また海灣としては白海・バルチック海・北海及びビス

カヤ灣・地中海・アドリヤ海・多島海・黒海などを擧げるこ  
とが出来る。山脈は西南部にアルプ山脈・カルパチヤ山脈・  
バルカン山脈・チナルアルス山脈・アペニン山脈・シエラネ  
バタ山脈・ウラル山脈などがあり、系統上からいふときは、  
アルス山脈に属するものと、ピレネー・スカンジナビヤ兩山  
系に属するものとに分れてゐる。

氣候及び生物 大部は北温帯に属し、暖流の影響を受けて、一  
般に同緯度にある他の大陸よりは暖いが、西より東に進む  
に従つて、氣温も雨量も共に減じ、東北隅は凍土帯をなし、  
南東部は半沙漠の草原となつてゐる。異常珍奇の生物は稀で  
あるが、天恵と人智と相俟つて、産業が著しく發達してゐ  
る。中でも農、牧業はよく開けてゐるが、人口が稠密なため  
その需要は生産を超過し、他の大陸より食料品、原料品など  
を輸入してゐる。西部地方は特に石炭、鐵に富み、商工業が  
發達して製造品を盛んに輸出する。

交通 鐵道の發達は西部地方に著しく、アルプの天嶮にも  
多くの隧道を穿ち、數條の鐵路を通じてゐる。河流の大部は  
水流が緩かで、水量も多く、且つ各河川は運河で連絡されて  
ゐる。その上海岸には良港、良灣に富み、水陸相俟つて世界



ドーラゲンニレ

は森林帯である。その南は歐洲の穀倉といはれる黒土地方で  
麥類・甜菜・麻などの農作が行はれ、牛・馬・羊の飼養も發  
達し、河川には鱒魚の漁獲が多い。ウラル山地の白金・金・  
鐵、ドン河流域

の鐵・石炭は其  
産額多く近時は  
是等の資源を利  
用して工業が發  
展しつつある。

交通及び住民 鐵  
道は長く全國に  
蟠延し、河川、  
運河などの利用  
も行はれてゐる  
が、人口は稀薄  
で、従つて商工  
業も發達の途上

にあり、交通網の完成は尙ほ將來に残されてゐる。  
住民はスラヴ族が約一億あつて中堅をなし、希臘教を信じ

交通の中心をなし、近時は航空路の發達も著しいものがあ  
る。  
住民 人口約五億に近く、其の密度は世界第一である。北部  
と東南部とに住む少數の亞細亞人種の外は、悉く基督教徒  
の歐羅巴人種で、教育の進歩も亦著しく、物質文明は世界の  
模範とされてゐる。

### 第二節 歐羅巴露西亞

境 域 もと歐洲の東半部から、中央亞細亞及び西比利亞にわ  
たる世界第二の大國であつたが、歐洲大戰後分裂して多くの  
新興國を出した。

地形及び産業 東境のウラル山脈以外は大半野である。ヴォル  
ガ其他の河流は、中部のバルガイ丘より南北に分れて緩流  
し、運河によつて互ひに連  
絡せられ、舟運の便多く、  
西北部には、ラドガ・オネ  
ガなどの湖沼があるが、冬  
季には多く凍結する。北部  
は冬季の長い凍土帯、中部



露西亞人

大小スラヴ・白スラヴ及びポーランドの四つに分れてゐる。  
國情 今の露西亞は、舊露西亞帝國に代り、近年出來た社會  
主義の共和國で、ウクライナ及び亞細亞洲にある同主義の共  
和國と共に、ソヴェエト聯邦を組織してゐる。

都 邑 レニングラードは帝政露西亞の舊都で、フィンランド  
灣に臨んでゐる。當國第一の貿易港で、運河によつてクロン  
スタット軍港に通じ、商工、交通の大中心をなしてゐる。壯  
麗なる多宮は、前皇室の榮華の跡として今も残つてゐる。國  
の中央にある首府モスコは、交通、商工業の大中心を占め  
クレムリンの宮殿内に、兵營・寺院・舊皇居がある。ゴル  
キーは定期市の盛大なることを以て名高く、黒海岸のクリミ  
ア半島には、軍港セバストポリがある。黒土地方の關門たる  
オデッサは、穀物・麥粉の大輸出港で、製粉、製糖などの工  
業が發達し、キエフは小露西亞の中心をなし、且つ希臘教の  
聖地である。北極海方面に、アルハンゲルスク・アレクサン  
ドロフスクなどの都市があり、何れも歐洲大戰當時西歐との  
交通の要衝に當つた處である。

クレムリン モスコ市の中央にある城壁、帝政時代には  
この中にクレムリンの宮殿其他教會堂、博物館、造兵

廠・政廳などの建物があつた。今はソヴェイト政府の諸官衙になつてゐる。

### 第三節 バルト三國及び芬蘭

バルト三國 エストニア・ラトヴィア・リトワニアは、東北より西南に順次相連り、芬蘭と共に、立憲共和の新獨立國をなし、ラトヴィア國のリガは、同名の灣に臨み、穀類・麻・



リガ

木材などを盛んに輸出してゐる。芬蘭國内に丘陵が起伏し、到る處に湖沼がある。森林が全土の半を占め

木材・バルブ・紙などの産が多い。水力豊富で電力が多く得られるから工業は將來有望である。住民はフィン族で首府をヘルシンキといひ、西部には猶太人が全權を握つてゐる。

### 第四節 瑞典及び諾威

概説 歐洲大陸の西北隅スカンヂナヴィア半島の地を占め、同名の山脈によつて、東西に分れた立憲王國である。東側の

瑞典は緩い傾斜をなし、バルチック海・ボスニヤ灣などに面してゐるが、西側の諾威は大西洋に臨み、斷崖絶壁をなしてゐる。氣候は西北岸は墨西哥灣流の影響を受けて雨量に富み温和であるが、東側は冬季結氷する。北部には未開のラツプ人がゐるが、主として新教徒のチウイトン族が多く、木材・バルブなどを産する。

瑞典 水力利用の發達した國で良質の鐵を産し、またバルブ・マツチの製造が盛んに行はれる。首府ストックホルムは、メラル湖口にある水都で風光明媚を以て知られ、カテガツド海峽に面するゲータボルグは重要な開港場である。

諾威 諾威は島嶼と峽灣とに富む細長い國で、冬には夜、夏には晝のみが各七十餘日間もつゞく、近海は鱈・鱈の漁業が



(女)人-エウルノ

界最北の不凍港である。

### 第五節 丁抹及び氷州

概説 丁抹は烏帽子形のユトランド半島と、附近の島嶼とより成り、土地は低平で、沼澤・砂丘に富み、海岸には出入が多い。面積は我が九州に匹敵し、スカゲラク・カテガツト

・スンドの三海峡を隔て、スカンヂナヴィア半島に對してゐる。都邑 古くからの立憲王國で、首府コペンハーゲンがバルト海の咽喉を扼し、牛酪及び陶器の市場として知られてゐる。アイスランドは、火山、間歇泉の多い島國で、丁抹との君合國である。この外丁抹には海外の領地としてフェル諸島・グリーンランドの一部を有してゐる。

### 第六節 獨逸

領城 歐洲の中央に位して、三萬方里の面積と約六千八百萬の人口を有し、周圍は十ヶ國と境を接し、常に國際交渉が頻發してゐる。

地形 南部は、高獨逸と稱せられて、山脈・臺地に富むが、北部は一面の太平洋が開けてゐる。随つてオーデル・エルベ・ラインの諸河は、何れも南に發して北方に流れ、ダニユープ河のみが東流してゐる。

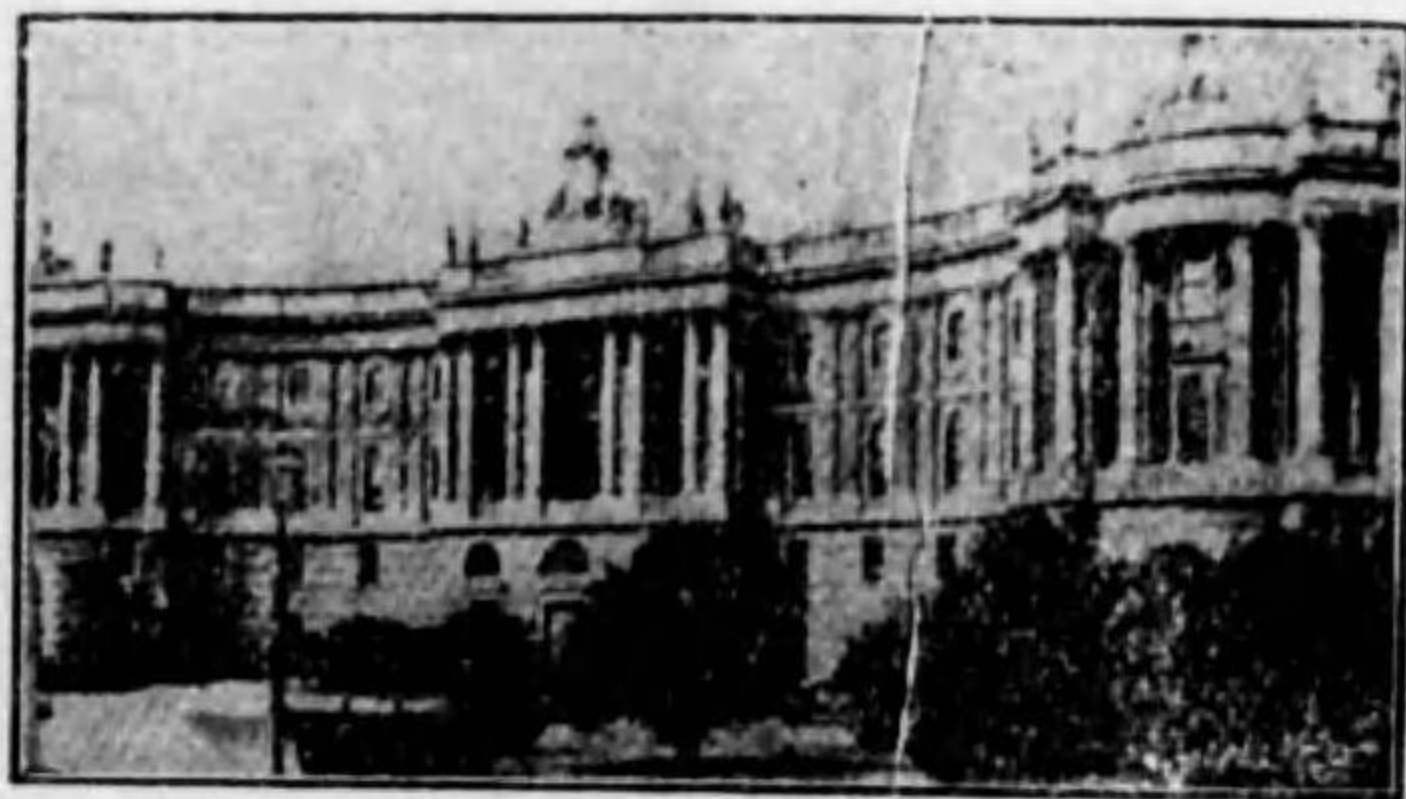
氣候及び産業 氣候は概して温和で、耕地は全國面積の約二分の一を占め、麥類・馬鈴薯・ホップ・甜菜・葡萄の産が多く



人逸獨

牧畜業も發達して牛・馬・豚の良種を産し、林業制度は世界の模範と稱せられてゐる。戦敗の結果一時鐵及び石炭の産地を失つたが紡績・造船・機械・化學工業・造紙・航空機・化學工業・航空・河川・運河などの交通は頗る發達して居る。

住民 住民は新教徒のチウートン族が多く、勇敢、勵精にして研究心篤く、學術の進歩は世界無比といはれてゐる。



柏林圖書館

都邑 ハンブルグは世界屈指の貿易港で當國貿易の半を占めて居る。首府柏林は人口約二百萬を有し、プロシヤ王國の首府であつた所で政治・教育・商工・交通の中心となつてゐる。ライプチヒは書籍の出版を以て著れ、ドレスデンは舊サクソニヤ王國の首都で美術工藝地として著しい。ミュンヘンはパワリヤの首府で麥酒の名産があり、ニュールンベリヒは鉛筆・玩具の製作地として名高い。ライン河畔のケルンは交通上の要地に當り、エツセンはクルツツ製鐵所の所在地として知られ、ブレーメンは當國第二の貿易港である。

國勢 獨逸は大戦前二十餘國の聯邦から成る獨逸帝國であつたが、革命の結果聯邦共和國となり、海外における植民地の

全部を失つて一時國勢が大に衰へた。その後國民の奮勵努力によつて次第に國力は復興し、現今では塊國及びチエッコ・スラヴァキヤ國より先に奪取されたゲルマン族を分離して之を併せ國際政局の表面に活躍し、千九百三十七年我國との間に防共協定を結んでゐる。

第七節 中歐諸國

波蘭 波蘭の國名は平原國を意味し、大戦後に復活した共和國である。即ち舊露領内の波蘭及びガリチヤの西部、獨逸のポーゼン、西プロシヤを加へてバルチック海に門戸を得た國で、ウイスマラ河の沃野には農、牧業が行はれ、南部には鑛産が多い。また工業に於ても紡績、機業が盛んである。首府ワルソーは、ウイスマラ河に沿ひ交通と商業との中心をなす工業都市である。ロツは木綿の機業地で知られクラカウ附近のウイリツカは岩鹽の産地である。國の北隣に國際管理地の自由市ダンチヒがあつて波蘭の北門をなしてゐる。チエッコ・スロヴァキヤ 大戦後に新興した共和國で獨・洪・波の三國に圍まれ、十四萬方呎の面積と約千四百萬の人口を有してゐる。住民はチエツク族、スロバツク族及びゲマルン族で、チエツク人はボヘミヤの中部に、スロバツク人はカルバ

チヤの山中に住んでゐるが、千九百三十八年英の韓旋によりゲルマン族を獨逸に還附した。氣候はやゝ大陸性で山地森林が深い。エルベ河の灌溉する西部のボヘミヤ盆地には農産物が多い。林制もよく整ひ、工業も盛んで織物・製紙・精糖・硝子・陶器の製造が行はれる。獨逸國境に近いカールスバードは、歐洲第一の温泉地として名高く、首府ブラーグはエルベ河に臨み、商工業の中心となり、ボヘミヤ硝子を集散し、ピルゼンは麥酒の大生産地である。

洪牙利 オーストリアとの君合國であつたが、世界大戦の結果分離して獨立國となり、今はその面積も僅か九萬方呎に過ぎず、大戦前の三分一位の小國となつた。ユーゴスラビヤの北に位し、周圍は新興國に接してゐる。國內をダニユープ河の本支流が灌溉して、肥沃な一大盆地をなし、麥・甜菜の農産が多く、草地にはまた牧畜が行はれてゐる。

人口は約八百萬あり、住民は亞細亞人種のマジヤール族で、文化の高い政治組織をなしてゐる。ブダペストは現政府の所在地で交通の中心となり、製粉、屠肉の取引が盛んである。塊太利は世界大戦前八大強國の一であつたが、戦後無海口に六ヶ國に圍まれる一小内陸國となり、面積僅か八萬方呎、

人口は約七百萬人に過ぎない。領内は一般に山地で、平地はダニユープ河畔に限られ、こゝより麥・葡萄などを産し、山地よりは金、銀などを産する。住民はもと塊太利洪牙利帝國を組織してゐたが、大戦後國土分裂して一小共和國となり、千九百三十八年更に獨逸に併せられた。ウイーンはダニユープ河畔にある壯麗な市街で、商工業が發達し、美術工藝の産が多い。インスブルックは、風景のよいチロール地方にあり、アルプス交通上の要地である。彼のブレンネルは、獨逸の境界をなす峠として有名である

第八節 瑞 西

概説 アルプ山脈中にある山國で、面積は我が九州に略等しく、聯邦共和制の永世局外中立國となつてゐる。南境にマツテルホルン・モンテローザ・ユングフラウなどが聳え、氣候は冷涼で、山には白雪・氷河を戴き、河は多くサンゴタルド越を中心四方へ流れ、瀑布が多く、ポーデンを始め風光秀絶な湖水も多數あり、その上歐洲大陸の中央にあるため諸外國よりの來遊者が頗る多い。随つて登山鐵道旅館などを始め、外國人に對する設備がよく整つてゐる。地形上農産物は少いが、牧畜、林業は盛んに行はれ、また水力を利用して



河水の脈山ブルア

精巧な技術品を産出する。住民は獨佛・伊人などで、約四百萬の人口を有し、教育、實業なども進歩してゐる。

○シンブロン峠 瑞西から伊太利に越えるアルプスの山道で十九世紀の初めナポレオンの命令で完成した歩道と、幾多のトンネルと、六百餘の橋梁がある。鐵道トンネルは長さ約二萬料あり、世界最長のものである。

都 邑 西北部にある首府ベルンは、萬國聯合郵便電信事務局のあるところで、北部のチューリヒ・バーゼルとともに絹織

物等の工業地である。ゼネヴァ湖畔のジュネーブは、萬國赤十字社・國際聯盟本部の所在地として知られ、また時計の輸出國として有名である。

第九節 佛蘭西

境 域 歐洲大陸の西部に位し、東は白・伊兩國に接し、西南は西班牙と境し、西はビスカヤ灣、東は地中海に面し、五十萬方料の面積を有してゐる。



人西蘭佛

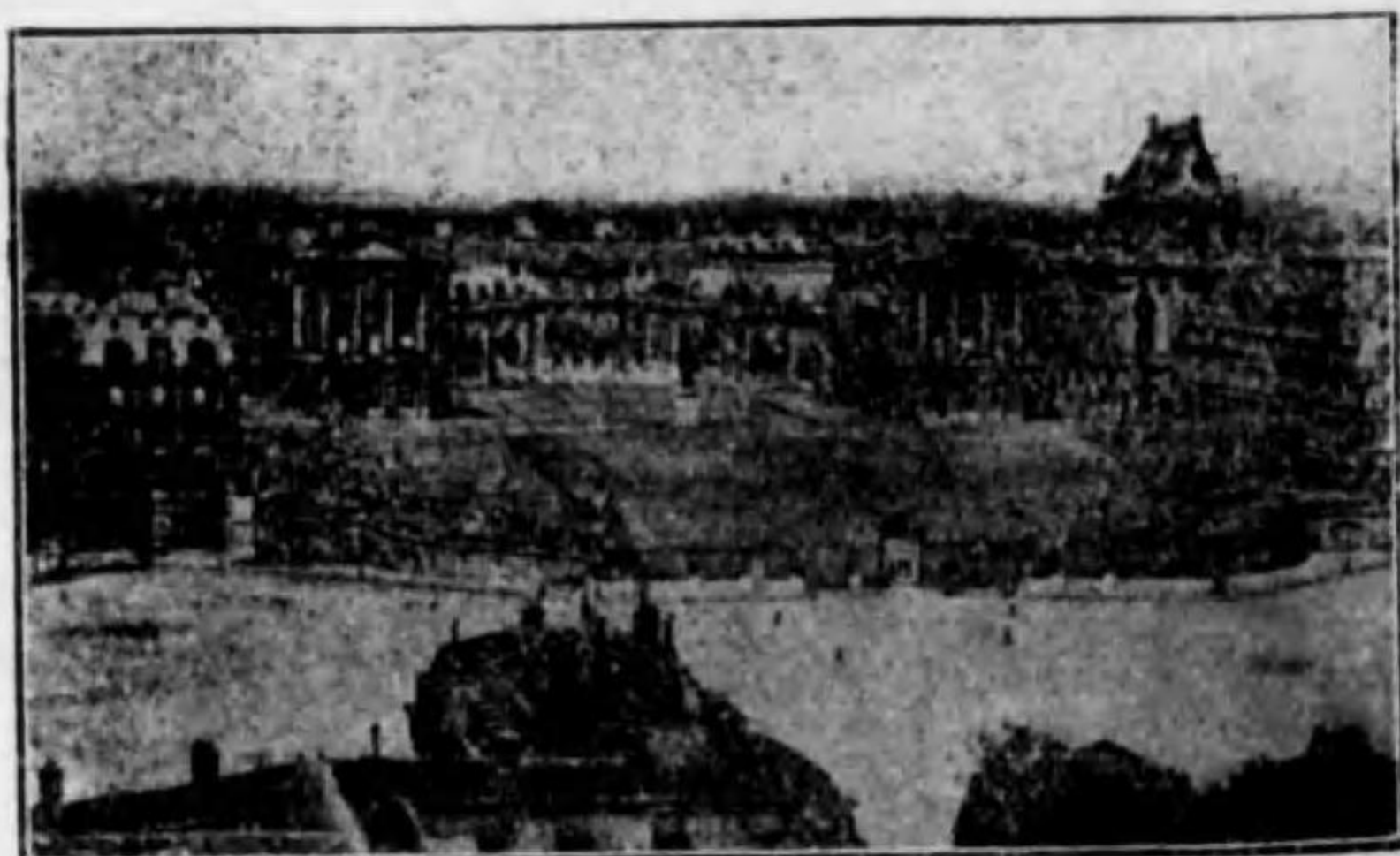
地形 東南部は山地が多く、地中海にはナポレオン一世の生地、コルシカ島が横はつてゐる。西南西班牙との境には、ピレネー山脈が東西に走り、イギリス海峡には、丘陵性の二半島が突出してゐる。ローヌ河はその上流よりシヤンパンを産出し、下流にはマルセイユ湖がある。ローヌ・ロアール・ガロンヌなどの河流は、中央高原を分水界とし、西北に向つて緩かに流れ、其の河谷は葡萄の特産地で、ルアーブル・ナントポルドーなどの都市を發達せしめてゐる。○モンブラン 白山の意でアルプ山脈中であり、歐洲大陸



塔ルエフツエと街市里巴

の最高地で、この山間にアンドラ共和國がある。氣候及び産業 氣候は概して良好で、特に地中海岸のモノコ附近は避暑地として名高い。ローヌ河の流域は養蠶、絹織物の産地として知られ、其他中部以北の麥類、甜菜、南部のオリヅは産額が多い。鐵産は豐饒で、鐵と石炭とに富み、工業

品中、葡萄酒は産額、品質ともに世界第一である。交通 河川・運河・鐵道は縦横に通じ、航空事業も發達し、内陸の交通も便、



殿宮ユイサルエヴ

都 邑 首府巴里はセーヌ河に跨つて人口約三百萬を有し、美術工藝の大都會であり、歐米流行の源泉地である。市街は壯麗で堅固な要塞市をなしてゐる。有名なヴェルサイユ宮殿はその附近にある。セーヌ河口のルアーブルは、當國第二の貿易港、カレーは渡英の要津である。リールは機業の中心とし

海上交通はマルセイユ・ルアーブル・ポルドー

○住民 人口は約四千萬、其大部分はラテン族の佛蘭西人を主として

てチュートン族と、ゲルト族が一部住んでゐる。言語、宗教、人情などはラテン系に屬し、社交的で美術工藝に長じてゐる。政治は共和制で大統領の下に内閣と議會とがある。

て築いてゐるが、この附近一帯は歐洲大戦の激戦地である。ローヌ河の中流のリヨンは世界屈指の絹織地として名高く、マルセイユは地中海第一の貿易港で、我が歐洲航路の寄港地となつてゐる。またガロンヌ河口に近いポルドーは、葡萄酒の大輸出港として發達してゐる。

○エツフェル各 佛人エツフェルが巴里のシャンド・マイルに建てた高塔で、千八百八十九年に完成し、當年の大博覽會に偉觀を添へた。高さ三百米あり。四柱を四隅から彎曲風に立て、高くなるに従ひ單柱となし、頂上に近く氣象觀測所を設け、また探照燈を點する。七千噸の鐵材と二百三十五萬圓の費用を投じ、今も無線電信塔に利用されてゐる。

國勢 革命によつて約七十年前より共和國となつたが、その後、内治、外交ともに發展し、本國の二十餘倍に達する海外植民地を有し、世界の強國の一となつてゐる。一時は人口の増加が停滞し、世界大戦の打撃もあつて國勢は下り坂になつたが、近時再び發展をはじめつゝある。

### 第十節 白耳義

今や復興の途上にある。

### 第十一節 和蘭

概説 歐洲大陸の北部、ライン河の三角洲にあつて、北海に面する低濕な立憲王國で、海面下の土地が多く、砂丘・堤防で浸水を防ぎ、風車・唧筒によつて排水するなど、國民は常に海の征服に努めてゐる。交通は水路と堤防とを利用し、運河の發達は世界第一と稱せられ、人口の密度も亦世界第二位である。園藝と牧畜業とが盛大で、花卉・牛酪・乾酪を多く産し、住民は新教徒のチウートン族である。

都邑 首府ハーグには、萬國仲裁裁判所がある。ゾイデル海に臨むアムステルダムは、國內第一の都市で、ライン下流のロッテルダムと共に、古來の名港であり、特に金剛石細工で名高く、ロッテルダムは牛酪・乾酪などの製産が多い。

國勢 和蘭は、三百餘年前に西班牙より獨立し、一時は世界の海上權を握つて、我が鎖國時代にも特に貿易を許されてゐた。今は往時の如く盛んではないが、尙ほ馬來諸島・太平洋・南米などにおいて、本國に六十倍する廣大な屬地を領有してゐる。

概説 マリス・シエルトの二流域の平野にあり、三萬方料の面積と、約八百萬の人口を有する立憲王國で、人口の密度と鐵道の延長率とは、共に世界無比である。平原に麥類・亞麻等を産し、機械、硝子、レースなどの製造が盛んである。北部にチエートン族、南部にラテン族が住み、宗教は主に基督教を信じてゐる。

都邑 首府ブルツセルは、市街清麗にして小巴里の稱あり、精巧なレースを産し、その南方にワテローの古戰場がある。シエルト下流のアンヴェルスは、中歐の一大門戸、當國第一の貿易港で、我が歐洲航路の終點に當り、リエージュは工業地として名高い。またオスタンブはドーバー港との間に快速な汽船が往復してゐる。

○ワテロー ブルツセルの南方十七料にあり、千八百十五年エルバ島を脱出したナポレオンが、再擧を圖つて英普其他の聯合軍と戦ひ、附近のモン・サン・ジャンで激戦したが、英將ウェリントンのために破れ、ナポレオンの野望を失つた古戰場である。

國勢 約一世紀前に和蘭より分立し、アフリカに大領地を有してゐる。歐洲大戦當時は、獨逸のために蹂躪せられたが、

### 第十二節 英吉利

地域 歐洲西部の大ブリテン島と、アイルランド島の一部と附近の屬島から成る立憲王國で、面積は二十四萬方料あり、我が國に及ばないが、屬領を合すれば、世界全陸地の約二割と、世界人口の約二割五分とを占有してゐる、アイルランド島の大部はその屬領の一たるアイルランド自由國である。

地形 大ブリテンのイングランドには、ティムスなどの河谷が開けてゐるが、スコットランド・ウェールズは、低平な山地が多い。アイルランドは、四邊が山地で、内部は湖沼に富む平野となつてゐる。河流は一般に短いが、水量が多く、流れが緩かであるから廣く利用せられ、河口にはまた好鋪地が多い。

産業 國土が狭くて、農牧を發展せしめる餘地が少いため、食料品や原料品を多量に輸入するが、豊富な石炭と、鐵によつて早くより紡織・製鐵・造船・綿織物・毛織物などの大工業が發達し、世界總噸數の半ばに近い商船によつて、販路を世界に擴張してゐる。

交通 鐵道や運河や航空業の發達、河川の利用はいふまでも

なく、水陸の交通機關は殆ど完備し、海運業は世界を壓倒してゐる。



英吉利人

住民の大部は意志強く、道義、秩序を重んずるチウイ  
トン族のアンゲロサクソン  
人で、新教を奉じ、國民の  
七割は都市居住者である。  
教育もよく普及し、その大  
本を品性陶冶と、實用的知

識の涵養に置いてゐる。

**政治** 大ブリテン及びアイルランド合衆王國と號し、全領を加へる場合は英吉利帝國と稱する。政治は民意を尊重する立憲政治で、純政黨内閣によつて治めてゐる。

**都邑** 首府倫敦はテムズ下流にあり、人口四百五十萬餘を有する大都市で、世界における商業・金融・交通・政治の大中心である。西方にオクスフォード大學、北方にケンブリッヂ大學がある。リバプールは世界無比の綿紡織地たるマンチエスターを控えて、綿の輸入と綿布の輸出が多く、總輸入額は倫敦を凌いでゐる。

### 第十三節 西班牙及び葡萄牙

**概説** ピレネー山脈によつて佛國に連なるイベリヤ半島に位置し、地勢は台地性で雨が少い。東西に走れる數條の河川は、概ね急流で水量が少いため、舟運・發電の利便が乏しい。氣候は内地は大陸性不良であるが、西部海岸は一般に溫和である。河邊沿岸は農産に富んで麥類木栓などを産し、山地には銅・鉛などの鑛産がある。また溫暖な沿岸地方は多濕で、葡萄酒・オリヴ油の産が多い。

**都邑** 西班牙の首府マドリッドは高原にあつて、交通の要地である。バルセロナは地中海岸第一の良港で、綿紡織が發達し、ビルバオからは鐵鑛を輸出する。

ポルトガルの首府リスボンも、オポルトと共に、葡萄酒の輸出を以て知られてゐる。

ジブラルタル 西班牙の南端にあり、地中海の西門を扼する要塞地で、英國直轄の植民地となり、大西洋艦隊の根據地となつてゐる。

**○闘牛** 西班牙では國內到處に行はれる國技である。闘牛場は圓形無蓋の建物で、中央に圓砂場を段々に取り、周

中部のパーミンガムは鐵器を以て知られ、シェフィールドは双物を産し、リーツは毛織物によつて名高く、グラスゴートとニューカッスルは造船地である。カーチフは無煙炭の輸出港として著はれ、ポーツマスは最大の軍港、またドーバーは大陸に渡る要津である。エチンバラはスコットランドの首府で、壯麗なる都市をなしてゐる。アイルランド自由國の首府はダブリンで、その北方にあるベルファストは、英本國に屬するアルスター州の中心市場となつてゐる。

**○ロンドン塔** 千七十五年頃ウィリアム勝王が建てた白塔を中心し、その後の諸王が次第に増建した諸建築物の總稱で、テムズ河の北岸に臨み、もと堡砦であつたが、エリザベス女王以後は主として國事犯人の牢獄として用ひられ、今は武器の倉庫並に陳列所となり、一般の見物を許してゐる。

**○グリニツ天文台** 倫敦市グリニツチにある有名な天文台で、こゝを過ぎる子午線が、本初子午線に選ばれたため世界的有名となつた。千六百七十五年の創建で、天文學航海學の進歩に貢獻したところが多い。

國を十數段の見物場としてゐる。マドリッドにあるものは最も大きく、二萬五千人を容れることが出来る。三月から十月までが闘牛の最盛期である。

**アンドラ** ピレネー山中にある一小共和國で、人口僅かに五千を有し、佛蘭西の保護下に牧羊を行つてゐる。

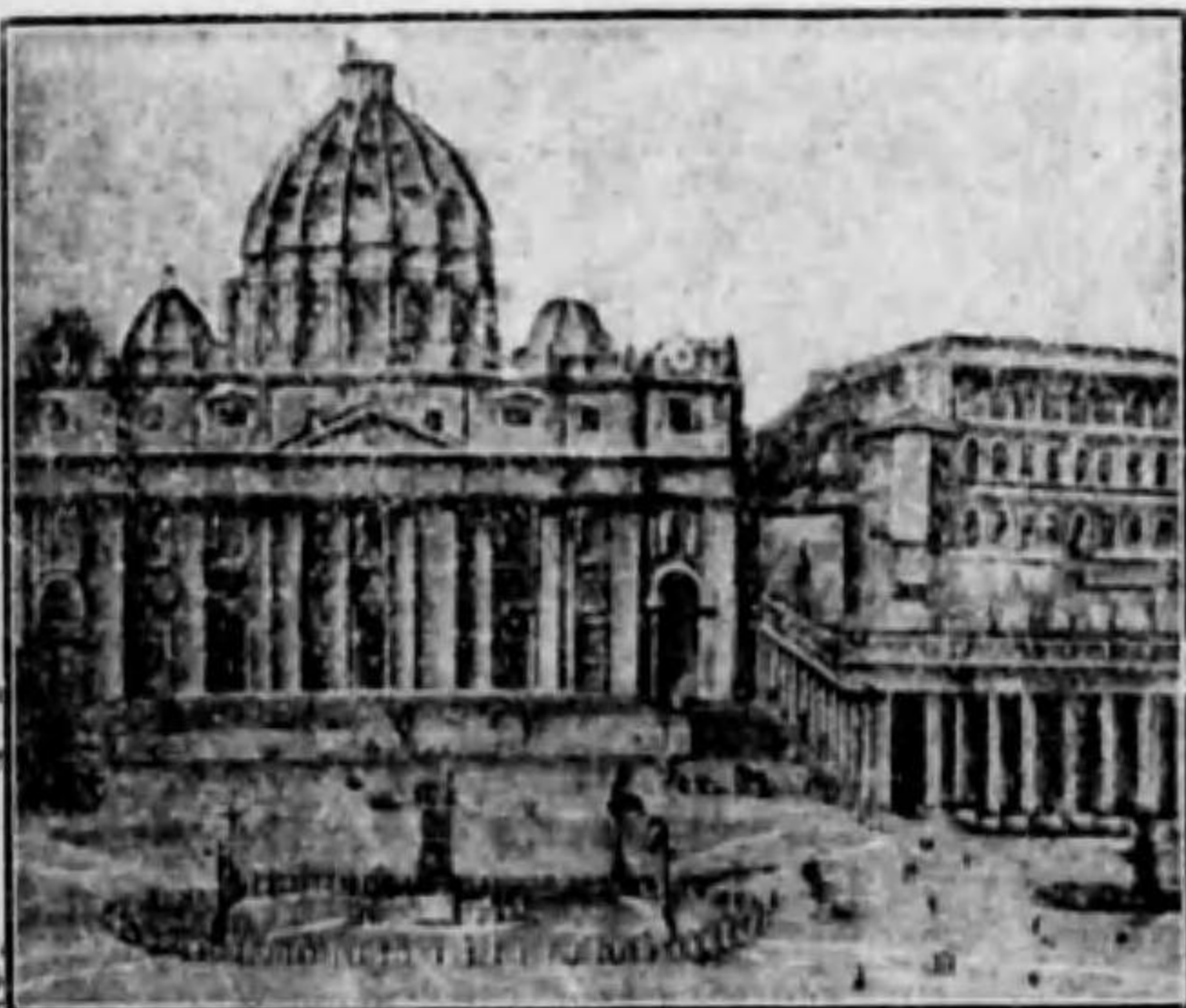
**國勢** 兩國とも四百年前には海外に雄飛した強國であるが、其の後次第に衰へ、内亂もあり財政困難で國勢は振はない。

### 第十四節 伊太利

**總説** 歐洲大陸の南端地中海に突出する長靴形の半島で、シリール・サルチニヤの二大島及び附近の小島を含み、面積は三萬方里あり、北境は湖沼の多いアルプス山地により、西・葡・獨三國に接してゐる。アペニン山脈は、國の脊梁となつて南走し、チレニヤ海岸には火山や地震が多い。北方ポー川の流域にはロンバルディア平野が開け、この國の主要生産地をなしてゐる。氣候は一般に溫暖で、農業が行はれ、小麦・玉蜀黍・米などの産多く、北部には養蠶が發達してゐる。鑛産には硫黄・大理石・鐵などあり、またマカロニの主要特産物がある。人口は約三千萬で、住民は舊教徒のラテン族の根據



地となり、繪畫、彫刻などの美術に長けてゐる。  
都邑 首府羅馬はタイバー河に跨り、もと羅馬帝國の首都であつた地で史蹟に富んで居る。舊のナポリは今ネーブルスと稱し、ネーブルス灣に臨み有名なるベスビヤス火山を控えて、風光絶佳の都會である。



(馬羅)寺ロテトセ

ゼノアは第一の貿易港で、またコロネブスの生地である。ミランは工業が發達して絹布を産出し、ベニスは數多の小島上に立ち、昔榮えた水の都として有名である。

○セントペテロ寺院 羅馬四百有餘の寺院中第一に推されるべきもので、コンスタンチヌス大帝時代の會堂を、千四百五十二年法王ニコラス五世が新興に着手し、アラマント等の巨額の力を罄りて完成したものである。寺内には聖

ペテロの立像をはじめ三百八十九像、七百四十八柱、二百九十窓、三十祭壇がある。  
百九十窓、三十祭壇がある。  
ファイウメ 洪牙利領であつたが、今は伊太利領となり、その一部を、ユーゴスラヴィアの出入口として貸與してゐる。  
マルタ島 英領マルタ島は、軍事上、交通上の要地で、地中海の心臟と呼ばれ、北岸のバレッタは海軍根據地となつてゐる。  
サンマリノ 伊太利半島中部にある一小共和國で、人口一萬餘を有し、住民は農牧を業としてゐる。

### 第十五節 バルカン諸國

概説 アドリヤ海と黒海との間に突出した山岳がちの大半島で、東北部にトランシルバニアアルプ山脈、西部にチナルアルプ山脈が南走し、南部にはピンダス山脈がある。ダニユーブ河はルーマニヤとブルガリヤの國境を流れ、黒海に入つてゐる。多島海の西岸には島嶼多く、黒海に通ずる處はダルダネル・ボスゴロスの二海峡となつてゐる。  
北部の内陸は大陸性であるが、南部は溫暖で雨量に富み、農牧が盛んに行はれ、東部からは小麦・煙草、南部からはオリブ・柑橘・無花果・葡萄などを産出する。

ダニユーブ河は、南西獨逸に發源して、チエツコスロヴアキヤ・ハンガリー・ブルガリヤ・ユーゴスラヴィヤ・ルーマニヤ等の諸國を貫流する國際河川で、鐵門の險も運河によつて通過し、上流まで汽船を通じてゐる。住民は複雑で半島の東南には土耳其人、中部にはセルビヤ人、ブルガリヤ人、北部にはルーマニヤ人、南部には希臘人が住んでゐる。  
希臘 半島の最南にあり、歐洲文化の發祥地であるが、今は面積十三萬方呎を有する弱小の共和國である。首府アテネは希臘古文明の中心地でオリンピック競技を以て知られ、國內にはマラソン・オリンピア・スバルタ等の舊蹟が多い。サロニキは交通商業の要地で煙草を輸出する。



希臘人

○オリンピック競技 古代希臘に於て四年毎に行はれたオリンピヤ祭の時、全國から選出された選手によつて行はれた競技で、紀元前七百七十六年に初めて行ひ、三百九十四年テオドロシウス大帝が禁止するまで續いた。近代に至り千八百九十六年、國際的の競技機關として再興し第一

回をアテネに催して以來、毎四年目毎に行はれてゐる。  
ユーゴ・スラヴィヤ アドリヤ海に臨む立憲王國で、二十五萬六千の面積と約千三百萬の人口を有してゐる。全人口の八十五パーセントは農民で、玉蜀黍・大麥・馬鈴薯・煙草・麻などを主要物産とする。首府ベルグラードは、ダニユーブ河交通の要地である。サラエボは歐洲大戰の端を開いた地で、チエチニエは海岸の小邑であるが、舊モンテネグロ國の首府であつた。

ブルガリヤ セルビヤの東にあるスラブ族の王國で、歐洲大戰後西部小許の地をユーゴスラヴィヤに、南方のスレエスを希臘とコンスタンチノブル自由國に分割し、ルーマニヤからドブルチヤの一部を得たが、面積は縮小して十萬方呎となつた。小麦、煙草、果實等の産が多く養蠶も行はれる。首府はソフィヤで黒海のバルナは良港である。

羅尼亞 羅尼亞はダニユーブ河の北にあるラテン族の王國で、歐洲大戰後、露國よりベサラビヤ、洪牙利よりトランシルバニヤを得、ダニユーブ河下流のドブルチヤの一小部分をブルガリヤに與へたが、面積は三十萬方呎で戦前に倍する大國となつた。小麦・石油の産が多く、首府ブカレストは市街の清

麗なることを以て知られ、ガラツはダニユー河歐洲管理委員の駐在地である。

**土耳其** 歐羅巴と亞細亞の二洲に跨つてゐる。千九百二十二年ケマル・パシヤを首領とするアンゴラ政府が、帝制土耳其を倒し、その翌年より共和國となつた。産業は農産を主として棉花・煙草・阿片・無花果・オリブ油・乾葡萄などがあり、鑛産もクローム・石炭・セメント・礫砂・亜鉛が大量に埋藏されてゐる。コンスタンチノブルは列國大使の駐在地で、スクタリと相對し、ボスポロス海峡を扼する險要の地である。

**アルパニヤ** アドリヤ海東岸の立憲王國で、三萬方呎の面積と約八百萬の人口を有し、山地が多い。住民は悍悍なアルパニヤ人で、牧畜を主業として首府はチラナである。

**コンスタンチノブル自由國** 舊歐羅巴土耳其及びビスレースの一部と、マルモラ海東岸の地方を併せ、國際管理の下に自治を行つてゐる。首府コンスタンチノブルは亞細亞のスクタリと相對し人口は約百二十萬である。アドリヤノブルはマリツア河谷の要地で橄欖油の特産がある。

### 第七章 兩極地方

#### 第一節 北極

兩極地方は、何れも氣温低く、常に氷結してゐるから、人類の居住に適しない。

**北極地方** 三大陸に圍まれ島嶼が多く北極熊・北極狐などが棲んでゐる。十九世紀以來歐洲人によつて頻りに探検せられ近年に至つてベアリー、アムンゼンなどにより、大部分が深海であることが確められた。スバルバード島は石炭を産出する。

#### 第二節 南極

**南極地方** 三大洋につゞき氷河、氷原で覆はれた、高さ三千米以上の一大高原で、奇形なるペンギン鳥が棲息し、最近世界捕鯨場として有名になり、日本からも毎年長期出漁してゐる。探検は北極よりも後れたが、英人シャツルトンが先づ南磁極を発見し、次いで瑞典人のアムンゼンは南極に達した。この陸地の大部分は今や英國の領地となつてゐる。

### 第八章 萬國重要事項一覽表

地球の表面	直徑	赤道	但し兩極間の直徑は赤道の直徑より約四十三軒長い。	面積	陸地	水面	大陸の面積	亞細亞	歐羅巴	亞弗利加	北亞米利加	南亞米利加	大洋洲	極地	大陸の人口
	一、二、七〇〇軒			一四八、七〇〇千平方軒	三六一、三〇〇千平方軒	四三、二六〇、〇〇〇千平方軒	一〇、一九〇、〇〇〇同	三〇、〇〇〇、〇〇〇同	二四、〇四〇、〇〇〇同	一八、二四〇、〇〇〇同	八、五六〇、〇〇〇同	一三、六一三同	一三四、二九〇、〇〇〇同	一六六、〇七〇、〇〇〇千人	

大洋洲	亞細亞	歐羅巴	亞弗利加	北亞米利加	南亞米利加	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲	大洋洲									
五二〇、一〇〇、〇〇〇千人	一四六、〇〇〇、〇〇〇千人	一七六、六六〇、〇〇〇千人	九〇、〇二〇、〇〇〇千人	一〇、二六〇、〇〇〇千人	二、一〇九、一一〇、〇〇〇千人	面積(千平方軒)	一六五、七一五	八一、六五八	七三、四四二	一四、三五二	四、五八五	二、九六八	二、二七五	一、五〇八	一、二四三	一、二二三	一、〇四四	平均深度(米)	四、一〇〇	三、八五〇	三、九〇〇	一、一七〇	二、一〇〇	一、四〇〇	一、四四〇	一、二〇七	一、一八〇	一、一三〇	一、五三〇



列國の面積及び人口 (概數)	面積 (平方里)	人口 (人)	比律賓	面積 (平方里)	人口 (人)
セント・ローレンス	九四〇	八六	イリ	二五、八〇〇	
マツケンジー	九二〇	六八	ウイニベグ	二四、五三〇	
ユーリコン	八〇〇	五三	オンタリオ	一八、七六〇	
南亞米利加洲	ベアリング海		バルハシ	一八、四〇〇	
アマゾン	大西洋	一、四〇〇	大運河	スエズ	延長
ラブラタ	同	九二〇	スエズ	二六六	一〇三
オリノコ	同	四六〇	キール	五八	七一
大湖	所在地	面積 (平方里)	パナマ	エルベ・トラマ	五〇
裏海	アジア	四三八、〇〇〇	マンチエスタ	ウエルランド	四一
スベリオル	北アメリカ	八三、三〇〇	ウエルランド	クロンスタット	三五
グイクトリヤ	東部アフリカ	六八、八〇〇	レニングラード	大トンネル	二六
アラル海	中央アジア	六二、〇〇〇	シニア	シニア	一六
ヒューロン	北アメリカ	五九、五一〇	アベニ	アベニ	延長
ミシガン	同	五七、八五〇	サンゴタルド	サンゴタルド	一一、六
バイカル	シベリヤ	三三、〇〇〇	ロートシユベル	ロートシユベル	九、三
タンガンイカ	コンガ	三一、九〇〇	モンセニ	モンセニ	九、〇
グレート・ベイヤ	カナダ	三一、五〇〇	カスケード	カスケード	七、八
メヤサ	東部アフリカ	三〇、八〇〇			
グレート・スレーブ	カナダ	三〇、〇〇〇			

列國の面積及び人口 (概數)	面積 (平方里)	人口 (人)	比律賓	面積 (平方里)	人口 (人)
日本	六七五、三六六	九七、六九八、〇〇〇	露西亞	二一、二六八、〇〇〇	一六五、七四八、〇〇〇
滿洲	一、三〇三、一四三	三三、五〇〇、〇〇〇	芬蘭	三八九、二一七	三、七六二、七〇〇
支那	九、八〇〇、〇〇〇	四六一、七二七、〇〇〇	波蘭	三八九、三九〇	三三、八二三、〇〇〇
西比利亞	一六、五〇七、〇〇〇	三七、六二三、〇〇〇	瑞典	四八八、九五三	六、二五〇、〇〇〇
中亞細亞	四、〇〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	挪威	三三三、六八一	二、八八四、〇〇〇
イラン	一、六四四、〇〇〇	一五、〇五五、〇〇〇	獨逸	五五四、五七一	七三、三七六、〇〇〇
英領印度	四、六八四、〇〇〇	三五一、八三八、〇〇〇	佛蘭西	二四三、四二八	四六、五三三、〇〇〇
暹羅	五一三、四四七	一三、三〇八、〇〇〇	伊太利	五五〇、九八六	四一、九四〇、〇〇〇
蘭領印度	一、九〇四、〇〇〇	六〇、七二七、〇〇〇	西班牙	三三〇、一七七	四一、六二五、〇〇〇
佛領印度支那	七四〇、四〇〇	二一、四五二、〇〇〇	ルーマニヤ	二九四、九六七	二四、二四一、〇〇〇
アフガニスタン	六五〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	チッコスコヴァキ	二四七、五四二	一五、〇五七、〇〇〇
波斯	一、六二七、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	ハンガリー	九三、〇七三	一四、五一四、〇〇〇
メソポタミヤ	三七〇、〇〇〇	二八五、〇〇〇	白耳義	三〇、五〇七	八、八九八、四〇〇
パレスタイン	二六、八〇〇	一、〇三六、〇〇〇	和蘭	三三、一八一	八、一四七、九五〇
ヘジヤス	四四〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	葡萄牙	九二、一五七	七、一七七、〇〇〇
アデン	二二三、〇〇〇	五、〇〇〇			
オマーン	二二二、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇			

希臘	一三〇、一九九	六、六三〇、三四〇	八三、八六四	四六八、〇〇〇
希臘	一〇三、一四六	六、〇九一、〇〇〇	九、五六九、六五八	〇、八三六、〇〇〇
瑞西	四一、二九五	四、一四四、〇〇〇	三三、六六二	二、〇二三、〇〇〇
瑞西	四二、九三一	三、六五六、〇〇〇	二、一七五、〇〇〇	一六、六〇〇
リヌアニヤ	五五、六七〇	二、四七七、〇〇〇		
リトヴィヤ	六五、七九一	一、九五二、〇〇〇		
エストニア	四七、五四九	一、一二七、〇〇〇		
土耳其	七六二、七三六	一六、二〇〇、〇〇〇		
北亞米利加洲				
北米合衆國	七、八三九、三五三	一二七、一七三、〇〇〇		
メキシコ	一、九六七、三六五	一七、一八四、〇〇〇		
キューバ	一一四、五二四	三、九六三、〇〇〇		
ハイチ	二六、四一八	二、五五四、〇〇〇		
グアテマラ	一一七、七二〇	二、二四六、〇〇〇		
サルヴァドル	三四、一二六	一、五五〇、〇〇〇		
ドミニカ	五〇、〇七〇	一、二七五、〇〇〇		
ホンジュラス	一一四、六七二	八五五、〇〇〇		
ニカラガア	一二八、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇		
コスタリカ	五九、五七〇	五五一、五〇〇		
パナマ			八三、八六四	四六八、〇〇〇
加奈陀			九、五六九、六五八	〇、八三六、〇〇〇
西印度諸島			三三、六六二	二、〇二三、〇〇〇
グリン			二、一七五、〇〇〇	一六、六〇〇
南阿米利加洲				
ブラジル	八、五一一、一八九	四三、三二四、〇〇〇		
アルゼンチン	二、七九七、一一三	一二、〇五六、〇〇〇		
コロンビア	一、一六二、二四〇	九、二二六、〇〇〇		
ペルー	一、二四九、〇四九	六、七〇〇、〇〇〇		
チリ	七四一、七六七	四、四六六、〇〇〇		
ヴェネズエラ	九一二、〇五〇	三、二六二、〇〇〇		
ボリヴェア	一、三三二、八〇八	三、〇七八、〇〇〇		
エクアドル	四五一、一八〇	二、六〇〇、〇〇〇		
ウルグアイ	一八六、九二六	一、九九四、〇〇〇		
パラグアイ	四一八、七二二	八七一、〇〇〇		
阿弗利加洲				
埃及	九九一、九七〇	一五、二三一、〇〇〇		
エチオピア	九〇〇、〇〇〇	五、五〇〇、〇〇〇		
リベリア	一二〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇		

シヤンステダン	二、六一二、〇〇〇	五、七二九、〇〇〇		
南阿聯邦	一、二二三、九〇〇	八、六〇〇、〇〇〇		
ナイジェリア	八七六、五五一	一九、一五九、〇〇〇		
ウガンダ	二四三、九八七	三、五二三、〇〇〇		
ケニヤ	五七二、六一八	三、〇四一、〇〇〇		
シエラシオン	八〇、二九〇	一、七六九、〇〇〇		
アルジェリア	二、一九五、〇八七	六、五五四、〇〇〇		
モロッコ	四一五、〇〇〇	五、四〇六、〇〇〇		
マダカスカル	六一六、四五三	三、七六〇、〇〇〇		
チュニス	一二五、一三〇	二、四一一、〇〇〇		
モザンビツク	七七、一三三	三、九九六、〇〇〇		
アンゴウラ	一、二三五、〇〇六	三、〇九八、〇〇〇		
大洋洲				
ニューヘブライズ	一四、七六三	六六、〇〇〇		
濠洲	七、七〇四、一三五	六、六五五、一〇〇		
布哇	一六、五九四	四二六、〇〇〇		
列國主要物産額 (最近五年平均年産額)				
米 (單位萬石)	三〇〇〇〇	二二〇〇〇	七七四	一九〇
支那	三〇〇〇〇	二二〇〇〇	一二七	六五
石炭 (單位萬噸)			五三	
銅 (單位萬噸)			三七五	
白耳義			一四三〇	
佛蘭西			八三二〇	
米國			四九三七	
トランスバール			八九五	
加奈陀			四〇一	
メキシコ			一七二一	
米國			五二三	
ブラジル			一三九〇	
マダカスカル			三六〇	
棉花 (單位萬俵)			六二〇〇	
暹羅			一三九〇	
佛領印度			一九六〇	
比律賓			五八〇	
印度			六〇四	
埃及			一六〇	
米國			一二一〇	
露國			五四八	
ローデシヤ			三〇八	
獨逸			二二三六	
英			一三八五	
智利			七七四	
日			一二七	
阿弗利加			五三	
メキシコ			五三	

名	所	最深(米)	名	所	高さ(米)
米國	獨逸	二八五	琉球海溝	太平洋中	七、四八一
英國	佛蘭西	五二	スンダ海溝	馬來諸島外側	七、四八〇
日本			アレウト海溝	アレウト列島沖	七、三八二
世界の深海			ローマンシ海溝	太平洋中	七、三七〇
			タラウト海溝	馬來諸島間	七、三一五
			ケイ海溝	馬來諸島間	六、五〇五
名	所	最深(米)	世界の深布		
エムデン海淵	ミンダナオ島沖	一〇、七九三	名	所	高さ(米)
グアム海淵	太平洋中	九、八一四	グラランド	ラブラドル	六〇六
フィリッピン海淵	ミンダナオ島沖	九、七八八	スザーランド	ニュージーランド	五七七
マリアナ海淵	太平洋中	九、八一四	リボン	ヨセミテ公園	四八八
日本海淵	太平洋中	九、四三五	ロレイマ	英領ギアナ	四五五
ケルマデック海淵	太平洋中	九、四二七	ヨセミテ(上)	米アリフォルニア	四三三
トンガ海淵	太平洋中	九、一八四	カラムボ	南アフリカ	四二四
ニューブリテン海淵	太平洋中	九、一四〇	ガヴールニー	フランス	四二〇
ポルトリコ海淵	西印度沖	八、五二五	スルースキン	レニア公園	三九四
バラオ海淵	太平洋中	八、一三八	タツカロウ	英領コロンビヤ	三六四
南サンドイツチ海淵	太平洋中	八、〇五〇	ウイドウステアーズ	ヨセミテ	三五五
ヤップ海淵	太平洋中	八、〇一〇			
アタカマ海淵	智利沖	七、六三五			
ニューカレドニヤ海淵	太平洋中	七、五七〇			

# 第廿編 日本歴史知識

## 第一章 上古

### 第一節 神代

**造化の三神** 古史の傳ふるところに依ると、天地の別は未だ定まらず、混沌として卵の如き一氣が、空中に通つてゐた。やがてこの一氣が分れるや、清らかなるものは昇つて天となり濁つたものは降つて地となつた。この中に自然に存在した一物を天御中主神と稱し、次に高皇產靈神、神皇產靈神が生じた。以上を造化の三神と稱するのである。つゞいて可美葦牙彦舅神、天之常立神が生じ、これを造化の三神と併せて別天神と稱するのである。

**諸册二神** かくて天成り地定まつて後に、國之常立神、洲土煮神、角杵神、活治神、大戸道神、大苦邊神、面足神、惶根神及び伊弉諾神、伊弉册神が生り給ふた。

**瓊敷島** 諸・册の二神は天神の勅を受け、天瓊矛を授かり給ひ、下界を修理せんと天浮橋にイミ、矛をさし下して掻き

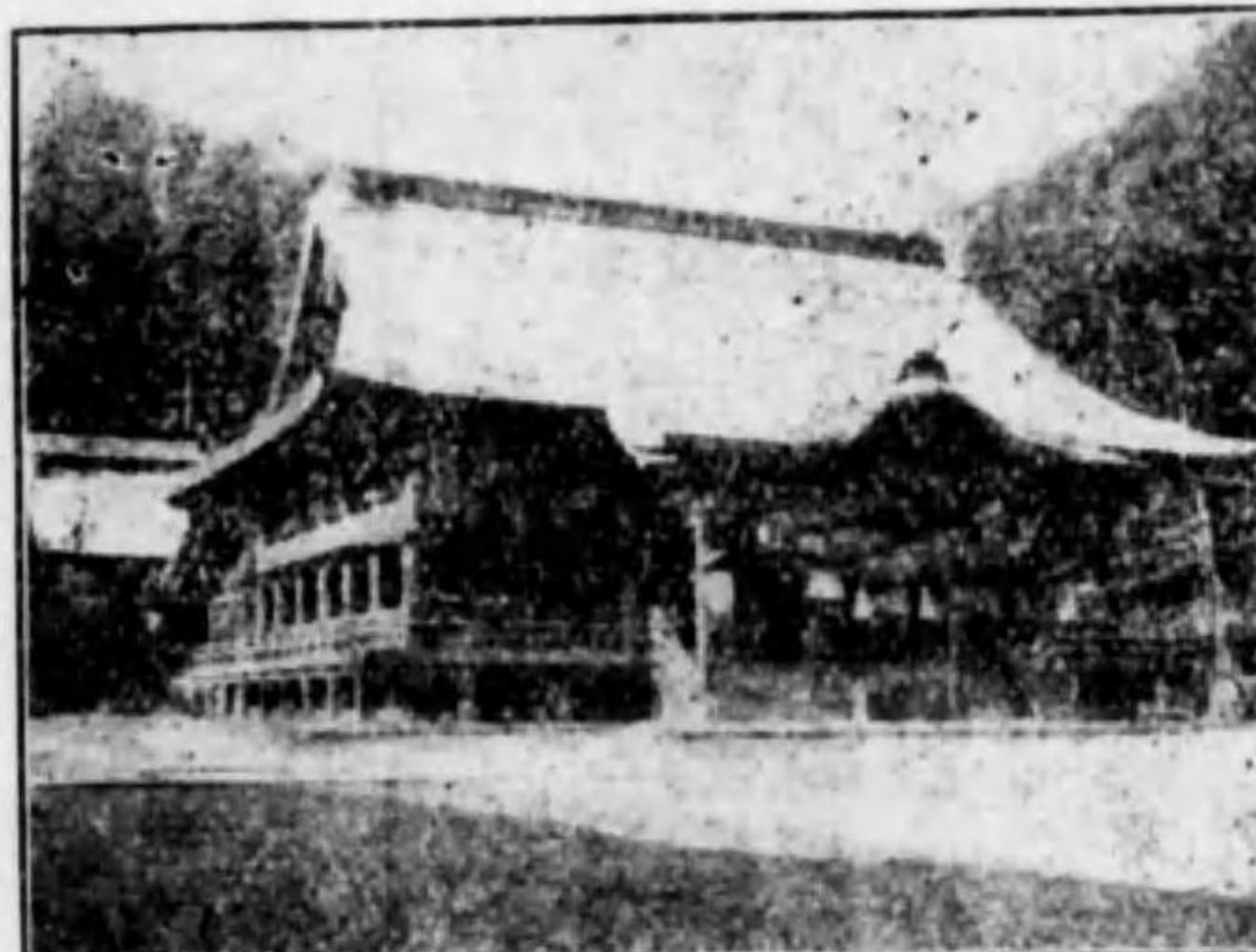
探り給ふたが、青海原のみであつた。然るにその矛から滴り落ちた潮が凝つて、瓊敷島となつたから、二神はこゝに降り國柱を建て、八尋殿を營み給ふことゝなつた。

**國土經營** 諸册二神は既に陰陽の別があらせ給ふたから、相配して始めて婚儀の道を開かれた。それより相謀つて大八洲國を生ませ、また海山及び木祖、草祖を悉く生ませ給ふた。かくて萬物を生成し給ふや、その生ませ給ふ所の諸神をして是等の萬物を掌らしめ給ふことになつた。即ち「我已に國土及び萬物を生めり、何ぞ天下に君たるべき者を生ませざらんや」と宣ひて天照大神を生ませ、次に月夜見神、次に素盞鳴神を生ませ給ふたのである。

**天照大神** 我大日本帝國の國礎を定め給ふたのは、皇祖天照大神である。大神は御神徳極めて高く農業・養蠶などの業を御廣めに成り、始めて國民に衣食の道を教へ給ふたが、これに反し御弟素盞鳴尊は、兎角荒々しい御行ひ多く、屢々大神を苦しめ奉つたので、遂には高天原より神々に追はれて出雲に赴き、この國にて天叢雲劍を得て天照大神に獻上しまた朝鮮半島にも往來し給ふたと傳へられてゐる。

**大國主命** 大國主命は素盞鳴尊の御子で、出雲を中心として

領地を廣め、醫藥の法を教へて民福を計られたから、人々は深くその恩徳に服して國內もよく治つた。天照大神はこの事を降し召され、御子孫をして、永くこの國を安らかに治めしめんと思召し、御使を出雲に遣して大國主命に諭し給ふた。命は御子事代主命と圓り謹みて大命を奉じ、領地を悉く献上して自ら杵築宮に退かれた。今の出雲大社はこの宮で、大國主命を祀るものである。



出雲大社 島根縣大社町にある官幣大社

天孫降臨 大國主命の退かれるや天照大神は、御孫瓊杵尊に神勅を下し「豊葦原瑞穗國はわが子孫の王たるべき地な

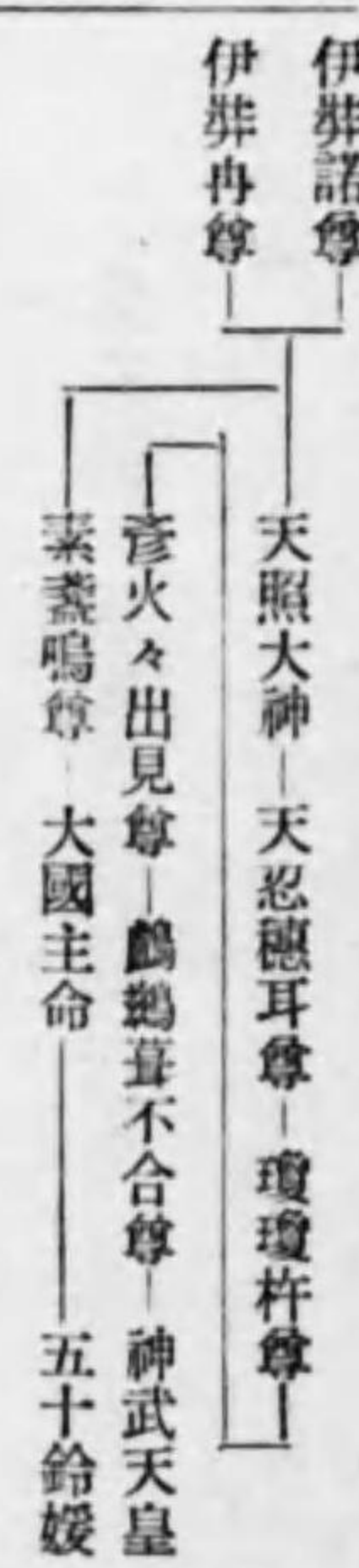
り。汝皇孫ゆいて治めよ。貴祚の榮えまさんこと大塊と共々に窮りなかるべし」と仰せられ、更に八咫鏡、天叢雲劍、八坂瓊玉を授け「この鏡を見ること我を見るが如くせよ」と仰せ給ふた。天壤ともに動きなき大日本帝國の基礎は、實にこの神勅によつて定まり、三種の神器は、御代々皇位の御璽として、受け継ぎ給ふこととなつた。かくて瓊杵尊は御神勅を畏み神器を奉じて、天兒屋根命・太玉命等、多数の神々を従へさせられ、日向に御降りになつた。天孫降臨とはこのことを申し奉るのである。その後御三代の間はこの地に在しまして、我帝國を治め給ひ、深く恩徳を國民にほどこし給ふた。以上天照大神より、こゝに至るまでの間を神代といひ、神武天皇以後を人皇の代と稱するのである。

○可樂山陵 鹿兒島縣薩摩郡可愛山にあり、瓊杵尊を葬り奉るところである。

國體の尊嚴 かくて我帝國は、神勅のまゝに君臣の分定まり、萬世にわたつて揺ぎなき尊い國體が確立し、萬世一系の天皇はこゝに君臨して國民を愛撫し給ひ、國民もまた皆その心を一にして忠愛の道を勵み、上下一體となつて國家は一家の如く相親しみ、國運は日に月に榮えて、世界に類なき美しい國體を築き上げたのである。

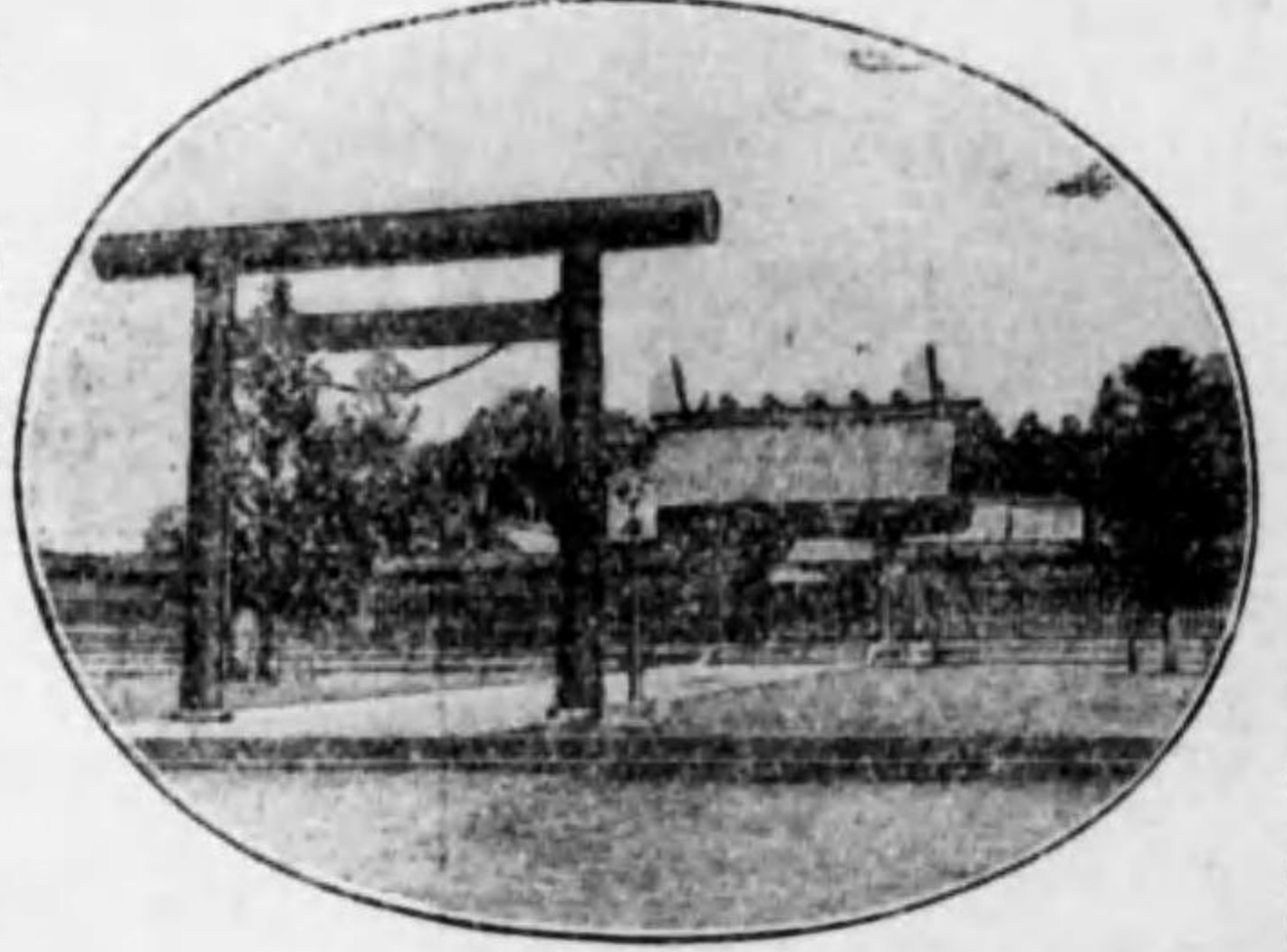
體を築き上げたのである。

神代皇室御系圖(一)



第二節 神武天皇

天皇の御東征 神武天皇は瓊瓊杵尊の御曾孫にして、我人皇第一代の天皇に在します。天皇は夙より中央の要地に移り、萬民を安んぜんと思召され、遂に御親ら軍を率ゐて日向を渡り、海路瀬戸内海を経て東に向はせ給ふた。かくて多くの歳月を費し、數々の御困難を重ねて浪速に御上陸遊ばされ、進んで大和に入らうとし給ふたが、大和に長鬮彦といふ土賊あり、饒速日命を奉じて勢ひ甚だ強く、皇軍を生駒山に防ぎ奉つたから、天皇は道をかへて海路紀伊に廻り、熊野の險を越え、行く／＼諸賊を平けて進み、再び長鬮彦を攻め給ふた。この時饒速日命は長鬮彦に對して君臣の道を諭し、天皇に從はしめんと計り給ふたが、長鬮彦は聞入れなかつたから、已

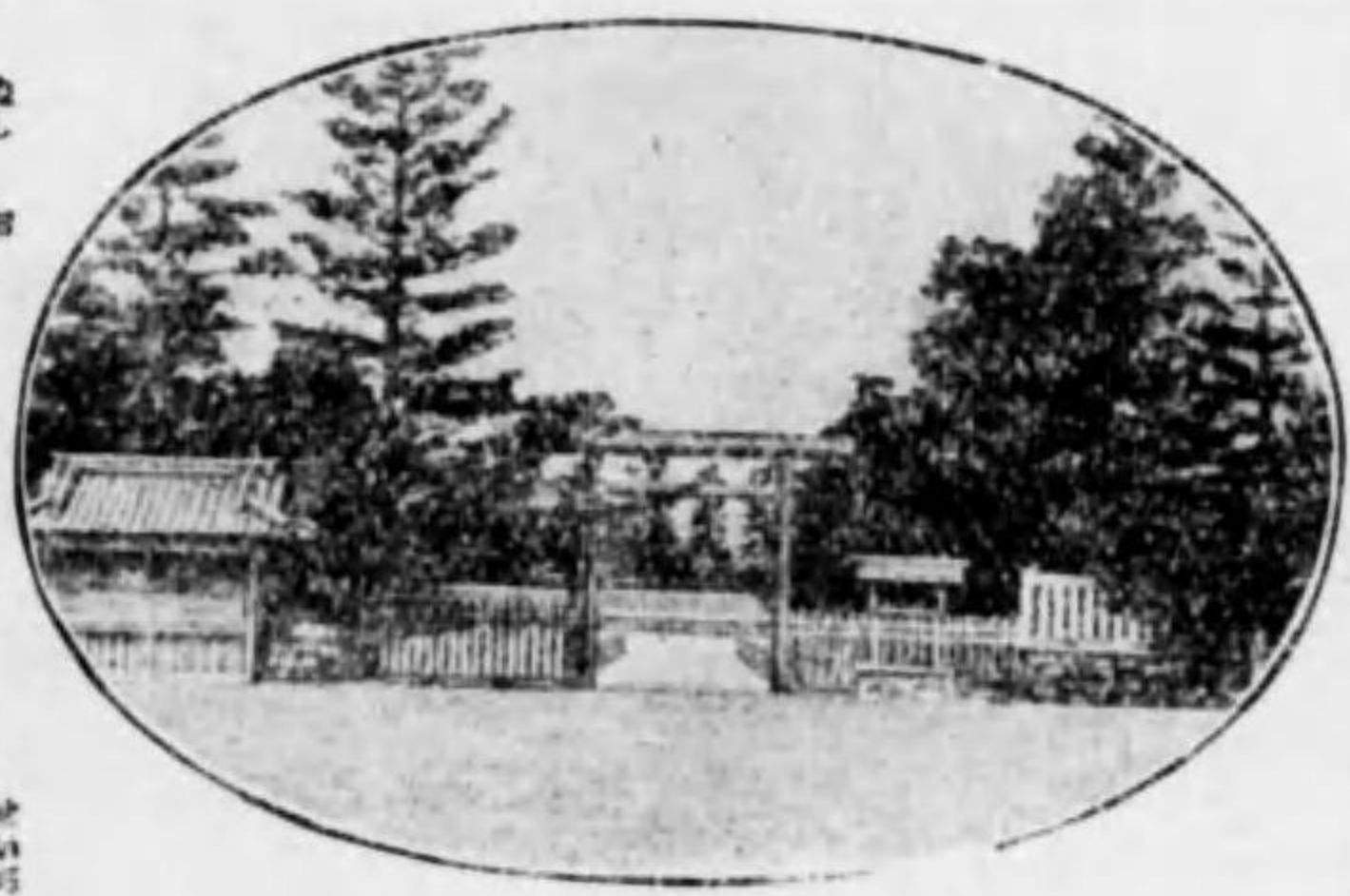


宮崎神宮 宮崎市の北郊にあり、神武天皇を祀り奉る官幣大社でこゝはもと天皇の御宮居の跡と傳へられてゐる。

むなくこれを殺して天皇に降り、こゝに大和地方は全く平定した。

○宮崎神宮 宮崎市の北郊にあり、神武天皇を祀り奉る官幣大社でこゝはもと天皇の御宮居の跡と傳へられてゐる。

櫻原宮 こゝにおいて天皇は、まづ都を歌傍山の東南櫻原に定めて、皇居を營み、いとむ殿に即位の大禮を行はせ給ふた。かくて建國の大業が始めて成就したから、後世この年を以て紀元元年とし、また神武天皇御即位の日を紀元節と定め、民間では建國祭を行ひ、國を擧げて祝し奉ることとなつた。これより先神武天皇は、皇居御造營の事を終るや、事代主命の御女、五十鈴媛命を納れて皇后とし給ひ、篤く天祖を祭り、神勅の御旨を全う



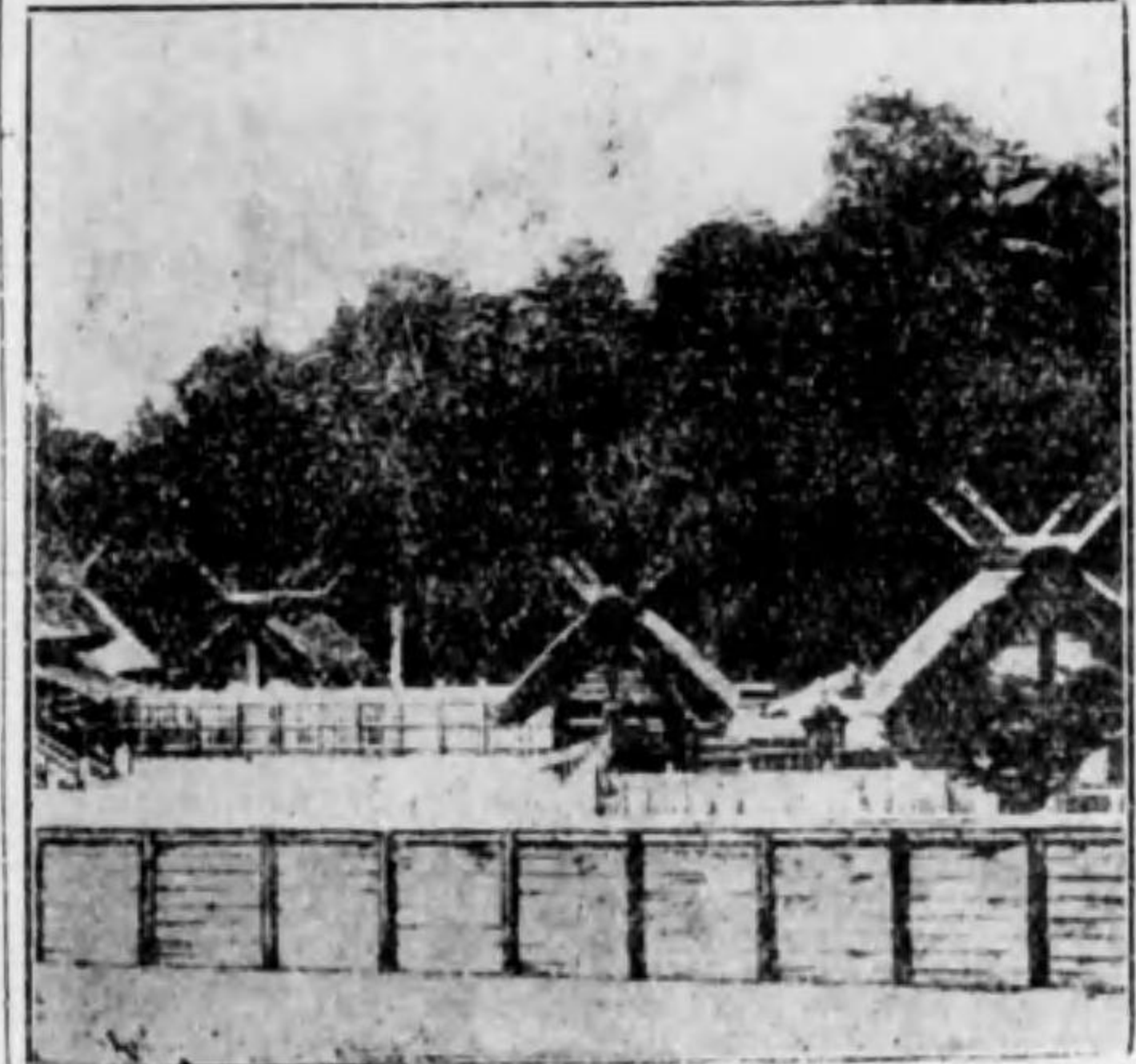
畝傍山東北陵

せんと期し給ふた。  
○畝傍山東北陵 神武天皇を葬り奉るること、奈良縣高市郡白根村にある。

祭政一致 當時の政治は、神を祭ることを中心としたから、神武天皇は天孫子命・天富命に祭事を命じ、臣命・可美眞手命に軍事を司らしめられ、また地方には國造・縣主を置いて、それらの政治を行はしめ給ふた。

### 第三節 皇威振張の時代

皇大神宮 神武天皇から約五百年を経て、第十代崇神天皇が御立ちになつた。天皇は敬神の御心深くましまし、神器を宮中に奉安することを畏く思召され、御鏡に御劍を添へて大和の笠籠邑に遷し祀らしめ、別に鏡・劍を模造して八坂瓊勾玉



○皇大神宮 宇治山田市にあり、中央の正殿は神明造といふ宮殿風の建築で、こゝに天照大神の御神靈をいつき奉る。兩側は西寶殿と東寶殿である。さらに南

と共に宮中にとゞめ、皇位の御體となし給ふた。新にあられた御鏡は、宮中の内侍所または賢所に奉安し、御代々の天皇は厚くこれを祭らせ給ふ例となつた。次帝垂仁天皇は更に御鏡・御劍を伊勢の五十鈴川の邊りに遷し、皇女倭姫命をして祭らしめ給ふた。これこそ伊勢の皇大神宮であつて、世後内宮と申し奉り、今なほ昔ながらの宮殿風の建築を傳へてゐる。

方に當る小さい建物が瑞垣南御門、大きい建物が内玉垣南御門、その間に蕃垣御門がある。

四道將軍 崇神天皇は、遠い地方にまで皇化を及ぼさんとの思召で、皇族を北陸・東海・山陰・山陽の四道に遣し、その國々を鎮め、國民を導き給ふた。これを四道將軍といひ、その御子孫は各地に土着せられたから、皇威は廣く遠方に及び、君民の關係は一層深くなつた。

日本武尊 然るに九州南部の能襲と、東北地方の蝦夷は、未だ文化が開けず、屢々朝廷に叛いて世を騒がせたから、景行天皇は能襲を親征せられ、さらに皇子日本武尊をして、能襲と蝦夷とを討たしめ給ふた。尊は先づ九州に下つて、能襲の長川上鼻師を誅し、後東下して蝦夷を服し、日高見國までも平定せられた。

皇化普及 かくて凱旋の途に上られたが、その途中病を得て伊勢に薨じ給ひ、尾張にとゞめ置かれた草薙の神劍は、今の熱田神宮にまつり奉ることとなつた。天皇は尊の薨去を深く悼ませ給ひ、やがて御諸別王をして東國を治めしめ、日尊の連れ歸れた蝦夷を諸國に配置して厚くこれを勉はり給ふたから、彼等も何時しか同化して忠良な臣民となり、皇化は普

く地方に及ぶことゝなつた。

○熱田神宮 名古屋市東區にあり。草薙劍を主神とし天照大神・日本武尊等を祀る官幣大社である。



國力の伸張 崇神天皇は、深く御心を民事にとゞめ給ひ、「農は國の大本なり」と仰せられ、多くの池や溝を掘り農業をすゝめ給ひ、また諸國に命し船を造らせて交通の便を開かれた。そのため文化は次第に進み、政務も漸く繁くなつて来たから、初めて全國の戸口を調べ、税法を定め、狩の獲物、垂仁天皇もまた産業を興し、詔して死を禁じ給ふた。成務天皇はかくの如き皇威發展の後をうけて、専ら内治を整へ給ひ、武内宿禰を大臣として國政を輔佐せしめ給ふたから、地方もよく治まり、國力



は次第に盛んになつた。  
 上古の風俗 當時人民の生業は、農と漁獵を主とし、生活は極めて質素であつた。上下一般に敬神の念深く、祖先を尊ぶ心より君父の陵墓を廣大にして、その葬祭を手厚くした。是等の古墳から發見せられた埴輪及び器・裝飾品などは、上古の風俗や工藝などの有様を知る材料として、大切なものである。男女とも衣服は絹、麻などで作つた筒袖の上衣に、男は袴(今のズボンの如きもの)女は裳(今のスカートの如きもの)をつけ、美しい玉類をつらねて身飾とした。髪は男子は分けてミヅラに結び、女子は下髪または鬢に結んだ。食物は穀類を主として野菜、魚鳥などを用ひ、これを素焼の土器に盛つて食し、家は地を掘つて丸木の柱を立て、藤葛を以て結び合せ、茅を以て屋根とし、床の上には敷物を敷いて起居した。  
 ○大家族の住家 現在の岐阜縣大野郡白川村の遠山家は古代社會における、大家族の住家の面影を留めるものと傳へられてゐる。

### 第四節 大陸文物の傳來

にある。

○香椎宮 福岡市外香椎にある官幣大社で、仲哀天皇を祀り奉るところであるが、天皇の御本營の御跡を傳へるものが社側にある。



香 椎 宮

學問の傳來 かくて朝

鮮よりの貢船は、年々相次いで來航したが、この頃半島は支那人の移住により、學問、工藝などが開けてゐたから、我國となるに及んで、是等の文物を傳へて我文化の進歩をたすけた。應神天皇の御代、召されて來朝した百濟の王仁は、初めて論語・千字文などの書を獻じ、皇子稚郎子については漢學を修め給ふた。その後支那人阿知使主も亦、多くの人々を率ゐて我國に來朝し、その子孫は王仁の子孫と共に朝廷に仕へて記録の役を勤

朝鮮半島との關係 朝鮮半島の北部には、早くより支那の勢力が及び、支那の王族箕子はこの平壤に都して古朝鮮を建て、我開化天皇の御代には支那の屬領となつた。然るに南部は小國分立して、早くより我國と交通し、後新羅・百濟等の國が起り、その北部の高句麗(高麗)と共に三國と稱した。崇神天皇の御代に至り、大加羅といふ小國は、東境を新羅に犯され、我國に保護を求めたから、朝廷は鹽乘津彦を遣はしてこれを援け、次いで國號を任那と稱し、日本府の基を開いてこれを治めた。

神功皇后の御親征 然るに新羅は熊襲を啜かして亂を起させたから、仲哀天皇は神功皇后と共に熊襲を親征せられたが、不幸にして陣中で崩御あらせられた。こゝにおいて皇后は、大臣武内宿禰と謀り、軍を率ゐて海を渡り、新羅を親征してこれを降し給ふた。後百濟・高句麗も相ついで來貢し、こゝに朝鮮半島は我國に服屬して、國威は海外にまで發揚するに至つた。

- 新羅月城 朝鮮慶尙北道慶州の東南にあり、もと新羅の首都の在つたところで、新羅初期の土築の王城の跡である。
- 金首露王陵 任那の始祖金首露王の廟は朝鮮慶尙南道金海

めた。これより漢字が次第に用ひられることとなり、孔子の説いた儒教も追々修められた。

工藝の傳來 學問と共に工藝もまた次第に傳來した。應神天皇の御代には、支那人弓月君が、多くの人々と共に百濟を経由して來朝し、養蠶・紡織の新法を傳へたから、天皇は更に阿知使主を支那に遣はされて織、縫に長じた工女を招き給ふた。その後弓月君の子孫は秦氏を賜はり、山城に居を定め、阿知使主の一族なる漢氏と共に、工藝の進歩に力を盡した。

○伊居太神社 大阪市の北方池田町にあり、應神天皇の御代來朝した織女の住居した地に宮を建て、祀つたものと傳へられる。

産業の發展 仁徳天皇は慈仁の御心に富ませ給ひ、民利を圖らんとお召しより、海陸交通の要地である難波に都して、廣く農業をすゝめ交通の便を開き、秦氏の子孫を諸國に遣はし、養蠶・機械の技を教へ、また租税を免じて民力の休養を計り給ふた。

雄略天皇 雄略天皇も産業に御心をかけられ、皇后もまた宮中において蠶を養ひ、民に手本をお示しになつたから、絹織物の産出は俄に増加し、貢物は朝廷に充溢した。こゝにおいて

天皇は新たに官を置き蘇我氏をしてこれを司らしめ、農桑の神である豐受大神を、丹波より伊勢の山田に遷し祭り給ふた。

○高津神社 大阪市東區にあり、仁徳天皇を祀り奉り、境内は夜櫻の名所として名高い。

佛教の傳來 佛教はもと印度の釋迦が開いた宗教であるが、夙くより支那に入り、次いで朝鮮半島に傳はつた。欽明天皇の十三年百濟の聖明王は、使を我國に遣はして、佛像及び經文を献上した。當時朝鮮半島では、新羅・高句麗兩國の國勢が大いに揚り、動もすれば我國に叛いて任那・百濟を犯したから、任那・百濟は我國の保護の下にこれに當らうとした。かくて百濟より佛教が傳來するや、その信仰につき朝廷では贊否兩論に分かれ、勢力家の間に烈しい争ひを生じたが、用明天皇の御子聖德太子に至り深くこれを信奉して、御自から經文を講じ給ひ、或は四天王寺・法隆寺などを建立して、佛教の興隆をはからせ給ふた。そのため佛教は大いに榮え、各種の職工が朝鮮から渡り來つて、我國にも鳥佛師の如き名高い佛工が現はれた。かくて所謂推古時代の美術工藝を發達せしめ、大陸の文化を取り入れて、後世までも大なる貢獻を與へ

た。

○聖德太子御像 中央が太子、左方はその御子山背大兄王、右方は同じく延喜王と傳へられる。

聖德太子 推古天皇は女帝に在したから、御甥聖德太子を攝政として、政治を統べさせ給ふた。太子は天性聰明にましまし



聖德太子御像 中央が太子、左方はその御子山背大兄王、右方は同じく延喜王と傳へられる。

これを諸臣に賜ひ、憲法を制定して我國體を明かにし、曆法を定め、國史を作らせ給ふなど、その御治績はまことに偉大なものにおはした。

支那との國交 然るに當時支那には隋國が起り、その文化も一

層進化してゐたので、太子は遣隋使として小野妹子を隋に遣はし、公の國交を御開きになつた。これが上古における日支國交の最初で、爾來引きつゞき國使や留學生が送られた。後ち隋が亡び唐の起るや、所謂遣唐使によつて、唐の制度、宗教・學藝などが直接に我國に輸入せられ、制度、文物等の改新をたすけて、固有の美風を益々發達せしめた。

### 第五節 蘇我氏の興亡

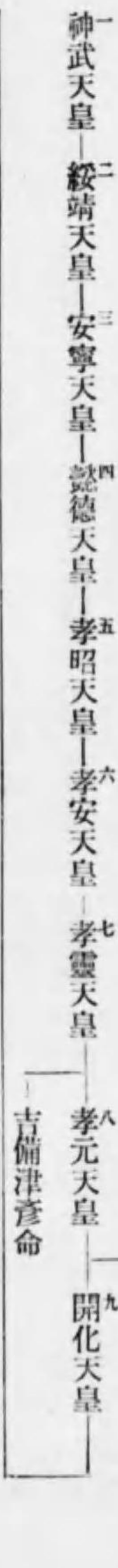
大巨と大連 上古の制度は、臣民はその家職を世襲して皇室に仕へ、家柄の高下によつて自から勢力に強弱があつた。中でも武内宿禰は景行天皇以後、久しく朝廷に仕へて大臣となり、その一族は大いに榮え、殊に蘇我氏が最も勢力を得てゐた。大臣と並んで大政を輔け奉る大連は、仲哀天皇の朝、大伴武持が初めて任ぜられ、其後大伴・物部二氏が大連とな

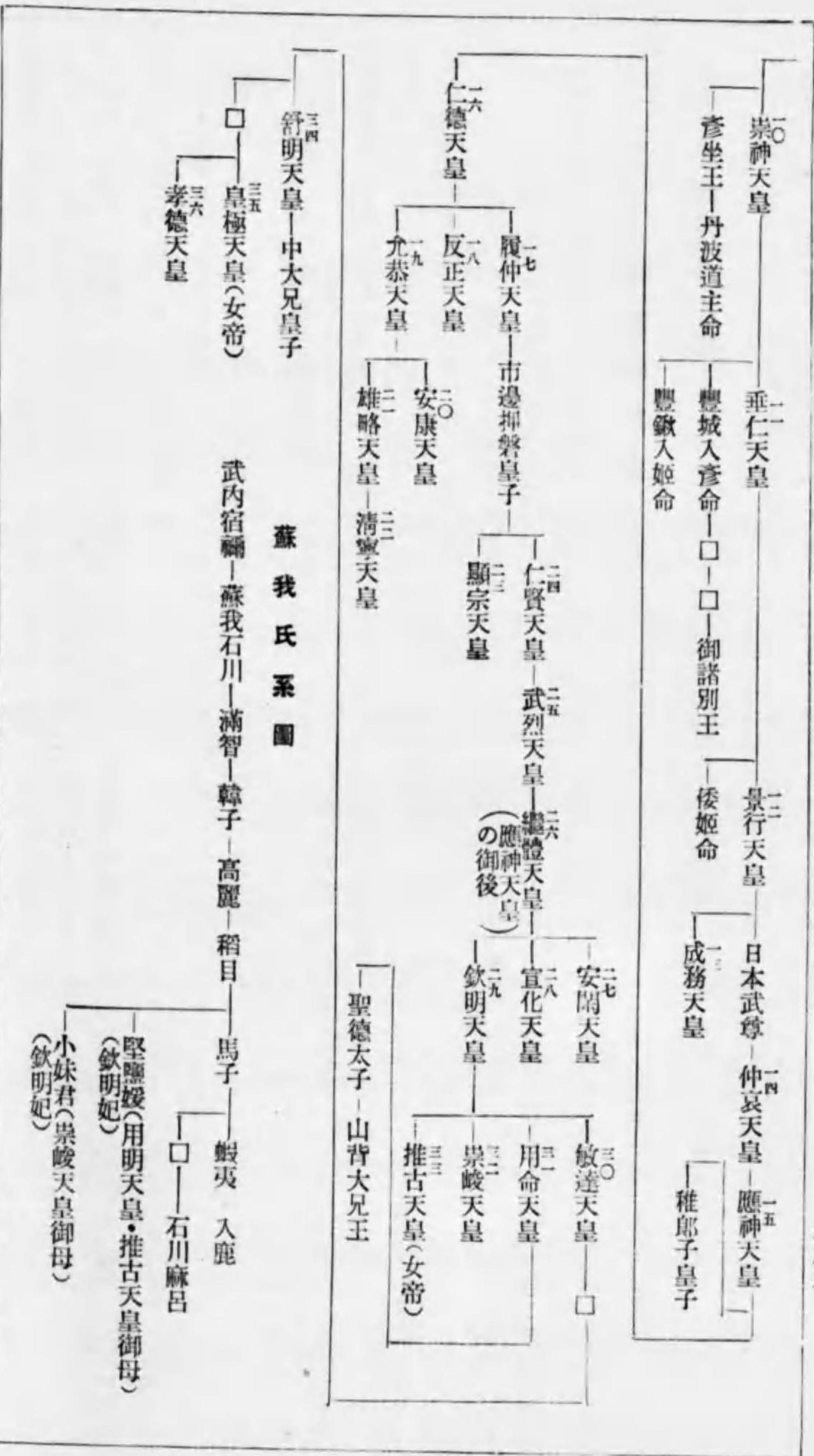
つたが、何れも名家であり實力もあり、遂に大臣・大連兩家對立の姿をなすに至つた。

蘇我氏の專横 然るに佛教が初めて傳來した當時、大連・物部の二氏はこれが禮拜に反對し、大臣蘇我馬子のために滅ぼされてより、蘇我氏が獨り權を握ることとなつたが、馬子の子蝦夷、孫入鹿に至り、權に任せて無道の振舞多く、殊に入鹿は聖德太子の御子山背大兄王を攻めて、その御一族を滅ぼし奉るなど、皇威を憚らなかつたため、聖德太子の行はれた政道改新の御精神も、漸く亂れ勝ちとなつた。

中臣鎌足 此時に當り中臣鎌足は、深く蘇我氏の專横を憤り、蘇我氏を除かんとして英明の聞え高き中大兄皇子と謀り、皇極天皇の四年入鹿を大極殿に誅し、次いで蝦夷を攻めて自殺せしめた。かくて蘇我大臣家は亡び、皇威は再び輝やくやうになつた。

### 皇室御系圖 (二)





蘇我氏系圖

## 第二章 中古

### 第一節 政治の改新

制度の變動 皇極天皇に次いで、御弟孝德天皇が御立ちになり、中大兄皇子を皇太子とせられた。これまで家職を世襲した社會の制度は勢力ある豪族が次第に多くの土地、人民を私有し、勢ひを恣にして人材の進路を塞ぎ、延いて國家の統一をも妨げるやうな結果を生じた。こゝにおいて大臣・大連兩家の滅亡を機とし、大に新政を施し給ふこととなつた。

大化の改新 孝德天皇は、御即位の年初めて大化と年號を定め新たに官制を設け、内臣及び左右兩大臣を置いて百官を統べしめ、また地方の國造、縣主を廢して、新たに國司・郡司を定め、何れも從來の世襲をやめ、その才能に應じてこれに任ずることにせられた。次いで諸豪族の私有せる土地、人民を悉く朝廷に納め、天皇に直屬する公地、公民となし、人口を調べて戸籍をつくり、人毎に口分田を授け、死すれば朝廷に收める班田收授の法を立て、民の生活を安定せしめられた。また租税については、新たに田の收穫に課する租、公役

に民をつかひ、又はその代りに米布などを納めさせる庸、絹綿など各地の産物を貢がしめる調の三種と定めて國用に充當した。而して是等の制度は、中大兄皇子が内臣中臣鎌足と謀り、曩に唐に留學して歸朝した僧旻・高向玄理を登庸し主として隋・唐の風により立てられたものである。

集權統一 大化の新政は、建國以來の大革新で、中大兄皇子は「天に二つの日なく、國に二人の王なし。この故に天下を兼ね併せて、萬民を使ふべきはたゞ天皇のみ」と仰せられ、人に先立つて御所有の土地、人民を朝廷に返上し、新政の實行を促し給ふた。そのため社會の制度が一變し、天皇を中心として集權統一の實が擧げられ、天祖神勅の御精神は、いよゝ明かにせられた。後世史家の稱する大化の改新とはこのことである。然しこの改新は皆國利民福を進めんがためであり、更に國民に聊かも不便なことがあつてはならぬとの大御心より、詔して朝廷に鐘をかけ箱を置かしめ、民をして思ふところを訴へしめ給ふた。

東北鎮定 孝德天皇の崩後、皇極天皇が再び御位に即かれた。これを齊明天皇と申し奉る。中大兄皇子は皇太子として、前朝同様輔佐あらせられた。天皇の御代阿倍比羅夫は、兵船

を誦へて、今の秋田、津輕より進んで北海道地方の蝦夷を従へ、各地に郡司を置き、蝦夷人をもこれに選任した。比羅夫は更に進んで肅慎をも討つた。肅慎は今の樺太から満洲國邊にかけて住んでゐた民族である。比羅夫の討伐により日本海方面の蝦夷は平穩になり、持統天皇の御代には、佛教を信じ



新羅の半島

統一 これより先朝鮮半島では、諸國が互に勢力を争つてゐたが

中でも新羅は次第に強盛となり、欽明天皇の御代には任那を攻めて日本府を滅ぼした。こゝにおいて百濟は我國と結んでこれと對抗したが、新羅の武烈王は唐の援けによつて、齊明天皇の御代に我援軍をも白江口に破り、百濟を滅ぼし、次いで高句麗を滅ぼした。それより後の新羅は殆んど全半島を支

○ 叢山神社 奈良縣多武峰にある別格官署社で藤原鎌足を祀つた神社である。

大寶律令 文武天皇に至り、忍壁親王及び鎌足の子藤原不比等に命じ、天智天皇の御定めになつた法令の改正に當らしめられ、大寶元年に至つて漸く出来上つた。世に大寶律令といふのがこれだ。律は刑法、令は官制、税法などを定め、主として唐の制度を模範とし、我國風を考へ合せて成り、永く我政令の根本となつた。

○ 太宰府 今の福岡縣筑紫郡太宰府町附近にあり、現に都府の跡と瓦片等をとめて居る。

大寶令の官制 大寶令によれば、中央政府には神祇官・太政官の二官あり、神祇官は神を祭ることを司つて我國敬神の義を現はし、太政官は政務を司り、太政大臣以下の官を置き中務・式部・治部・民部・兵部・刑部・大藏・宮内の八省を統べた。地方には國司・郡司を置き、別に九州には太宰府を設けて九州の政治及び、外國交通のことを司らしめた。また新たに徴兵の制を定め、京に衛府、諸國に軍團を置き、學校は官吏養成を目的として、京に大學、諸國に國學を設け、身分あるものゝ子弟を入學せしめ、刑には笞・杖・徒・流・

配するに至り、國力の充實と共に、盛んに唐の文物を輸入し國都慶州を中心として、輝かしい文化の華が開いた。

○ 瞻星臺 新羅の國都慶州にあり、昔の天文臺で喜德王のとき(わが舒明帝の朝)に造り、東洋最古のものとして珍重されてゐる。

天智天皇の御治蹟 齊明天皇に次いで、中大兄皇子が即位せられ、天智天皇と申し奉つた。天皇は時勢に鑑みて、朝鮮半島の經營を中止し、専ら内治に大御心を用ひ給ふた。即ち都を近津の大津に遷し、中臣鎌足に命じて近江令を制定せしめ學校を興して改新の大業を進められ、また外國の侵入に備へるため、國防に御心を注ぎ給ひ、水城などを築いて西國の防備を固め、唐と好を修めて國交を復しその文化を輸入した。藤原氏 たま／＼多年天皇をたすけ奉つた鎌足が、病にかつたので、天皇は深くその功勞を賞し、藤原の姓を賜ひ、その子孫は歷代朝廷に仕へて繁榮を極めることゝなつた。

○ 天智天皇御陵 京都市東山區山科にあり、その規模の大なること御陵中第一と稱せられる。

○ 基山城跡 天智天皇の朝西國防備のため築かれたもので、佐賀縣三養基郡にあり、太宰府の南方に當つてゐる。

死の五種を定め、特に君父に對する罪を重くして、忠孝の道を獎勵した。

### 第二節 奈良朝

#### 奈良朝

聖武天皇 文武天皇の崩後、御母元明天皇が位につき給ふたが當時、政令は中央政府から出で、また海外との交通も次第に開けて、國運は漸く進んで来たから、天皇は都を奈良に御奠めになつた。當時の奈良の都は、今の奈良市の西方に當り、唐の都城の制にならつて四方に羅城をめぐらし、正北部に大内裏を設けて、宮城と諸官省とを置き、南には朱雀大路を通じて左京・右京に分つなど、規模壯大にして平城京といひ、此後、光仁天皇まで七代、七十餘年間の帝都となつたから、この時代を奈良時代といふのである。

○ 東大寺 奈良市にあり、奈良の大佛の金堂で高さは十七米

餘、後世の修築によつて幾分縮小せられたが、尙ほ世界最大の木造建築物である。中に安置する大佛は、元祿時代に修復されたもので、高さ十六米である。

○大極殿跡 奈良市の西、生駒郡都跡村にあり、田圃の間に黙々と芝生が散在し、大極殿の跡は俗に大黒の芝と稱し、二米程の小丘となつてゐる。

光明天皇 聖武天皇の皇后は、藤原不比等の女で、光明皇后と申された。藤原氏は鎌足以来の功勞により、皇室の御信任をうけ、遂に臣下にしてその家から皇后が立てられたのである。皇后も御慈悲の御心深く佛教を厚く奉じ給ひ、奈良の法華寺に施薬院・悲田院を設け、貧しい病者をはじめ、孤兒、老病者などを救はせ給ふた。藤原氏の氏寺なる奈良の興福寺も、この頃から次第に榮えはじめた。

和氣清麻呂の忠誠 奈良朝時代に入つて佛教は、皇室の保護をうけて大いに興り、僧侶の地位も高まつたから、印度・支那等よりも名僧が來朝して佛教を弘め、我國でも行基の如き學徳共にすぐれたる名僧が現はれ、諸國をめぐつて佛教の弘通につとめ、兼ねて公益に力をつくした。然るに上下の僧信を受けけるにつれ、中にはその分を忘れて、我儘を振舞ふ僧侶も

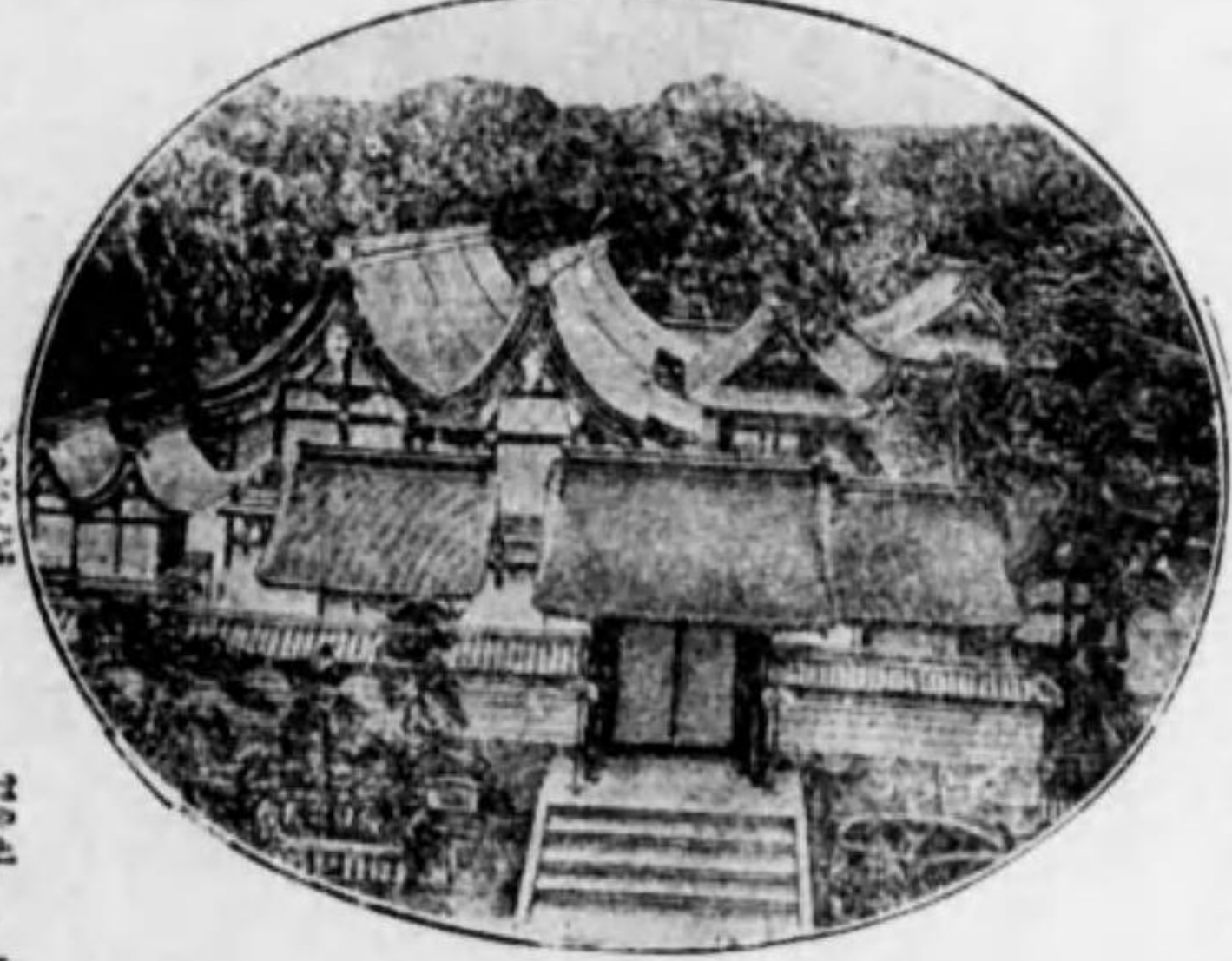
浴することになつた。朝鮮半島では新羅は勢ひをたのみ、我國に對して兎角無禮の振舞があつたから、淳仁天皇はこれを征せんとして果されなかつたが、今の滿洲國に起つた渤海は聖武天皇の御代から、屢々使者を遣はして來貢し、以て平安時代の初期に及んだのである。

### 第三節 奈良朝の文化

大陸文化の影響 奈良時代は、遣唐使によつて齎された隋・唐など大陸文化の影響をうけて、我文化は著しく發達した。當時唐は世界の先進國として、その文化が頗る發達してゐたから、東洋諸國はすべて唐の影響を受けたのである。

佛教と美術 聖武天皇の御代を中心として興隆した佛教は、唐から傳へられた法相宗・華嚴宗などの所謂南都六宗で、寺院は多く奈良の都に建立せられ、建築、彫刻など美術や工藝が著しく進歩した。時の年號により、美術史上この時代を天平時代と稱してゐる。寺院では東大寺・藥師寺・唐招提寺などが最も榮え、圓滿豐麗古今第一と稱せられる多くの佛像を安置し、特に東大寺の正倉院は、聖武天皇の御物を中心に、織物・刺繍・漆器・硝子器など、當時の代表的工藝品を納め

出で、稱徳天皇の御代、僧道鏡の如きは、天位にのぼらんと野望を抱くに至つた。幸ひ忠誠の心深き和氣清麻呂が、大命をうけて宇佐八幡宮に至り、神教をうけて歸り、その野心をくぢいて非望を抑へ、次いで光仁天皇に至り、道鏡は下野に流された。



宇佐八幡宮 大分縣 宇佐町にあり、應神天皇を祀り奉る官幣大社で、正面が西門その後方に見えるのが本殿である。宮○單人塚 鹿兒島縣國分驛附近にあり、古來單人の塚と稱し石塔石像などがある。皇化の普及 元正天皇のときは、九州南部にゐる隼人の亂を平けたが、後この種族の中には朝廷に仕へて、宮門を守る者もあつた。また此頃までに、今の種子島から沖繩諸島も我國に服し、等しく皇恩に

世界にも多く例のない寶庫として有名である。文學の興隆 當時唐風の影響は勢ひ漢文學を發達せしめ、有名な學者を出した。吉備眞備・阿倍仲麻呂は元正天皇の御代唐に留學し、その文名は唐の大家と並び稱せられた。稍や後れて石上宅嗣は、我國最初の圖書館芸亭を開き、淡海三船は詩集懷風藻を作つた。和歌はこの時代に先だち、歌聖と呼ばれた柿本人麻呂が出で、奈良朝に入つて山部赤人・大伴家持などが現れた。是等の人々の歌を集めたものが、萬葉集である。萬葉集は我國最初の歌集で、雄健な歌が多數撰集されてゐるが、是等の歌は漢字をあてた所謂萬葉假名によつて書かれてゐる。

○正倉院 奈良の東大寺にあり、三角材をたゞみ重ねた校倉造で、内部は三倉に分れ、御物が藏されてゐる。國史の編修 かく漢字によつて國語を現はすことが行はれるやうになつてから、種々の圖書が編修せられた。先づ元明天皇は、太安麻呂に勅して、稱田安禮の暗んじてゐた古史の傳へを書き取らしめ給ふた。これが我國最古の史書古事記である。次いで諸國に勅して、國々の形勢、物産、古傳などを記した風土記を奉らしめ給ふた。また元正天皇の朝には、

舎人親王に勅し、諸家に傳はる古記を考へ合せ、日本書紀を撰修せしめられたが、これは神代から持統天皇までの古史を漢文で書いたもので、其後平安時代の中頃までに編修せられた續日本紀・日本後紀・續日本後紀・文德實錄・三代實錄とを併せて六國史と稱し、我國の正史として貴重なるものであることは普ねく知るところである。

産業の發達 大寶令では國民が、私かに銅、鐵などを採取することを許したが、元明天皇の御代、武藏から和銅を獻じ、聖武天皇の御代にはまた陸奥から黄金を出した。こゝにおいて初めて和同開珎といふ銅錢を鑄造して商業の發達をたすけ、また金銅の佛像が多く造られた。元明天皇は國民に養蠶をすゝめ、錦を織ることを教へ給ひ、聖武天皇は開墾地の私有を許して新田の開墾を奨励せられた。光仁天皇の御代には常平倉を設け、穀物を貯へて凶作に備へるなど、この時代を通じて一般に産業が次第に發達した。

風俗 世の開明に伴つて、風俗も一般に華麗になり、衣服は男女共に袖ひろく裾長く、模様も花やかなものとなり、官吏、貴族などの家は、寺院と同じく屋根を碧瓦で葺き、柱を赤く塗るなどの風習が漸く行はれるやうになつた。

### 第四節 平安京

桓武天皇 光仁天皇に次いで、御子桓武天皇が御位に即かせ給ふたが、天皇は御英明にましまし、國政を一新して國運の發展を計らんと思召され、和氣清麻呂等の議を用ひて、延暦十三年都を今の京都の地に遷し、これを平安京と稱し給ふた。新都は平城京よりも規模稍や大きく、爾來明治二年に至るまで、凡そ一千七十五年の間、歴代の天皇は概ね此處に在し初めの四百年間は、政令がこの平安京より出たから、世にこの時代を平安時代といつてゐる。

○平安神宮 京都にあり、桓武天皇を祀り奉る官幣大社で、中央は拜殿、東には青龍、西には白虎の樓があり、古昔天皇の政を聴き給ふた大極殿を模したものである。

蝦夷地平定 蝦夷に對しては、聖武天皇の御代、陸奥に多賀城を築いて鎮守府を置き、出羽には秋田城を造つて、これに備へた。桓武天皇に至り、更に武勇の譽れ高き、坂上田村麻呂を征夷大將軍として鎮めしめられたが、田村麻呂は進んで蝦夷の根拠地を突いて討伐し、膽澤城を築いてこれに備へたから、蝦夷の勢ひは次第に衰へ、後この城に鎮守府を進め、鎮

守府將軍を置いて、蝦夷地を治めるやうになつたから、北邊の煩ひも漸くその跡を絶つに至つた。

○膽澤城址 岩手縣膽澤郡佐倉河村にあり、方八町と稱せられる廣大な平城である。

令外官 次帝嵯峨天皇は時勢の變化を察し給ひ、新たに藏人所を宮中に置き、重要書類を取扱はしめ、また檢非違使を置いて、京都の警察、裁判のことを司らしめ給ふた。是等を令外の官といひ、律令制度も追々改正せられた。

### 第五節 藤原氏の專權

藤原氏の繁榮 藤原氏は鎌足父子の功によつて、朝廷に重用せられ、その一族は次第に榮えたが、良房に至つて文德天皇の御代、太政大臣に任ぜられ、次いで初めて外戚として清和天皇の攝政となつた。人臣にして太政大臣となり、攝政に任ぜられたのは、良房が最初である。宇多天皇が御立ちになるに及び、詔して天下大小の政務は、先づ藤原基經に白し、その手を経て上奏せしむることとし給ひ、こゝに初めて關白の稱が起つたが、この後藤原氏は、代々皇室の外戚として、天皇御幼少の間は攝政となり、御成年の後には關白として、重要

な政務に與かり、一門の勢力を固めて、いよく權を握ふこととなつたのである。



覆寺跡

菅原道眞 この情勢を見そなはして宇多天皇は、藤原氏の勢力を抑へんと思召され、基經の薨後は攝政を置かず、藤原氏以外の學者の家より菅原道眞を登用して、政治を輔けしめ給ふたが、次帝醍醐天皇が、御若年にして即位せらるゝや、道眞は藤原時平等のために、不臣の企てであると讒奏せられ、官を罷されて太宰府に遷された。道眞は太宰府にゐること三年、その間日夜皇恩の厚きを偲び、文筆を友として筆所に薨去した。

○覆寺跡 福岡縣太宰府町にあり、菅公住所の跡と傳へられて居る都府の南館である。

**醍醐天皇** 醍醐天皇は、御成長の後親しく政をみそなはし、學問を奨め給ひ、また御仁愛の御心深く、ある寒夜に御衣をぬがれて、貧民の寒苦を思ひやらせ給ふなど、専ら御仁政を行はせられたから天下は大いに治まり、都は花の如く榮え、延喜の聖代と稱し奉つた。次いで村上天皇も、また深く民政に御心を用ひ給ひ、或時老臣が延喜の御代と比べて「たゞ主殿寮が多くの燈火を用ひ、率分堂の前に草が生へるやうになりました」と奏した直言を愛し給ひ、一層政治に御勵みになつたから、世は無事に治まり、延喜の御代と並べ稱して天曆の治と申し奉つるに至つた。

**藤原氏の専横** 冷泉天皇より後冷泉天皇まで、八代百餘年間は藤原氏が政治を私して専横を振つたが、殊に道長の如きは才器人にすぐれ、榮華の極に達したので「この世をばわが世とぞ思ふもち月の、かけたることもなしと思へば」と詠じてこれを誇つた。かくて多くの土地を私有し、その富は皇室をも凌ぎ、善美をつくした法成寺を建て、一族の冥福を祈りその子頼通もまた宇治に平等院を營み、公卿等に命じて工事を助けしむるなど、藤原氏の専横は益々募つた。

**地方の紊亂** 藤原氏が京都において權を専らにするや、律令の

制は次第に弛み、口分田の法も、陽成天皇の頃から殆んど空文となつた。従つて勢力ある貴族や大社寺は、多くの土地を私有し、莊園と稱して國司の支配外に置き、租税を免れるやうになつた。加ふるに藤原氏以下の朝臣も、擧つて一身一家の榮えをのみ圖り、國家を忘れ政治を怠るやうになつたから國司はこれに乗じて私利を貪り、地方の政治は亂れて、人民は大いに苦しみ、盜賊が各地に出沒するに至つた。然かも兵制はみだれ、官兵はこれを鎮めることが出来なかつたから、地方の地主は武を練り兵を貯へて自から變に備へ、こゝに初めて武士の階級が起るに至つた。

これより先桓武天皇の頃より、皇族に氏を賜はり、臣下に列せられることが多く行はれたが、中にも桓武天皇の御曾孫高望から出た平氏、清和天皇の御孫經基から出た源氏がその主なるものであつた。然るに是等の二氏は、藤原氏のために妨げられて、都で出世の出来ない他の名族と共に、多く地方官となつてその任地に土着し、土地、人民を私有して次第に勢力を張るに至つた。武門、武士は實にかゝる時勢が生んだ産物であつた。

○六經王神社 源經基をまつる所で、京都市にある。



開城南大門

**天慶の亂** 平高望は、上總の國司となり、その一族は東國にはびこつた。孫の將門に至つて、朱雀天皇の承平年間、任官の望が遂げられないことを恨み、弟將平の諫を斥けて、下總の猿島に據り亂を起したが、天慶三年同族の貞盛が、藤原秀郷と共に攻めてこれを滅ぼした。これと前後して伊豫の地方官であつた藤原純友は、瀬戸内海を率ゐて叛いたから、朝廷は小野好古・源經基等を遣はしこれを討ち平けしめた。世に將門・純友の亂を承平・天慶の亂といひ、これより武士の勢力が漸く重きをなすに至つた。

**刀伊の賊** これより先、朝鮮半島の新羅が、政治みだれ内亂相づくに及んで、その邊民は屢々九州の北部に入寇したから、

仁明天皇は新羅人の、我國に留まることを禁じ給ふた。次いで朱雀天皇の御代、王建といふ者今の開城に據り、高麗國を立て、新羅を滅ぼした。當時滿洲には、遼が起つて渤海を滅ぼしたが、高麗は遼と戦つて敗れ、一條天皇の御代には遼の屬國となつた。後一條天皇の御代、刀伊の賊が、高麗を経て我國に來寇し、壹岐・對馬から筑前に迫つた。時に太宰府の役人藤原隆家・大藏種材等は九州の兵を率ゐて奮戦し、漸くこれを追ひ拂つた。刀伊は當時遼に屬して日本海北岸の地方に住む女眞族である。

○開城南大門 高麗の主府開城の南大門で、李朝が朝鮮に入つてから造られた朝鮮最古の建築で、樓上には高麗忠穆王の時、元の加工によつて造られた鐘がある。

前九年・後三年の役 後冷泉天皇のとき、陸奥の豪族安倍頼時その子貞任等が、衣川館に據つて亂を起した。陸奥守源賴義は、その子義家と共に攻めて頼時を殺し、次いで出羽の豪族清原武則の援けを得て貞任を厨川柵に攻め滅ぼした。これが前九年の役で、武則は功によつて鎮守府將軍に任せられ、安倍氏の舊領を併せ領したが、白河天皇の御代その孫の眞衡は、一族の武衛と争ひ、奥羽は再び亂れた。堀河天皇の

御代、陸奥守源義家は、弟義光及び藤原清衡と共に、攻めてその亂を平げた。これが後三年の役である。源氏はかくして東國に恩威を布き、殊に後三年の役に際し、朝廷から恩賞がなかつたため、義家は私財を出して部下を賞したので、東國における源氏の勢ひは一層揚り、陸奥では藤原清衡の子孫が大いに榮えたのである。

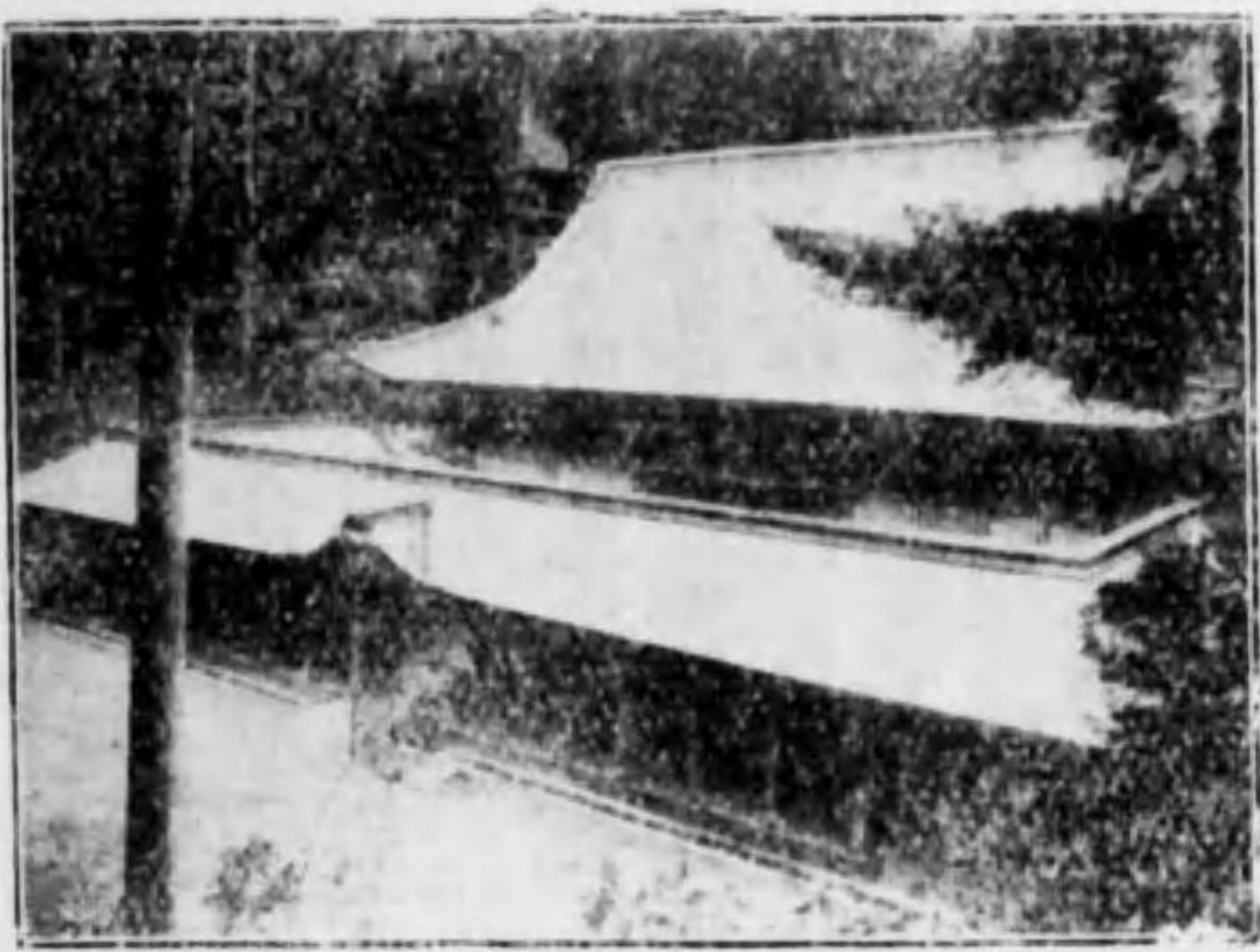
○金澤柵址 秋田縣仙北郡金澤町にあり、清原武衡、家衡の最後の居城である。

### 第六節 平安朝の文化

外来文化の日本化 平安時代の初期は、なほ奈良朝時代の風を受けて、唐風の影響が一般文化に及んだが、其後次第に國風が發揮せられ、殊に宇多天皇の御代、菅原道眞の議によつて遣唐使を廢止し、次いで醍醐天皇の御代には唐が亡び、支那大陸が亂れてよりは、公の交通は絶え、唐の影響から遠ざかつて、益々國風の特徴を現はすに至つた。當時は概して太平が久しく打ち續き、貴族が中心勢力をなした關係上、優美柔弱な風が盛んであつた。

平安朝の佛教 平安時代の初め、佛教界には最澄(傳教大師)

空海(弘法大師)などの高僧が現はれて新宗派を傳へた。最澄は近江の人で、桓武天皇の御代、比叡山に延暦寺を起し、後唐に入り、歸朝して天台宗を傳へた。空海は讃岐に生れ、最澄と共に唐に渡り、歸朝して眞言宗を傳へ、紀伊の高野山に金剛峰寺を開き、又嵯峨天皇より、京都の教王護國寺(今の東寺)を賜はつた。空海は單に高僧として有名なのみでなく、博學多能の人にして、書畫・詩文に長じて、學校を建て、子弟を教育し、諸國を巡つて公



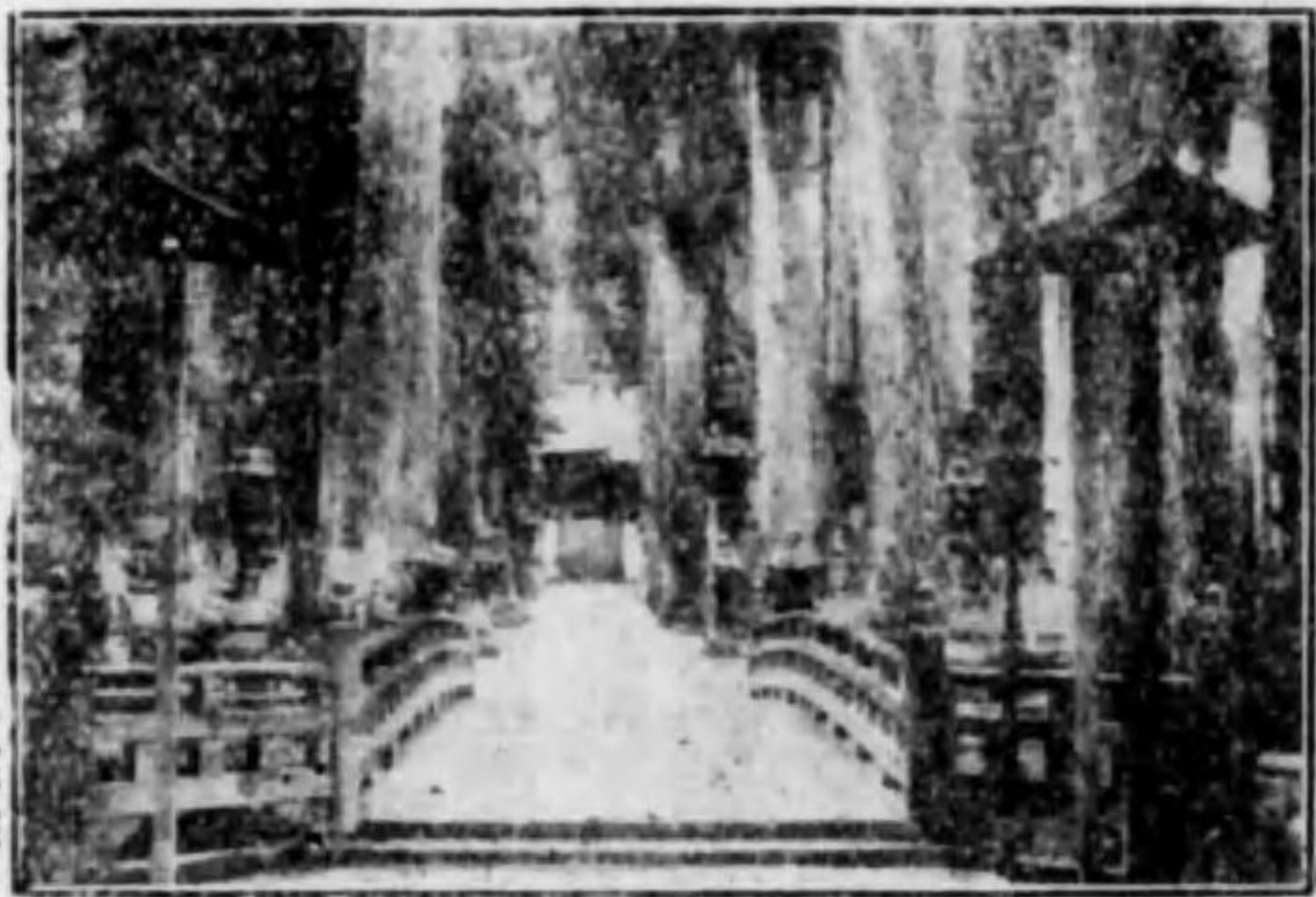
延 曆 寺

益事業にも力をつくし、深く上下の尊信を集めてゐた。この天台・眞言の二宗派は、何れも國家鎮護を旨とし、奈良時代に起つた神佛調和の思想を進めて、神佛同體の説さへも唱へたが、其後花山天皇の頃、惠心僧都が出て淨土教の基を開

き、貴族の間に盛んに阿彌陀佛が信仰せられ、その御堂を建てることが行はれて、この世ながらに極樂淨土を現はさんことを企圖した結果、佛教も次第に國風化して、人心に沁みこんだ。

○延曆寺 比叡山延曆寺の根本中堂は、最初最澄の建立したものであるが、現在のものは寛永七年徳川家光の再建にかゝるものである。

山 野 高  
○高野山奥院 金剛峰寺から約二軒ばかり奥のところにある、空海の廟所である。



國文學の興隆 この時代の初期には、依然として漢文學が盛んに行はれ、殊に嵯峨天皇は最も學藝を好ませられ、詩文、書道をよくし給ひ、勅して詩集を撰ばしめ給ふなどであらせられたから、朝臣の中にも小野篁・都良香など詩文の名家が現はれた。當時は大學の

制も備はつたが、藤原氏の勸學院、橘氏の學館院の如く、貴族の間には特にその一族のための私立學校も起つた。然るにこの時代に入つて假名字の發達を來し、國語を書き記すことが容易になつたため、延喜の頃から國文學の發達が特に目立つて來た。即ち紀貫之は歌文をよくして土佐日記を著し、又醍醐天皇の命を奉じ、古今和歌集を撰んで上つたが、この後和歌勅撰のことが屢々行はれた。藤原氏が競ふてその女を宮中に入内せしめんとするや、才女を選んでこれに侍せしめた結果、貴族の間に自ら才女を輩出せしめた。中にも一條天皇の御代には、紫式部は源氏物語を著し、清少納言は枕草紙を書き残し、永く國文學の模範と仰がれるに至つた。この外才女の名を後世に残すものが少くなかつた。

美術工藝 美術工藝もこの時代に入つて、溫和、優美にして氣品高き國風を現はした。藤原樹通の建てた宇治の平等院は、その最も壯麗なもの一つで、今も御堂の鳳凰堂が残つてゐる。趣あるその建築は、名工定朝の造つた本尊阿彌陀佛、宅磨爲成の書いた壁畫極樂の圖など其他の裝飾と共に、當時の最も優れた藝術である。この時代の末期に至り、地方の豪族が漸次勢力を得るに及んで、都の風は地方にも及び、西は



豊後から東は平泉に至るまで、美術上の尊い遺品が今尚ほ残つてゐる。

**風俗** 當時京都の貴族は一般に榮華に耽り、風流逸樂を事とした。その邸宅は寢殿造で庭園に花木、泉池を配し、衣服は華美を競ひ、男子の束帯、女子の十二単衣に至つては、優美の限りを盡した。また日夜詩歌・管絃・碁・雙六などの遊樂に耽つて文弱に流れ、風儀も上下ともに亂れ、生活は不健全であつた。然し京都の上流社會が、かくの如く腐敗したのにならば、地方の武士・平民階級は、昔ながらの質實、剛健の風を保ち、やがて武士が天下の實權を握ることになつた。

**○寢殿造** 唐風の建築から日本化した平安朝時代の貴人の家屋で、中央に寢殿をしつらへてこれを主人の正室としたのである。

### 第七節 源平二氏

**後三條天皇** 後三條天皇の御母は三條天皇の皇女におはし、藤原氏の御出であらせられなかつた上に、天皇は英明の御性質におはし、政を親らし給ふて、藤原氏の勢力を抑へんと圖り、先づ太政官に記録所を設けて莊園を整理し給ひ、次

で國司の重任等を禁じて専ら政治の刷新をはかり給ひ、親ら質素を守つて奢侈の風を正し給ふなど只管善政を施された。

**院政** 次帝白河天皇もまた果斷にましまし、御父後三條天皇の御志をつがせられ、御讓位の後院政を起し給ふた。即ち院の御所に別當、執事などの院司を設け、北面の武士を置き院宣を以て諸政を決せられたから、攝政・關白は名のみとなり、藤原氏はこゝに實權を失つた。然るに白河上皇はあつて佛教に歸依し、御髪をおろし法皇と稱し給ひ、多くの寺塔を建て、佛像を造らせられた結果、財用は乏しくなるに反し寺院の勢力が著しく増大した。中にも延曆寺・園城寺・興福寺などは、多くの莊園を領し僧兵を養ひ、互に武器をとつて勢力を争ひ、また意に満たざることあれば、京都に亂入して朝廷に強訴した。

**武士の興起** かくの如く都の空は騒々しくなつたに拘らず、朝廷は柔弱に流れて、これを鎮める實力なく、地方に勢力を有する武士を入京せしめて、京都の治安を保たしめることとなつた。これより先源氏は、代々武功を立て、東國の人心を收め、殊に義家以後大いに勢力を張る一方、平氏は貞盛五世の孫に忠盛が現れ、白河法皇に仕へて御信任を蒙り、瀬戸内海

の海賊を平けてより西國に勢力を布き、武士の首領として源氏と並び立つやうになつた。

**保元の亂** 白河法皇に次いで、鳥羽法皇が院政を御執りになつたが、その崩御のとき保元の亂が起つた。時に左大臣藤原頼長は、兄忠道に代つて關白たらんとし、崇徳上皇と謀つて保元元年、源爲義、その子爲朝、平忠正等の武士を召し、兵を上皇の御所である白河殿に集めた。後白河天皇は、源義朝、平清盛等をして、これを攻めさせられた結果頼長は戦死し、崇徳上皇は讃岐に遷され、爲義・忠正は誅せられて亂はをさまつた。

**○熊野坐神社** 熊野本宮といひ和歌山縣新宮町にあり、素盞鳴尊と伊弉冉尊とを祀り奉る官幣大社である。

**平治の亂** 保元の亂のとき源義朝は戦功が最も多かつたのであるが骨肉相戦つた結果多くの一族を失ひ、その勢力は平氏に及ばなかつた。茲に於て藤原信賴と結び、平治元年平清盛が熊野に詣で、京都に不在の機に乗じて急に兵をあげたが、清盛はその子重盛と共に途中より歸り、これを邀へて撃ち破り、信賴は誅せられ、義朝は東國に逃れたのであるが途中尾張において誅せられ、その子頼朝は伊豆に流された。こ

れが平治の亂で、源氏の勢力は地を拂つたのに引きかへ、平氏は武家として獨り榮えることとなつた。

### 第八節 平氏の隆替

**平氏の全盛** 平治の亂後、清盛は官位相次いで進み、遂に従一位太政大臣となつて政治の實權を握り、藤原氏の例にならつて、その女徳子を、高倉天皇の中宮にすゝめ奉つた。かくて一門は朝廷の要職



社 神 鳥 嚴

を占め、多くの莊園を領し、安藝の嚴島に莊園なる社殿を營み、兵庫の港を修めて、宋との貿易を開き、その威勢は天下を壓し「平氏に非ざれば人に非ず」と稱せられるほどの隆盛を極めた。藤原成親等はこれを忌み、密かに平氏を滅ぼさうと企

てたが失敗した。此時清盛は重盛に諫められて、後白河法皇を押し込め奉ることは一時思ひとまつたけれど、重盛の死後次第に我意を増長せしめ、後には自分の別荘のある攝津の福原に一時都を遷し奉るが如き専横を恣にするに至つた。

○暖島神社 日本三景の一、暖島は俗に宮島とも稱せられ、こゝに祀る暖島神社は、平清盛の創造にかゝり、市杵島姫を祭神とする官幣大社で、社殿、鳥居とも海上に描く神社としては、類例のない建築である。

源頼朝の擧兵 時に源氏の一族源頼政は、後白河法皇の皇子以仁王を奉じ、その命令を各地の源氏に傳へ、平氏の軍と宇治に戦つて敗死したが、さきに伊豆に流された頼朝は、王の命令をうけて兵を擧げ、富士川に平氏の大軍を敗走せしめ、自からは鎌倉に據つて東國を固めた。

木曾義仲 その従弟木曾義仲も兵を信濃に擧げ、平氏の大軍を越中の礪波山に破り、北國を従へて急遽西上の途についた。これより先、平氏は清盛が薨じて宗盛がその後を繼いだが、義仲が進んで比叡山に據るや、これを避けて安徳天皇及び神器を奉じ、一族を率ゐて都を脱九西國に走つた。そのため義仲は戦はずして入京することを得たが、功に誇つて横暴な行

ひが多かつたから、後白河法皇はこれを除かんと思召し、密かに頼朝を召された。勅を拜して頼朝は、弟範頼・義經に大軍を授けて上京せしめ、義仲の軍と戦ひて敗走せしめ義仲は勢ひ窮つて近江の粟津に戦死した。



木曾義仲の墓

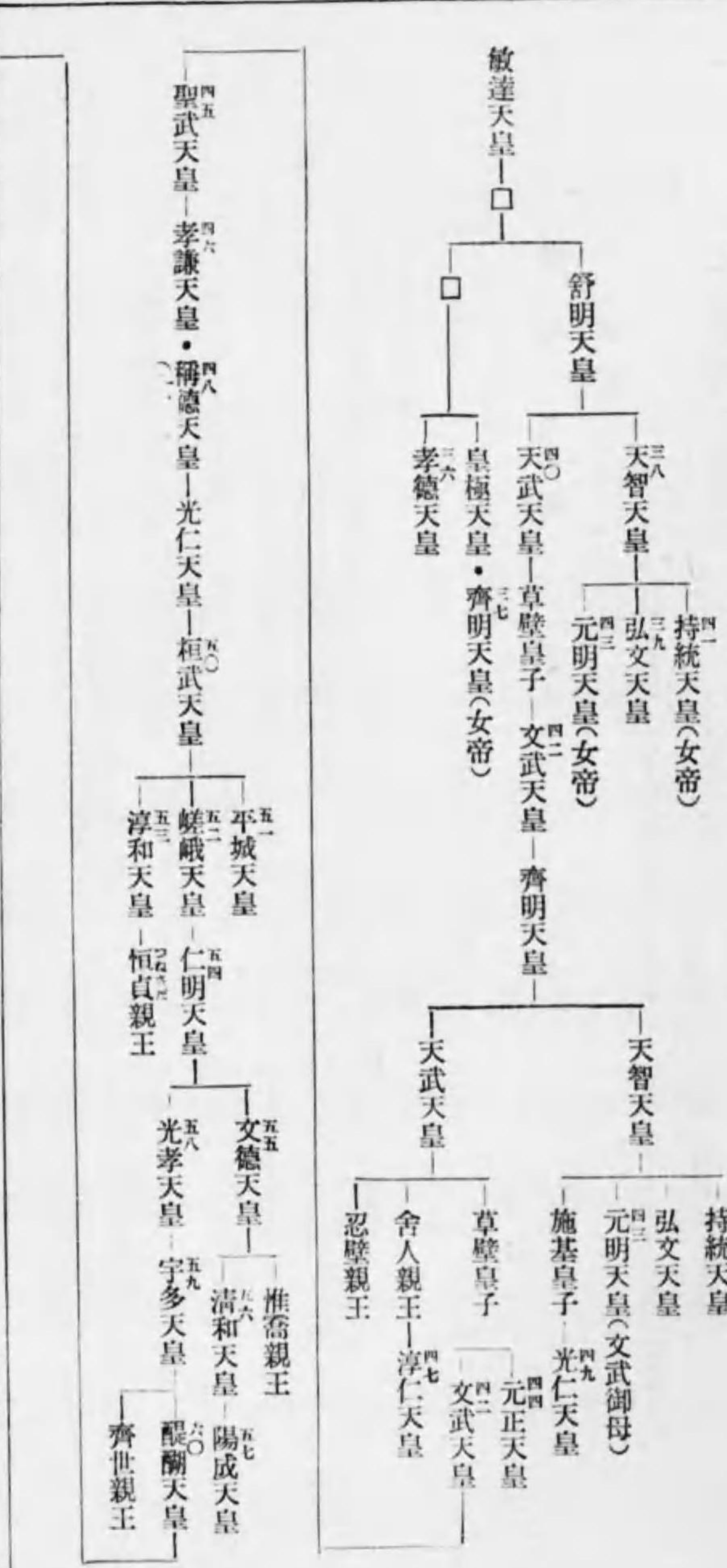
これを攻め、平氏をして讃岐の屋島に敗走せしめ、やがて頼朝は、山陽道を下つて九州に入り、義經は急に屋島を攻め取り、海に浮んで逃げて行く平氏を追ふて、大いに長門の壱浦で戦つた。この戦に平氏一族は殆ど戦死し、安徳天皇もまた崩御遊された。かくて清盛が太政大臣となつてより、僅か十九年にして平氏は滅亡した。

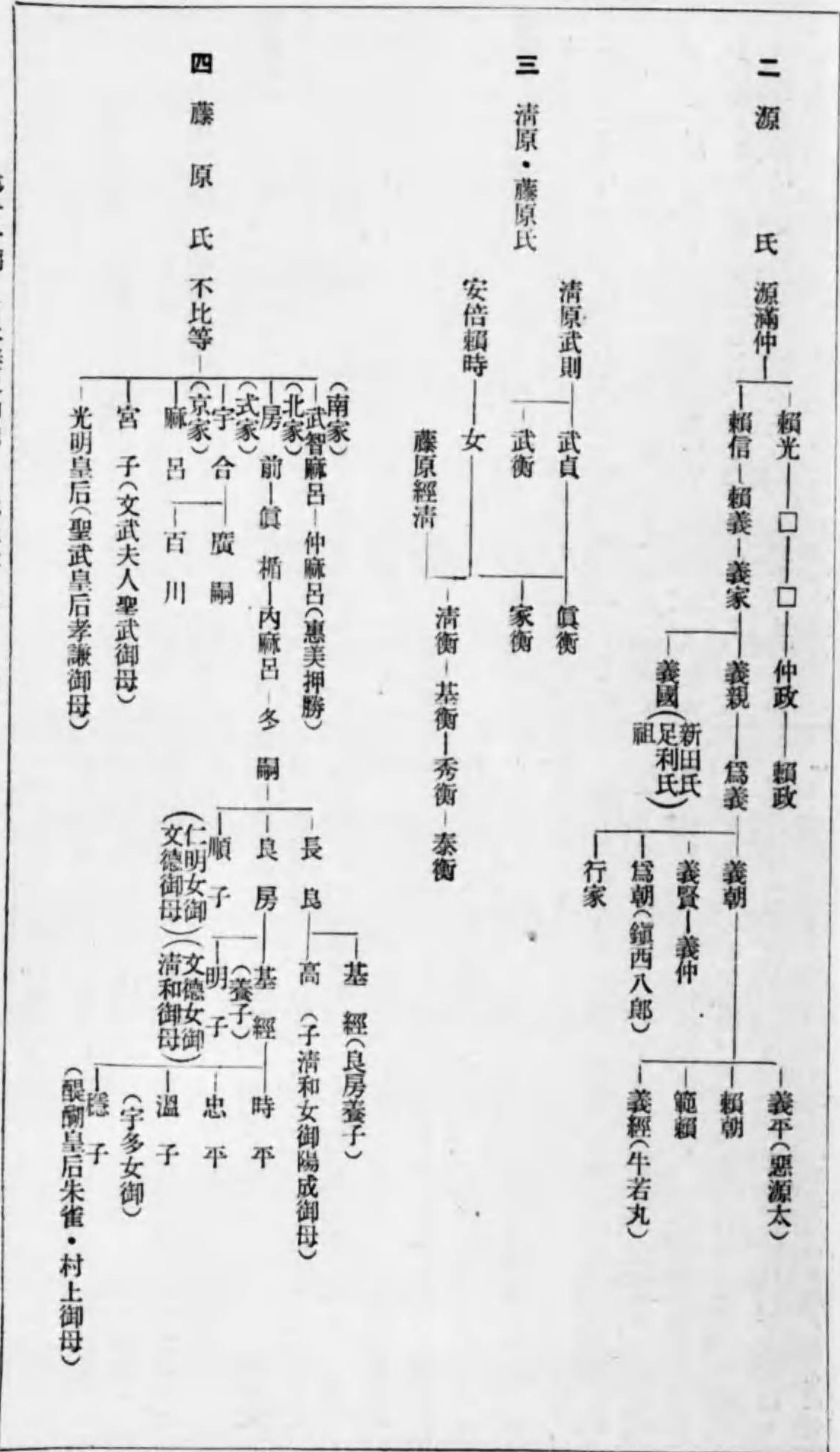
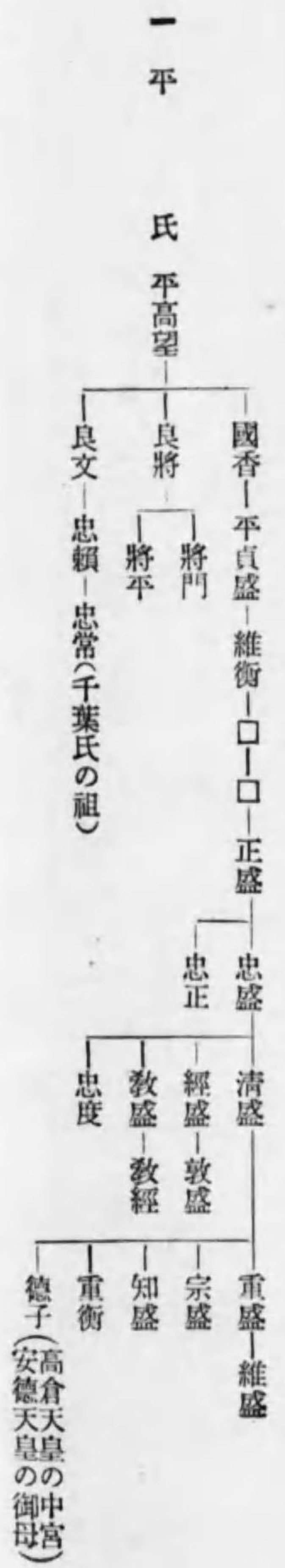
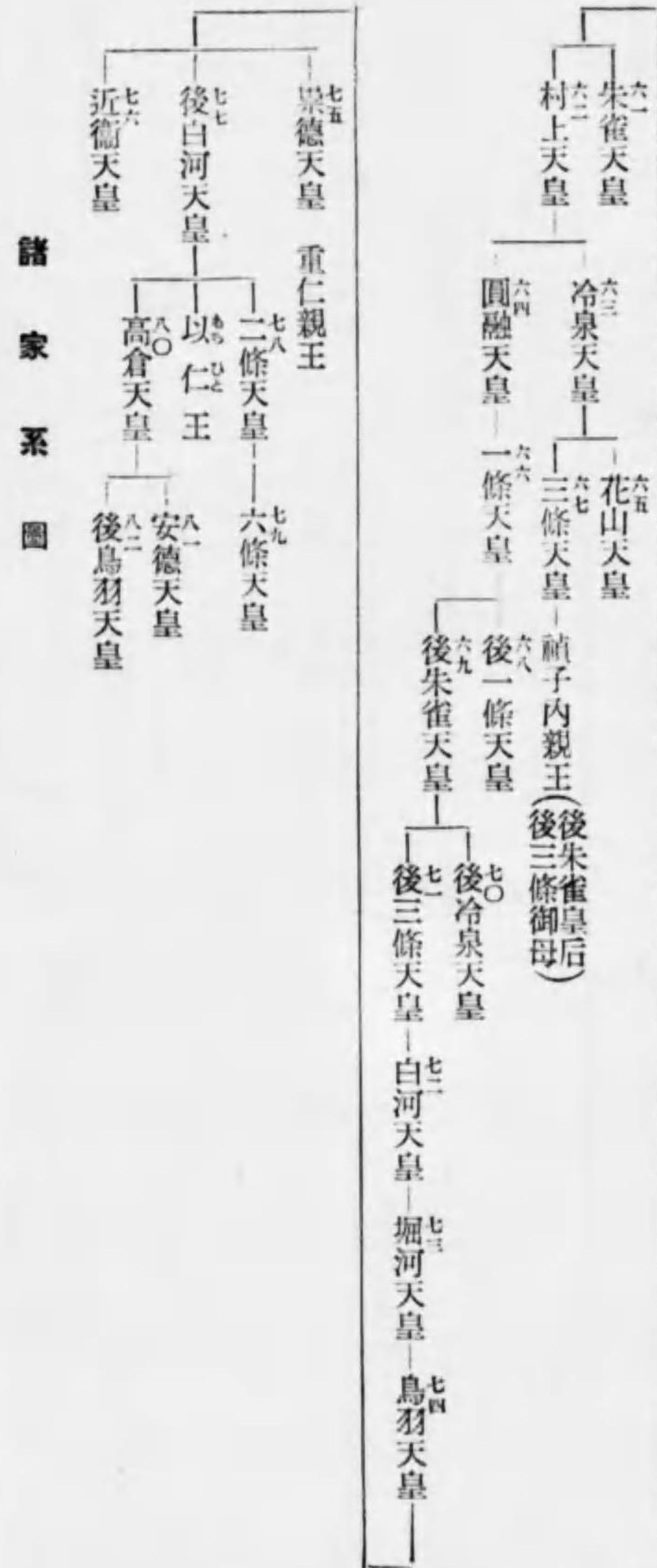
○平家一門の墓

下關市壱浦のもの阿彌陀寺境内にあり、

平知盛以下の墓碑が若むして昔を偲ばせてゐる。

皇室御系圖 (三)





### 第三章 近古

#### 第一節 鎌倉の開府

**鎌倉幕府** 源頼朝が伊豆の配所を出て鎌倉に據るや、先づ侍所を置いて武士を取締らせ、次いで公文所(政所)・問注所を設け、政務、裁判を司らしめた。かくて建久三年頼朝が征夷大將軍となるや、是等の機關はそのまゝ鎌倉幕府となり、天下の政治を行ふことになつた。こゝに於て初めて武家政治が開始せられたのである。

**頼朝の勲業** 源氏が平氏を滅ぼしたについては、義經の力によることが多かつたけれど、義經はその功を誇り、我儘の振舞があつたので、頼朝の怒りをうけて一時姿を隠した。こゝにおいて頼朝は朝廷に請ひ、國毎に守護を置き、軍事・警察を掌らしめ、公領・莊園に地頭を置いて土地を支配し、租税を徴せしめ、家人を以てこれに任じた。此時に當り、陸奥の藤原秀衡は、父祖以來の富強をたのみ、義經を匿まつてゐたが、秀衡の死後その子泰衡に至り、頼朝を憚つて遂に義經

を攻め殺した。頼朝は藤原氏かその命を奉ずることの運きを責め、自から總大將となつてこれを討ち、平泉を陥れて藤原氏を滅ぼした。こゝに至つて天下は統一し、次いで頼朝は征夷大將軍となり、鎌倉幕府は名實ともに政令の中心となつたのである。

**武家政治の特徴** 頼朝は將軍職にあること八年、その間國家の安泰を期して、専ら政治に意を用ひた。即ち常に部下を戒めて質素・儉約を旨とし、武勇を勵まし忠孝を重んじ、名を借し卑劣の行ひを斥け、武士の道義をすゝめて民力を養ひ特に皇室を尊び、篤く神佛を敬ふなど、時勢に適した政治を行つた結果、平安朝末期に亂れた地方も鎮まつて、天下はよく治まり、其後凡そ六百年間も續いた武家政治の基を確立したのである。

然し頼朝はその性猜疑心深く、ために自から弟義經・範頼などの骨肉を除くの愚をなし、源氏衰亡の因をつくつたのは史の等しく惜しむところである。即ち頼朝が薨じて、長子頼家が將軍となつたが、間もなく薨せられ、その弟實朝もまた害せられたのである。かくして僅か三代二十八年にして、源氏の正統は絶え、外戚北條氏が幕府の實權を握るに至

つたのである。

#### 第二節 鎌倉時代の文化

**武士道の發達** 頼朝が幕府を鎌倉に開くや、努めて土風を練り質實剛健の風を奨めたので、鎌倉武士の間には、一種清新の氣風が發達し、一般に武勇を尚び、遊技も大迫物・流鏑馬・笠懸などを喜び、衣食住は簡素にして、主従互に恩義を重んじ、名を惜み恥を知り、節義のためには死を恐れぬ、所謂武士道を發達せしめた。

**鎌倉の文化** 従つて是等武士の間には、京都の貴族を中心とする文化とは、自から異なる趣が發達した。殊にこの頃支那は宋・元などの時代に當り、夫等の國に行はれた淡泊な好みも、我が武士にも歡迎されて、特色ある文化の發達を見るに至つた。

**○武士の生活** 肥後の竹崎季長が鎌倉に上り、奉行秋田城介泰盛に文永の役の報告をなしてゐる所が、蒙古來襲繪詞に載せてあるが、當時の奉行の邸宅が、直垂の服装と共に簡素に描かれてある。

**學問・文藝** かゝる時代であるから、學問、文藝は主として貴

族・僧侶の間に行はれ、武士は大抵文事に遠ざかつた。たゞ北條實時が武藏の金澤に文庫を設け、和漢の書を集めて、子弟を教育したのは、特筆すべき事柄であつた。文藝方面では、假名交り文を以て綴つた保元物語・平治物語・源平盛衰記・平家物語などの軍記物が出て愛讀せられたが、特に平家物語は、琵琶にあはせて歌はれた。和歌は主として京都に行はれ



藤原俊成  
その子定家・源實朝・僧西行など  
兵の歌人が現はれたが、中に

も定家は後鳥羽天皇の勅を承け、新古今和歌集を撰んで奉つた。小倉百人一首もこの頃からもてはやされるやうになつたが、武士の間にもその影響が現はれて、源實朝の如き名高い歌人を出した。

**○金澤文庫** 金澤文庫は横浜市金澤にある今の稱名寺の境内